

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和4年度調査）の
報告案について

○ リフィル処方箋の実施状況調査 （右下頁）

・報告書（案）	1頁
・NDBデータ	215頁
・調査票	216頁

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和4年度調査）

リフィル処方箋の実施状況調査

報告書（案）

◆◆目次◆◆

II. 調査の概要	1
1. 目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	2
4. 調査項目	2
5. 調査検討委員会	7
III. 調査の結果	8
1. 回収結果	8
2. 病院・診療所調査	9
(1) 施設の状況(令和4年11月1日時点)	10
(2) リフィル処方箋について	41
3. 保険薬局調査	69
(1) 薬局の状況(令和4年11月1日時点)	70
(2) 届出の状況	96
(3) リフィル処方箋の対応状況	98
(4) 医療機関等との連携	118
(5) リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等	124
4. 患者調査(郵送調査)	128
(1) この調査票の記入者	128
(2) 患者ご自身のことについて	129
(3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について	133
(4) これまでのリフィル処方箋を交付された経験	138

(5)	これからのリフィル処方箋の利用意向	155
(6)	リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等	172
5.	患者調査(インターネット調査)	173
(1)	この調査票の記入者	173
(2)	患者ご自身のことについて	174
(3)	医療機関や保険薬局の利用状況等について	178
(4)	これまでのリフィル処方箋を交付された経験	182
(5)	これからのリフィル処方箋の利用意向	198
(6)	リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等	211

II. 調査の概要

1. 目的

令和4年度診療報酬改定において、症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みを設け、処方箋の様式を変更した。

これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響等について調査・検証を行う。

2. 調査対象

本調査では、「①病院・診療所調査」、「②保険薬局調査」、「③患者調査（郵送調査）」「④患者調査（インターネット調査）」の4つの調査を実施した。各調査の対象は、次のとおりである。なお、①・②においては令和4年4月から6月の診療分のレセプト情報・特定健診等情報データベース（以下、NDB）を活用

① 病院・診療所調査

病院については、全国の病院のうちリフィル処方箋の発行実績の有無に応じて、500件ずつ、計1000件を無作為に抽出した。

診療所についても、同様に、計1000件を無作為に抽出した

② 保険薬局調査

全国の保険薬局のうち令和4年リフィル処方箋の受付実績の有無に応じて、250件ずつ、計500件を無作為に抽出した。

③ 患者調査（郵送調査）

上記①保険薬局調査の対象施設の調査日に来局した患者、並びに、上記②病院・診療所調査の対象施設の調査日に外来した患者を調査対象とした。1施設につき2名を本調査の対象とし、調査客体数は最大で5,000（ $500 \times 2 + 1000 \times 2 + 1000 \times 2 = 5000$ 人）とした。

④ 患者調査（インターネット調査）

直近3か月間で、保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象とした。調査客体数は1,000人とした。

3. 調査方法

本調査の「①病院・診療所調査」「②保険薬局調査」「③患者調査（郵送調査）」は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（IDを印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、回答者の負担軽減のため、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

「③患者調査（郵送調査）」については、自記式調査票（患者票）の配布は上記①及び②の対象施設（保険薬局、病院・診療所）を通じて行い、回収は事務局宛の専用返信封筒により患者から直接郵送で行った。

「④患者調査（インターネット調査）」については、インターネット上での回答・回収とした。

調査実施時期は、令和4年12月から1月であった。

4. 調査項目

各調査の調査票（「①病院・診療所票」「②保険薬局票」「③患者票（郵送調査）」）の調査項目は以下のとおりである。なお、「④患者票（インターネット調査）」の調査項目は「③患者票（郵送調査）」と同一である。

《①病院・診療所調査》

設問種類	設問項目
1. 概要	①所在地
	②開設者
	③医療機関種別
	④許可病床数
	⑤過去1年の病床数変更
	⑥標榜診療科
	⑦外来分離の状況
	⑧地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無
	⑨外来を担う医師の人数
	⑩外来の患者数
	⑪処方箋の発行枚数
2. リフィル処方箋	①リフィル処方箋の制度の認知
	①-1 リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
	②リフィル処方箋の発行有無
	③リフィル処方箋等の発行回数（令和4年4月～10月の合計）

設問種類	設問項目
	④リフィル処方箋を発行している患者
	⑤リフィル処方に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無
	⑥リフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度
	⑦リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報
	⑧リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報
	⑨薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数（令和4年4月～10月の合計）
	⑩リフィル処方箋を発行した理由
	⑪リフィル処方箋を発行しなかった理由
	⑫リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
	⑬リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
	⑭ ⑬で「積極的に検討する」と回答した理由
	⑮ ⑬で「検討には消極的」と回答した理由
	⑯このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること

《②保険薬局調査》

設問種類	設問項目
1. 概要	①所在地
	②開設者
	③ 同一グループ（財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう）等による薬局店舗数
	④開設年
	⑤ チェーン薬局か否か
	⑥薬局の立地
	⑦最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合（令和4年4月～6月）
	⑦-1 ⑦の集中率が最も高い医療機関の情報等
	⑧ 受付医療機関数（令和4年4月～6月の月平均値）
	⑨ 売上高に占める保険調剤売上の割合
	⑩ 電子版お薬手帳の導入状況
	⑪ オンライン資格確認についての対応システムの稼働状況
	⑫ 令和4年度の調剤基本料の届出状況
	⑫-1 全処方箋の受付回数（調剤基本料の根拠となる数字）
	⑫-2 全処方箋の受付回数（令和4年4月～10月の各月）

設問種類	設問項目
	⑬職員数 ⑭-1 管理薬剤師の年代 ⑭-2 管理薬剤師の、当該薬局での勤続年数 ⑭-3 管理薬剤師の、薬剤師としての経験年数 ⑮認定等の状況
2. 届出の状況	① かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の有無 ② 地域支援体制加算の届出の有無（令和4年11月1日現在） ③ 連携強化加算の届出の有無（令和4年11月1日現在）
3. リフィル処方箋の対応状況	①リフィル処方箋の仕組みの認知 ②リフィル処方箋の受付経験 ③受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数 ④リフィル処方箋を受け付けた医療機関との関係 ⑤リフィル処方箋を受け付けた診療科 ⑤-1 ⑤で選択した中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科 ⑥1か月ごとのリフィル処方箋の受付件数（延べ数）（令和4年4月～10月の各月） ⑦リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）（令和4年4月～10月の各月） ⑧リフィルの上限まで使用されなかった理由 ⑧-1 薬剤師が受診勧奨をした回数 ⑧-2 薬剤師が受診勧奨をした理由 ⑧-3 受診勧奨の際に行ったこと ⑨リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無 ⑩リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容 ⑪リフィル処方箋の患者フォローアップ（来局時除く）で受診勧奨をした経験 ⑪-1 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談 ⑫1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験 ⑫-1 リフィル処方の途中で患者が薬局を変えた場合の内訳 ⑫-2 他薬局へ情報提供を行った際の方法 ⑫-3 情報提供した内容 ⑫-4 他薬局から情報提供を受けた際の方法 ⑫-5 情報提供された内容 ⑬リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報 ⑭リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況

設問種類	設問項目
	⑮リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法
	⑯ 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること
4. 医療機関等との連携	① 服薬情報等提供料の算定の有無
	②リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験
	②-1 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容
5. リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等	①リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
	②患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
	②-1 受けた相談の内容
	②-2 患者の希望を処方医に連絡した経験の有無

《③患者調査（郵送調査）》

設問種類	設問項目
1. 調査票の記入者	①調査票の記入者
2. 患者	①性別
	②年齢
	③住所（都道府県）
	④薬局の窓口での支払いの有無
3. 医療機関や保険薬局の利用状況等	①定期的に受診している医療機関、診療科
	②定期的に決まった薬の処方の有無
	③リフィル処方箋の認知
4. リフィル処方箋を交付された経験	①リフィル処方箋について医師から説明を受けた経験の有無
	①-1 リフィル処方箋についての説明を受けた経緯
	①-2 リフィル処方箋についての説明の理解
	②リフィル処方箋を交付された経験の有無
	③リフィル処方箋を交付された薬
	④直近のリフィル処方箋の反復利用可能な回数
	⑤直近のリフィル処方箋1回あたりに処方された薬
	⑥リフィル処方箋の1回目の処方で行った薬局
⑦リフィル処方箋の2回目以降の処方の際に薬局の変更した経験の有無	

設問種類	設問項目
	⑦-1 薬局を変更した理由
	⑦-2 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診勧奨された経験の有無
	⑧リフィル処方箋が交付されていない理由
5. これからのリフィル処方箋の利用意向	①リフィル処方箋のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向
	①-1 リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの
	①-2 リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの
	①-3 今後、病状が安定している場合のリフィル処方箋の利用意向
	②リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること
	③リフィル処方箋の調剤を受けたい薬局
6. リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等	①リフィル処方箋に関するご意見・ご要望

5. 調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

【委員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

- 関 ふ佐子 横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 教授

- 津留 英智 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 理事長
全日本病院協会 常任理事
医療保険・診療報酬委員会 委員長

- 羽鳥 裕 はとりクリニック 理事長

- 森 昌平 日本薬剤師会 副会長

【オブザーバー】

- 永瀬 伸子 お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授

III.調査の結果

1.回収結果

「①病院・診療所調査」の有効回答数（施設数）は612件、有効回答率は30.6%、「②保険薬局調査」の有効回答数（施設数）は223件、有効回答率は44.6%、「③患者調査（郵送調査）」の有効回答数は641件であった。

図表 1-1 今年度の回収の状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
①病院・診療所調査	2,000件	612件	30.6%
病：リフィル発行実績あり	500件	162件	32.4%
病：リフィル発行実績なし	500件	133件	26.6%
診：リフィル発行実績あり	500件	169件	33.8%
診：リフィル発行実績なし	500件	145件	29.0%
②保険薬局調査	500件	223件	44.6%
リフィル受付実績あり	250件	119件	47.6%
リフィル受付実績なし	250件	104件	41.6%
③患者調査（郵送調査）	—	641件	—
④患者調査（インターネット調査）	—	1,000件	—

2. 病院・診療所調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：病院については、全国の病院のうちリフィル処方箋の発行実績の有無に応じて、500件ずつ、計1000件を無作為に抽出した。
診療所についても、同様に、計1000件を無作為に抽出した

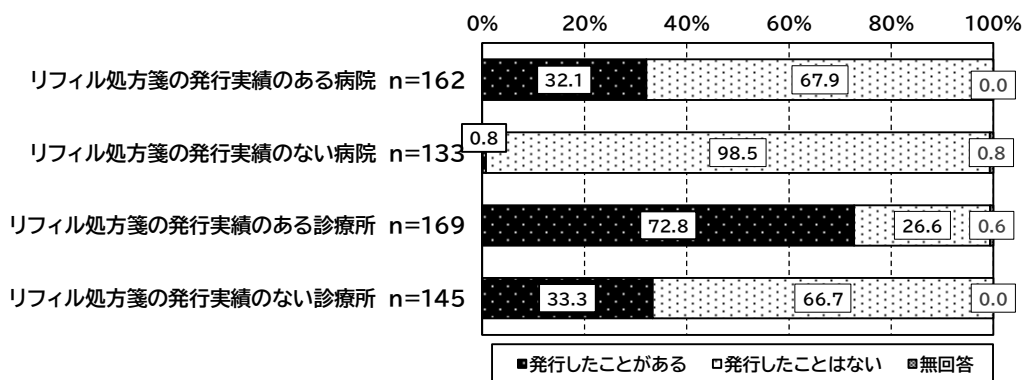
回答数：病院：298施設 ・ 診療所：306施設 ・ 施設種別無回答：8施設

回答者：開設者・管理者

以下、本調査では「リフィル処方箋の発行実績がある」とは、NDB上でのリフィル処方箋の発行実績があることを指します。一方で「リフィル処方箋を発行したことがある」とは、本調査票における設問「2. ②リフィル処方箋の発行有無」において「発行したことがある」と回答したことを指します。

「リフィル処方箋の発行実績がある群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を発行したことがある」と回答した割合は病院で32.1%、診療所で72.8%。「リフィル処方箋の発行実績がない群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を発行したことがない」と回答した割合は病院で98.5%、診療所で66.7%であった。

図表 2-1 リフィル処方箋の発行したことの有無
(病院・診療所、リフィル処方箋発行実績の有無別)

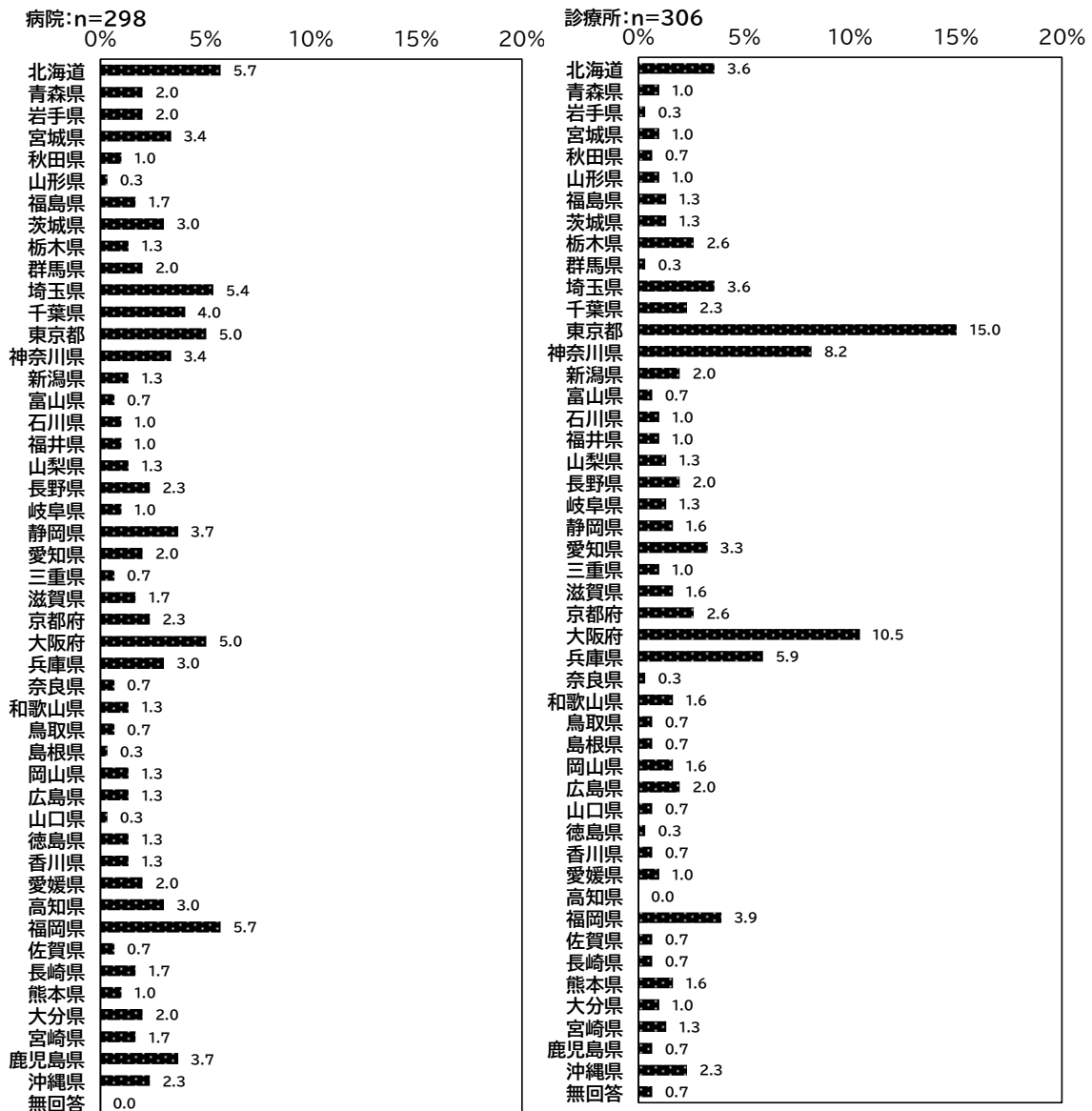


(1) 施設の状況（令和4年11月1日時点）

① 所在地

回答があった医療機関の所在地は以下のとおり。

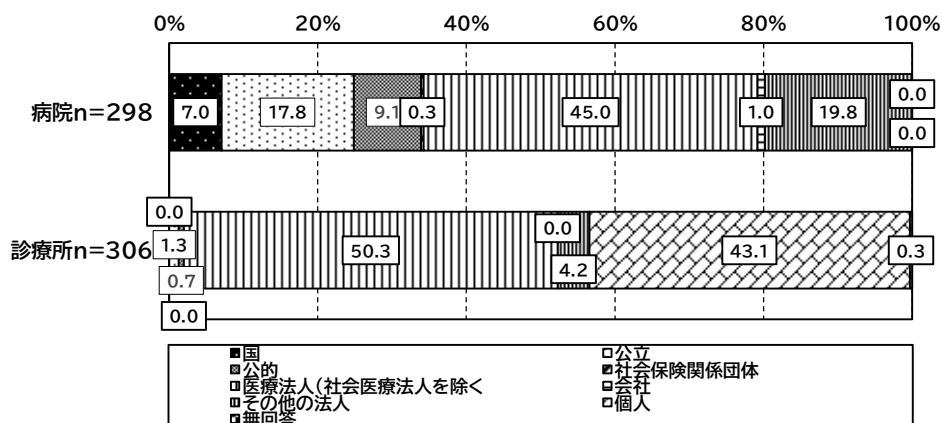
図表 2-2 所在地
(病院・診療所別)



② 開設者

回答があった医療機関の開設者は以下のとおり。

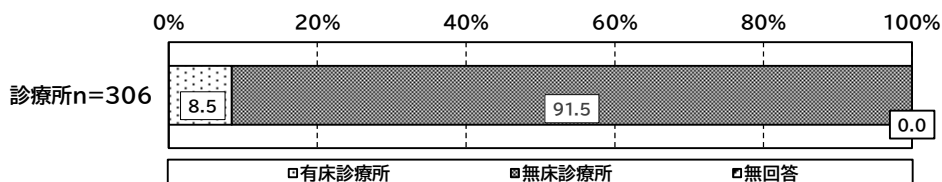
図表 2-3 開設者
(病院・診療所別)



③ 医療機関の種別

医療機関の種別について診療所は「有床診療所」が8.5%、「無床診療所」が91.5%であった。

図表 2-4 医療機関の種別
(病院・診療所別)



④ 許可病床数（病院または有床診療所のみ回答）

許可病床数については、全体数は病院で平均 244.5 床、有床診療所で 14.5 床であった。リフィル処方箋の発行有無別にみると、発行有りの病院のほうが発行無しの病院よりも、全体の病床数が多かった。

図表 2-5 許可病床数
（病院・診療所別）

（単位：床）

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	一般病床	296	196.4	211.3	128.0
	療養病床	296	25.8	48.0	0.0
	精神病床	296	20.5	76.9	0.0
	結核病床	296	1.1	5.6	0.0
	感染症病床	296	0.7	2.0	0.0
	全体	296	244.5	206.4	189.0
有床診療所	一般病床	24	14.0	6.7	19.0
	療養病床	24	0.5	1.7	0.0
	精神病床	24	0.0	0.0	0.0
	結核病床	24	0.0	0.0	0.0
	感染症病床	24	0.0	0.0	0.0
	全体	24	14.5	6.9	19.0

※個別の病床が無回答の場合「0床」とし、病床数全体は各病床の合計値として算出

図表 2-6 許可病床数

(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)

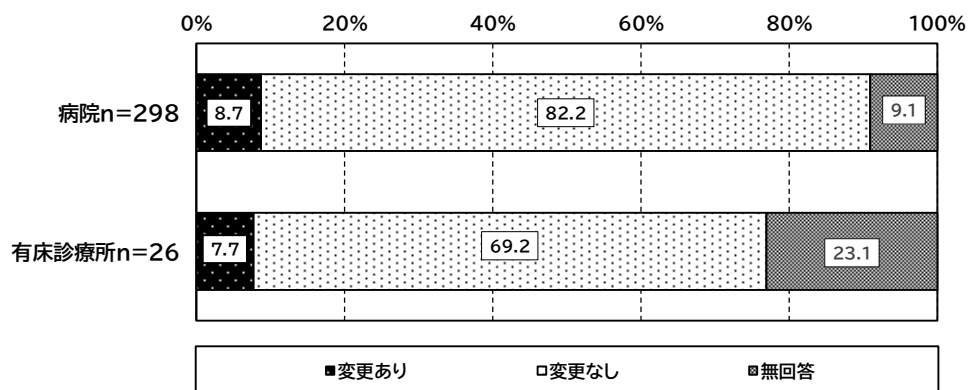
(単位：床)

			回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
病院	発行 有り	一般病床	54	245.2	237.7	194.5
		療養病床	54	24.4	40.5	0.0
		精神病床	54	14.4	53.1	0.0
		結核病床	54	2.6	10.4	0.0
		感染症病床	54	0.9	2.3	0.0
		全体	54	287.5	239.9	204.5
	発行 無し	一般病床	241	186.1	204.1	104.0
		療養病床	241	25.8	49.5	0.0
		精神病床	241	22.0	81.4	0.0
		結核病床	241	0.8	3.8	0.0
		感染症病床	241	0.7	2.0	0.0
		全体	241	235.3	197.8	184.0
有床 診療所	発行 有り	一般病床	6	10.2	7.6	9.5
		療養病床	6	1.0	2.4	0.0
		精神病床	6	0.0	0.0	0.0
		結核病床	6	0.0	0.0	0.0
		感染症病床	6	0.0	0.0	0.0
		全体	6	11.2	8.4	12.0
	発行 無し	一般病床	18	15.3	6.3	19.0
		療養病床	18	0.3	1.4	0.0
		精神病床	18	0.0	0.0	0.0
		結核病床	18	0.0	0.0	0.0
		感染症病床	18	0.0	0.0	0.0
		全体	18	15.7	6.4	19.0

⑤ 過去1年間の病床数変更（病院または有床診療所のみ回答）

過去1年間の病床数変更について、病院では「変更あり」が8.7%、「変更なし」が82.2%であった。診療所では「変更あり」が7.7%、「変更なし」が69.2%であった。

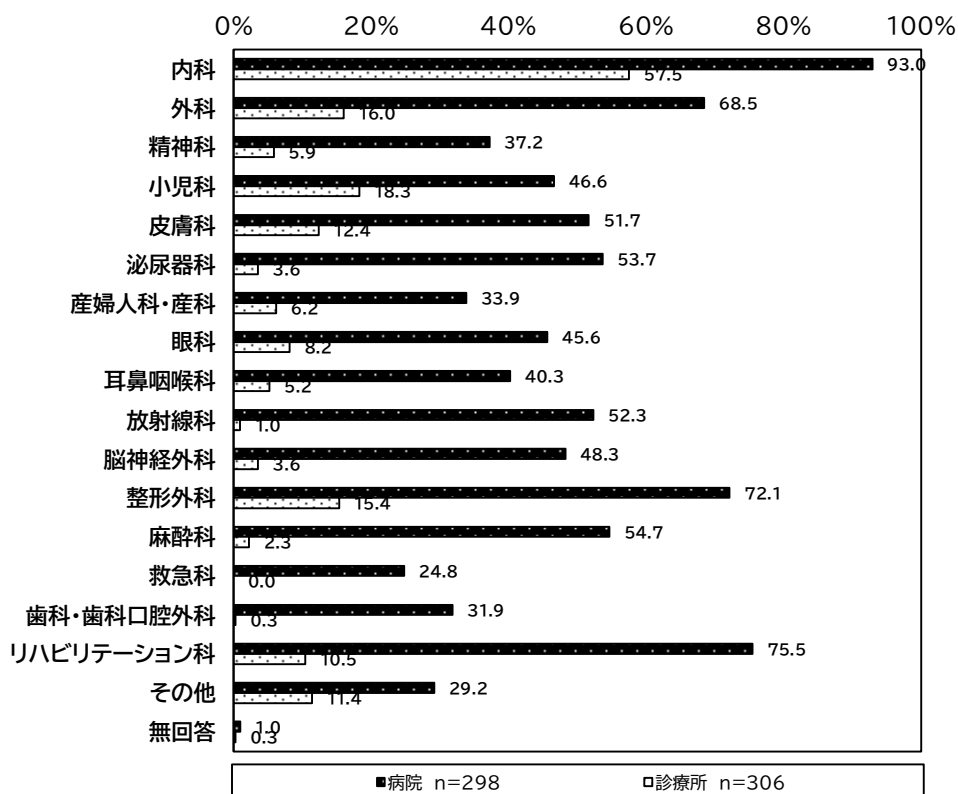
図表 2-7 過去1年間の病床数変更
（病院・診療所別）



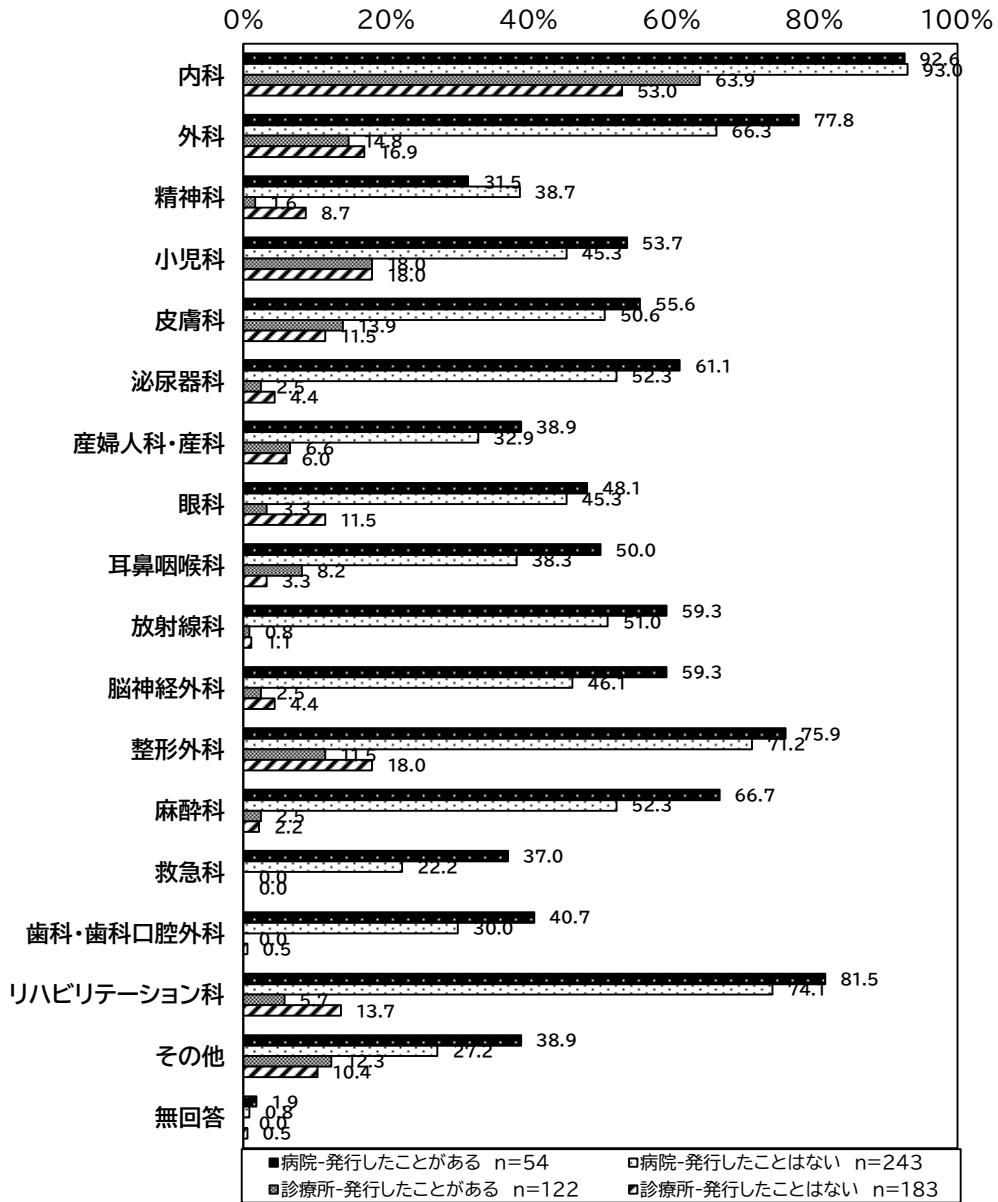
⑥ 標榜診療科

標榜診療科は、病院では「内科」が93.0%で最も多く、診療所も同じく「内科」が最も多く、57.5%であった。

図表 2-8 標榜診療科（複数回答）
（病院・診療所別）



図表 2-9 標榜診療科（複数回答）
 （病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別）



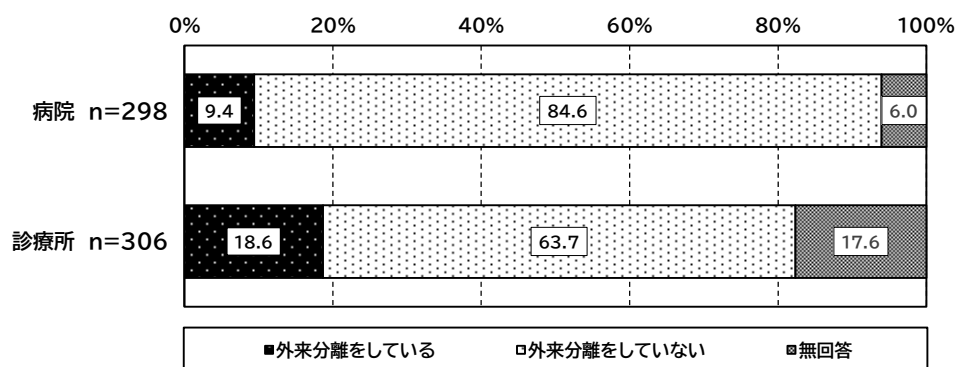
【その他の記載内容】

- ・病理診断科
- ・形成外科
- ・初回時や退院時
- ・新生児科
- ・緩和ケア科 等

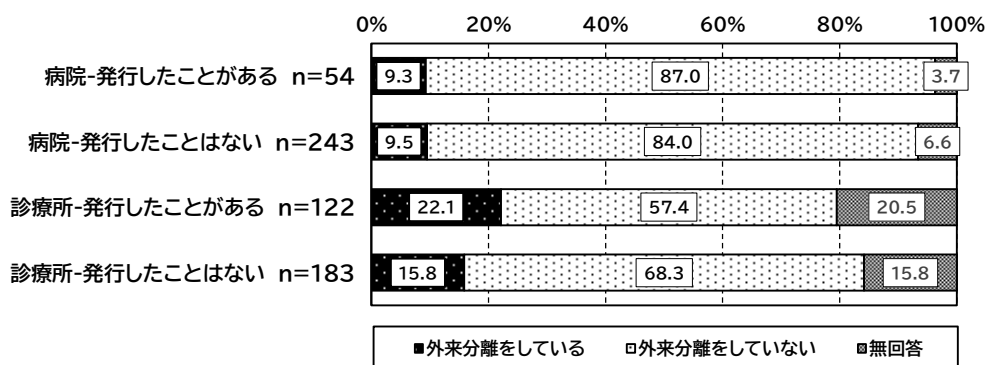
⑦ 外来分離の状況

外来分離の状況については、病院では「外来分離をしている」が9.4%、「外来分離をしていない」が84.6%であった。診療所では「外来分離をしている」が18.6%、「外来分離をしていない」が63.7%であった。

図表 2-10 外来分離の状況
(病院・診療所別)



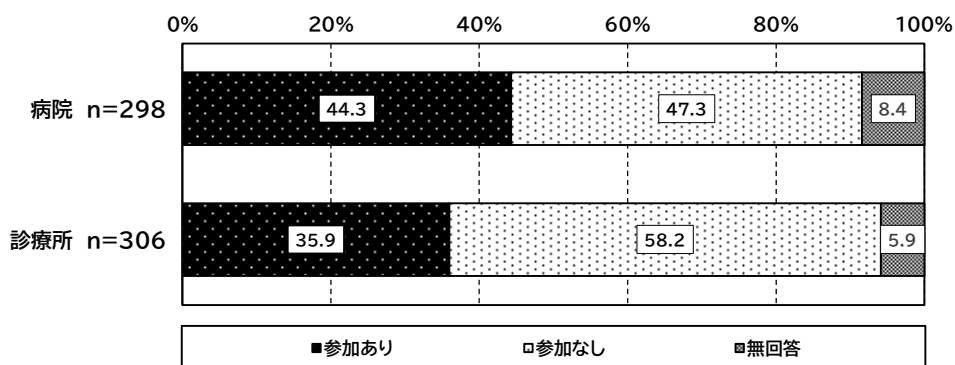
図表 2-11 外来分離の状況
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



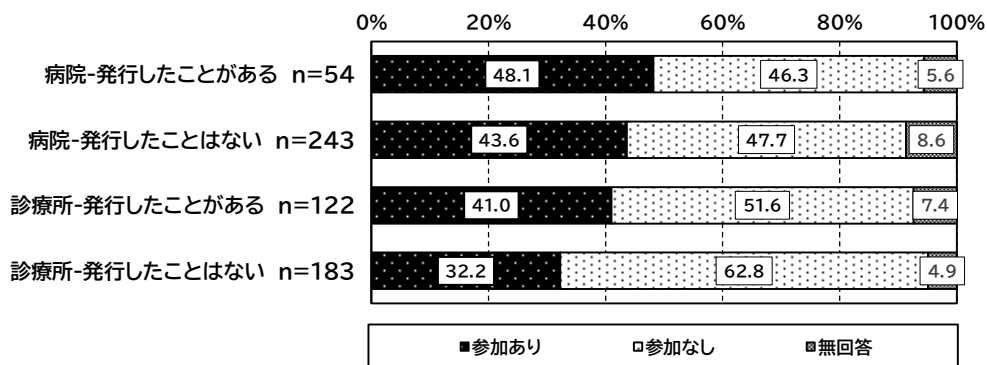
⑧ 地域医療情報連携ネットワークへの参加状況

地域医療情報連携ネットワークへの参加状況については、病院では「参加あり」が44.3%、「参加なし」が47.3%であった。診療所では「参加あり」が35.9%、「参加なし」が58.2%であった。

図表 2-12 地域医療情報連携ネットワークへの参加状況
(病院・診療所別)



図表 2-13 地域医療情報連携ネットワークへの参加状況
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



⑨ 外来を担う医師の人数

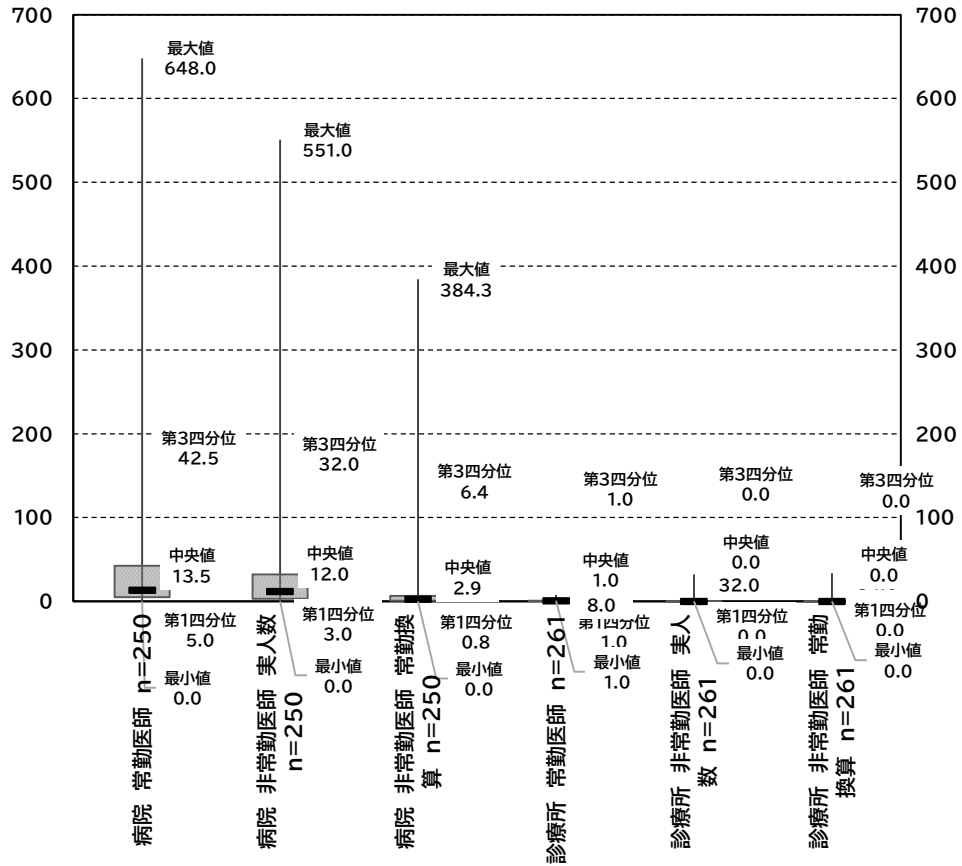
外来を担う医師の人数については、病院の常勤医師が平均 45.0 人、診療所の常勤医師は平均 1.2 人であった。リフィル処方箋の発行有無別にみると、発行有りの病院のほうが発行無しの病院よりも、常勤医師数が多かった。

図表 2-14 外来を担う医師の人数
(病院・診療所別)

(単位：人)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	常勤医師	250	45.0	87.3	13.5
	非常勤医師 実人数	250	28.2	52.4	12.0
	非常勤医師 常勤換算	250	8.8	31.4	2.9
診療所	常勤医師	261	1.2	0.7	1.0
	非常勤医師 実人数	261	0.9	2.7	0.0
	非常勤医師 常勤換算	261	0.3	2.2	0.0

図表 2-15 外来を担う医師の人数 常勤医師（病院）



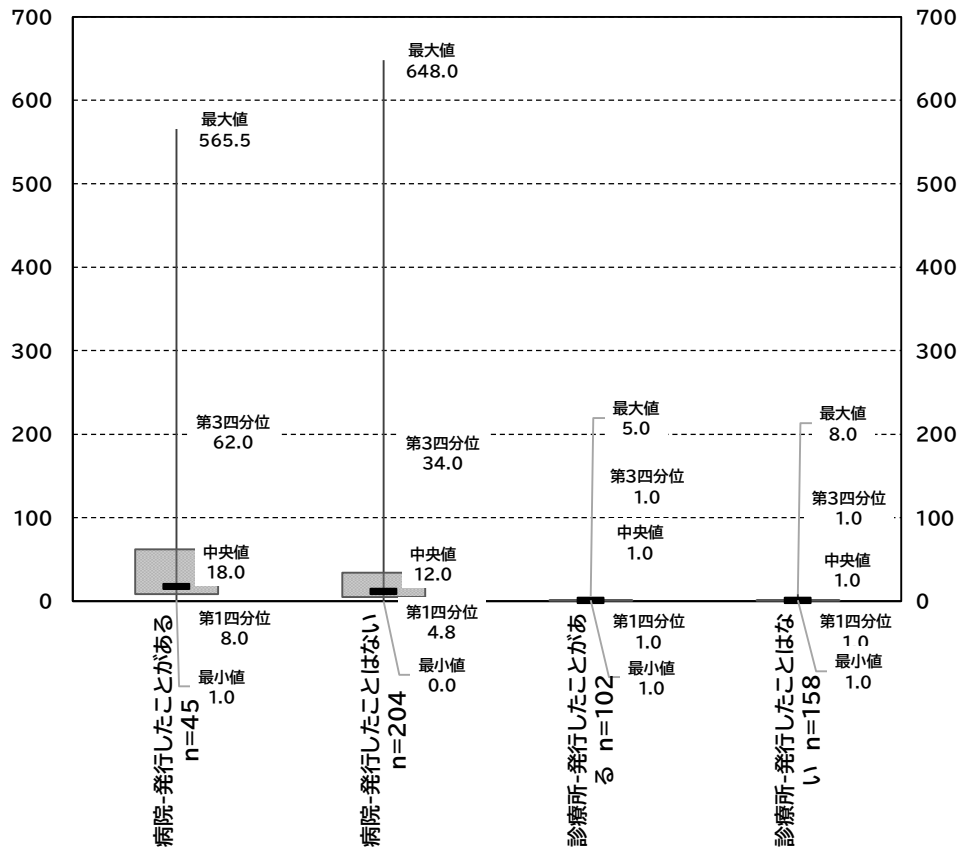
図表 2-16 外来を担う医師の人数

(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)

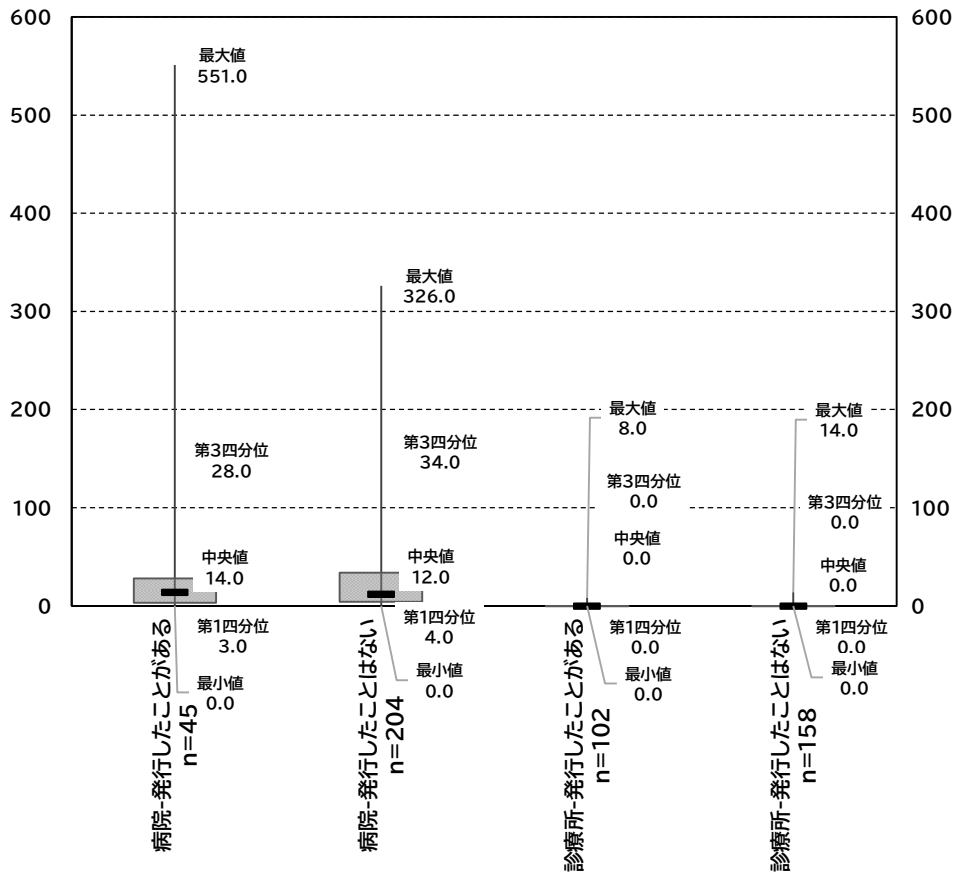
(単位：人)

			回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	発行 有り	常勤医師	45	58.0	103.7	18.0
		非常勤医師 実人数	45	30.2	81.4	14.0
		非常勤医師 常勤換算	45	13.1	56.9	3.2
	発行 無し	常勤医師	204	42.3	83.7	12.0
		非常勤医師 実人数	204	27.9	44.0	12.0
		非常勤医師 常勤換算	204	7.9	22.5	2.8
診療 所	発行 有り	常勤医師	102	1.2	0.6	1.0
		非常勤医師 実人数	102	0.7	1.7	0.0
		非常勤医師 常勤換算	102	0.1	0.4	0.0
	発行 無し	常勤医師	158	1.2	0.8	1.0
		非常勤医師 実人数	158	0.8	2.1	0.0
		非常勤医師 常勤換算	158	0.2	0.6	0.0

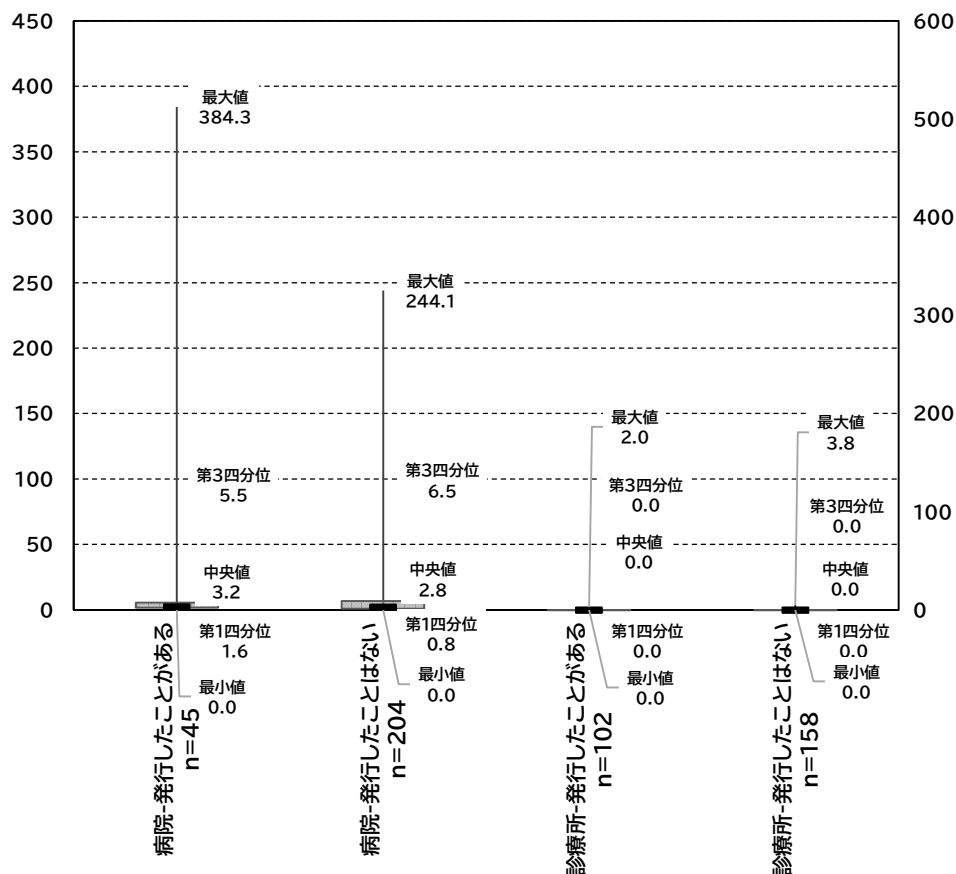
図表 2-17 外来を担う医師の人数 常勤医師
 (病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



図表 2-18 外来を担う医師の人数 非常勤医師 実人数
 (病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



図表 2-19 外来を担う医師の人数 非常勤医師 常勤換算
 (病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



⑩ 外来の患者数

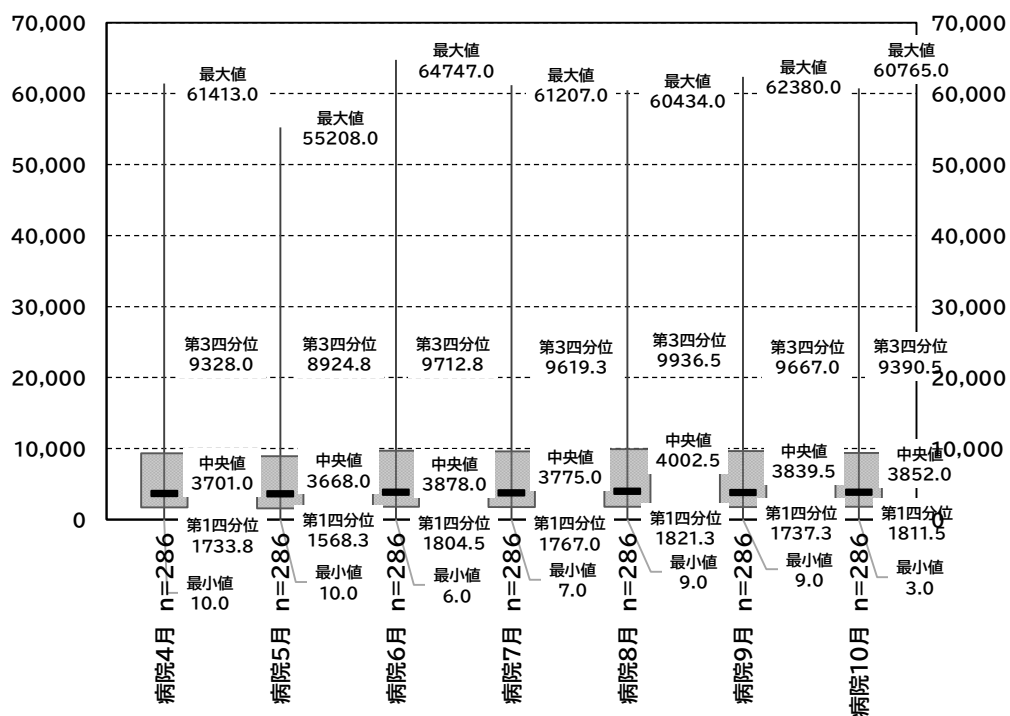
外来の患者数については、直近の10月は病院において平均7450.5人、診療所において平均1140.5人であった。リフィル処方箋の発行有無別にみると、発行有りの病院・診療所のほうが発行無しの病院・診療所よりも、患者数が多かった。

図表 2-20 外来の患者数
(病院・診療所別)

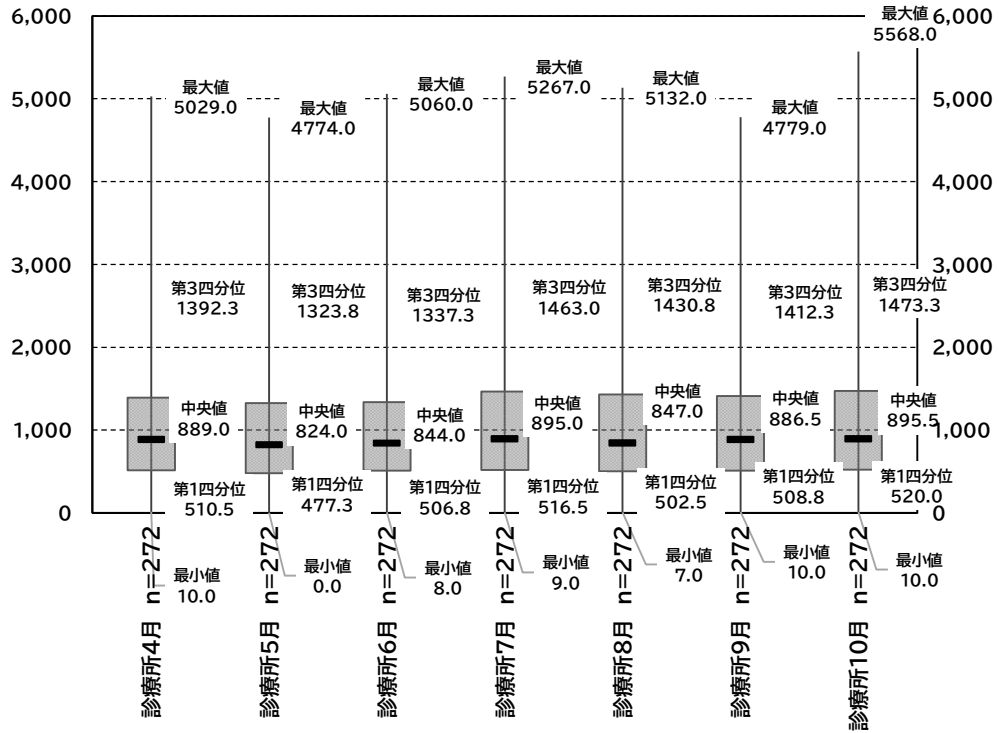
(単位：人)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	4月	286	7,314.4	9,374.9	3,701.0
	5月	286	7,071.7	9,039.1	3,668.0
	6月	286	7,761.5	10,054.4	3,878.0
	7月	286	7,460.8	9,441.3	3,775.0
	8月	286	7,729.9	9,677.8	4,002.5
	9月	286	7,498.4	9,581.9	3,839.5
	10月	286	7,450.5	9,435.3	3,852.0
診療所	4月	272	1,090.5	853.0	889.0
	5月	272	1,047.2	836.5	824.0
	6月	272	1,093.4	877.2	844.0
	7月	272	1,124.7	891.4	895.0
	8月	272	1,095.5	863.9	847.0
	9月	272	1,080.3	837.5	886.5
	10月	272	1,140.5	897.1	895.5

図表 2-21 外来の患者数
(病院)



図表 2-22 外来の患者数
(診療所)



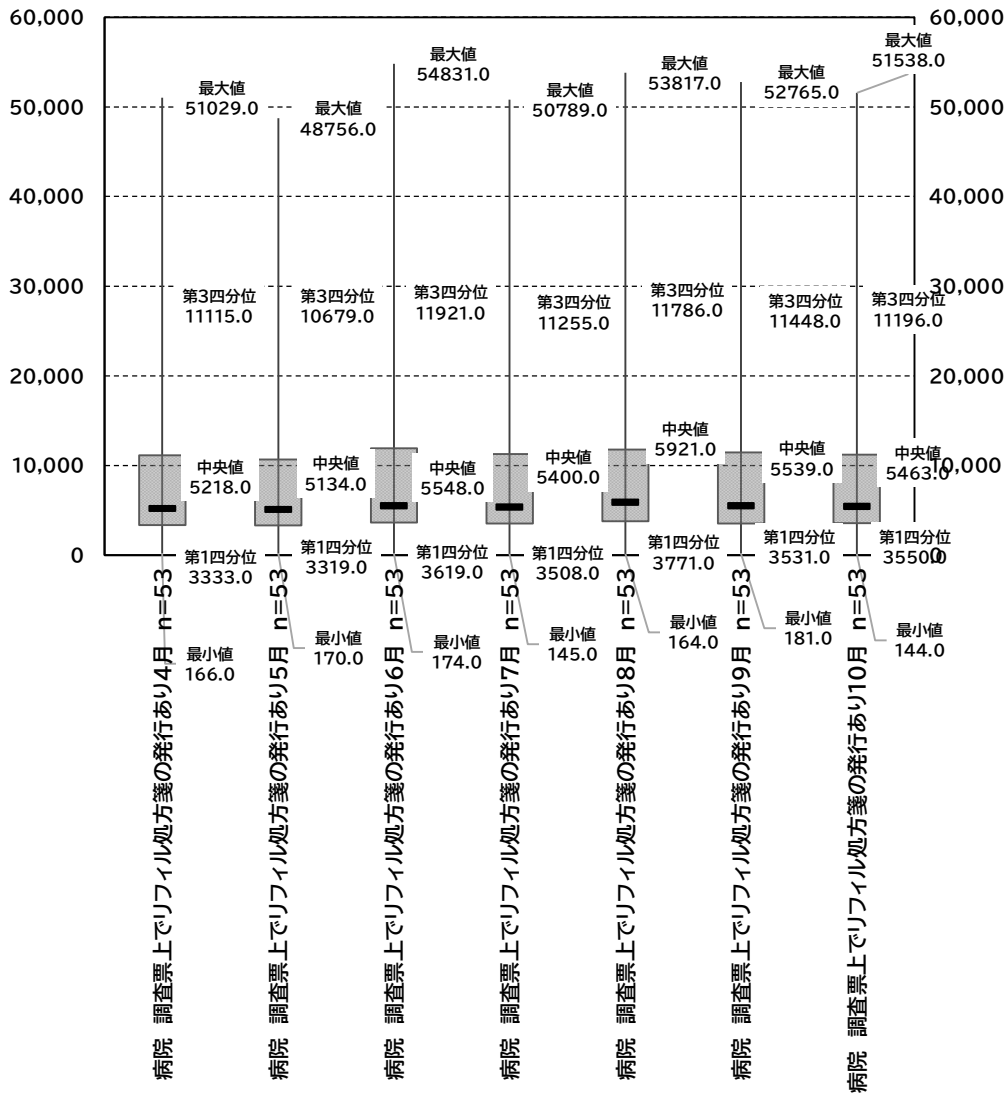
図表 2-23 外来の患者数

(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)

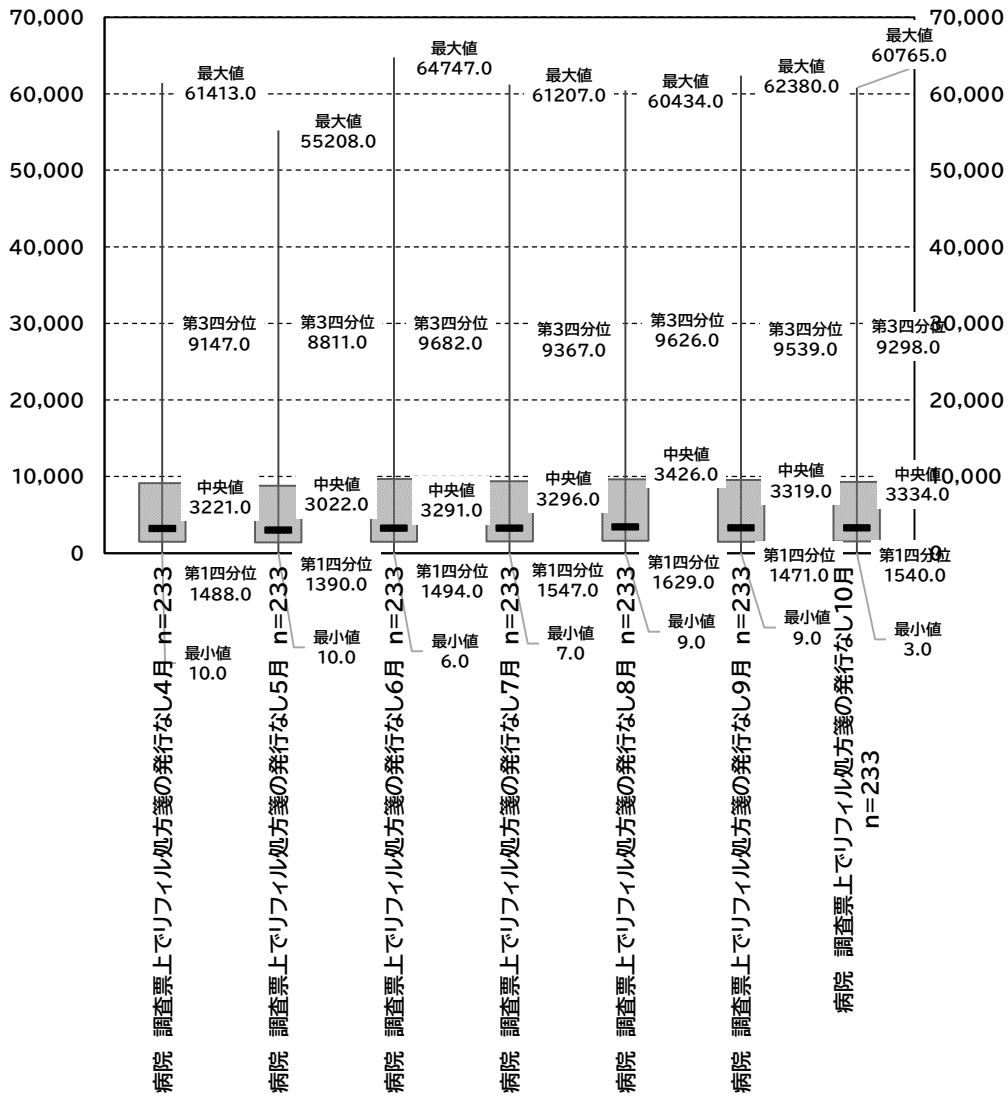
(単位：人)

			回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	発行 有り	4月	53	9,406.5	10,434.9	5,218.0
		5月	53	9,049.6	9,968.0	5,134.0
		6月	53	9,981.6	11,225.0	5,548.0
		7月	53	9,555.1	10,437.9	5,400.0
		8月	53	9,989.0	10,860.8	5,921.0
		9月	53	9,656.1	10,616.6	5,539.0
		10月	53	9,513.6	10,430.5	5,463.0
	発行 無し	4月	233	6,838.5	9,094.7	3,221.0
		5月	233	6,621.8	8,795.1	3,022.0
		6月	233	7,256.4	9,746.7	3,291.0
		7月	233	6,984.4	9,178.0	3,296.0
		8月	233	7,216.0	9,359.0	3,426.0
		9月	233	7,007.6	9,306.6	3,319.0
		10月	233	6,981.2	9,174.2	3,334.0
診療所	発行 有り	4月	108	1,135.1	796.8	966.5
		5月	108	1,071.7	779.9	921.0
		6月	108	1,115.0	831.0	925.0
		7月	108	1,166.7	835.8	1,014.0
		8月	108	1,127.3	817.9	1,004.5
		9月	108	1,113.9	795.2	964.0
		10月	108	1,178.4	820.4	1,023.5
	発行 無し	4月	163	1,046.6	874.8	795.0
		5月	163	1,012.1	844.8	767.0
		6月	163	1,061.2	884.7	767.0
		7月	163	1,071.5	873.3	809.0
		8月	163	1,052.4	853.9	792.0
		9月	163	1,042.5	847.8	806.0
		10月	163	1,089.6	890.9	840.0

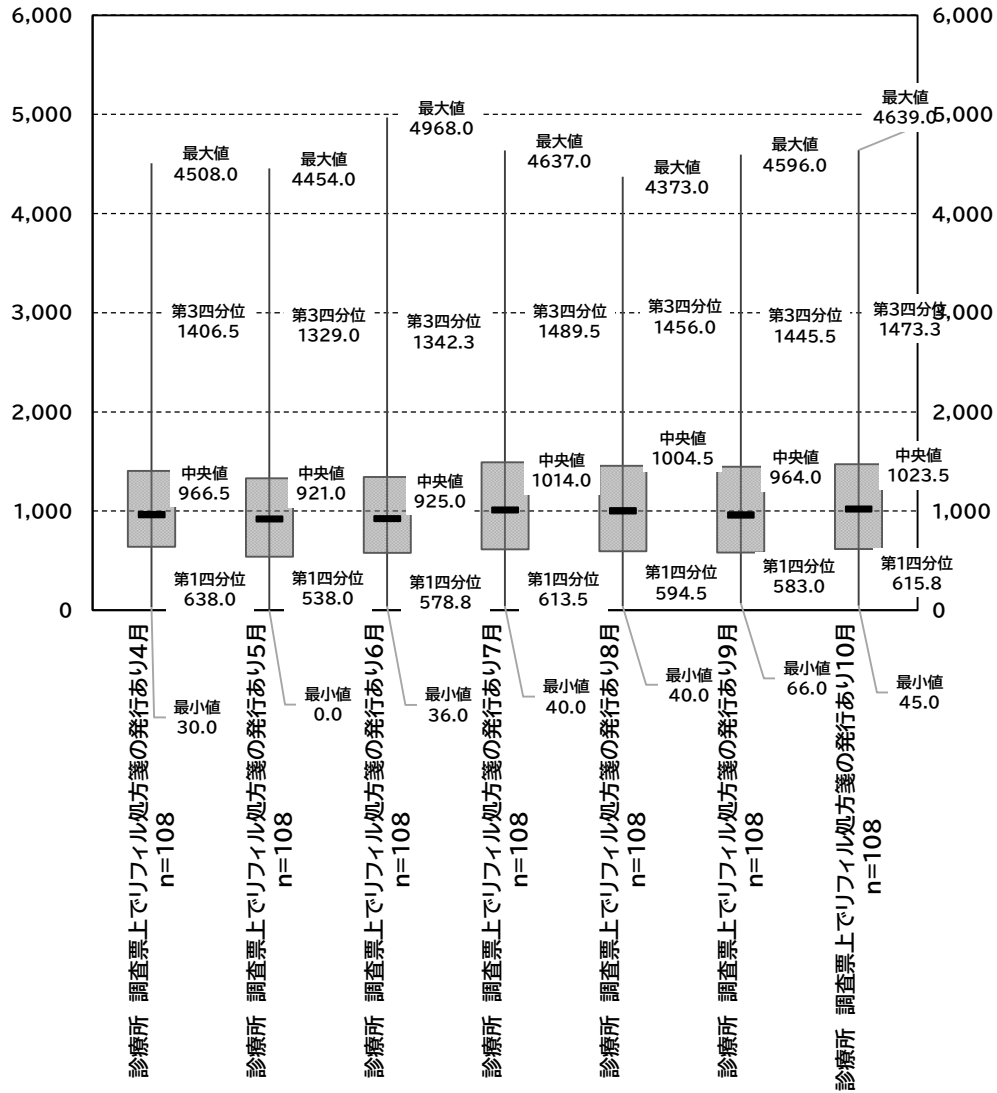
図表 2-24 外来の患者数
 (病院、調査票におけるリフィル処方箋の発行あり)



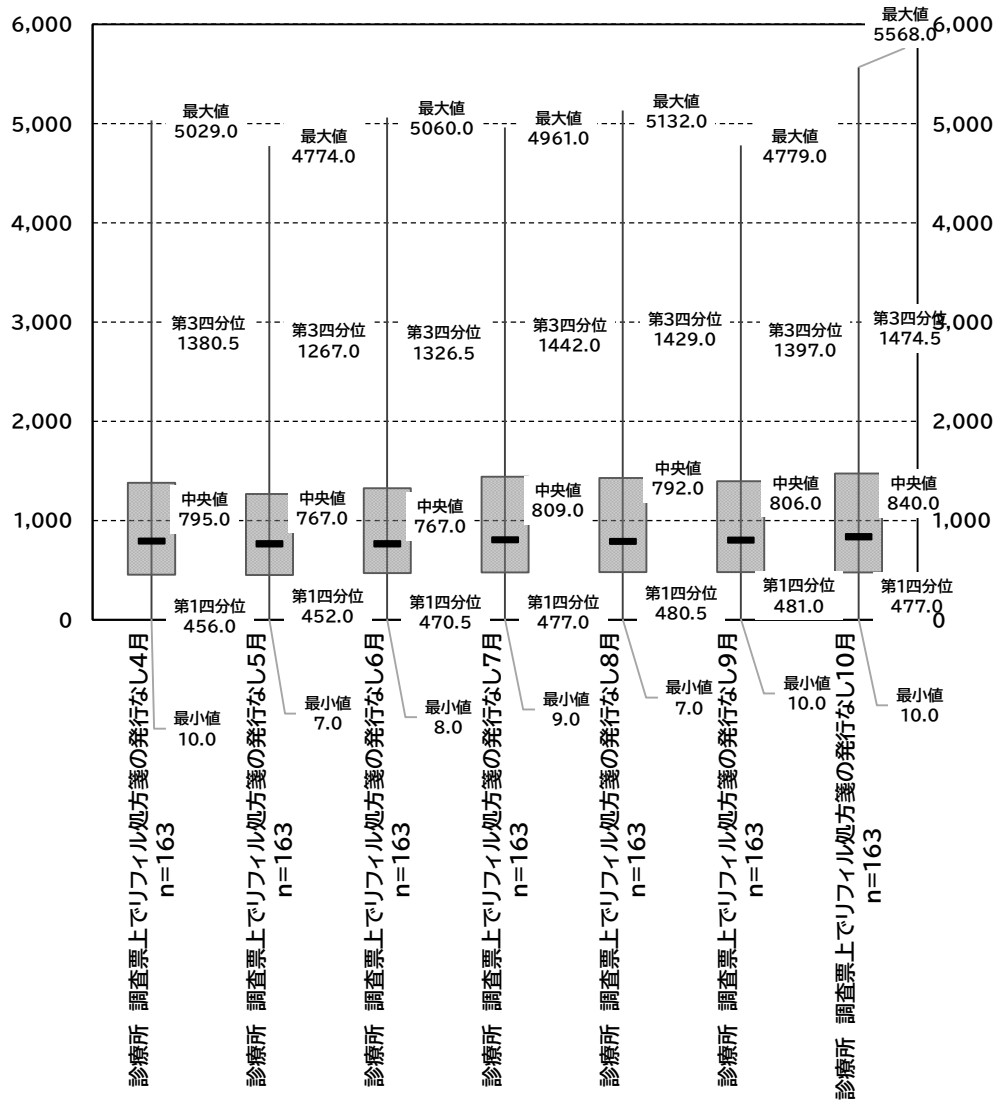
図表 2-25 外来の患者数
(病院、調査票におけるリフィル処方箋の発行なし)



図表 2-26 外来の患者数
(診療所、調査票におけるリフィル処方箋の発行あり)



図表 2-27 外来の患者数
(診療所、調査票におけるリフィル処方箋の発行なし)



⑪ 処方箋の発行枚数

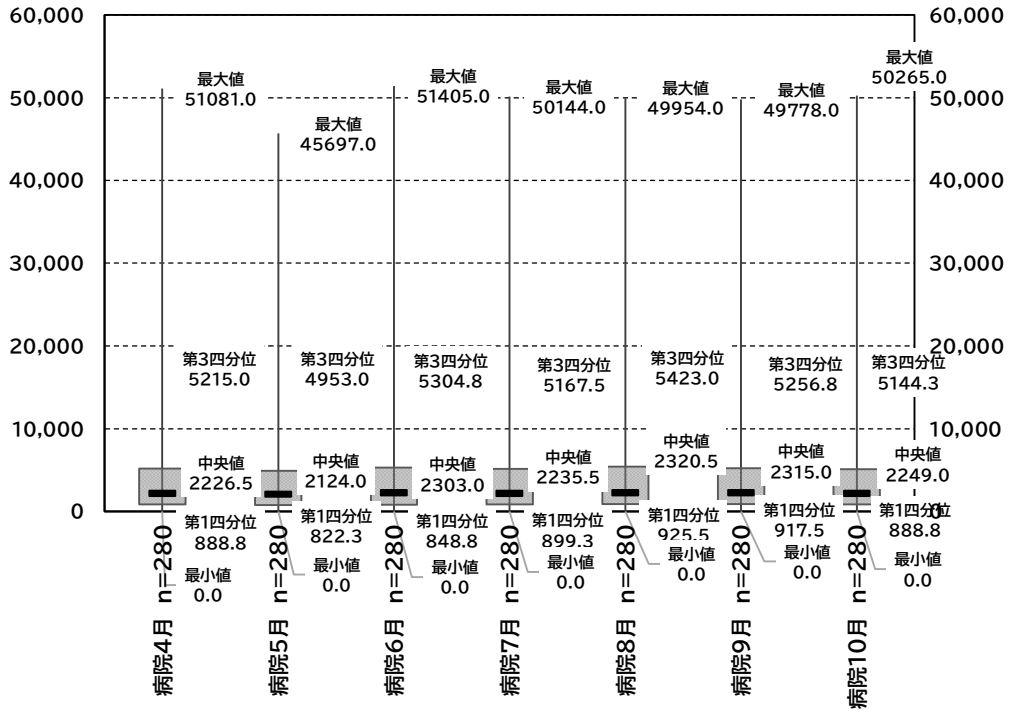
処方箋の発行枚数については、直近の10月において病院で平均3932.8枚、診療所で751.1枚であった。リフィル処方箋の発行有無別にみると、発行有りの病院・診療所のほうが発行無しの病院・診療所よりも、発行枚数が多かった。

図表 2-28 処方箋の発行枚数
(病院・診療所別)

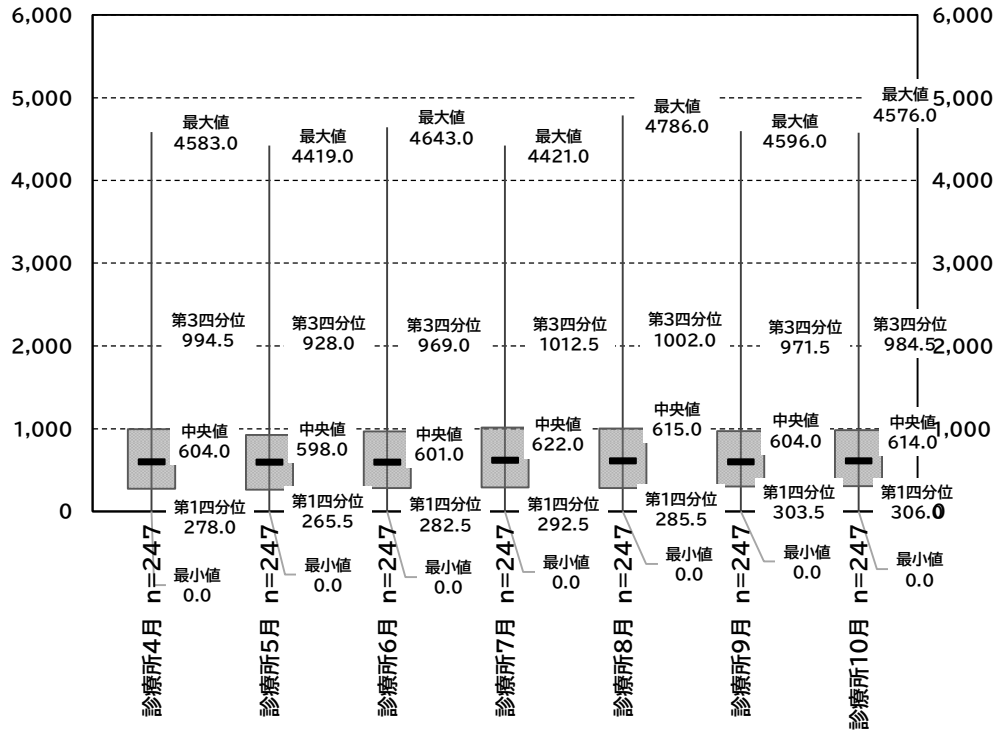
(単位：枚)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	4月	280	3,947.8	5,227.4	2,226.5
	5月	280	3,775.1	4,874.6	2,124.0
	6月	280	4,049.3	5,359.6	2,303.0
	7月	280	3,941.2	5,172.5	2,235.5
	8月	280	4,125.5	5,323.4	2,320.5
	9月	280	3,999.9	5,240.7	2,315.0
	10月	280	3,932.8	5,187.9	2,249.0
診療所	4月	247	744.6	646.4	604.0
	5月	247	708.7	619.8	598.0
	6月	247	722.1	622.8	601.0
	7月	247	750.3	659.1	622.0
	8月	247	743.1	642.4	615.0
	9月	247	727.9	615.7	604.0
	10月	247	751.1	638.3	614.0

図表 2-29 処方箋の発行枚数
(病院)



図表 2-30 処方箋の発行枚数
(診療所)



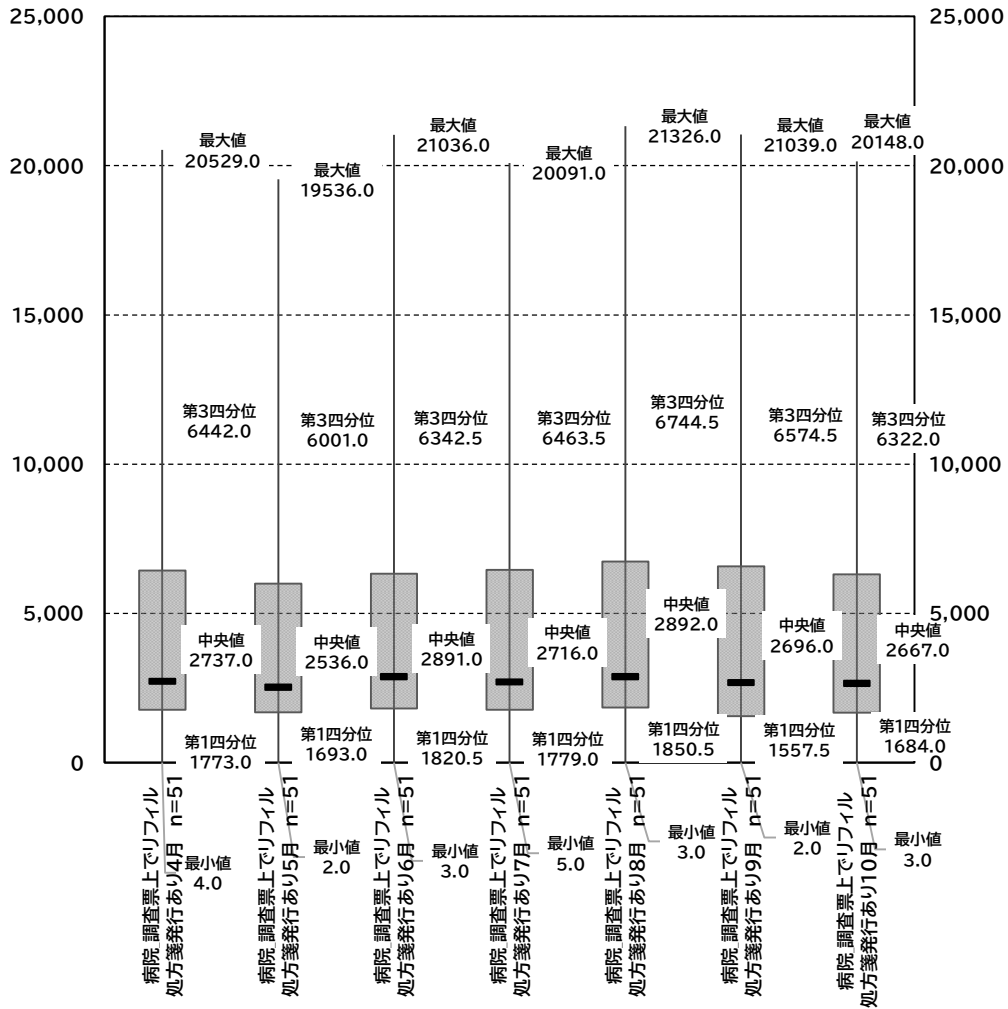
図表 2-31 処方箋の発行枚数

(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)

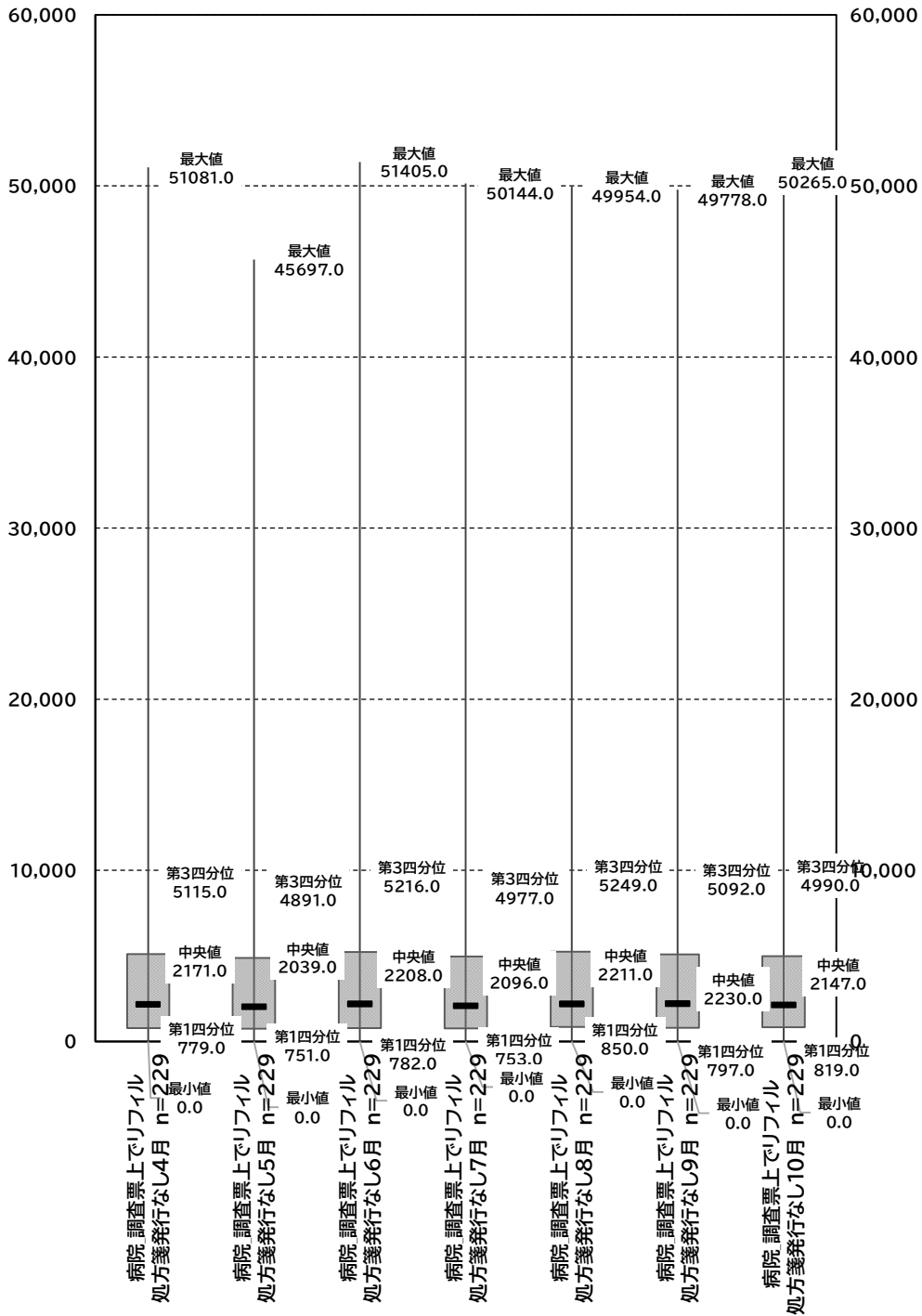
(単位：枚)

			回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	発行 有り	4月	51	4,679.7	4,676.0	2,737.0
		5月	51	4,487.6	4,491.4	2,536.0
		6月	51	4,814.3	4,824.3	2,891.0
		7月	51	4,677.5	4,640.3	2,716.0
		8月	51	4,918.1	4,887.3	2,892.0
		9月	51	4,762.5	4,839.9	2,696.0
		10月	51	4,660.0	4,722.7	2,667.0
	発行 無し	4月	229	3,784.8	5,349.5	2,171.0
		5月	229	3,616.4	4,961.7	2,039.0
		6月	229	3,878.9	5,478.4	2,208.0
		7月	229	3,777.3	5,290.2	2,096.0
		8月	229	3,949.0	5,421.4	2,211.0
		9月	229	3,830.1	5,332.2	2,230.0
		10月	229	3,770.9	5,293.1	2,147.0
診療所	発行 有り	4月	100	824.4	605.1	695.5
		5月	100	773.5	577.7	656.5
		6月	100	774.3	563.2	616.5
		7月	100	812.9	596.5	668.5
		8月	100	796.7	579.3	633.5
		9月	100	792.2	560.5	680.0
		10月	100	827.1	594.5	747.5
	発行 無し	4月	146	676.7	653.3	583.0
		5月	146	647.7	616.1	562.0
		6月	146	671.3	637.6	575.0
		7月	146	683.6	637.4	580.5
		8月	146	686.4	639.7	593.0
		9月	146	670.1	630.1	584.0
		10月	146	682.1	633.7	582.5

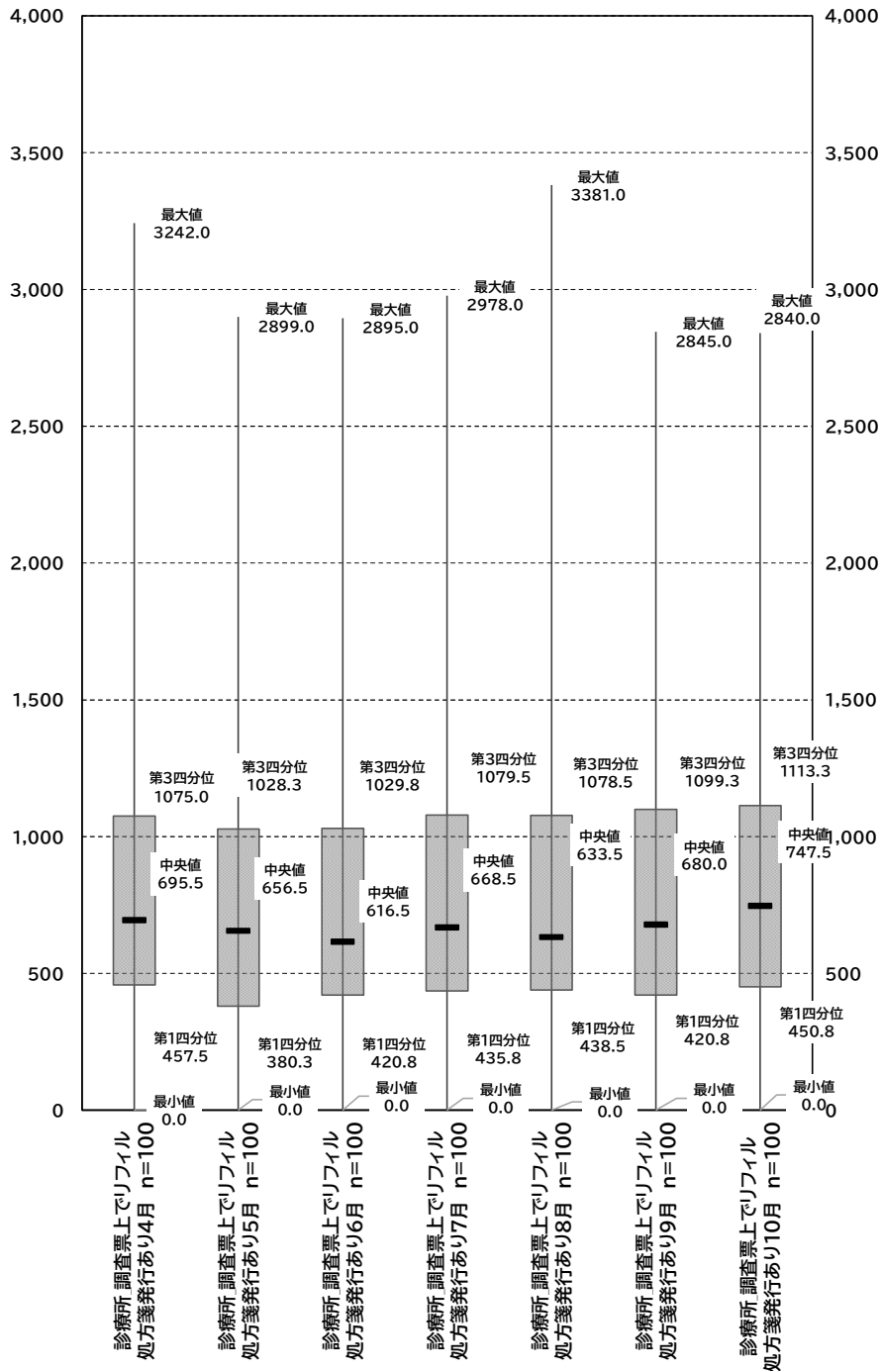
図表 2-32 処方箋の発行枚数
(病院、調査票におけるリフィル処方箋の発行あり)



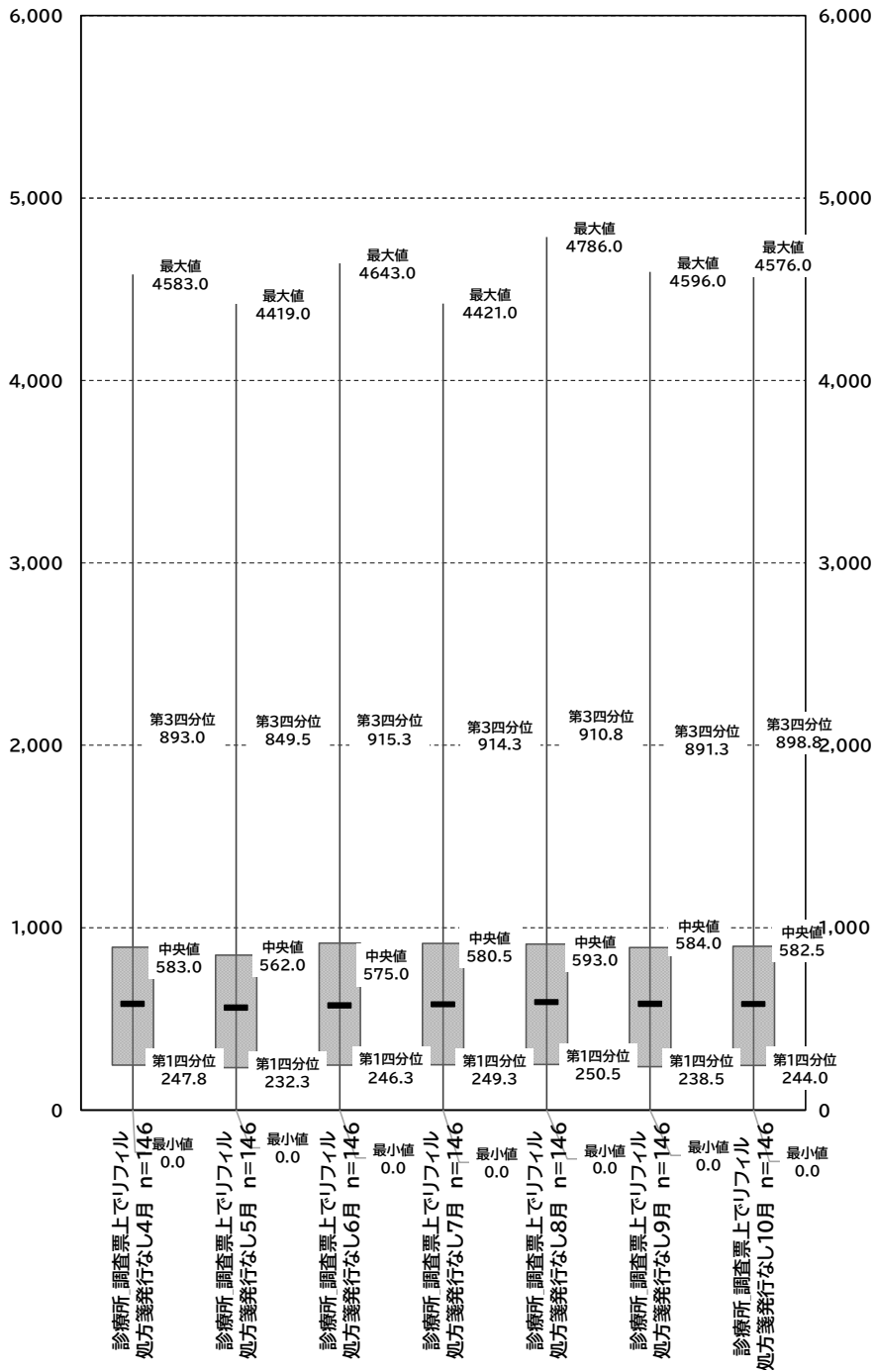
図表 2-33 処方箋の発行枚数
(病院、調査票におけるリフィル処方箋の発行なし)



図表 2-34 処方箋の発行枚数
(診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行あり)



図表 2-35 処方箋の発行枚数
(診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行なし)

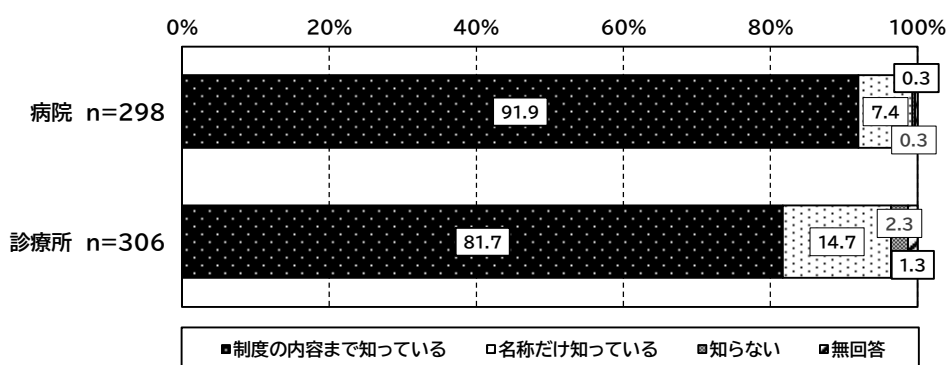


(2) リフィル処方箋について

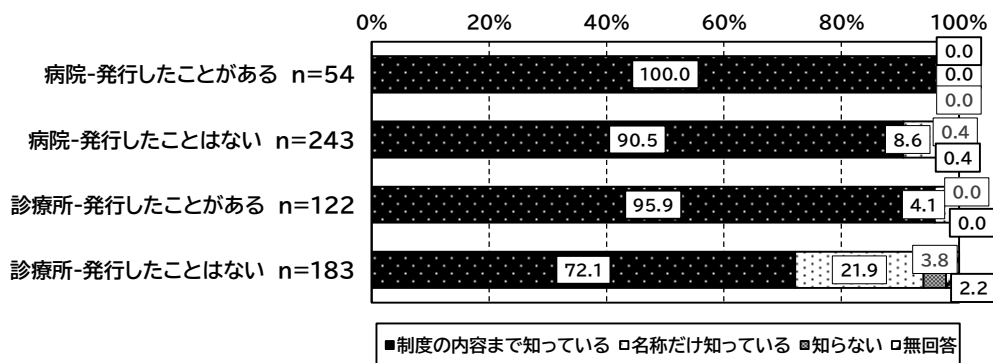
① リフィル処方箋の制度の認知

リフィル処方箋の制度の認知について、病院では「制度の内容まで知っている」が91.9%、「名称だけ知っている」が7.4%、「知らない」が0.3%であった。診療所では「制度の内容まで知っている」が81.7%、「名称だけ知っている」が14.7%、「知らない」が2.3%であった。

図表 2-36 リフィル処方箋の制度の認知度
(病院・診療所別)



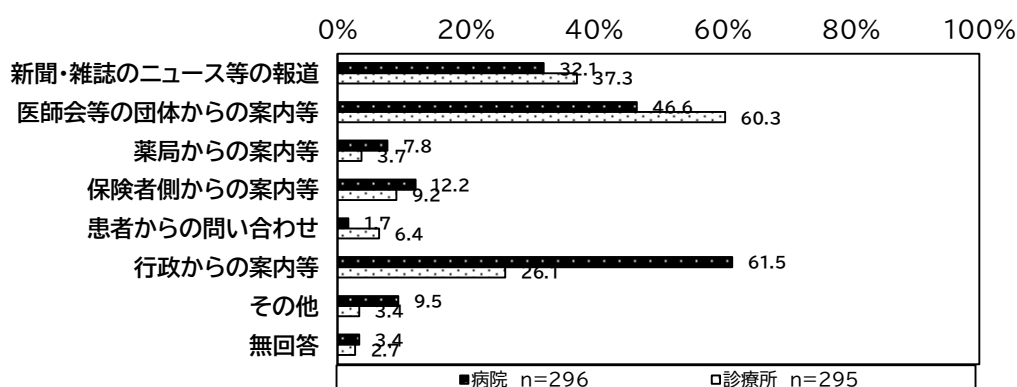
図表 2-37 リフィル処方箋の制度の認知度
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



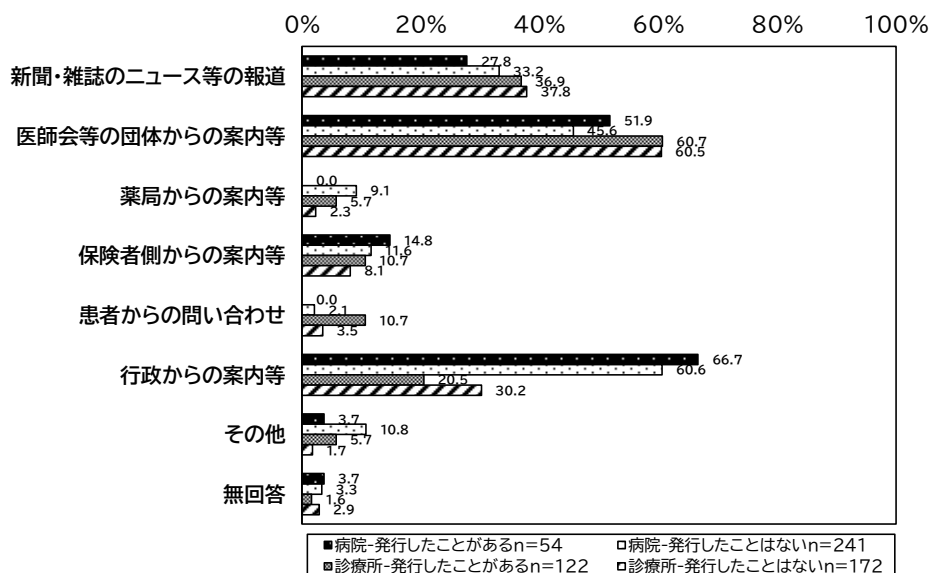
①-1 リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ（リフィル処方箋の制度について「制度の内容まで知っている」又は「名称だけ知っている」と回答した施設のみ回答）

リフィル処方箋の制度を知ったきっかけについて、病院では「行政からの案内等」が61.5%で最も多く、診療所では「医師会等の団体からの案内等」が60.3%と最も多かった。

図表 2-38 リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
(病院・診療所別)



図表 2-39 リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



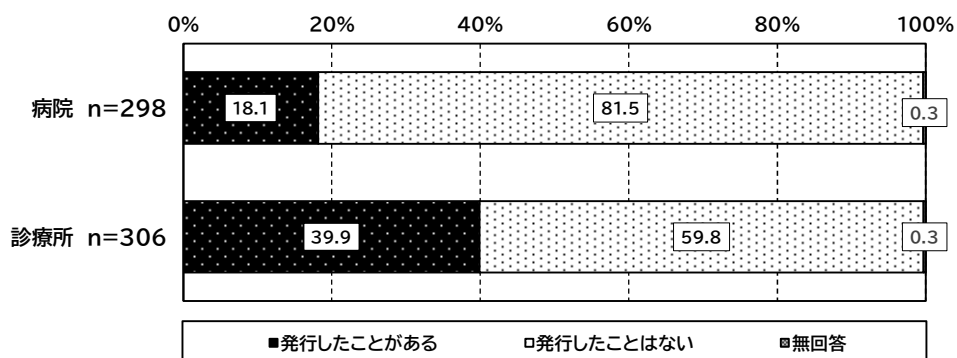
【その他の記載内容】

- ・ 診療報酬改定の資料や説明会
- ・ 医薬品卸業者の情報誌
- ・ 勉強会 等

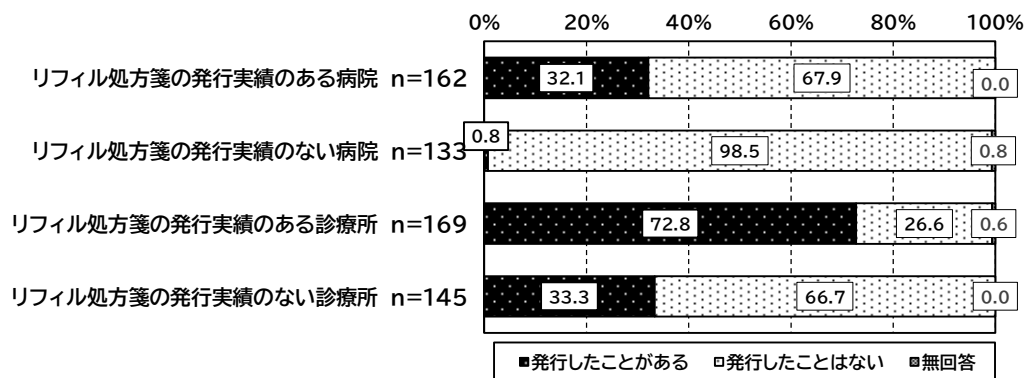
② リフィル処方箋の発行有無

リフィル処方箋の発行有無について、リフィル処方箋の発行実績別にみると発行実績のある病院では32.1%、発行実績のない病院では0.8%、発行実績のある診療所では72.8%、発行実績のない診療所では33.3%がリフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した。

図表 2-40 リフィル処方箋の発行有無
(病院・診療所別)



図表 2-41 リフィル処方箋の発行したことの有無
(病院・診療所、リフィル処方箋発行実績の有無別)



③ リフィル処方箋等の発行回数（リフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した施設のみ回答）

a. リフィル処方箋の発行回数

リフィル処方箋の発行回数については、病院では平均 33.3 回、診療所では平均 68.9 回であった。

図表 2-42 リフィル処方箋の発行回数
(病院・診療所別)

(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	リフィル処方箋の発行回数	39	33.3	51.7	9.0
診療所	リフィル処方箋の発行回数	261	68.9	408.7	3.0

b. 分割調剤発行回数

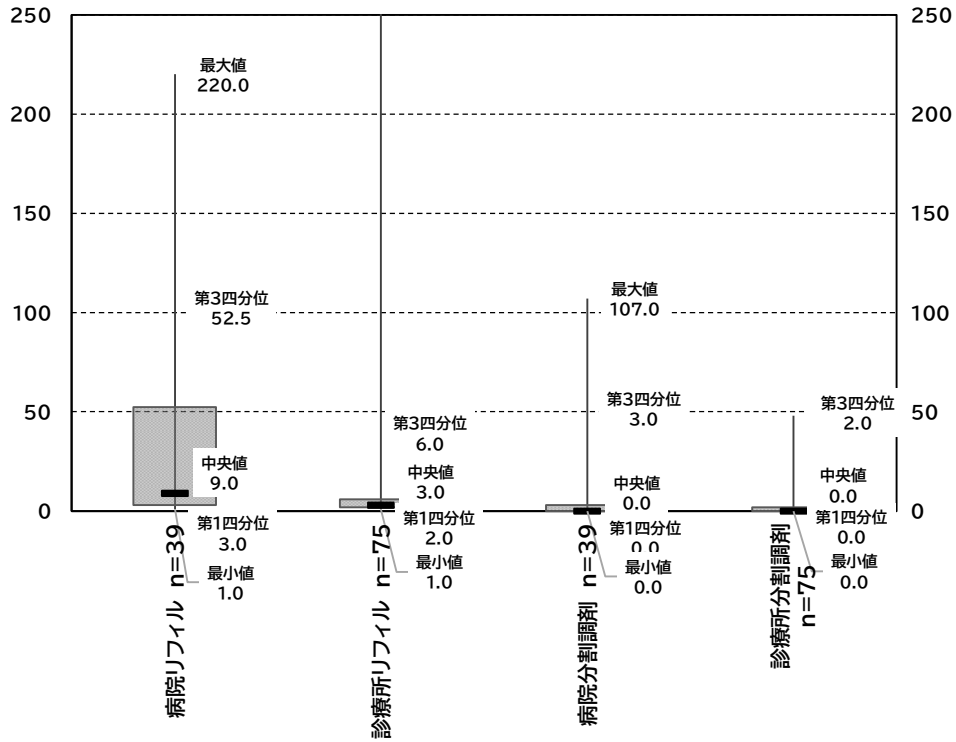
分割調剤の発行回数については、病院では平均 10.9 回、診療所では平均 1.8 回であった。

図表 2-43 分割調剤の発行回数
(病院・診療所別)

(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	リフィル処方箋の発行回数	39	10.9	24.4	0.0
診療所	リフィル処方箋の発行回数	261	1.8	5.9	0.0

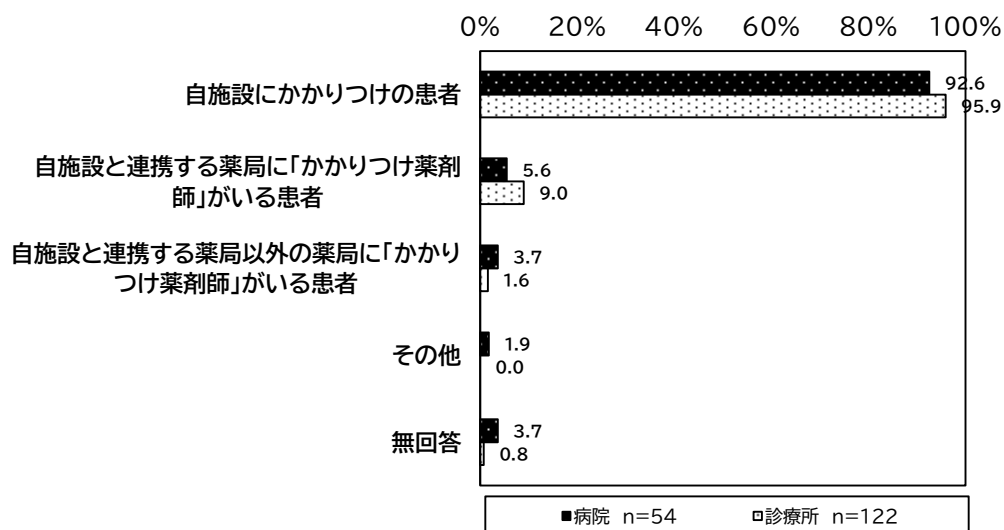
図表 2-44 リフィル処方箋・分割調剤の発行回数
(病院・診療所別)



④ どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか（リフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した施設のみ回答）

どのような患者にリフィル処方箋を発行しているかについて、病院では「自施設にかかりつけの患者」が最も多く 92.6%、次いで「自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者」が 5.6%であった。診療所では「自施設にかかりつけの患者」が最も多く 95.9%、次いで「自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者」が 9.0%であった

図表 2-45 どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか（複数回答）
（病院・診療所別）



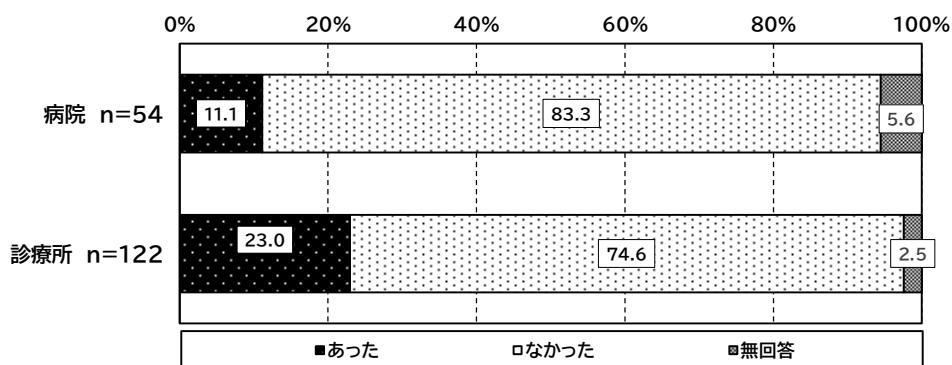
【その他の記載内容】

- ・代務医師が患者として受診した時 等

⑤ リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無
 （リフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した施設のみ回答）

リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）の有無について、病院では「あった」が11.1%、「なかった」が83.3%であった。診療所では「あった」が23.0%、「なかった」が74.6%であった

図表 2-46 リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書
 （トレーシングレポート）の有無（病院・診療所別）

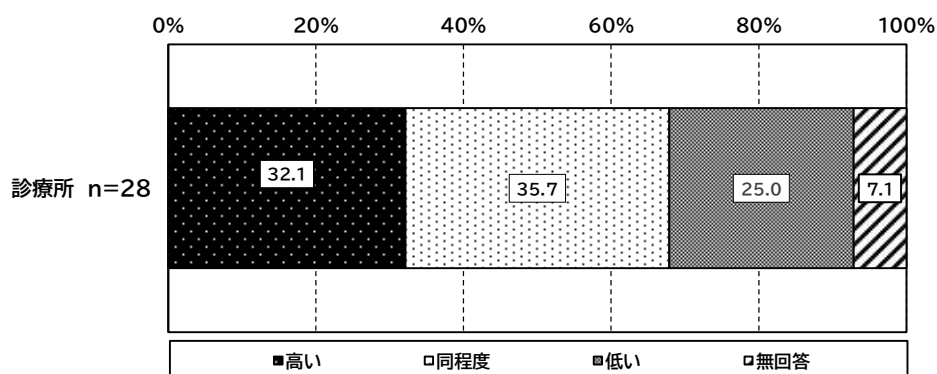


⑥ リフィル処方箋のトレーシングレポートの受領頻度（リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）が「あった」施設のみ回答）

リフィル処方箋のトレーシングレポートの受領頻度について、病院では症状が安定している患者の通常の処方箋と比較してリフィル処方箋はトレーシングレポートの受領頻度が「高い」という回答が33.3%、「同程度」が33.3%、「低い」が16.7%であった。診療所では「高い」という回答が32.1%、「同程度」が35.7%、「低い」が25.0%であった。

図表 2-47 症状が安定している患者の通常の処方箋と比較した場合のリフィル処方箋のトレーシングレポートの受領頻度（病院・診療所別）

	回答 施設数	高い	同程度	低い	無回答
病院	6 (%)	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7
診療所	28 (%)	9 32.1	10 35.7	7 25.0	2 7.1



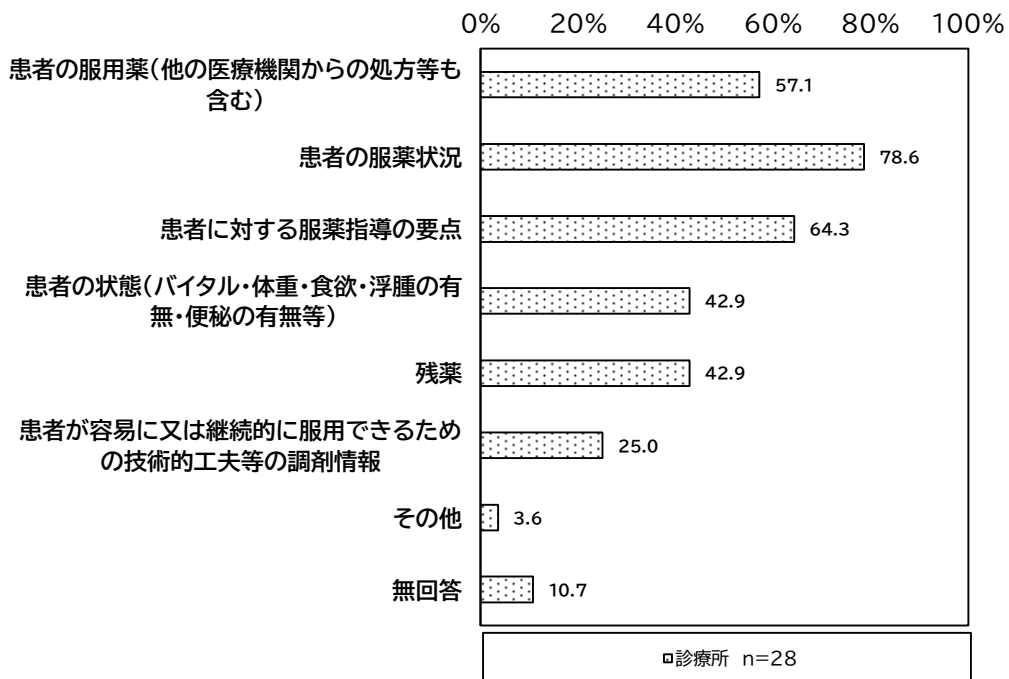
⑦ リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報（リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）が「あった」施設のみ回答）

リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報（複数回答）について、病院では「患者の服用薬（他の医療機関からの処方等も含む）」「患者の服薬状況」「患者に対する服薬指導の要点」の3つが最も多く66.7%、次いで「患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）」が50.0%であった。診療所では「患者の服薬状況」が最も多く78.6%、次いで「患者に対する服薬指導の要点」が64.3%であった。

リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報（最も多いもの）について、病院では「患者の服用薬（他の医療機関からの処方等も含む）」「患者の服薬状況」の2つが最も多く33.3%、次いで「患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）」が16.7%であった。診療所では「患者の服薬状況」が最も多く25.0%、次いで「患者の服用薬（他の医療機関からの処方等も含む）」「患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）」の2つが14.3%であった。

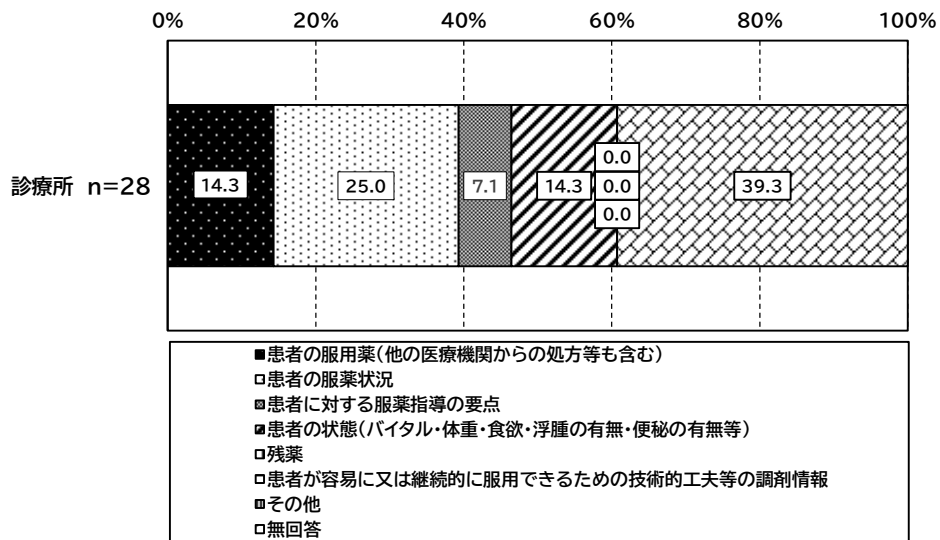
図表 2-48 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報（複数回答）
（病院・診療所別）

	回答施設数	患者の服用薬 （他の医療機関からの処方等も含む）	患者の服薬状況	患者に対する服薬指導の要点	患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）	残薬	患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報	その他	無回答
病院	6 (%)	4 66.7	4 66.7	4 66.7	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
診療所	28 (%)	16 57.1	22 78.6	18 64.3	12 42.9	12 42.9	7 25.0	1 3.6	3 10.7



図表 2-49 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供された情報（最も多いもの）
（病院・診療所別）

	回答 施設数	患者の服用薬 (他の医療機関からの処 方等も含む)	患者の服薬状況	患者に対する服薬指導の 要点	患者の状態(バイタル・ 体重・食欲・浮腫の有 無・便秘の有無等)	残薬	患者が容易に又は継続的 に服用できるための技術 的工夫等の調剤情報	その他	無回答
病院	6 (%)	2 33.3	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
診療所	28 (%)	4 14.3	7 25.0	2 7.1	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 39.3



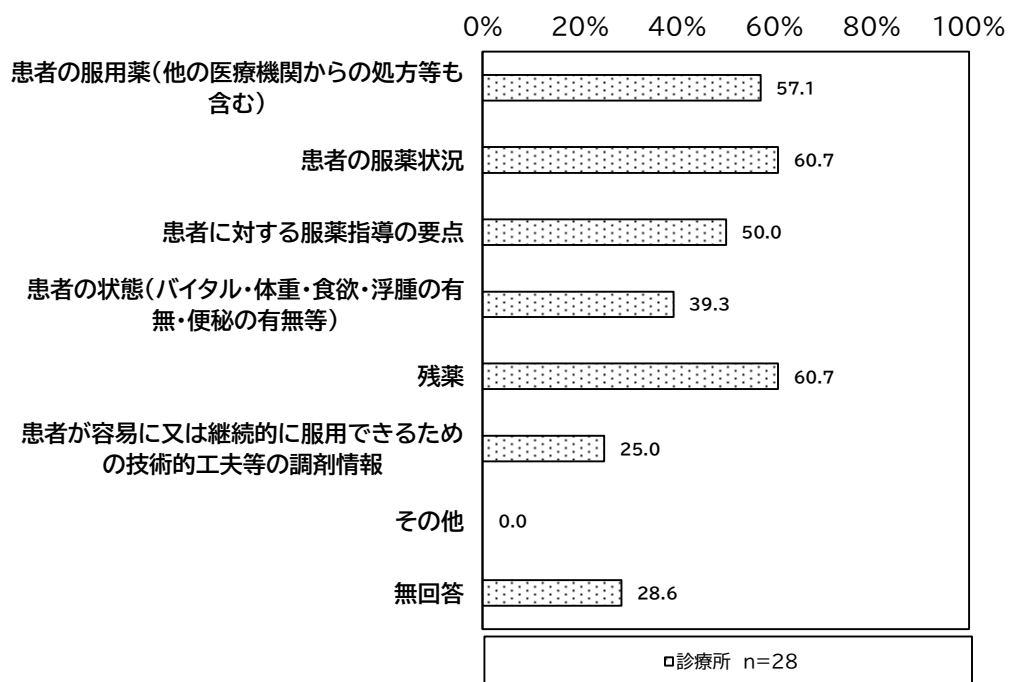
⑧ リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報（リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）が「あった」施設のみ回答）

リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報（複数回答）について、病院では「患者の服薬状況」「患者に対する服薬指導の要点」の2つが最も多く66.7%、次いで「患者の服用薬（他の医療機関からの処方等も含む）」が50.0%であった。診療所では「患者の服薬状況」が最も多く78.6%、次いで「患者に対する服薬指導の要点」が64.3%であった。

リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報（最も多いもの）について、病院では「患者の服薬状況」が最も多く66.7%であった。診療所では「患者の服薬状況」が最も多く21.4%、次いで「患者の状態（バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等）」が17.9%であった。

図表 2-50 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報（複数回答）
（病院・診療所別）

		患者の服用薬 （他の医療機関からの処方等も含む）	患者の服薬状況	患者に対する服薬指導の 要点	患者の状態（バイタル・ 体重・食欲・浮腫の有 無・便秘の有無等）	残薬	患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報	その他	無回答
病院	6 (%)	3 50.0	4 66.7	4 66.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3
診療所	28 (%)	16 57.1	17 60.7	14 50.0	11 39.3	17 60.7	7 25.0	0 0.0	8 28.6

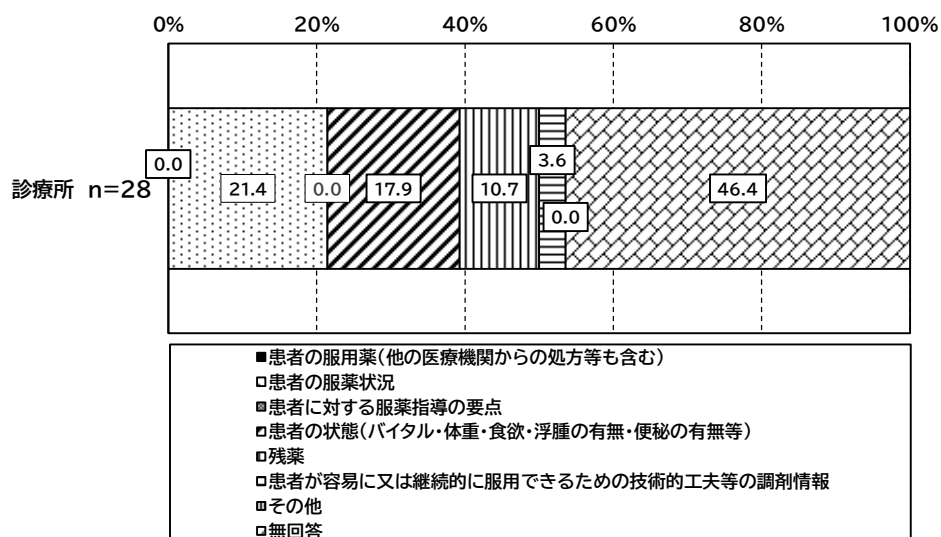


【その他の記載内容】

- ・患者との連絡が取れない時 等

図表 2-51 リフィル処方に関するトレーシングレポートで提供してほしい情報
(最重要のもの) (病院・診療所別)

	回答 施設数	患者の服用薬(他の医療 機関からの処方等も含 む)	患者の服薬状況	患者に対する服薬指導の 要点	患者の状態(バイタル・ 体重・食欲・浮腫の有 無・便秘の有無等)	残薬	患者が容易に又は継続的 に服用できるための技術 的工夫等の調剤情報	その他	無回答
病院	6 (%)	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3
診療所	28 (%)	0 0.0	6 21.4	0 0.0	5 17.9	3 10.7	1 3.6	0 0.0	13 46.4



⑨ 薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者数（リフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した施設のみ回答）

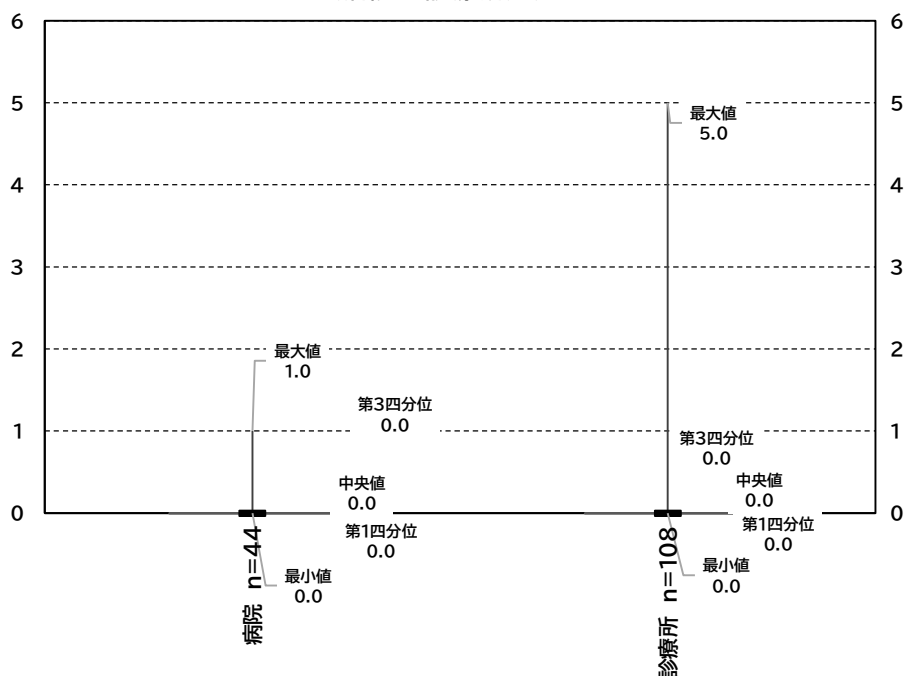
薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者数については、病院では平均 0.0 人、診療所では平均 0.3 人であった。

図表 2-52 薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者数
(病院・診療所別)

(単位：人)

		回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
病院	薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者	44	0.0	0.2	0.0
診療所	薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者	108	0.3	0.8	0.0

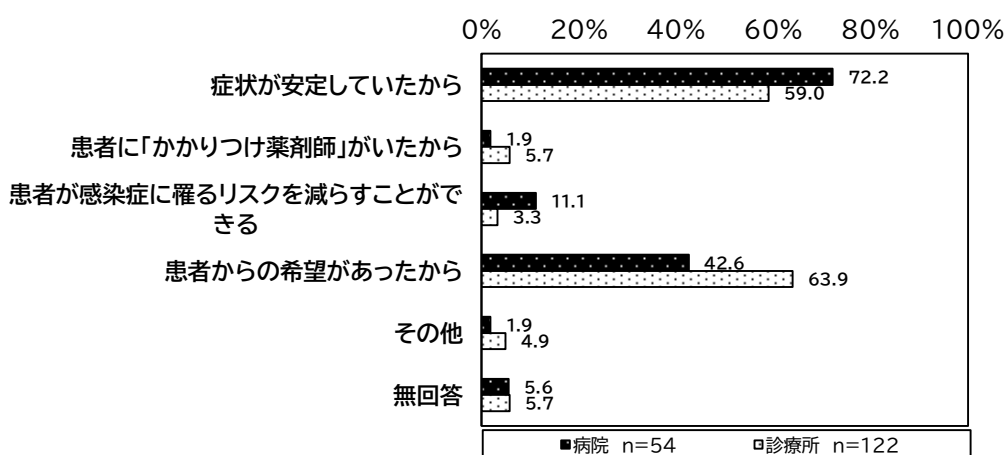
図表 2-53 薬剤師の受診勧奨を受け、受診した患者数
(病院・診療所別)



⑩ リフィル処方箋を発行した理由（リフィル処方箋を「発行したことがある」と回答した施設のみ回答）

リフィル処方箋を発行した理由については、病院では「症状が安定していたから」が最も多く72.2%であった。診療所では「患者からの希望があったから」が最も多く63.9%であった。

図表 2-54 リフィル処方箋を発行した理由（複数回答）
（病院・診療所別）



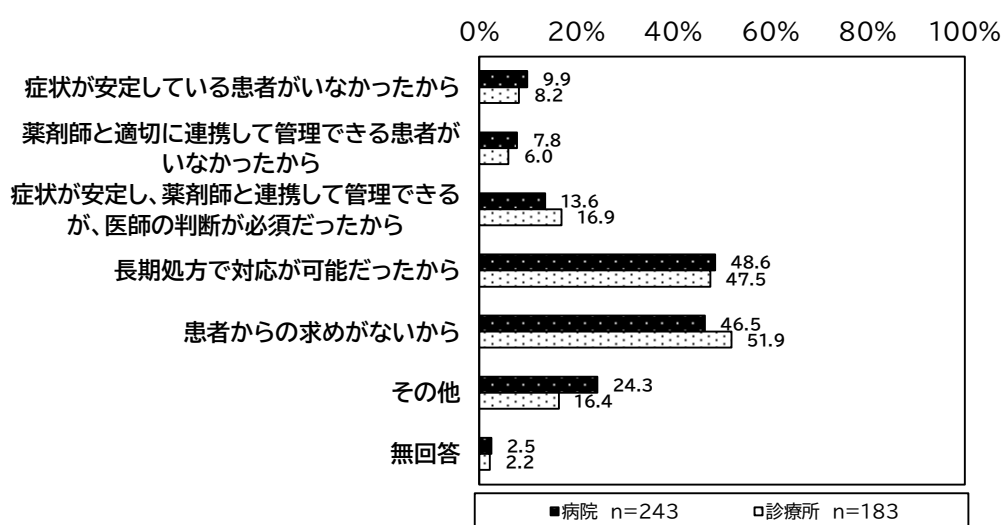
【その他の記載内容】

- ・患者が多忙で服薬コンプライアンスが低い
- ・通院がやや困難な患者であったため
- ・都外からの受診で次回まで期間が1ヶ月以上空くため
- ・院長の手術で1か月ほど休院したため
- ・長期処方が出来ないため 等

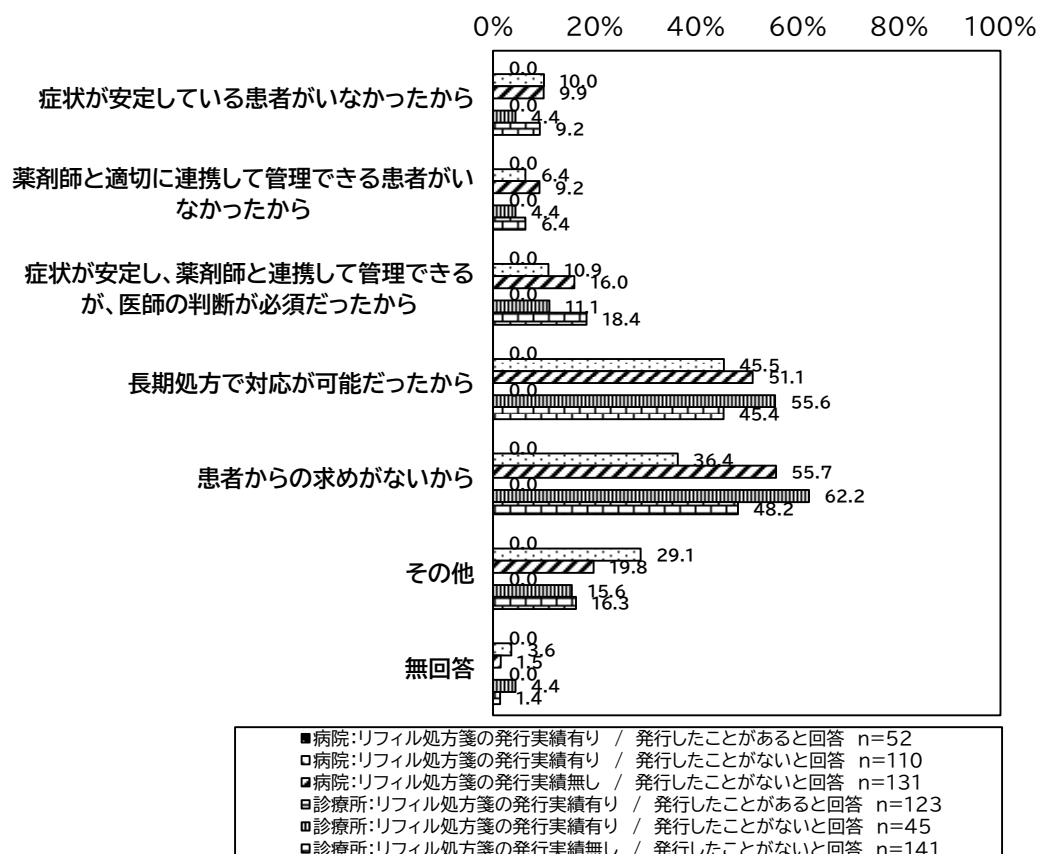
⑪ リフィル処方箋を発行しなかった理由（リフィル処方箋を「発行したことがない」と回答した施設のみ回答）

リフィル処方箋を発行しなかった理由については、病院では「長期処方に対応が可能だったから」が最も多く 48.6%であった。診療所では「患者からの求めがないから」が最も多く 51.9%であった。

図表 2-55 リフィル処方箋を発行しなかった理由（複数回答）
（病院・診療所別）



図表 2-56 リフィル処方箋を発行しなかった理由（複数回答）
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



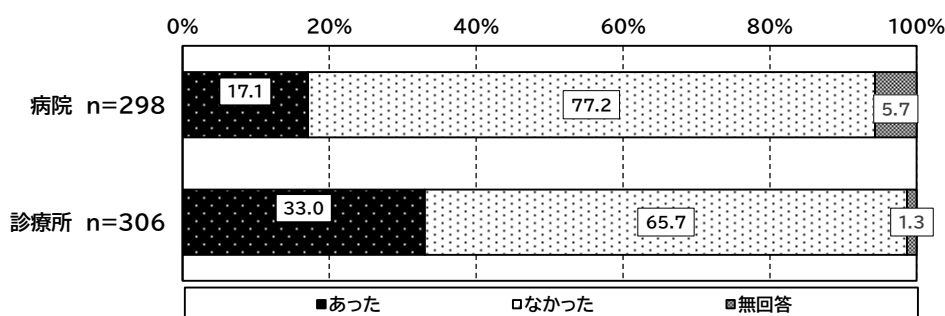
【その他の記載内容】

- ・システムが未対応のため
- ・院内処方をしていないため
- ・制度に反対である、あるいは院で方針が定まっていない 等

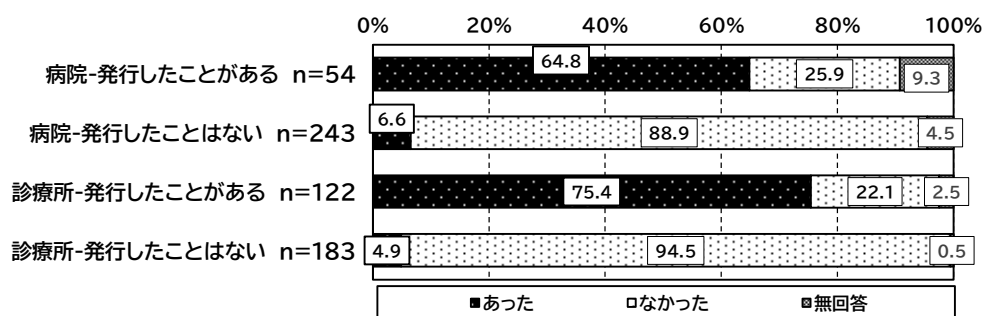
⑫ リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無

リフィル処方箋の発行についての患者からの希望の有無については、リフィル処方箋を発行したことがある病院では「あった」が64.8%、「なかった」が25.9%、「なかった」が88.9%であった。リフィル処方箋を発行したことがある診療所では「あった」が75.4%、「なかった」が4.9%、リフィル処方箋を発行したことがない診療所では「あった」が4.9%、「なかった」が94.5%であった。

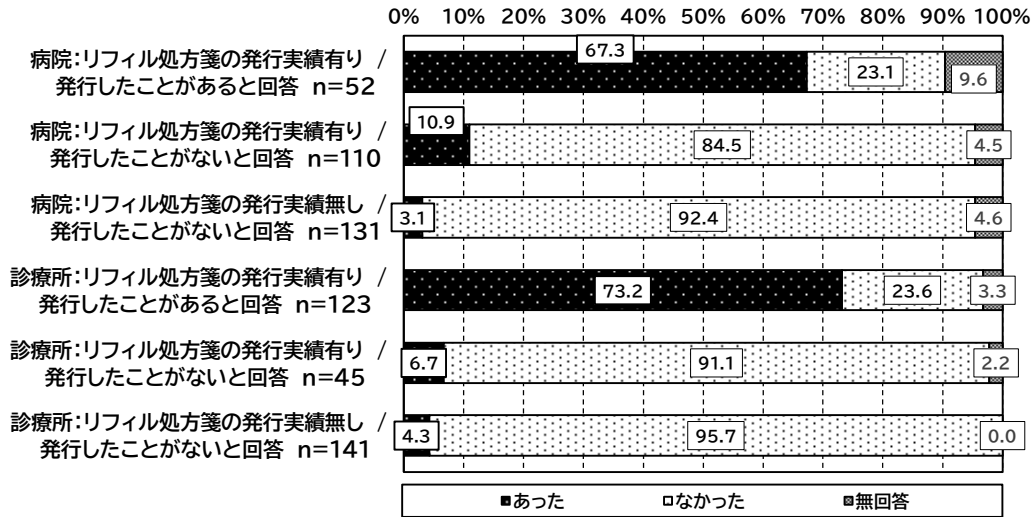
図表 2-57 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別)



図表 2-58 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



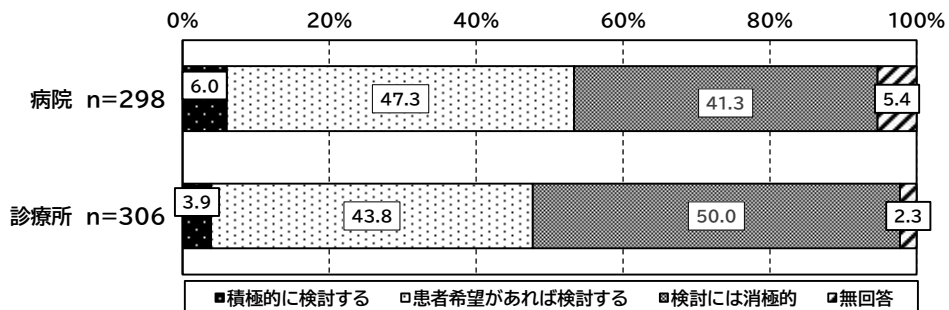
図表 2-59 リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



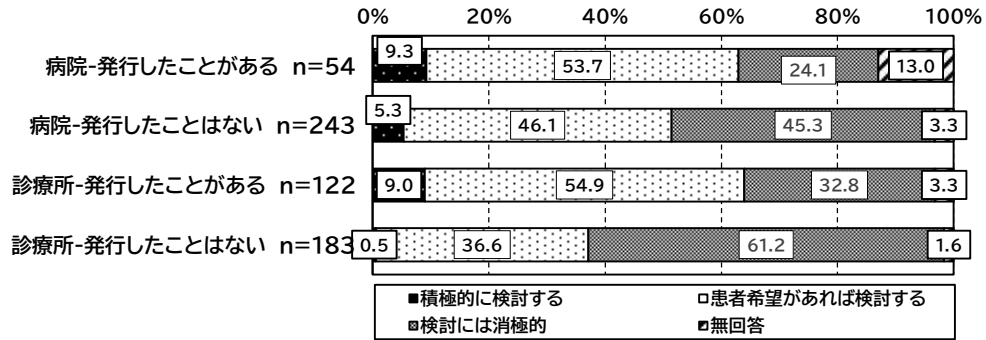
⑬ リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し

リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しに関しては、リフィル処方箋を発行したことがある病院では「積極的に検討する」が9.3%、「患者希望があれば検討する」が47.3%、「検討には消極的」が24.1%、リフィル処方箋を発行したことがない病院では「積極的に検討する」が5.3%、「患者希望があれば検討する」が46.1%、「検討には消極的」が45.3%であった。リフィル処方箋を発行したことがある診療所では「積極的に検討する」が9.0%、「患者希望があれば検討する」が54.9%、「検討には消極的」が32.8%、リフィル処方箋を発行したことがない診療所では「積極的に検討する」が0.5%、「患者希望があれば検討する」が36.6%、「検討には消極的」が61.2%であった。

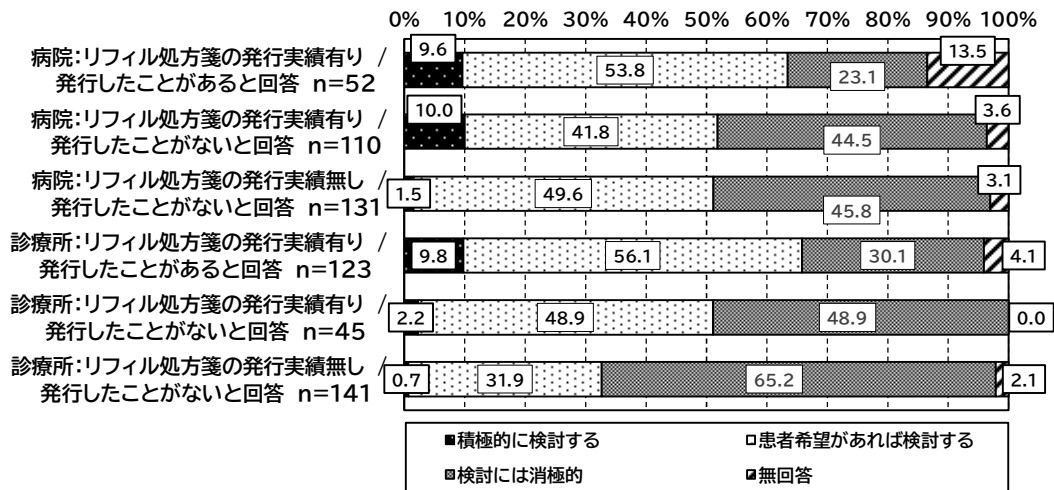
図表 2-60 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別)



図表 2-61 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
 (病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



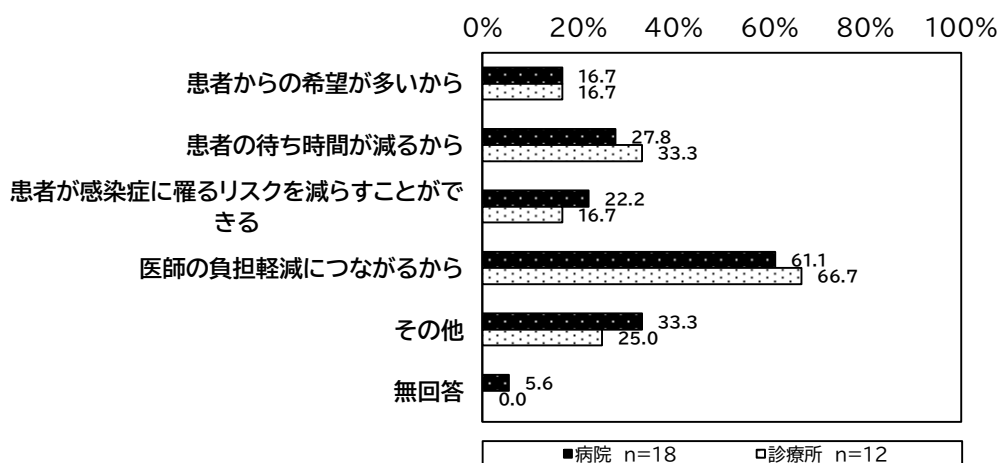
図表 2-62 リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
 (病院・診療所別リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



⑭ 積極的に検討すると回答した理由（上記⑬で「積極的に検討する」と回答した施設のみ回答）

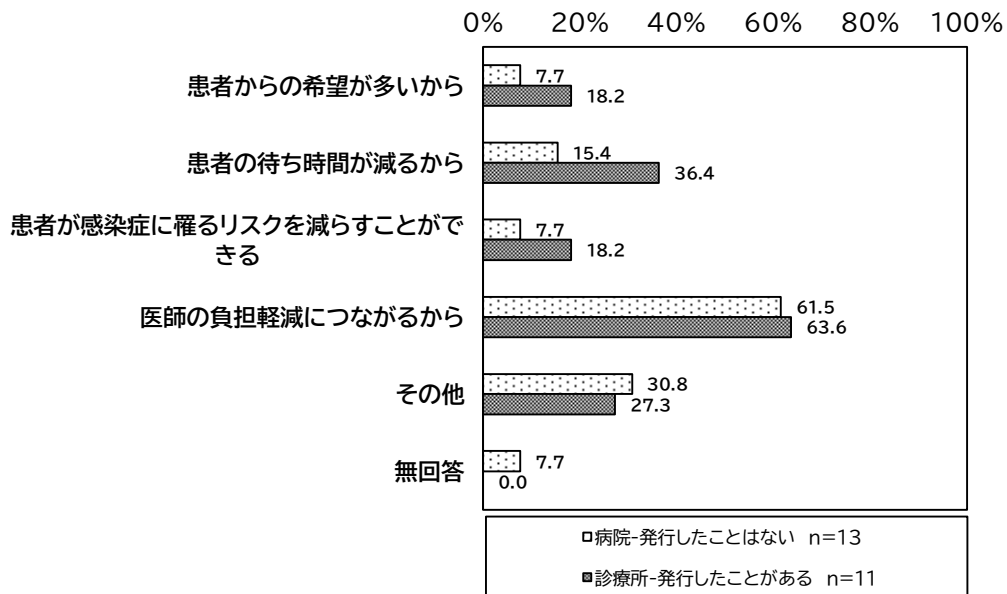
積極的に検討すると回答した理由については、病院では「医師の負担軽減につながるから」が最も多く61.1%、次いで「患者の待ち時間が減るから」が27.8%であった。診療所では「医師の負担軽減につながるから」が最も多く66.7%、次いで「患者の待ち時間が減るから」が33.3%であった。

図表 2-63 積極的に検討すると回答した理由
(病院・診療所別)



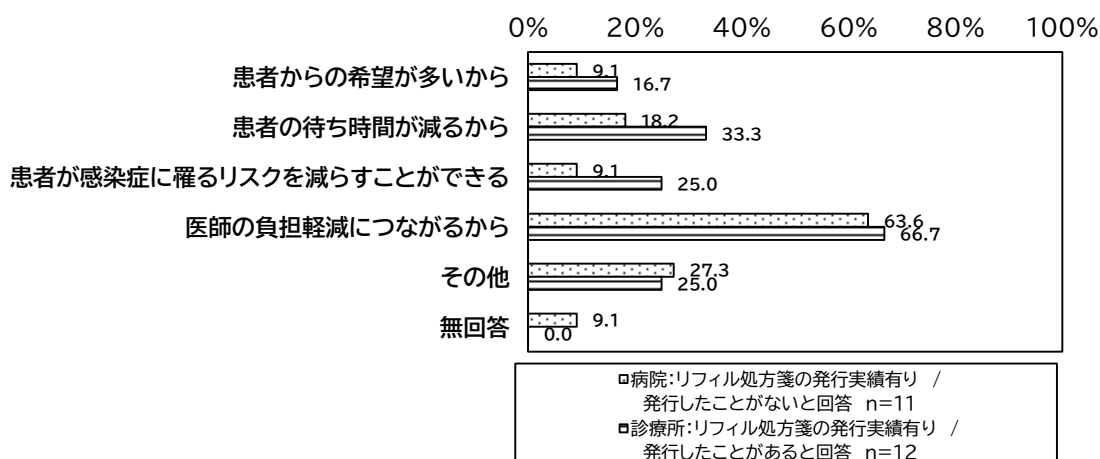
図表 2-64 積極的に検討すると回答した理由
 (病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)

	回答 施設数	患者からの希望が 多いから	患者の待ち時間が 減るから	患者が感染症に罹 るリスクを減らす ことができる	医師の負担軽減に つながるから	その他	無回答
病院-発行したことがある	5 100	2 40.0	3 60.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
病院-発行したことはない	13 100	1 7.7	2 15.4	1 7.7	8 61.5	4 30.8	1 7.7
診療所-発行したことがある	11 100	2 18.2	4 36.4	2 18.2	7 63.6	3 27.3	0 0.0
診療所-発行したことはない	1 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0



図表 2-65 積極的に検討すると回答した理由
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)

	回答施設数	患者からの希望が多いから	患者の待ち時間が減るから	患者が感染症に罹るリスクを減らすことができる	医師の負担軽減につながるから	その他	無回答
病院：リフィル処方箋の発行実績有り / 発行したことがあると回答	5 (%)	2 (40.0)	3 (60.0)	3 (60.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	0 (0.0)
病院：リフィル処方箋の発行実績有り / 発行したことがないと回答	11 (%)	1 (9.1)	2 (18.2)	1 (9.1)	7 (63.6)	3 (27.3)	1 (9.1)
病院：リフィル処方箋の発行実績無し / 発行したことがあると回答	0 (%)	0	0	0	0	0	0
病院：リフィル処方箋の発行実績無し / 発行したことがないと回答	2 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)
診療所：リフィル処方箋の発行実績有り / 発行したことがあると回答	12 (%)	2 (16.7)	4 (33.3)	3 (25.0)	8 (66.7)	3 (25.0)	0 (0.0)
診療所：リフィル処方箋の発行実績有り / 発行したことがないと回答	1 (%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
診療所：リフィル処方箋の発行実績無し / 発行したことがあると回答	0 (%)	0	0	0	0	0	0
診療所：リフィル処方箋の発行実績無し / 発行したことがないと回答	1 (%)	0 (0.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0 (0.0)



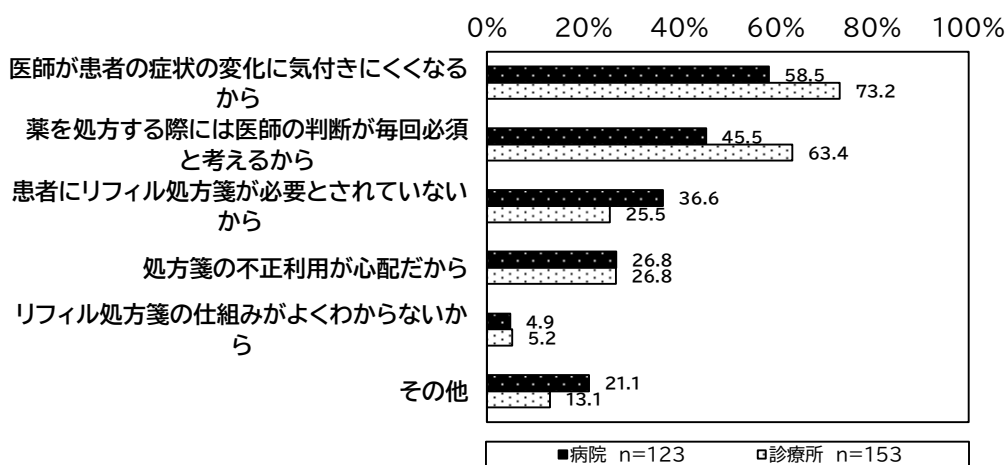
【その他の記載内容】

- ・薬の在庫の適正化・残薬解消
- ・国家の政策だから 等

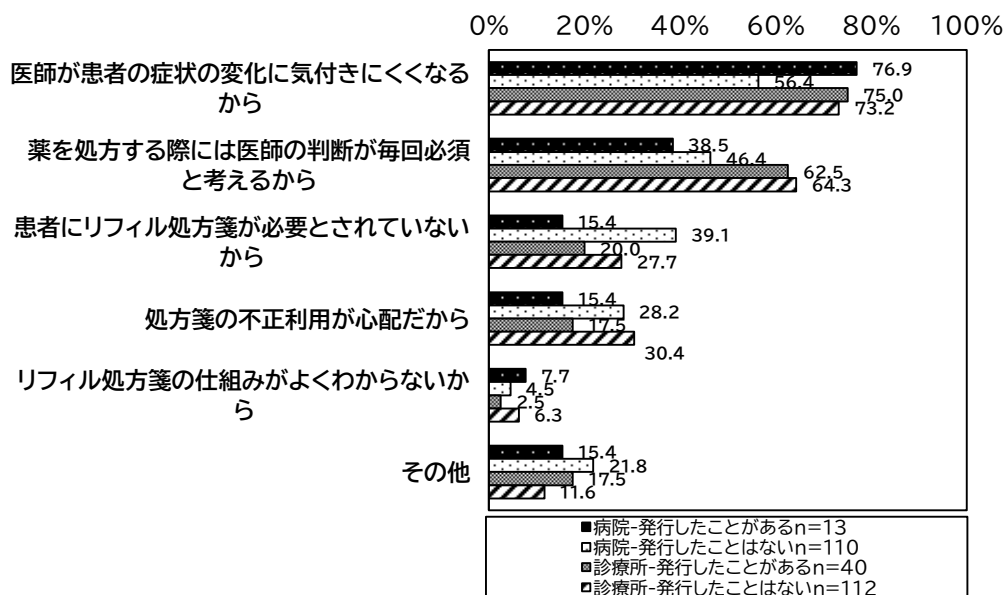
⑮ 検討には消極的と回答した理由（上記⑬で「検討には消極的」と回答した施設のみ回答）

検討には消極的と回答した理由については、「医師が患者の症状の変化に気づきにくくなるから」が最も多く病院では58.5%、診療所では73.2%であった。次いで「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が多く、病院では45.5%、診療所では63.4%であった。

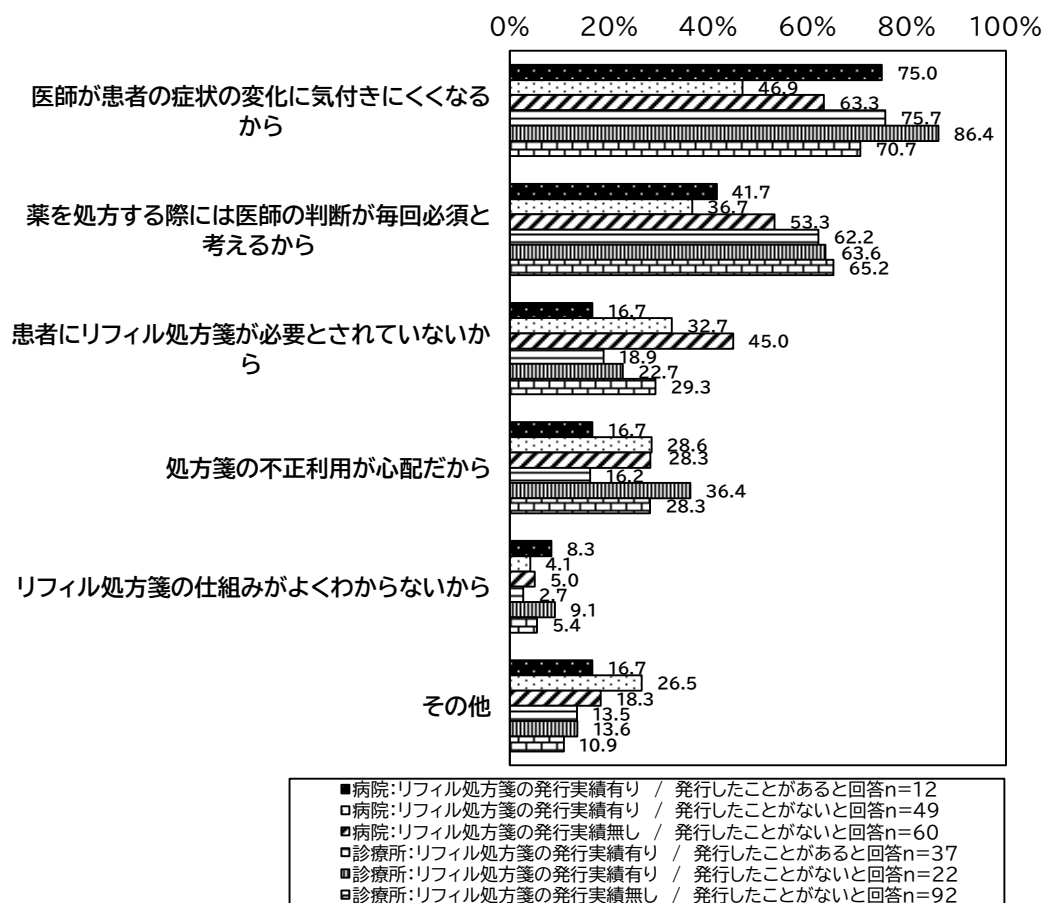
図表 2-66 検討には消極的と回答した理由
(病院・診療所別)



図表 2-67 検討には消極的と回答した理由
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



図表 2-68 検討には消極的と回答した理由
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



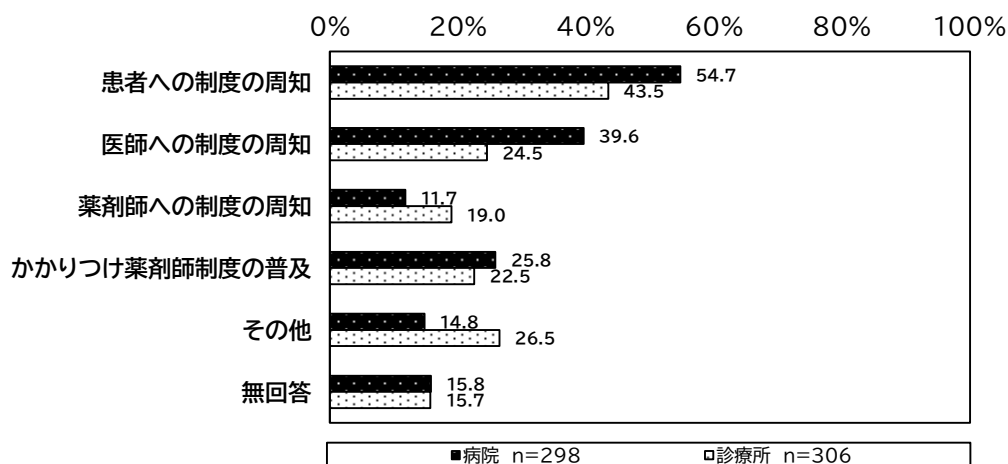
【その他の記載内容】

- ・ 院内処方のため
- ・ 大量服薬などのリスク回避のため
- ・ 経営面でメリットが無い
- ・ 日数超過で査定されるから 等

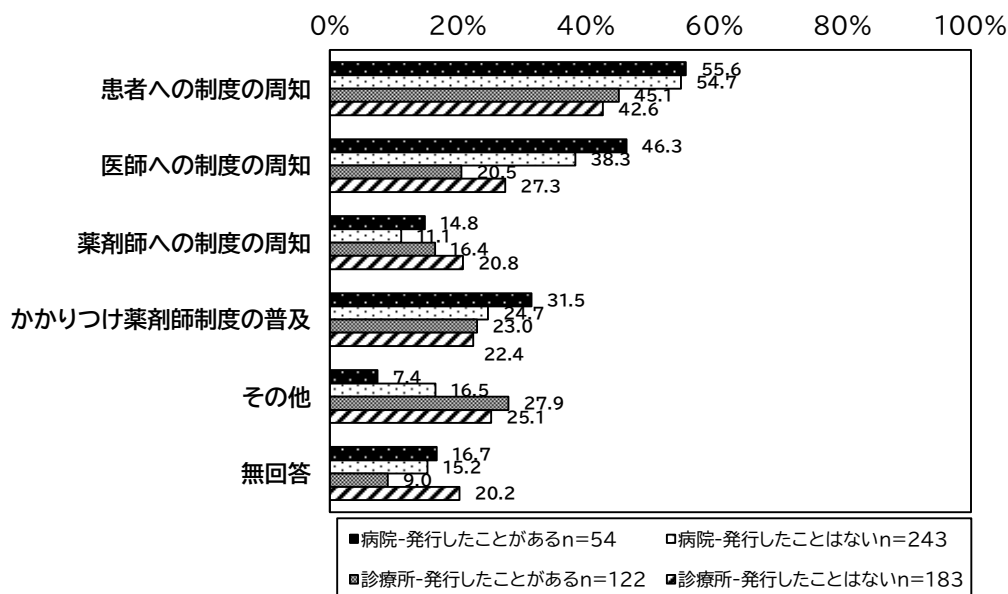
⑩ リフィル処方箋の課題と考えられること

リフィル処方箋の課題と考えられることについては、「患者への制度の周知」が最も多く病院では54.7%、診療所では43.5%であった。次いで「医師への制度の周知」が多く、病院では39.6%、診療所では24.5%であった。

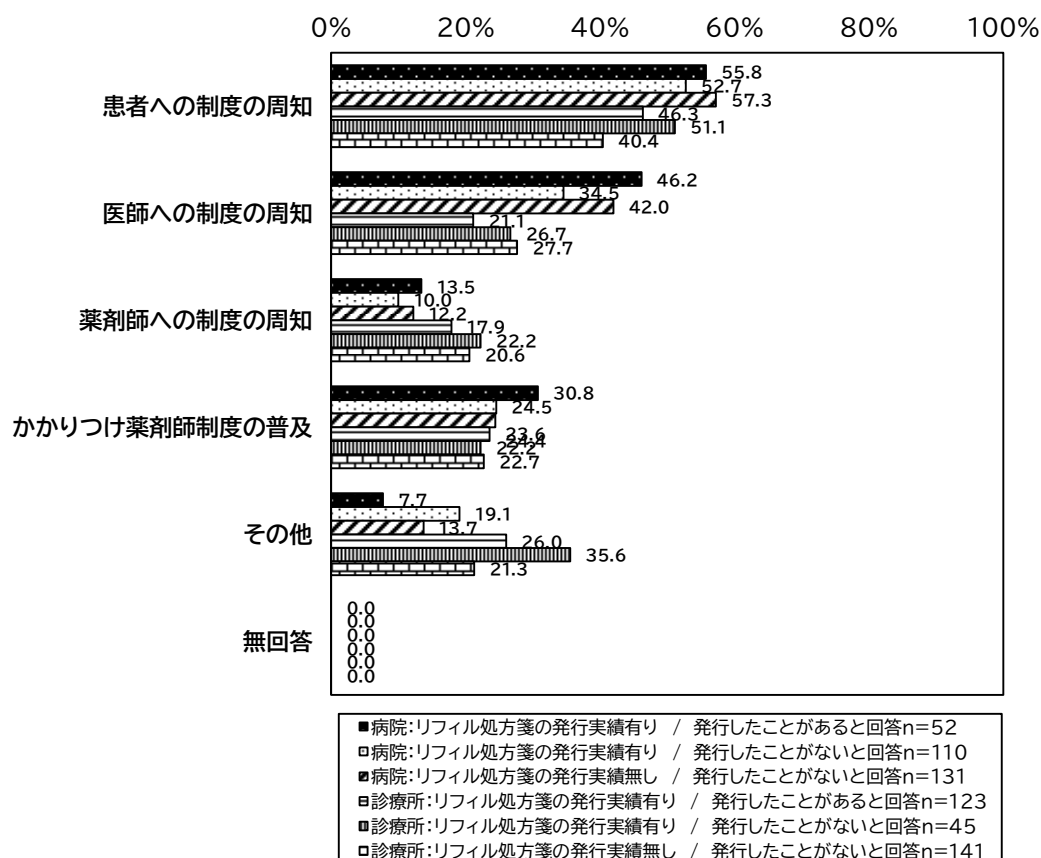
図表 2-69 リフィル処方箋の課題と考えられること
(病院・診療所別)



図表 2-70 リフィル処方箋の課題と考えられること
(病院・診療所別、調査票におけるリフィル処方箋の発行に係る回答別)



図表 2-71 リフィル処方箋の課題と考えられること
 (病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別、調査票における発行の回答別)



【その他の記載内容】

- ・患者の容体が安定している場合は使用しやすい制度だと考える
- ・制度の必要性への疑問
- ・病院側にメリットが無い
- ・患者の安全性や処方箋の不正利用が心配
- ・システム構築・改修費用がかかる 等

3. 保険薬局調査

【調査対象等】

○調査票 施設票

調査対象：全国の保険薬局のうち令和4年4～6月にリフィル処方箋の受付実績がある薬局から250薬局を無作為に抽出した。また、同様に令和4年4～6月にリフィル処方箋の受付実績がない薬局から250薬局を無作為抽出した。計500薬局の保険薬局を調査対象とした。

回答数：223施設

回答者：開設者・管理者

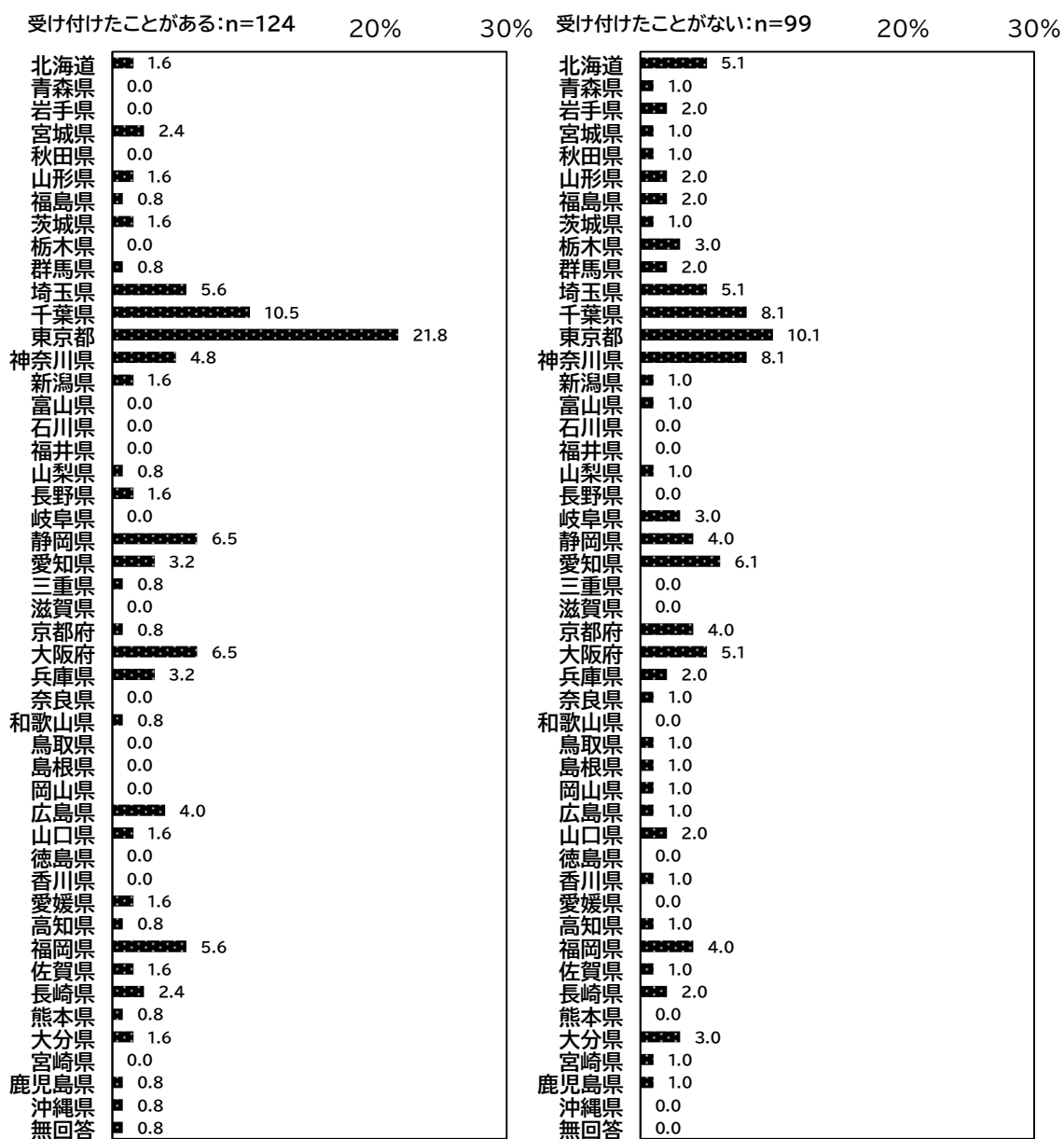
- ・今回の調査に当たって、リフィル処方箋は令和4年度診療報酬改定で新設された仕組みであり、調査客体を単純に無作為抽出するだけで十分な数のリフィル処方箋受付実績のある保険薬局を捕捉することができる程度には普及しておらず、調査が成立しないおそれがあったため、令和4年4月から6月診療分の実績を基に、リフィル処方箋の受付の有無を判定し、それぞれ250件ずつを無作為抽出し、本調査を実施している。したがって、本調査は全保険薬局を対象とした無作為抽出による調査ではなく、特にリフィル処方箋の受付実績のある客体については、あらかじめそのような群を補足できるよう設計されている調査であるということに留意が必要である。
- ・本調査においては、上記のとおり、あらかじめリフィル処方箋の受付実績を踏まえて客体の抽出を行っており、「リフィル処方箋の受付実績あり群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を受け付けたことがある」と回答した割合は94.1%、「リフィル処方箋の受付実績なし群」として調査票を送付した群の有効回答のうち「リフィル処方箋を受け付けたことがない」と回答した割合は88.5%であった。
- ・本調査の結果をとりまとめるに当たっては、実際のリフィル処方箋の受付状況により即したものとするため、リフィル処方箋の受付実績については調査客体からの実際の回答に基づいて集計しており、調査票が回収できた保険薬局223件のうち、リフィル処方箋の受付実績があると回答した薬局は124件、ないと回答した薬局は99件であった。

(1) 薬局の状況（令和4年11月1日時点）

① 所在地

所在地はリフィル処方箋を受け付けたことがある薬局は「東京都」が21.8%と最も多く、次いで「千葉県」が10.5%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局は「東京都」が10.1%と最も多く、次いで「神奈川県」「千葉県」が8.1%であった。

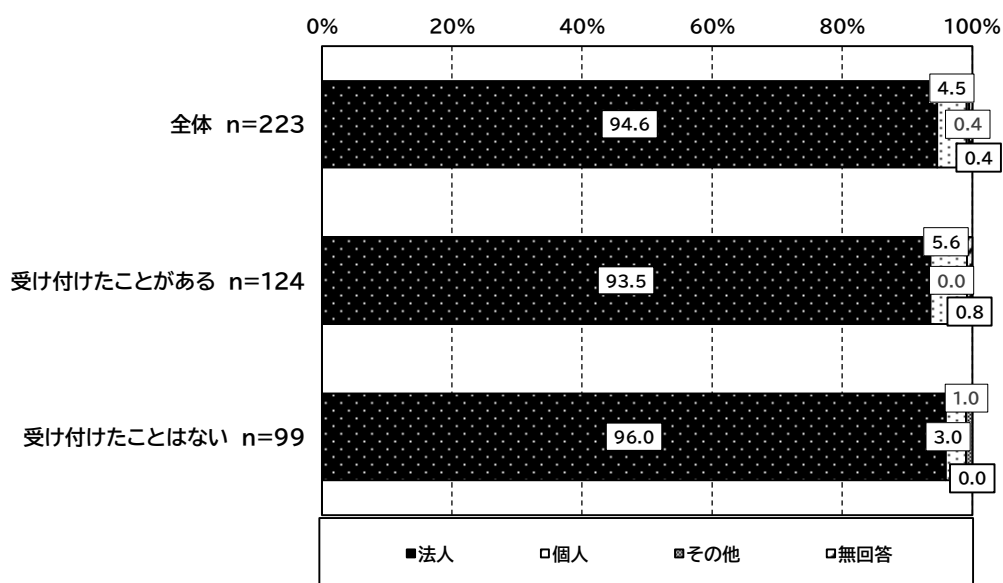
図表 3-1 所在地



② 開設者

開設者はリフィル処方箋を受け付けたことがある薬局は「法人」が93.5%、「個人」が5.6%、「その他」0.0%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局は「法人」が96.4%、「個人」が3.0%、「その他」1.0%であった。

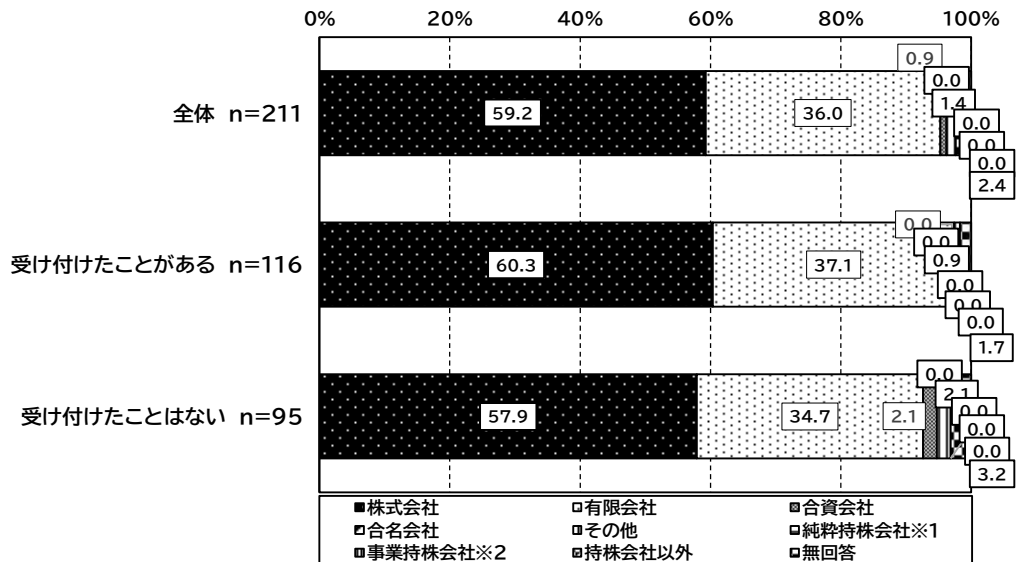
図表 3-2 開設者
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



【開設者が法人の場合】法人の形態

開設者が法人の場合、その法人形態についてはリフィル処方箋を受け付けたことがあると回答した薬局は「株式会社」が最も多く60.3%、受け付けたことがないと回答した薬局も同様に「株式会社」が最も多く57.9%であった。

図表 3-3 法人の形態
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



- ※ 1 自ら製造や販売といった事業は行わず、株式を所有することで、他の会社の事業活動を支配することのみを事業目的とする持株会社のこと。
- ※ 2 グループ各社の株式を持つことで子会社を支配しながら、自らも生産活動などの事業を営む持株会社のこと。
- ※ 3 持株会社以外（会社の総資産に対する子会社の株式の取得価額の合計が 50%以下の会社）のこと。

【その他の記載内容】
 ・ 合同会社
 ・ 一般社団法人 等

③ 同一グループによる薬局店舗数

同一グループ※による薬局店舗数は、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局で平均 281.1 店舗、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局で平均 127.3 店舗であった。

図表 3-4 同一グループによる薬局店舗
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位：店舗)

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	同一グループ による薬局 店舗	111	281.1	660.3	4.0
リフィル処方 箋の受付実績 なし	同一グループ による薬局 店舗	91	127.3	427.2	3.0

※ 同一グループは次の基準により判断する（調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様）

1. 保険薬局の事業者の最終親会社
2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社
3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社
4. 1から3までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者

④ 開設年

開設年については、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局が平均で 2003 年中、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局が平均で 2006 年中であった。

図表 3-5 開設年
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

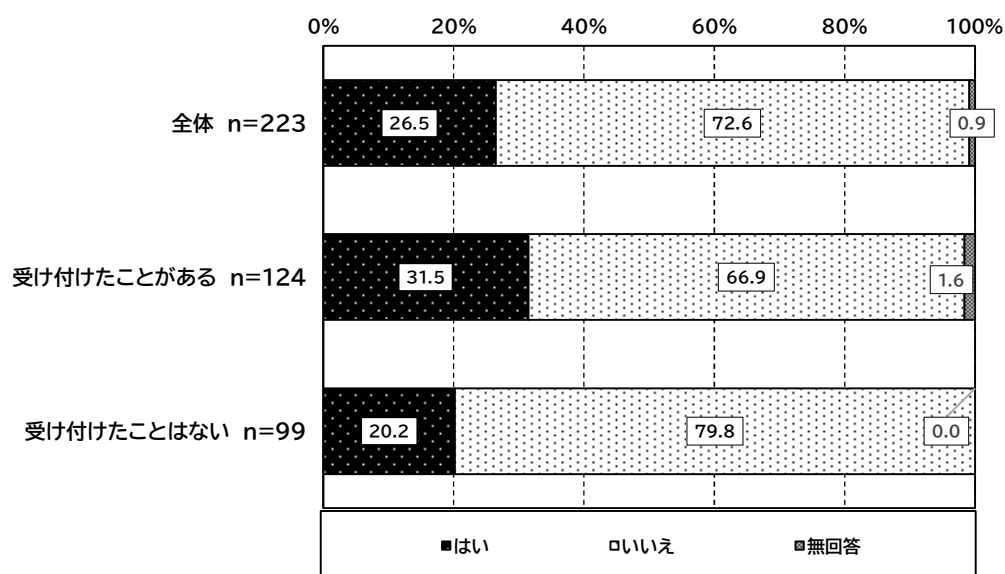
(単位：年(西暦))

		回答 施設数	平均値	標準偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	開設年	115	2003.7	19.6	2008.0
リフィル処方 箋の受付実績 なし	開設年	89	2006.5	14.0	2010.0

⑤ チェーン薬局の該当有無

チェーン薬局[※]の該当有無はリフィル処方箋を受け付けたことがある薬局は「はい」が31.5%、「いいえ」が66.9%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局は「はい」が20.2%、「いいえ」が79.8%であった。

図表 3-6 チェーン薬局の概要有無
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

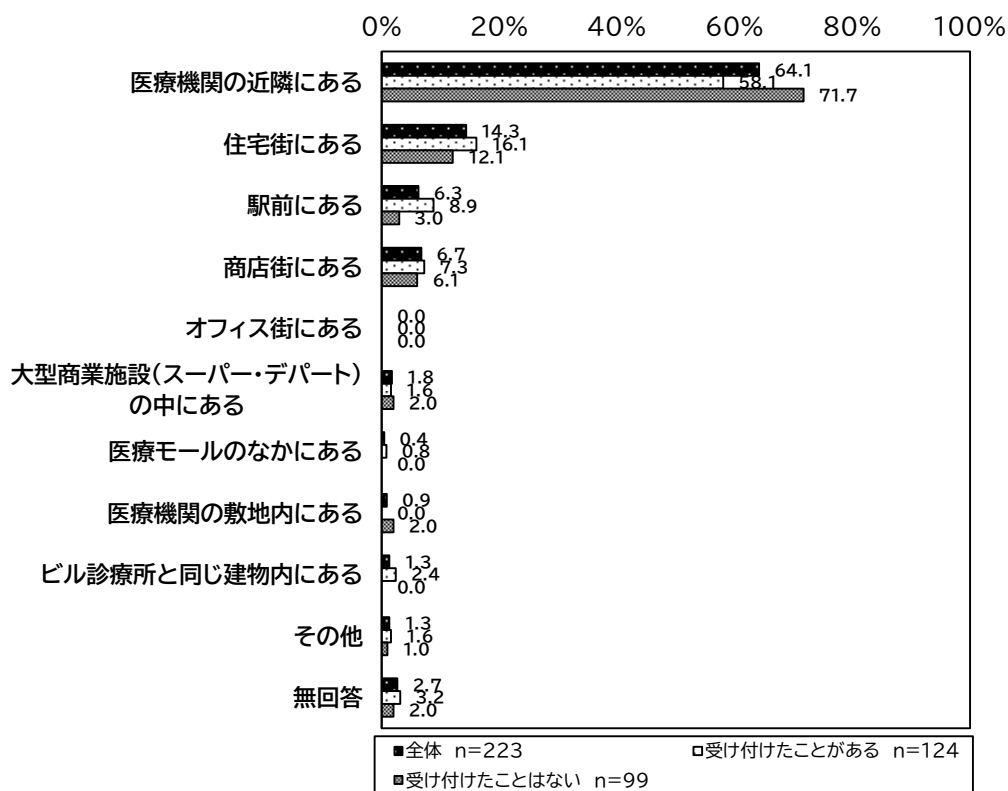


※ チェーン薬局：同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗

⑥ 薬局の立地

薬局の立地は「医療機関の近隣にある」が最も多く、リフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では58.1%、リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では71.7%であった。

図表 3-7 薬局の立地
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



【その他の記載内容】

- ・ 国道沿い（医療機関は近隣に無し） 等

⑦ 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合

令和4年4月～6月の期間において、最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合については、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局が平均58.6%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局が平均75.3%であった。

図表 3-8 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

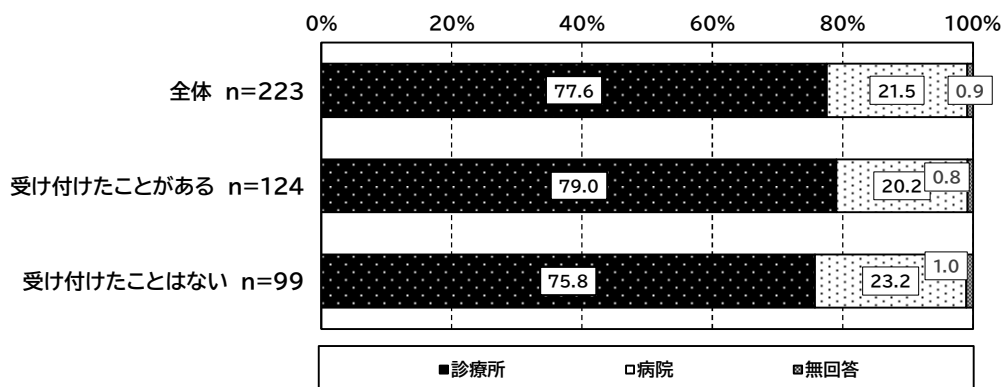
(単位：%)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合	117	58.6	31.2	59.0
リフィル処方箋の受付実績なし	最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋割合	95	75.3	28.3	88.0

⑦-1) 上記⑦の集中率が最も高い医療機関の診療所・病院の別

令和4年4月～6月の期間において、最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療所・病院の別については、リフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では「診療所」が79.0%、「病院」が20.2%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では「診療所」が75.8%、「病院」が23.2%であった。

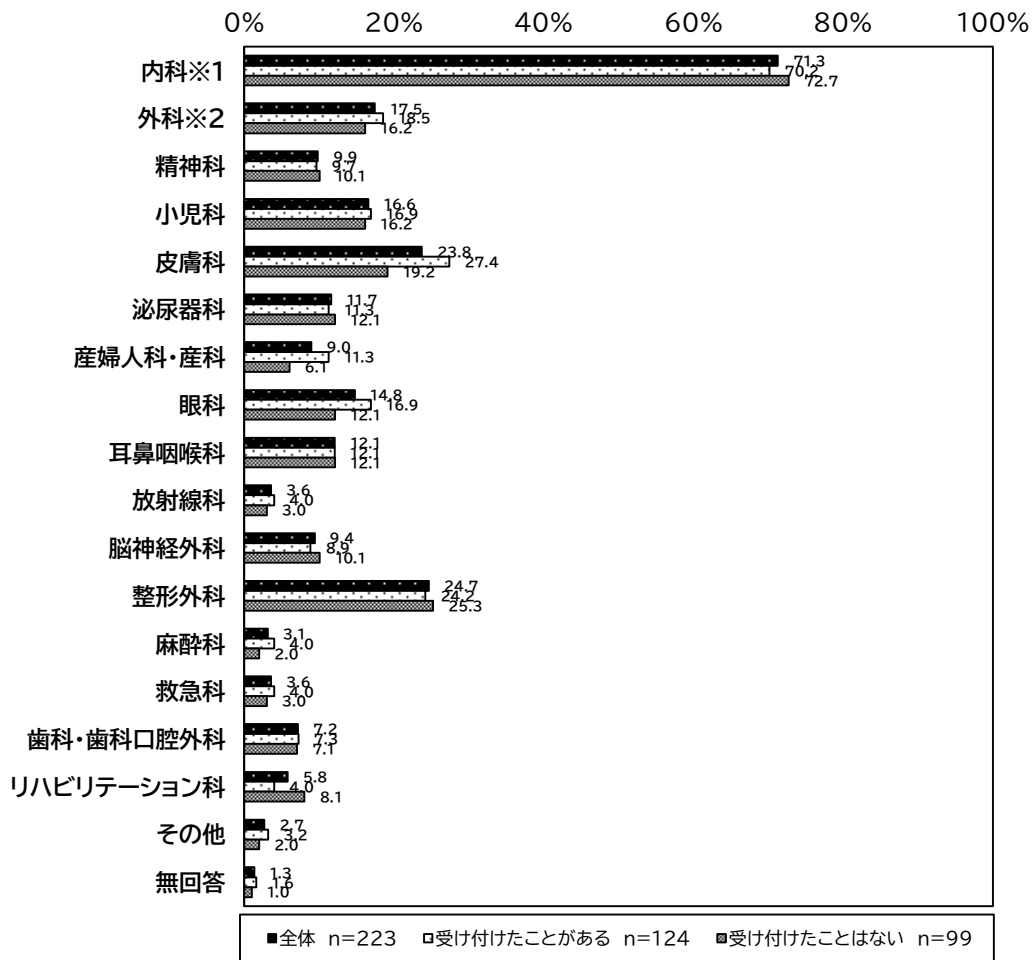
図表 3-9 集中率が最も高い医療機関の診療所・病院の別
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑦-2) 上記⑦の集中率が最も高い医療機関の診療科

令和4年4月～6月の期間において、最も多く処方箋を受け付けた医療機関の診療科については内科が最も多く、リフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では70.2%、リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では72.7%であった。

図表 3-10 集中率が最も高い医療機関の診療科（複数回答）
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）



【その他の記載内容】

- ・形成外科
- ・緩和ケア科
- ・熱傷科
- ・ACC（治療研究開発）等

⑧ 処方箋を受け付けた医療機関数（令和4年4月～6月の平均値）

処方箋を受け付けた医療機関数（令和4年4月～6月の平均値）は、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局が平均で68.8施設、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局が平均で38.0施設であった。

図表 3-11 処方箋を受け付けた医療機関数（令和4年4月～6月の平均値）
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

（単位：施設）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	処方箋を受け付けた医療機関数	113	68.8	67.7	47.0
リフィル処方箋の受付実績なし	処方箋を受け付けた医療機関数	91	38.0	48.3	26.0

⑨ 売上高に占める保険調剤売上の割合（令和3年度決算）

売上高に占める保険調剤売上の割合（令和3年度決算）については、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局が平均で89.8%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局が平均で86.3%あった。

図表 3-12 売上高に占める保険調剤売上の割合（令和3年度決算）
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

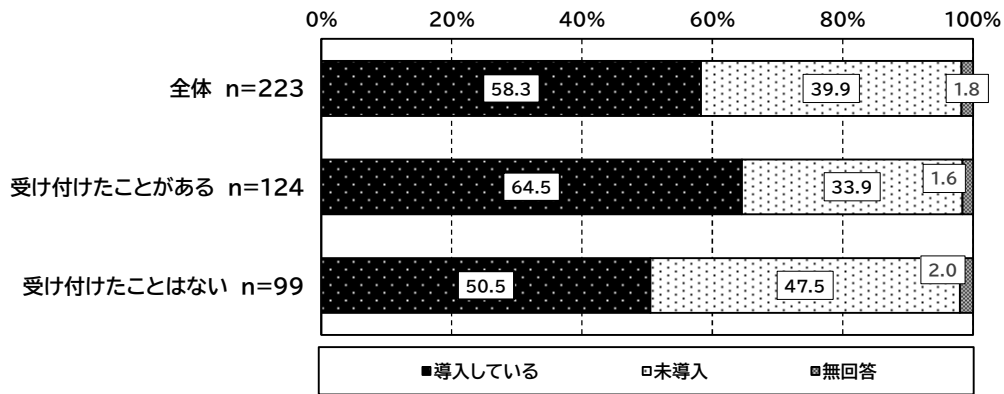
（単位：%）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	売上高に占める保険調剤売上の割合	103	89.8	21.9	98.0
リフィル処方箋の受付実績なし	売上高に占める保険調剤売上の割合	88	86.3	26.1	98.0

⑩ 電子版お薬手帳の導入状況

電子版お薬手帳の導入状況はリフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では「導入している」が64.5%、「未導入」が33.9%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では「導入している」が50.5%、「未導入」が47.5%であった。

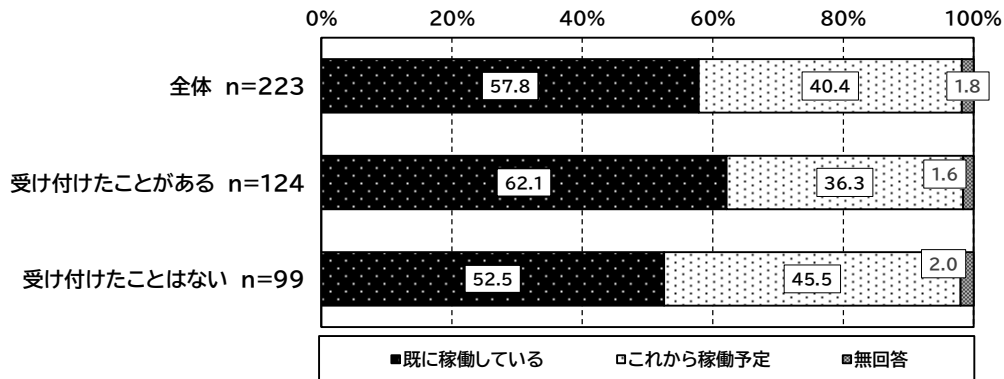
図表 3-13 電子版お薬手帳の導入状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑪ オンライン資格確認についての対応システムの稼働状況

オンライン資格確認についての対応システムの稼働状況はリフィル処方箋を受け付けたことがある薬局では「既に稼働している」が62.1%、「これから稼働予定」が36.3%であった。リフィル処方箋を受け付けたことがない薬局では「既に稼働している」が52.5%、「これから稼働予定」が45.5%であった。

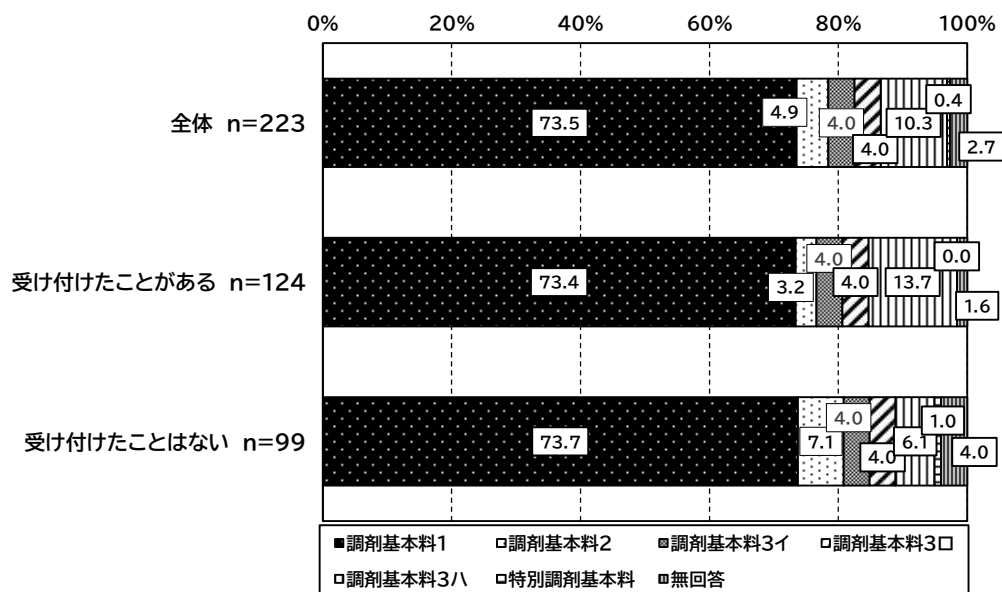
図表 3-14 オンライン資格確認についての対応システムの稼働状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑫ 令和4年度の調剤基本料の届出状況

令和4年度の調剤基本料の届出状況は「調剤基本料1」最も多く73.5%であった。

図表 3-15 令和4年度の調剤基本料の届出状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑫-1 全処方箋の受付回数 (調剤基本料の根拠となる数字)

全処方箋の受付回数 (調剤基本料の根拠となる数字) はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均で1141.2回/月、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では平均で1135.4回/月であった。

図表 3-16 全処方箋の受付回数 (調剤基本料の根拠となる数字)
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位: 回/月)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	全処方箋の受付回数 (調剤基本料の根拠となる数字)	95	1141.2	840.6	902.0
リフィル処方箋の受付実績なし	全処方箋の受付回数 (調剤基本料の根拠となる数字)	79	1135.4	1116.2	890.0

⑫-1 全処方箋の受付回数（令和4年4月～10月の各月）

全処方箋の受付回数（令和4年4月～10月の各月）は直近の10月について、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局の平均は1154.9回、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局の平均は1058.7回であった。

図表 3-17 全処方箋の受付回数（令和4年4月～10月の各月）
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

（単位：回）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	4月	107	1164.8	867.2	916.0
	5月	107	1098.3	809.9	900.0
	6月	107	1140.3	865.2	912.0
	7月	107	1171.9	861.5	947.0
	8月	107	1175.9	885.9	941.0
	9月	107	1131.2	842.1	916.0
	10月	107	1154.9	862.4	924.0
リフィル処方 箋の受付実績 なし	4月	81	1035.4	1025.7	871.0
	5月	81	980.4	992.6	848.0
	6月	81	1013.1	1029.6	811.0
	7月	81	1046.5	1061.7	879.0
	8月	81	1039.9	1042.2	819.0
	9月	81	1019.4	1033.1	816.0
	10月	81	1058.7	1067.7	883.0

⑬ 職員数

⑬-1) 薬剤師

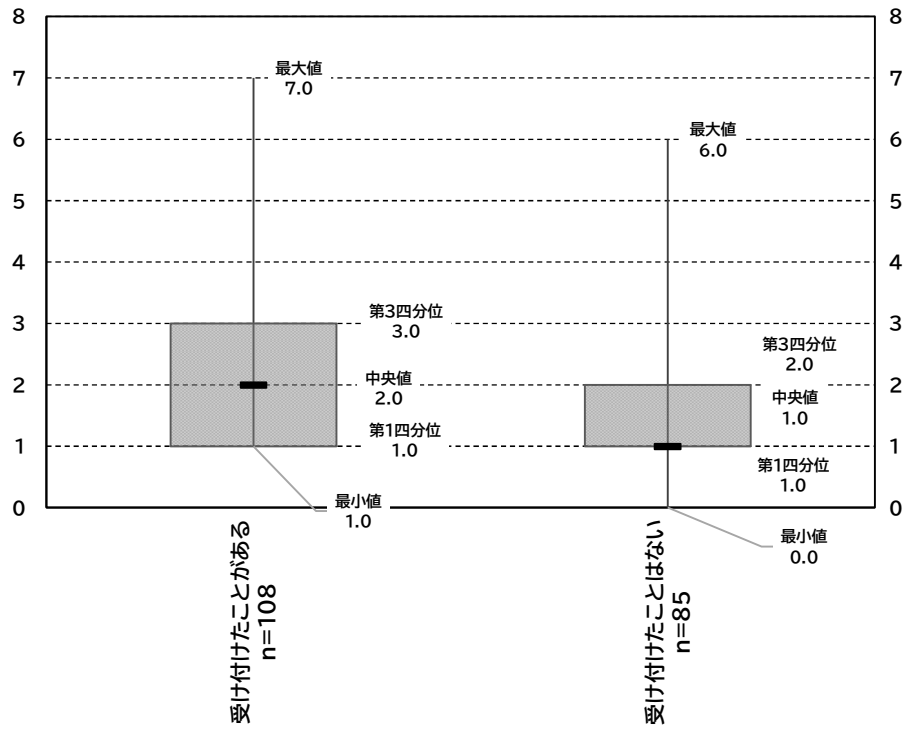
薬剤師の職員数はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では常勤薬剤師が平均 2.3 人、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では常勤薬剤師が平均 1.7 人であった。

図表 3-18 薬剤師の職員数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

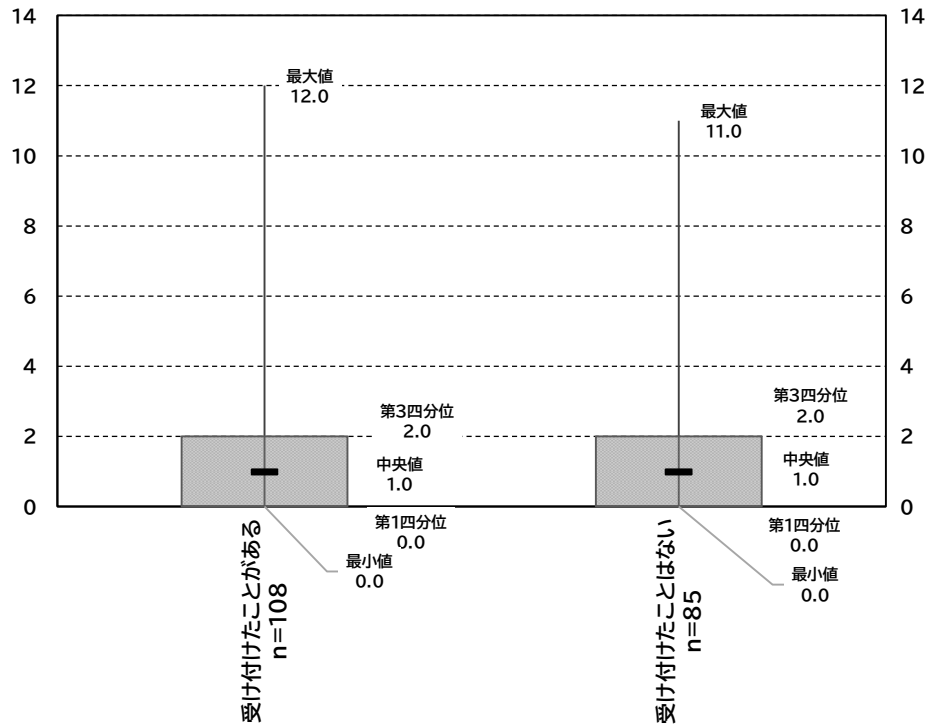
(単位：人)

			回答 施設 数	平均 値	標準 偏差	中央 値
リフィル 処方箋の 受付実績 あり	常勤職員	薬剤師	108	2.3	1.4	2.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	108	0.7	0.9	1.0
	非常勤職員 実人数	薬剤師	108	1.7	2.4	1.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	108	0.0	0.2	0.0
	非常勤職員 常勤換算	薬剤師	108	0.7	1.2	0.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	108	0.0	0.1	0.0
リフィル 処方箋の 受付実績 なし	常勤職員	薬剤師	85	1.7	1.0	1.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	85	0.5	0.8	0.0
	非常勤職員 実人数	薬剤師	85	1.3	1.9	1.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	85	0.0	0.1	0.0
	非常勤職員 常勤換算	薬剤師	85	0.6	1.1	0.0
		うち、かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」	85	0.0	0.1	0.0

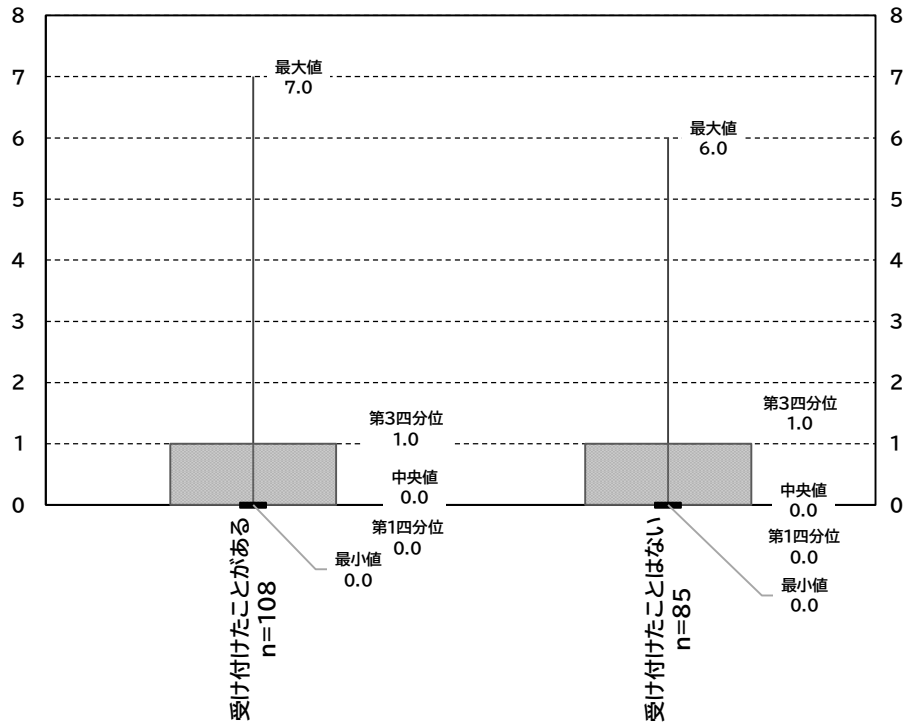
図表 3-19 薬剤師の職員数 常勤薬剤師
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



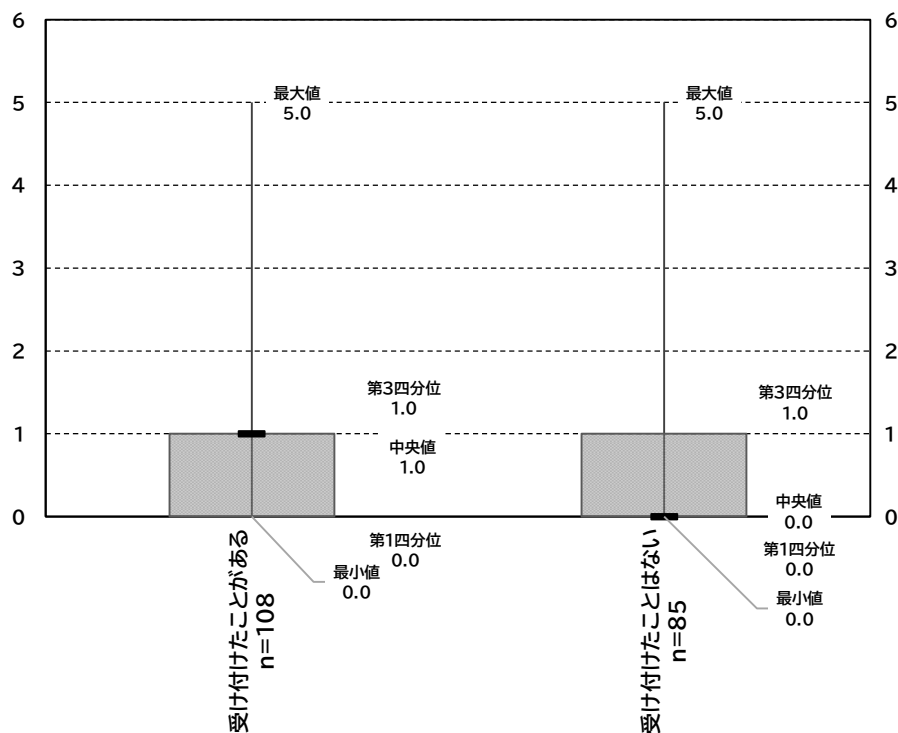
図表 3-20 薬剤師の職員数 非常勤薬剤師 実人数
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



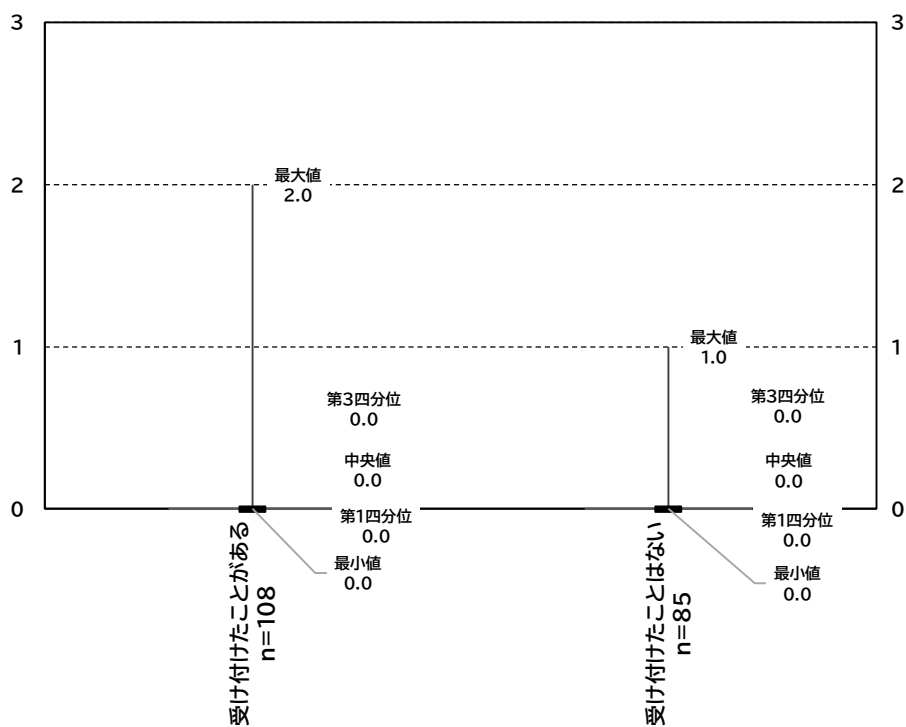
図表 3-21 薬剤師の職員数 非常勤薬剤師 常勤換算
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



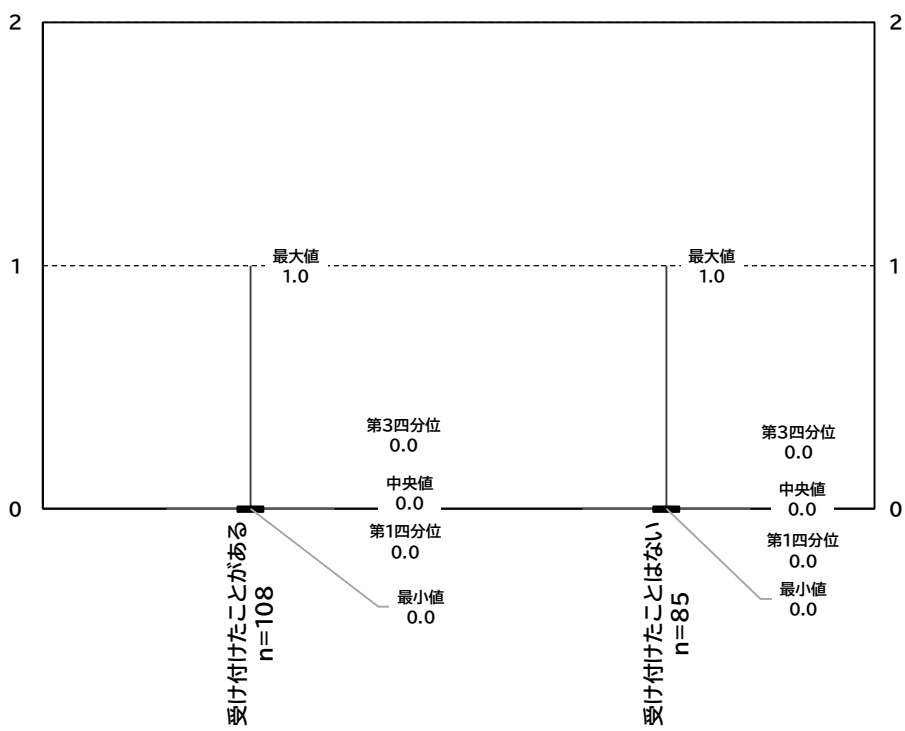
図表 3-22 かかりつけ薬剤師の職員数 常勤薬剤師
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



図表 3-23 かかりつけ薬剤師の職員数 非常勤薬剤師 実人数
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



図表 3-24 かかりつけ薬剤師の職員数 非常勤薬剤師 常勤換算
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑬-2) その他（事務職員等）

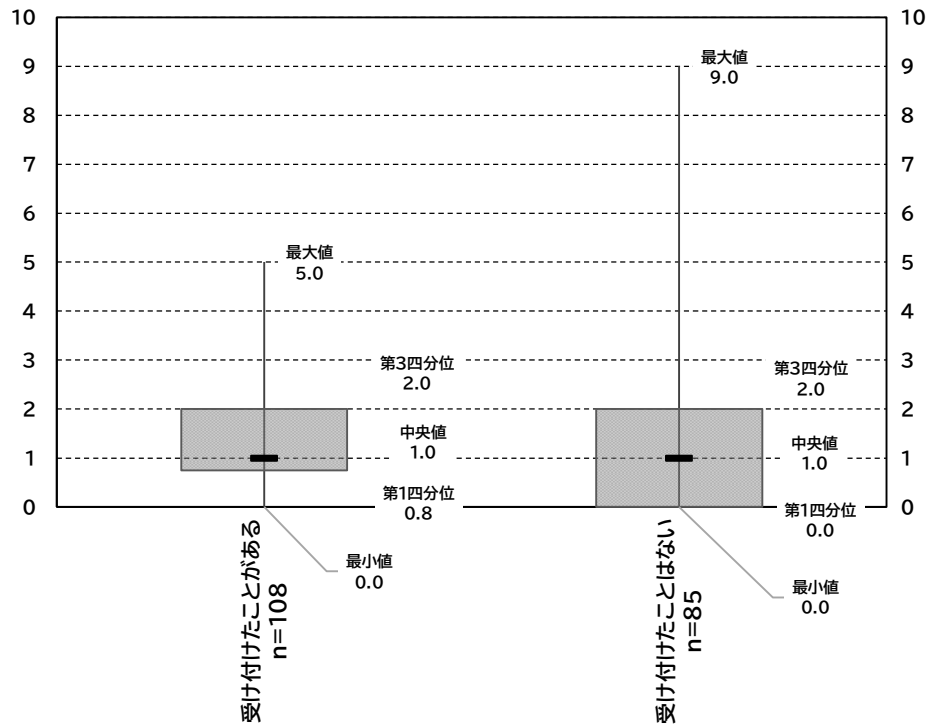
その他（事務職員等）の職員数はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では常勤職員が平均 1.5 人、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では常勤薬剤師が平均 1.3 人であった。

図表 3-25 その他（事務職員等）の職員数
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

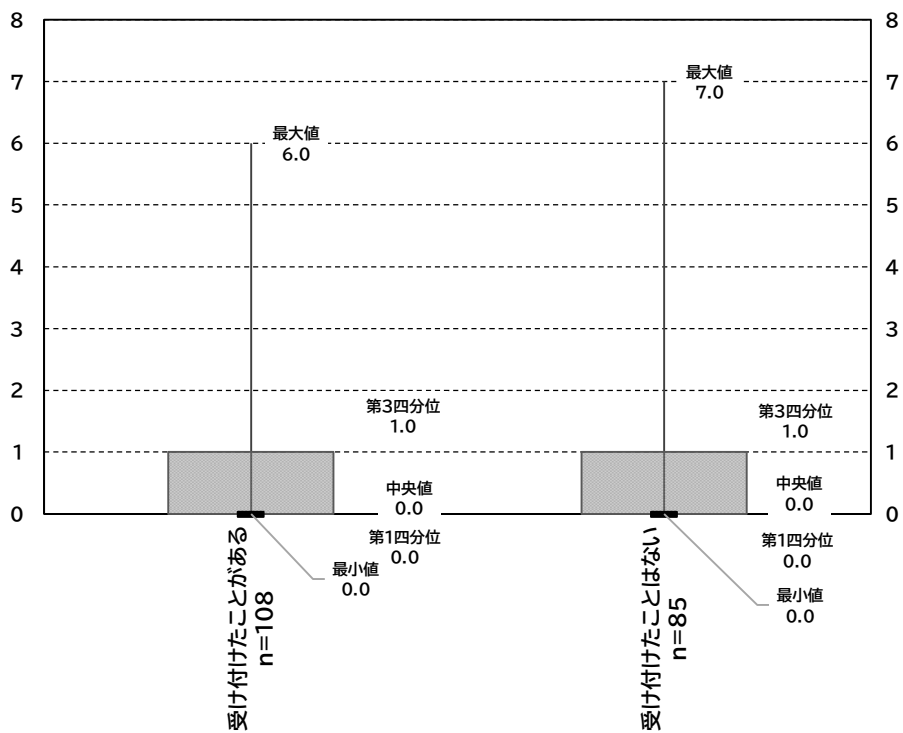
（単位：人）

			回答 施設 数	平均 値	標準 偏差	中央 値
リフィル 処方箋の 受付実績 あり	常勤職員	その他（事務職員等）	108	1.5	1.3	1.0
	非常勤職員 実人数	その他（事務職員等）	108	0.8	1.4	0.0
	非常勤職員 常勤換算	その他（事務職員等）	108	0.3	0.6	0.0
リフィル 処方箋の 受付実績 なし	常勤職員	その他（事務職員等）	85	1.3	1.6	1.0
	非常勤職員 実人数	その他（事務職員等）	85	0.8	1.4	0.0
	非常勤職員 常勤換算	その他（事務職員等）	85	0.3	0.7	0.0

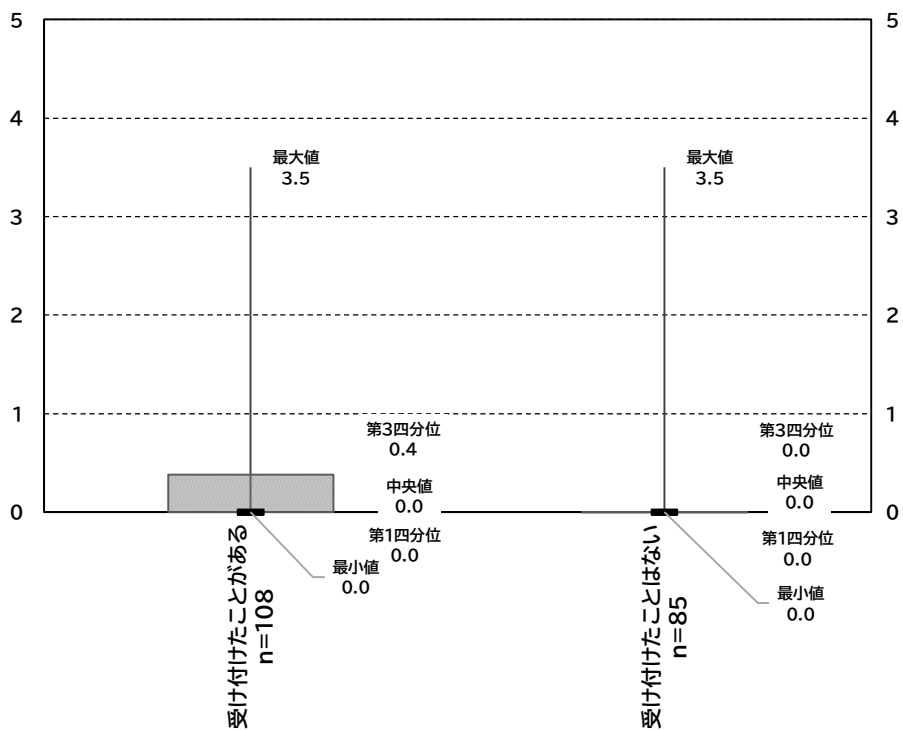
図表 3-26 その他（事務職員等）の職員数 常勤
 （調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）



図表 3-27 その他（事務職員等）の職員数 非常勤 実人数
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



図表 3-28 その他（事務職員等）の職員数 非常勤 常勤換算
 （調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

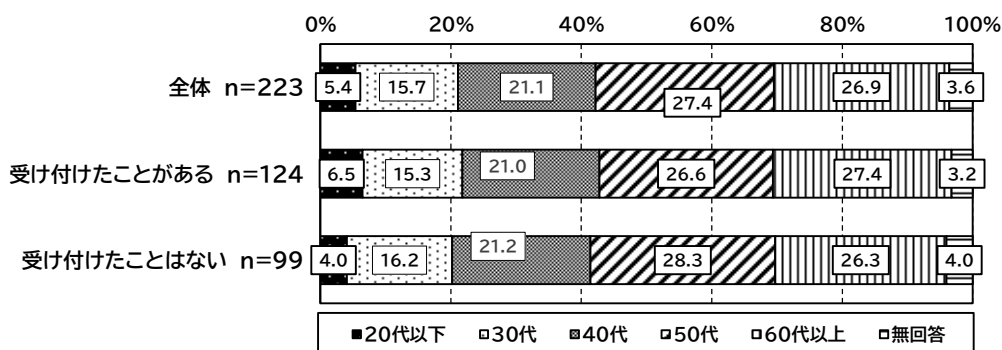


⑭ 管理薬剤師について

⑭-1 管理薬剤師の年代

管理薬剤師の年代は「50代」が最も多く27.4%、次いで「60代以上」が26.9%であった。

図表 3-29 管理薬剤師の年代
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑭-2 管理薬剤師の当該薬局での勤続年数

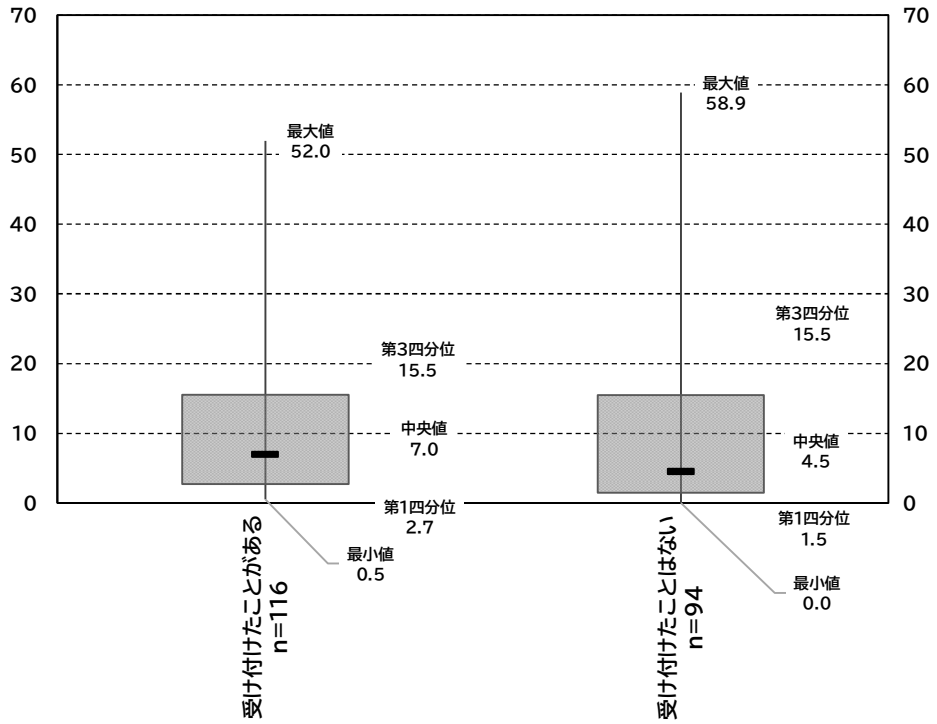
管理薬剤師の当該薬局での勤続年数はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均10.7年、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では平均10.2年であった。

図表 3-30 管理薬剤師の当該薬局での勤続年数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位：年)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	管理薬剤師の当該薬局での勤続年数	116	10.7	10.4	7.0
リフィル処方箋の受付実績なし	管理薬剤師の当該薬局での勤続年数	94	10.2	11.9	4.5

図表 3-31 管理薬剤師の当該薬局での勤続年数
 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑭-3 管理薬剤師の薬剤師としての経験年数

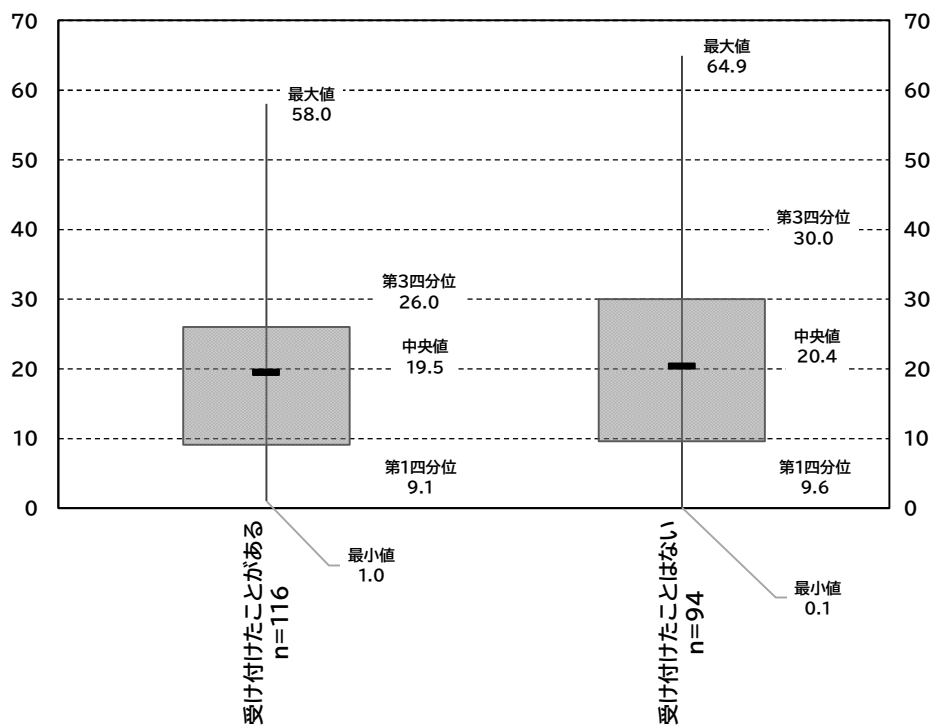
管理薬剤師の薬剤師としての経験年数はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均 19.5 年、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では平均 20.9 年であった。

図表 3-32 管理薬剤師の薬剤師としての経験年数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位：年)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	管理薬剤師の薬剤師と しての経験年数	116	19.5	12.5	19.5
リフィル処方 箋の受付実績 なし	管理薬剤師の薬剤師と しての経験年数	94	20.9	13.6	20.4

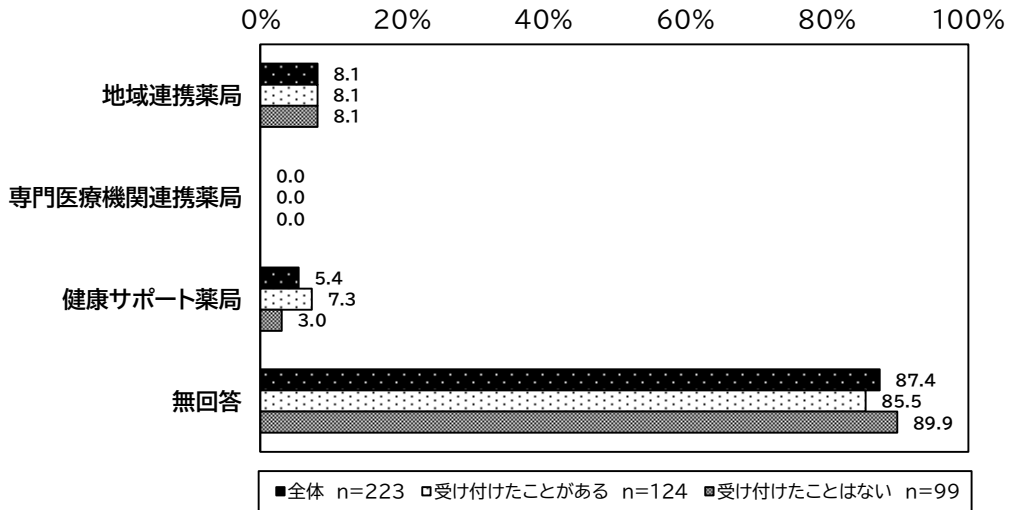
図表 3-33 管理薬剤師の薬剤師としての経験年数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



⑮ 薬局の認定等の状況

薬局の認定等の状況は「地域連携薬局」が最も多く 8.1%であった。

図表 3-34 薬局の認定等の状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

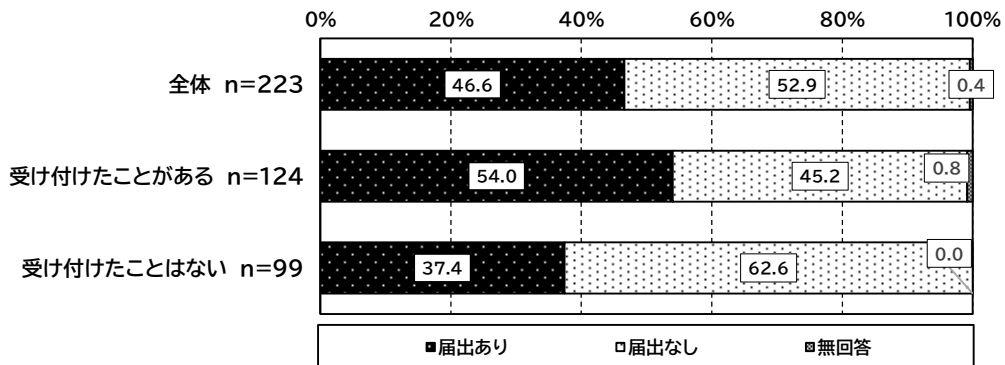


(2) 届出の状況

① かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の状況

かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出の状況は、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「届出あり」が 54.0%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では「届出あり」が 37.4%であった。

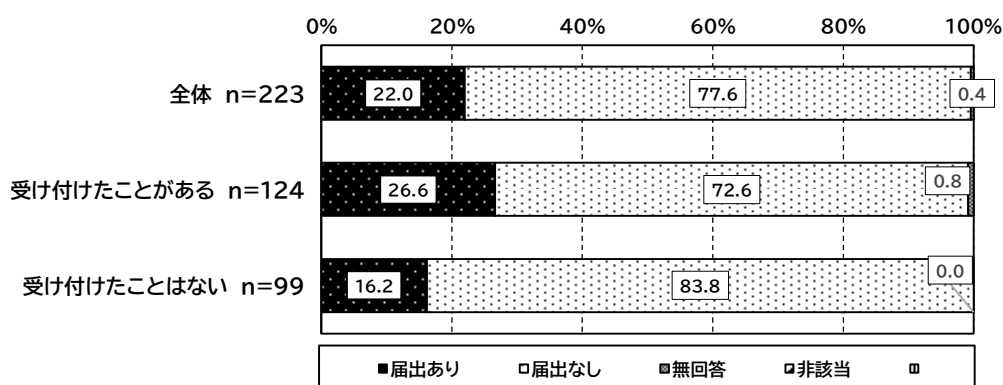
図表 3-35 かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出 (調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



② 地域支援体制加算の届出の状況

地域支援体制加算の届出の状況はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「届出あり」が26.6%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では「届出あり」が16.2%であった。

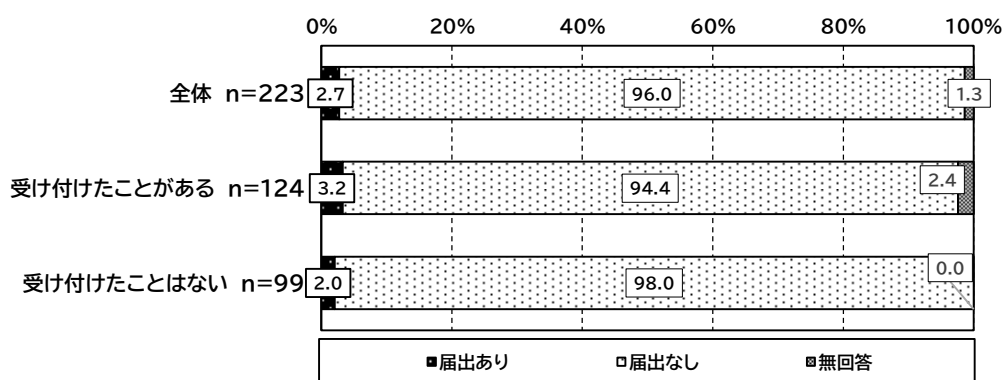
図表 3-36 地域支援体制加算の届出
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



③ 連携強化加算の届出の状況

連携強化加算の届出の状況はリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「届出あり」が3.2%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では「届出あり」が2.0%であった。

図表 3-37 連携強化加算の届出
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

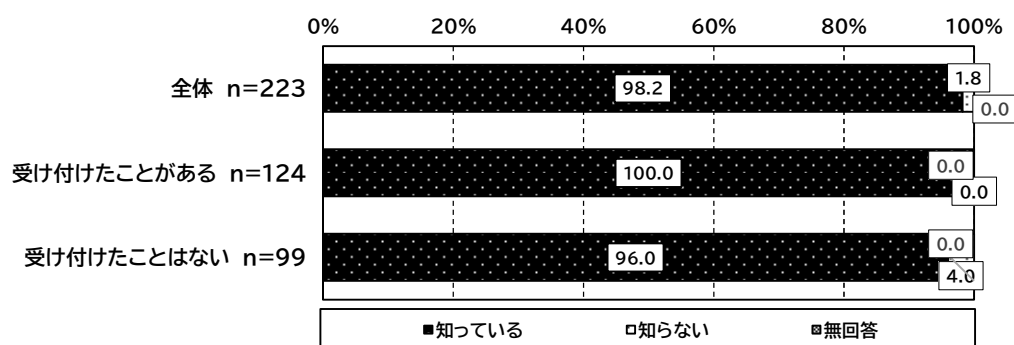


(3) リフィル処方箋の対応状況

① リフィル処方箋の仕組みについての認知状況

リフィル処方箋の仕組みについての認知状況は、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局で「知っている」が96.0%、「知らない」が4.0%であった。

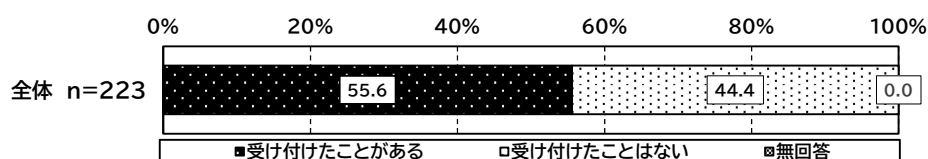
図表 3-38 リフィル処方箋の仕組みについての認知状況
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



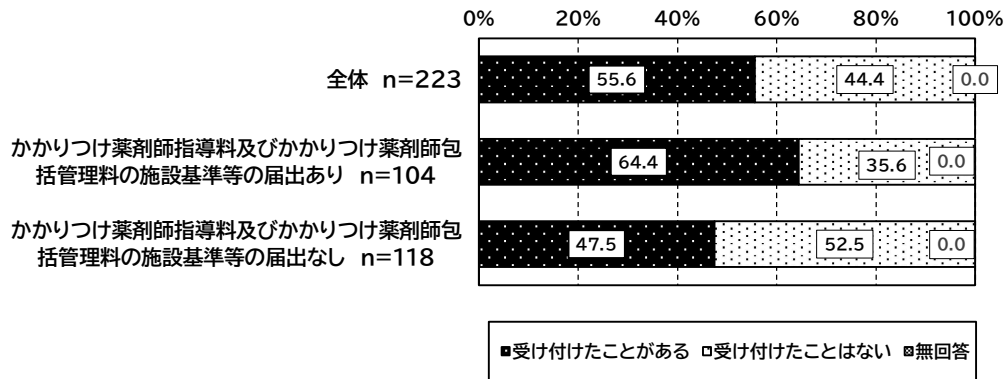
② リフィル処方箋の受付経験

リフィル処方箋の受付経験は、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準の届け出がある薬局では「受け付けたことがある」が64.4%、届け出がない薬局では「受け付けたことがある」が47.5%、であった。

図表 3-39 リフィル処方箋の受付経験



図表 3-40 リフィル処方箋の受付経験
 (かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の有無別)



③ 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数は平均で1.5箇所であった。

図表 3-41 受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数

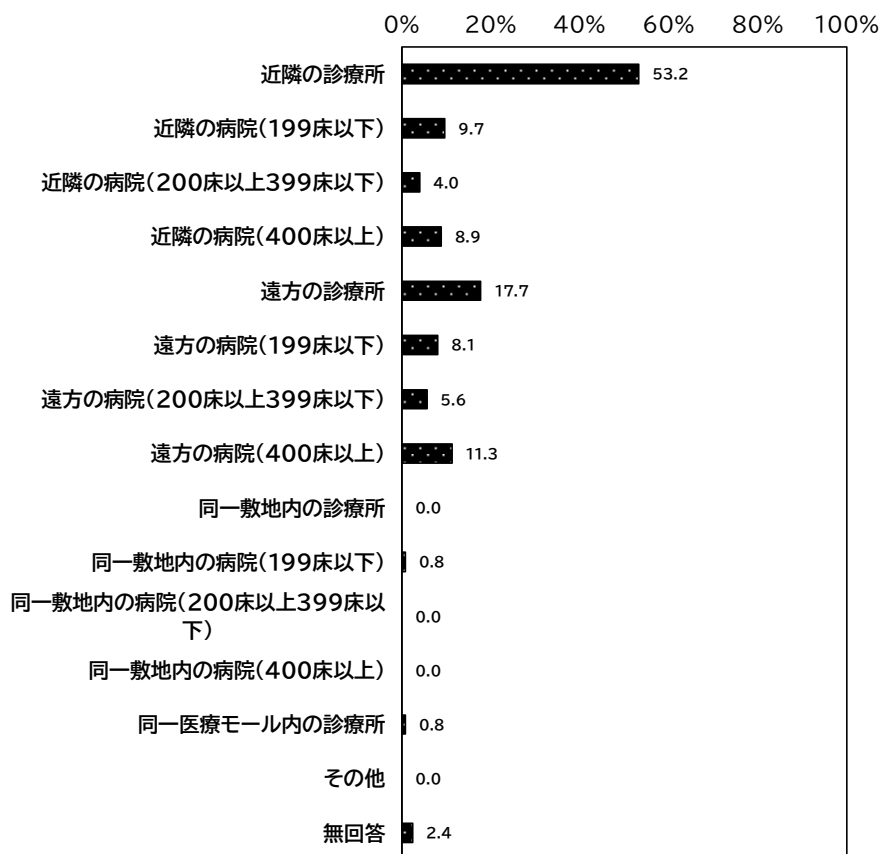
(単位：箇所)

	回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数	123	1.5	0.7	1.0

④ どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたかは、「近隣の診療所」が最も多く 53.2%であった。

図表 3-42 どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか



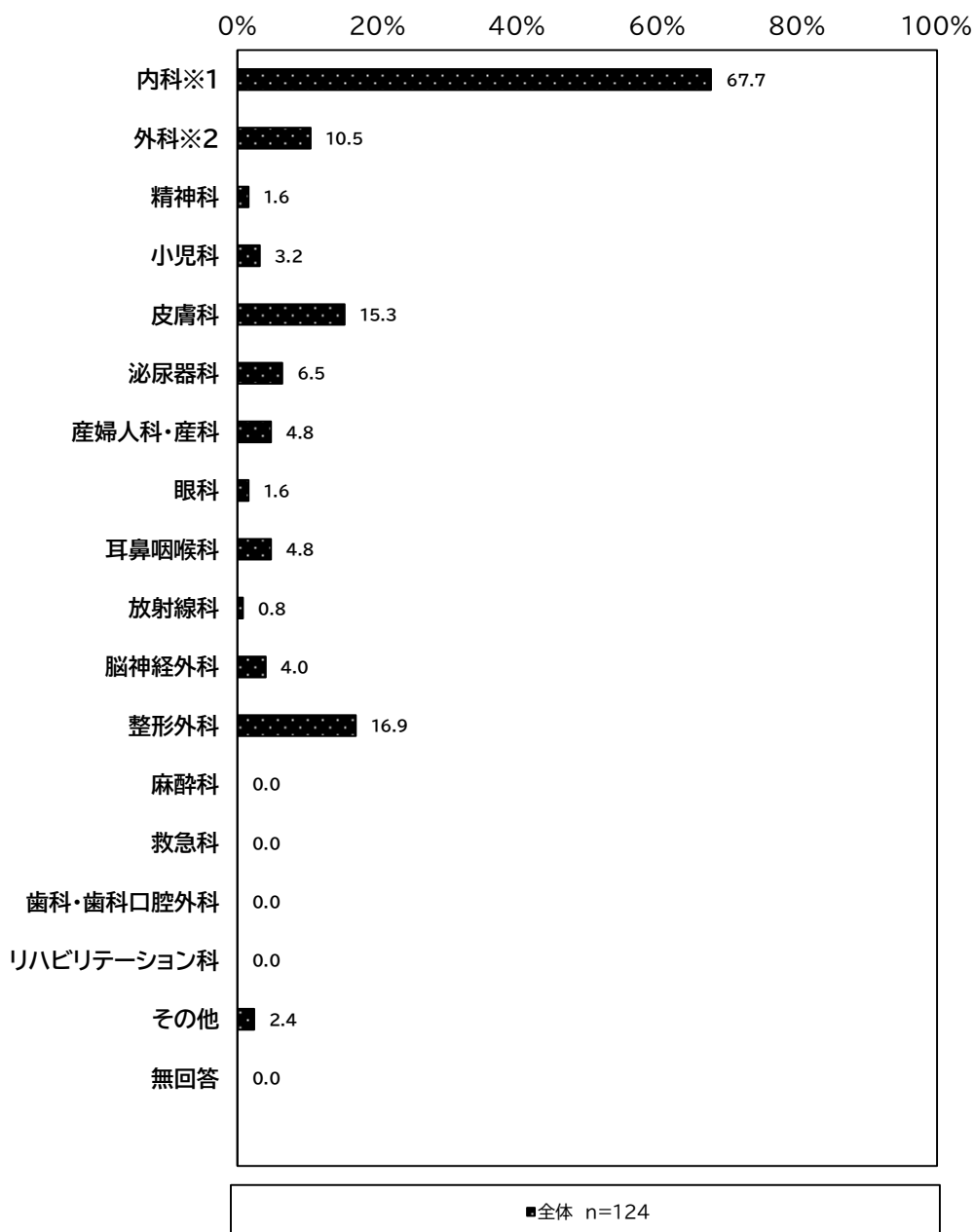
【その他の記載内容】

- ・自由回答無し

⑤ どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたかは、「内科」が最も多く 66.7%であった。次いで「整形外科」が 16.9%であった。

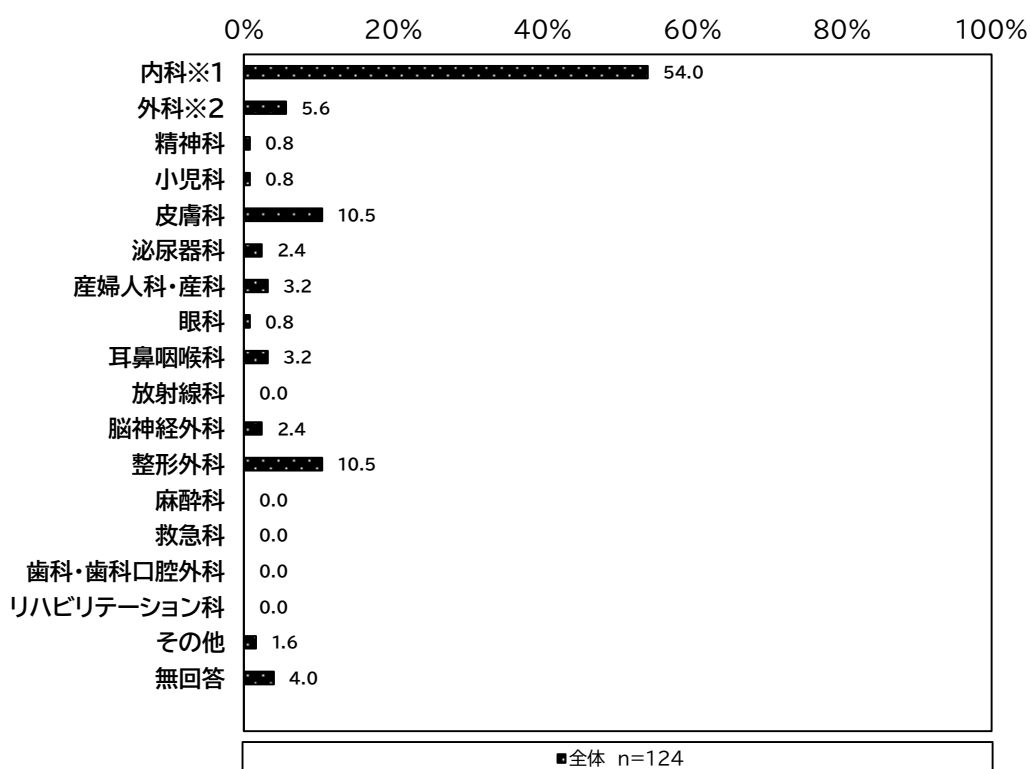
図表 3-43 どの診療科のリフィル処方箋を受け付けたか



⑤-1 リフィル処方箋を最も多く受け付けた診療科（リフィル処方箋の
受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋を最も多く受け付けた診療科は、「内科」が最も多く
54.0%であった。次いで「皮膚科」「整形外科」が10.5%であった。

図表 3-44 リフィル処方箋を最も多く受け付けた診療科（複数回答）



【その他の記載内容】

- ・ペインクリニック
- ・形成外科
- ・血管外科 等

⑥ 1か月ごとのリフィル処方箋の受付回数（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

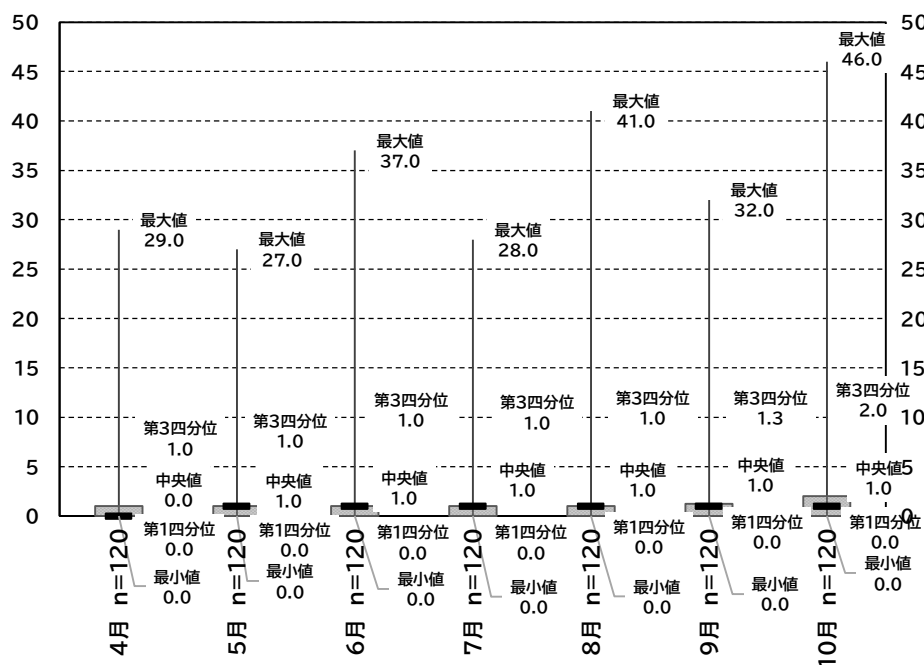
令和4年4月～10月の各月において、リフィル処方箋の受付回数（延べ数）は、直近の10月の平均値が1.5回で全処方箋に占める割合は平均0.14%であった。

図表 3-45 1か月ごとのリフィル処方箋の受付回数

(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	4月	120	0.9	2.8	0.0
	5月	120	1.0	2.7	1.0
	6月	120	1.1	3.4	1.0
	7月	120	1.2	3.2	1.0
	8月	120	1.5	4.1	1.0
	9月	120	1.4	3.4	1.0
	10月	120	1.5	4.5	1.0

図表 3-46 1か月ごとのリフィル処方箋の受付回数

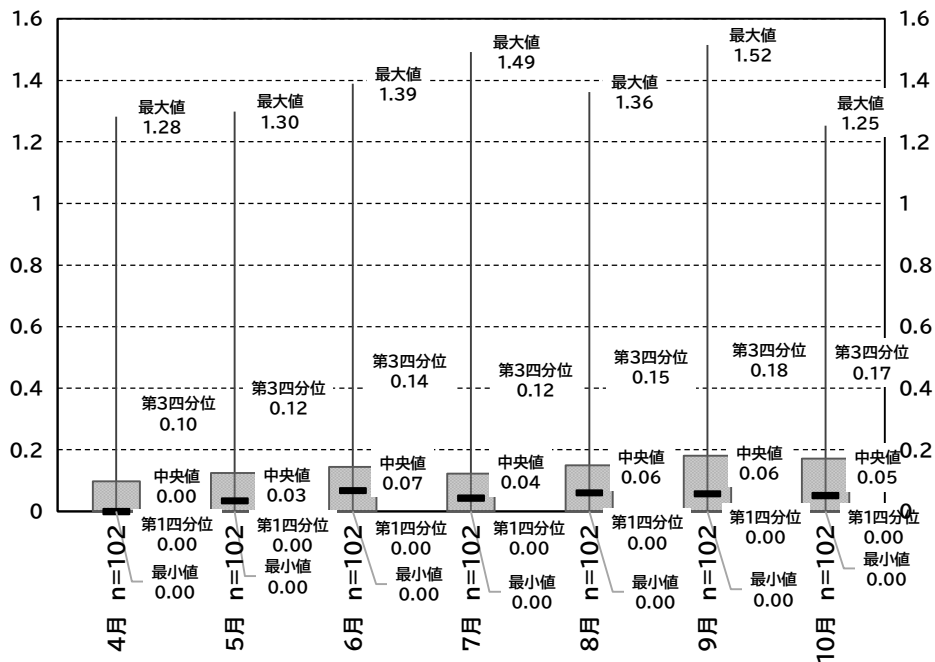


図表 3-47 1か月ごとのリフィル処方箋の受付回数
(全処方方に占める割合)

(単位：%)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	4月	102	0.10	0.21	0.00
	5月	102	0.12	0.23	0.03
	6月	102	0.13	0.22	0.07
	7月	102	0.13	0.26	0.04
	8月	102	0.14	0.27	0.06
	9月	102	0.15	0.28	0.06
	10月	102	0.14	0.24	0.05

図表 3-48 1か月ごとのリフィル処方箋の受付回数
(全処方方に占める割合)



⑦ リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

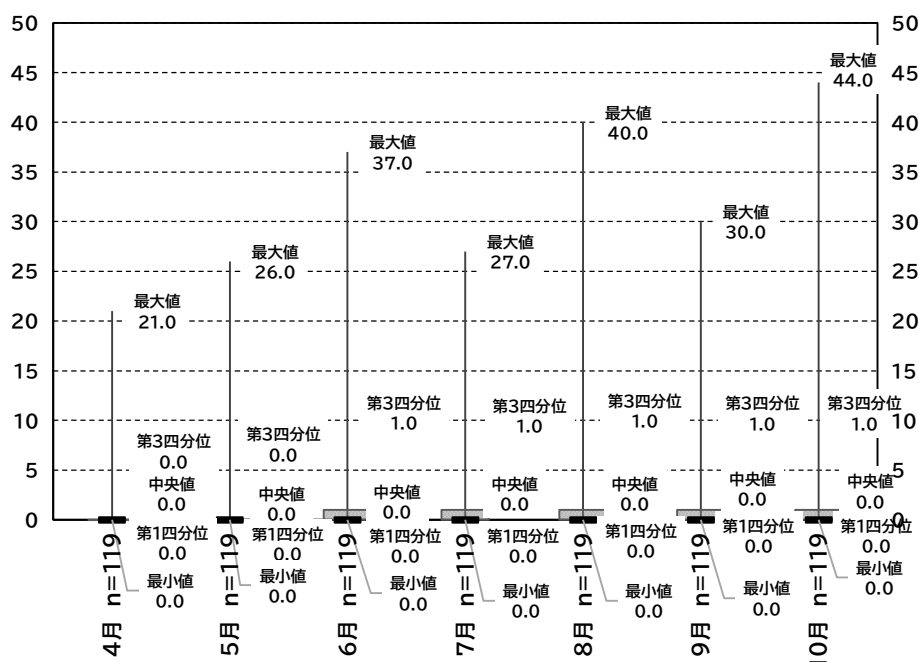
令和4年4月～10月の各月において、リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）は、直近の10月において平均で1.0枚であった。

図表 3-49 リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数
（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）

（単位：枚）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方 箋の受付実績 あり	4月	119	0.3	1.9	0.0
	5月	119	0.5	2.4	0.0
	6月	119	0.7	3.5	0.0
	7月	119	0.6	2.5	0.0
	8月	119	0.9	3.8	0.0
	9月	119	0.8	2.9	0.0
	10月	119	1.0	4.1	0.0

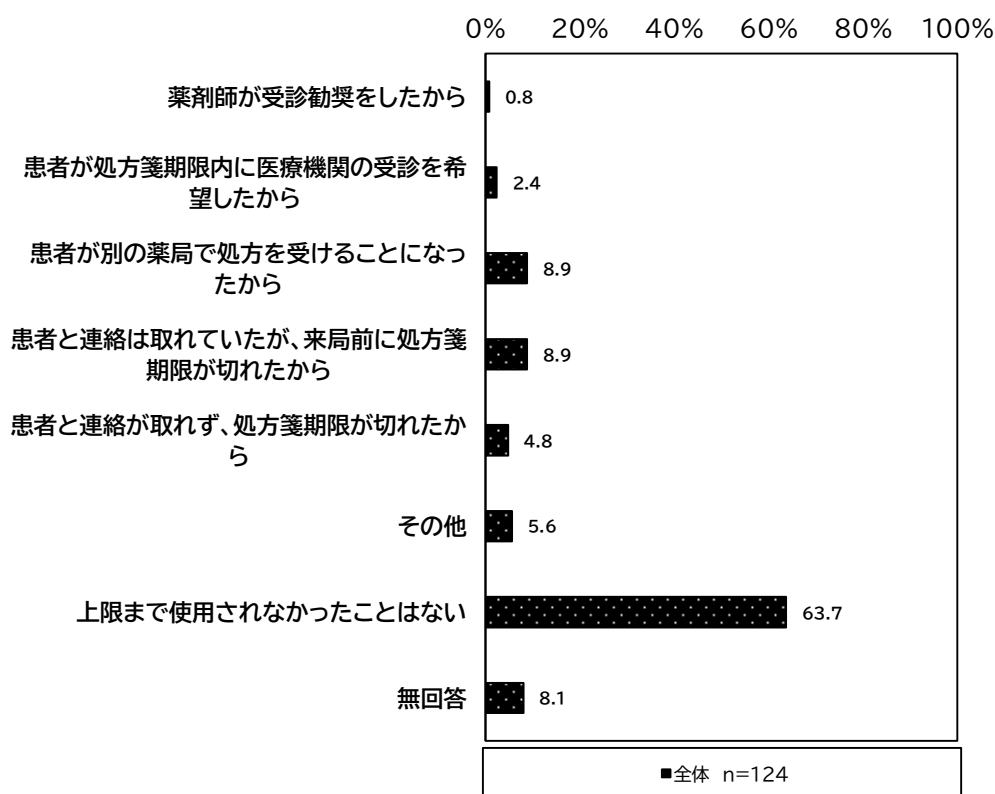
図表 3-50 リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数
（自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数）



⑧ リフィルの上限まで使用されなかった理由（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋がリフィルの上限まで使用されなかった理由は、「患者が別の薬局で処方を受けることになったから」「患者とは連絡が取れていたが、来局前に処方箋期限が切れたから」が最も多く 8.9%であった。

図表 3-51 リフィルの上限まで使用されなかった理由（複数回答）



【その他の記載内容】

- ・患者の紛失
- ・患者の状況の変化（入院した、回復して継続不要になった等） 等

⑧-1 薬剤師が受診勧奨をした回数（リフィルの上限まで使用されなかった理由として「薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した薬局のみ回答）

薬剤師が受診勧奨をした回数は、以下のとおりであった。

図表 3-52 薬剤師が受診勧奨をした回数

(単位：回)

	回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
薬剤師が受診勧奨をした回数	1	1.0	0.0	1.0

⑧-2 薬剤師が受診勧奨をした理由（リフィルの上限まで使用されなかった理由として「薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した薬局のみ回答）

薬剤師が受診勧奨をした理由は、以下のとおりであった。

図表 3-53 薬剤師が受診勧奨をした理由（複数回答）

カテゴリー名	回答施設数	%
副作用が疑われたから	0	0.0
患者の症状の変化に気付いたから	1	100.0
服薬状況に注意すべき点があったから	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	1	100.0

【その他の記載内容】

- ・自由回答無し

⑧-3 薬剤師が受診勧奨の際に行ったこと（リフィルの上限まで使用されなかった理由として「薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した薬局のみ回答）
 薬剤師が受診勧奨の際に行ったことは、以下のとおりであった。

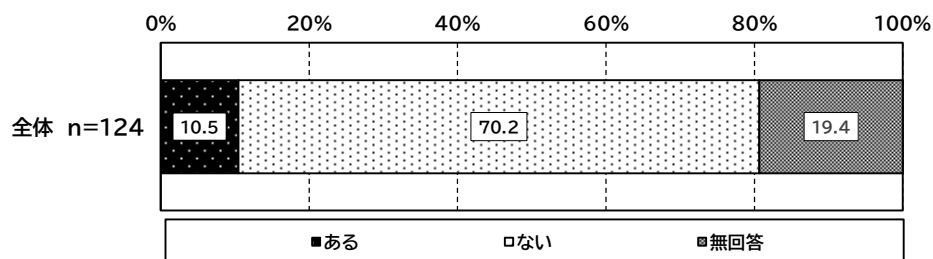
図表 3-54 薬剤師が受診勧奨の際に行ったこと（複数回答）

カテゴリー名	回答施設数	%
医師への情報提供	1	100.0
患者への指導	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	1	100.0

⑨ リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験は、「ある」が10.5%、「ない」が70.2%であった。

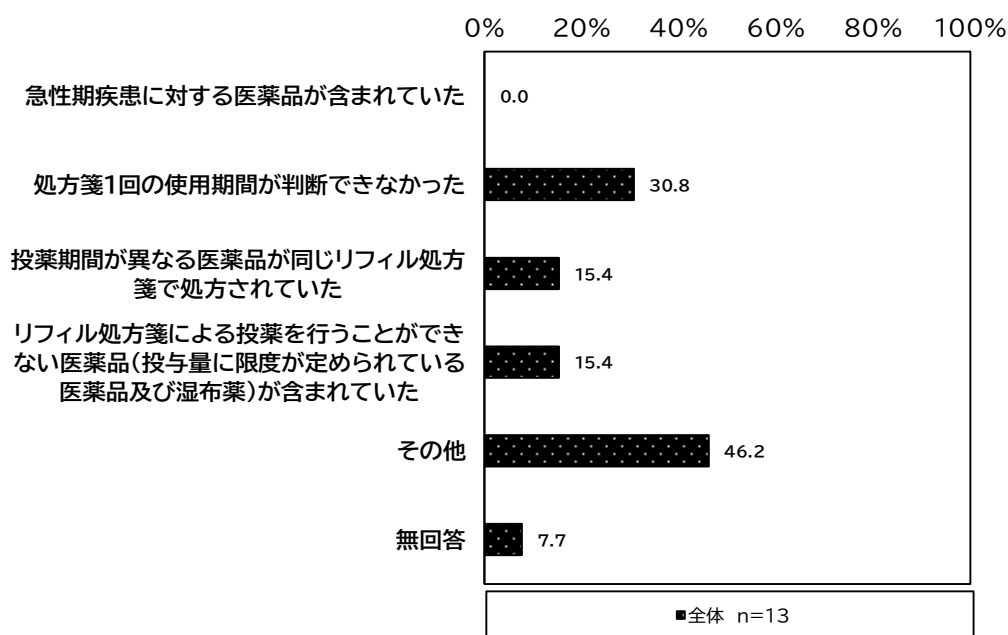
図表 3-55 リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験



⑩ リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容（リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容は、「処方箋1回の使用期間が判断できなかった」が最も多く30.8%であった。

図表 3-56 リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容（複数回答）

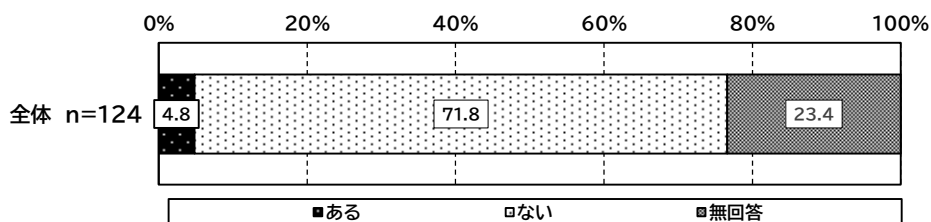


【その他の記載内容】

- ・患者の紛失
- ・回数や日数の確認
- ・次回の来局日時が不明
- ・処方日数上限や90日処方をめぐる疑問、ないし患者からのクレーム 等

- ⑩ リフィル処方箋の患者フォローアップ（来局時除く）で受診勧奨をした経験
 リフィル処方箋の患者フォローアップ（来局時除く）で受診勧奨をした経験は、「ある」が4.8%、「ない」が71.8%であった。

図表 3-57 リフィル処方箋の患者フォローアップ（来局時除く）で受診勧奨をした経験



- ⑩-1 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談（リフィル処方箋の患者フォローアップ（来局時除く）で受診勧奨をした経験が「ある」薬局のみ回答）

受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談については、以下のとおりであった。

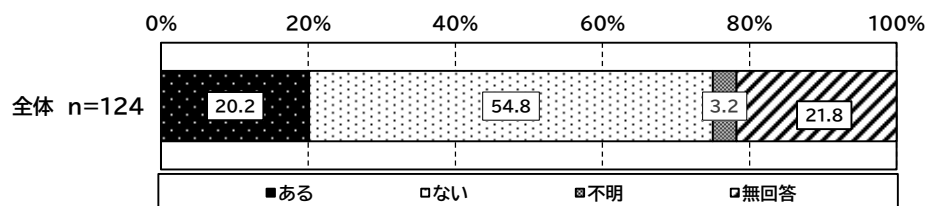
図表 3-58 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談

カテゴリー名	回答施設数	%
受診勧奨後に処方医に患者の情報を報告した	6	100.0
事前に処方医へ相談した	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	6	100.0

⑫ 1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験

1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験は、「ある」が20.2%、「ない」が54.8%、「不明」が3.2%であった。

図表 3-59 1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験



⑫-1 リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳（1枚のリフィル処方箋の処方途中で薬局が変わった経験が「ある」薬局のみ回答）

【自薬局から他薬局へ】

リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合のうち、自薬局から他薬局へ変えた場合の処方箋枚数については、以下のとおりであった。

図表 3-60 【自薬局から他薬局へ】リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳

(単位：枚)

			回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
自薬局から他薬局へ	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	24	0.4	1.4	0.0
		3回目から他薬局	24	0.1	0.3	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	24	0.4	1.4	0.0

【他薬局から自薬局へ】

リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合のうち、他薬局から自薬局へ変えた場合の処方箋枚数については、以下のとおりであった。

図表 3-61 【他薬局から自薬局へ】リフィル処方途中で患者が薬局を変えた場合の内訳

(単位：枚)

			回答施設数	平均値	標準偏差	中央値
他薬局から自薬局へ	上限3回の処方箋	2回目から他薬局	24	0.0	0.2	0.0
		3回目から他薬局	24	0.2	0.4	0.0
	上限2回の処方箋	2回目から他薬局	24	0.2	0.4	0.0

⑫-2 他薬局へ情報提供を行った方法（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した薬局のみ回答）

他薬局へ情報提供を行った方法は、以下のとおりであった。

図表 3-62 他薬局へ情報提供を行った方法（複数回答）

カテゴリー名	回答施設数	%
他の保険薬局に文書を送付した	1	11.1
情報を記録したものを患者に提供した	1	11.1
お薬手帳に記載した	1	11.1
他の保険薬局に電話をした	0	0.0
他の保険薬局にメール・FAXを送付した	0	0.0
地域医療情報連携ネットワーク※を利用した	0	0.0
その他	2	22.2
無回答	5	55.6
全体	9	100.0

【その他の記載内容】

- ・処方箋の備考欄に医師が病名を記載 等

⑫-3 情報提供した内容（「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した薬局のみ回答）

他薬局へ情報提供した内容は、以下のとおりであった。

図表 3-63 他薬局へ情報提供した内容（複数回答）

カテゴリー名	回答施設数	%
患者の服用薬	2	22.2
患者の服薬状況	0	0.0
患者に対する服薬指導の要点	1	11.1
患者の状態	0	0.0
残薬	0	0.0
調剤上の工夫	0	0.0
その他	2	22.2
無回答	5	55.6
全体	9	100.0

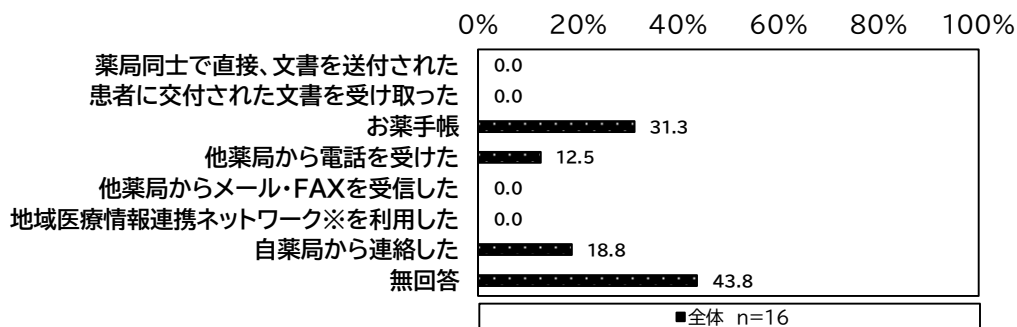
【その他の記載内容】

- ・何もしていない 等

⑫-4 他薬局から情報提供を受けた方法（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した薬局のみ回答）

他薬局から情報提供を受けた方法は、「お薬手帳」が最も多く31.3%であった。

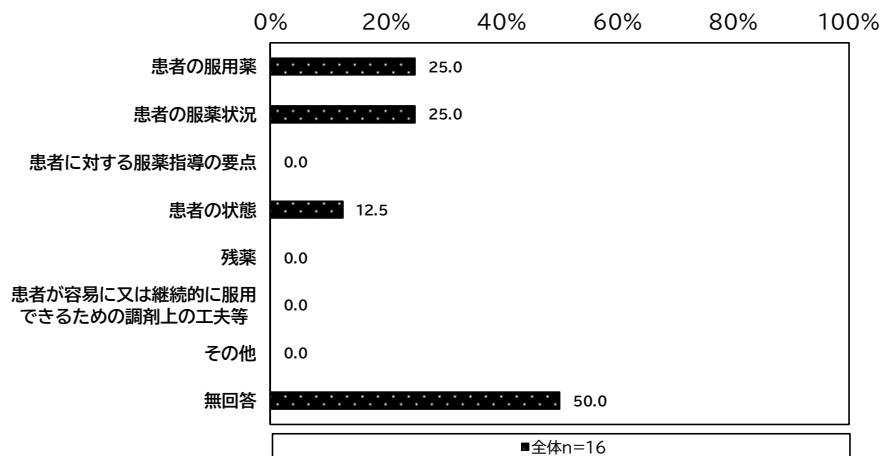
図表 3-64 他薬局から情報提供を受けた方法（複数回答）



⑫-5 情報提供を受けた内容（「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した薬局のみ回答）

他薬局から情報提供を受けた内容は、「患者の服用薬」「患者の服用状況」が最も多く25.0%であった。

図表 3-65 他薬局から情報提供を受けた内容（複数回答）



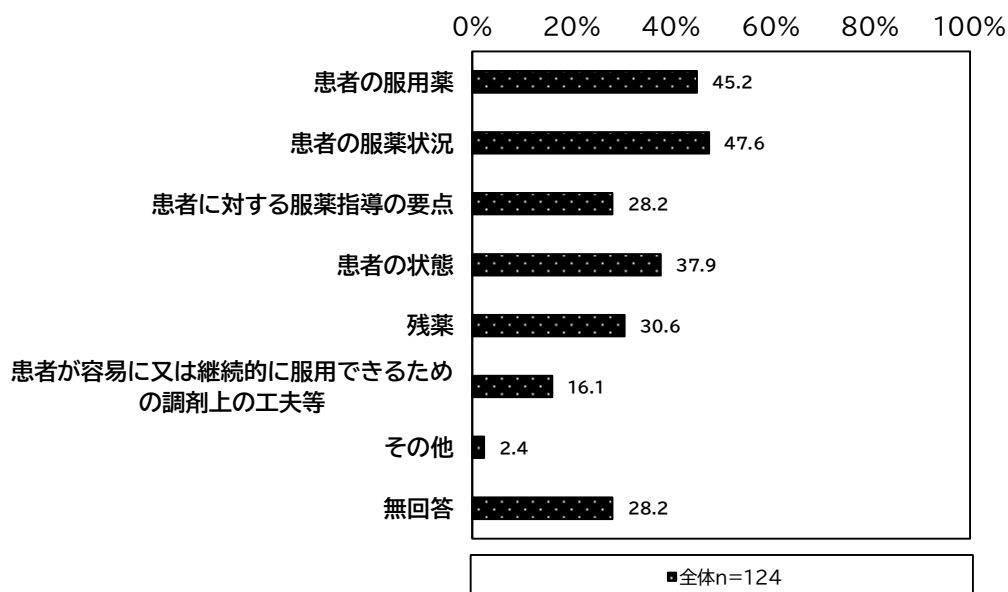
【その他の記載内容】

- ・自由回答無し

⑬ リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際に提供してほしい情報は、「患者の服用状況」が最も多く47.6%、次いで「患者の服用薬」が45.2%であった。

図表 3-66 リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際に提供してほしい情報



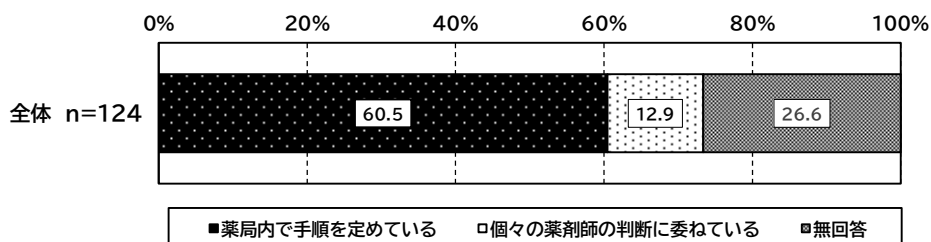
【その他の記載内容】

- ・リフィル処方箋を主治医が発行した理由
- ・一包化の有無など投薬時の形状 等

⑭ リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況は、「薬局内で手順を定めている」が60.5%、「個々の薬剤師の判断に委ねている」が12.9%であった。

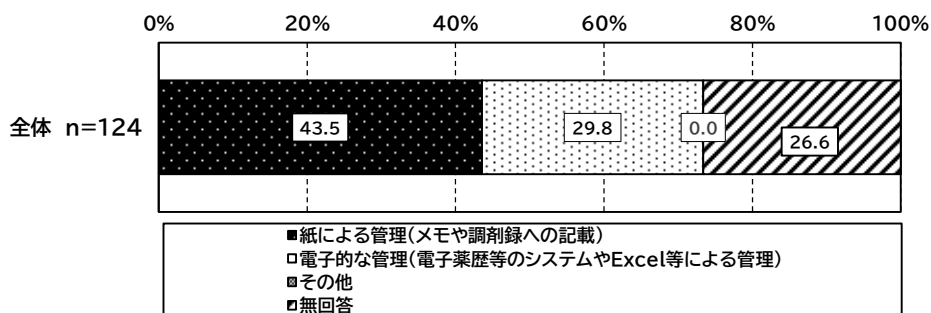
図表 3-67 リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況



⑮ リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法は、「紙による管理（メモや調剤録への記載）」が43.5%、「電子的な管理（電子薬歴等のシステムやExcel等による管理）」が29.8%、「その他」が0%であった。

図表 3-68 リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法



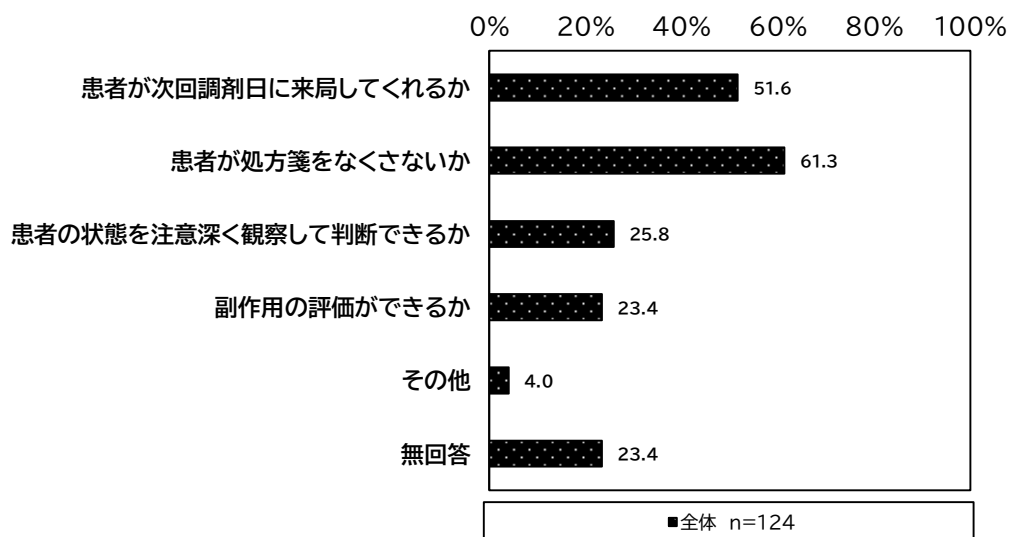
【その他の記載内容】

- ・自由回答無し

⑯ 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること（リフィル処方箋の受付経験がある薬局のみ回答）

薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずることについては、「患者が処方箋をなくさないか」が最も多く61.3%、次いで「患者が次回調剤日に来局してくれるか」が51.6%であった。

図表 3-69 薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること
(複数回答)



【その他の記載内容】

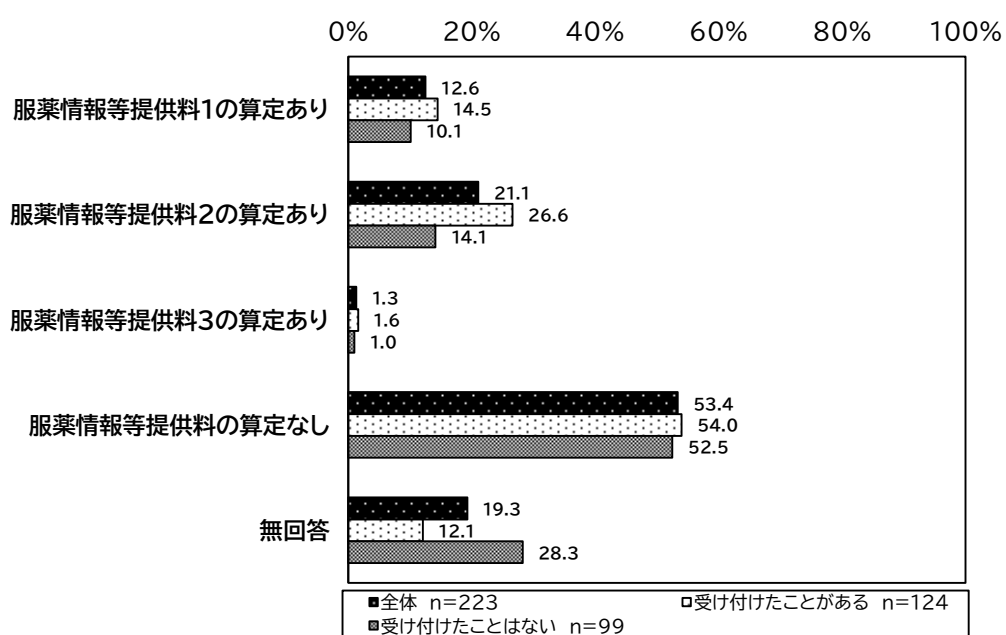
- ・ 電子処方箋のリフィルでの運用
- ・ 患者が紛失した場合の自己負担について理解しているか 等

(4) 医療機関等との連携

① 服薬情報等提供料の算定の有無

服薬情報等提供料の算定有無については「服薬情報等提供料1の算定あり」が12.6%、「服薬情報等提供料2の算定あり」が21.1%、「服薬情報等提供料3の算定あり」が1.3%、「服薬情報等提供料の算定なし」が53.4%であった。

図表 3-70 服薬情報等提供料の算定の有無（複数回答）
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）



①-1-1 服薬情報等提供料1の算定回数（①で「服薬情報等提供料1」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料1の算定回数についてはリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均174.4回、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均11.2回であった。

図表 3-71 服薬情報等提供料1の算定回数
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

（単位：回）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料1の算定回数	18	174.4	556.4	4.5
リフィル処方箋の受付実績なし	服薬情報等提供料1の算定回数	9	11.2	15.6	4.0

①-1-2 服薬情報等提供料1の算定回数のうちリフィル処方箋の回数（①で「服薬情報等提供料1」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料1の算定回数のうちリフィル処方箋の回数についてはリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均1.8回であった。

図表 3-72 服薬情報等提供料1の算定回数のうちリフィル処方箋の回数
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

（単位：回）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料1の算定回数のうちリフィル処方箋の回数	18	1.8	5.2	0.0

①-2-1 服薬情報等提供料2の算定回数（①で「服薬情報等提供料2」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料2の算定回数についてはリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均14.3回、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均14.8回であった。

図表 3-73 服薬情報等提供料2の算定回数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料2の算定回数	32	14.3	19.7	6.5
リフィル処方箋の受付実績なし	服薬情報等提供料2の算定回数	13	14.8	13.4	7.0

①-2-2 服薬情報等提供料2の算定回数のうちリフィル処方箋の回数（①で「服薬情報等提供料2」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料2の算定回数のうちリフィル処方箋の回数についてはリフィル処方箋の受付実績ありの薬局では平均0.1回であった。

図表 3-74 服薬情報等提供料2の算定回数のうちリフィル処方箋の回数
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)

(単位：回)

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料2の算定回数のうちリフィル処方箋の回数	32	0.1	0.2	0.0

①-3-1 服薬情報等提供料3の算定回数（①で「服薬情報等提供料3」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料3の算定回数については以下のとおりであった。

図表 3-75 服薬情報等提供料3の算定回数
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

（単位：年）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料3の算定回数	2	1.0	0.8	1.0
リフィル処方箋の受付実績なし	服薬情報等提供料3の算定回数	1	1.0	0.8	1.0

①-3-2 服薬情報等提供料3の算定回数のうちリフィル処方箋の回数（①で「服薬情報等提供料3」と回答した薬局のみが回答）

服薬情報等提供料3の算定回数のうちリフィル処方箋の回数については以下のとおりであった。

図表 3-76 服薬情報等提供料3の算定回数のうちリフィル処方箋の回数
（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）

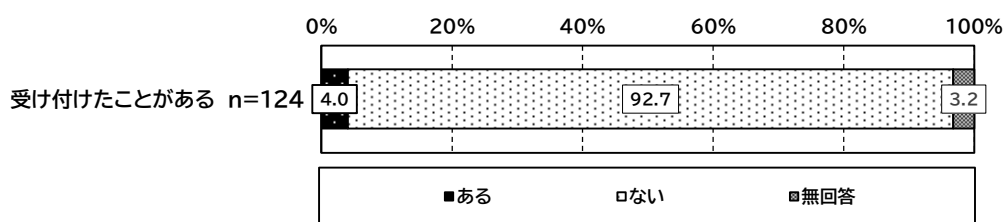
（単位：年）

		回答 施設数	平均値	標準 偏差	中央値
リフィル処方箋の受付実績あり	服薬情報等提供料3の算定回数のうちリフィル処方箋の回数	2	0.0	0.0	0.0
リフィル処方箋の受付実績なし	服薬情報等提供料3の算定回数のうちリフィル処方箋の回数	1	0.0	0.0	0.0

② リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験

リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験については「ある」が4.0%、「ない」が92.7%であった。

図表 3-77 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）を提供した経験（調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別）



②-1 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容（②で服薬指導提供書の提供経験が「ある」と回答した薬局のみが回答）

リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容については、以下のとおりであった。

図表 3-78 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容（複数回答）

カテゴリー名	回答施設数	%
他の医療機関から処方された薬の情報	5	100.0
患者の服用薬	5	100.0
患者の服薬状況	5	100.0
患者に対する服薬指導の要点	2	40.0
患者の状態	4	80.0
患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等	0	0.0
その他	1	20.0
無回答	0	0.0
全体	5	100.0

図表 3-79 リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書（トレーシングレポート）で提供した情報の内容＜最も多いもの＞

カテゴリー名	回答施設数	%
他の医療機関から処方された薬の情報	1	20.0
患者の服用薬	1	20.0
患者の服薬状況	1	20.0
患者に対する服薬指導の要点	1	20.0
患者の状態	1	20.0
患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	5	100.0

【その他の記載内容】

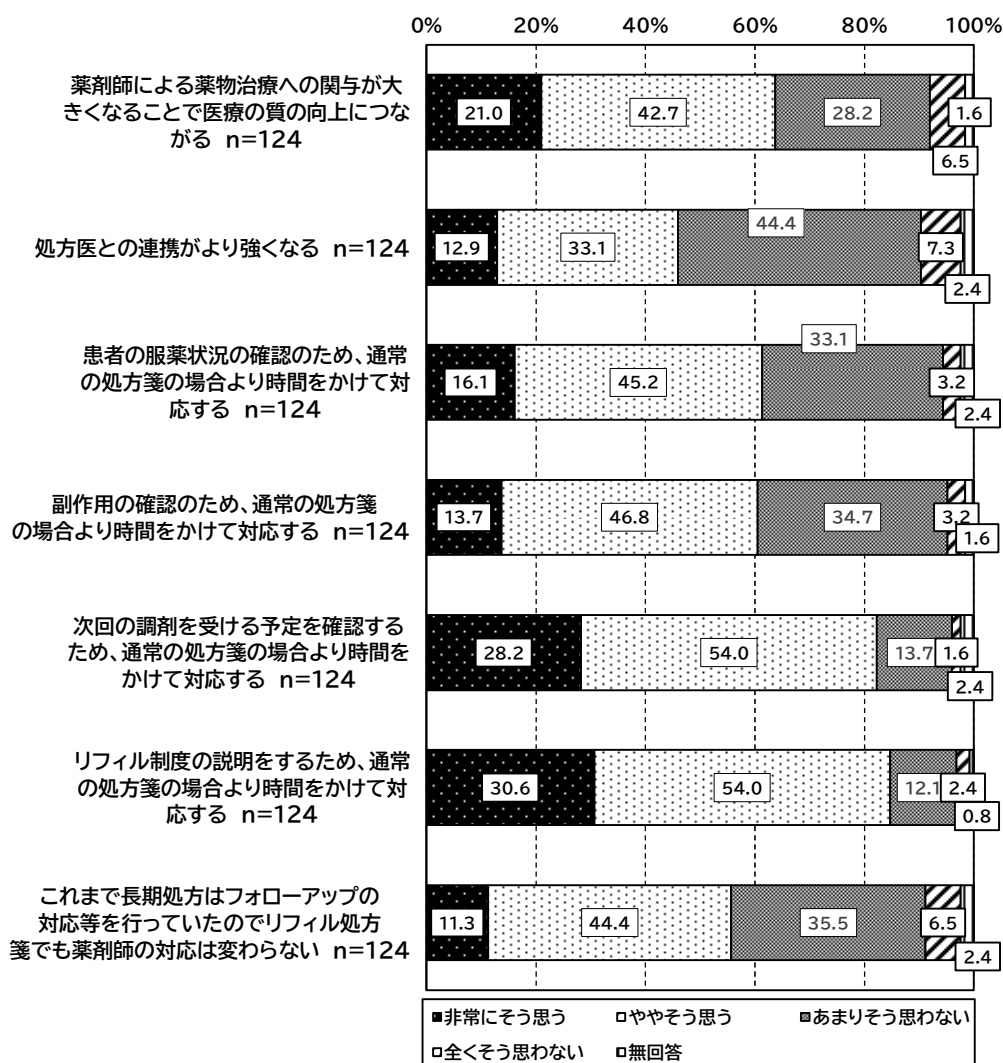
- ・副作用の可能性の訴え 等

(5) リフィル処方箋に関する薬局・薬剤師への影響等

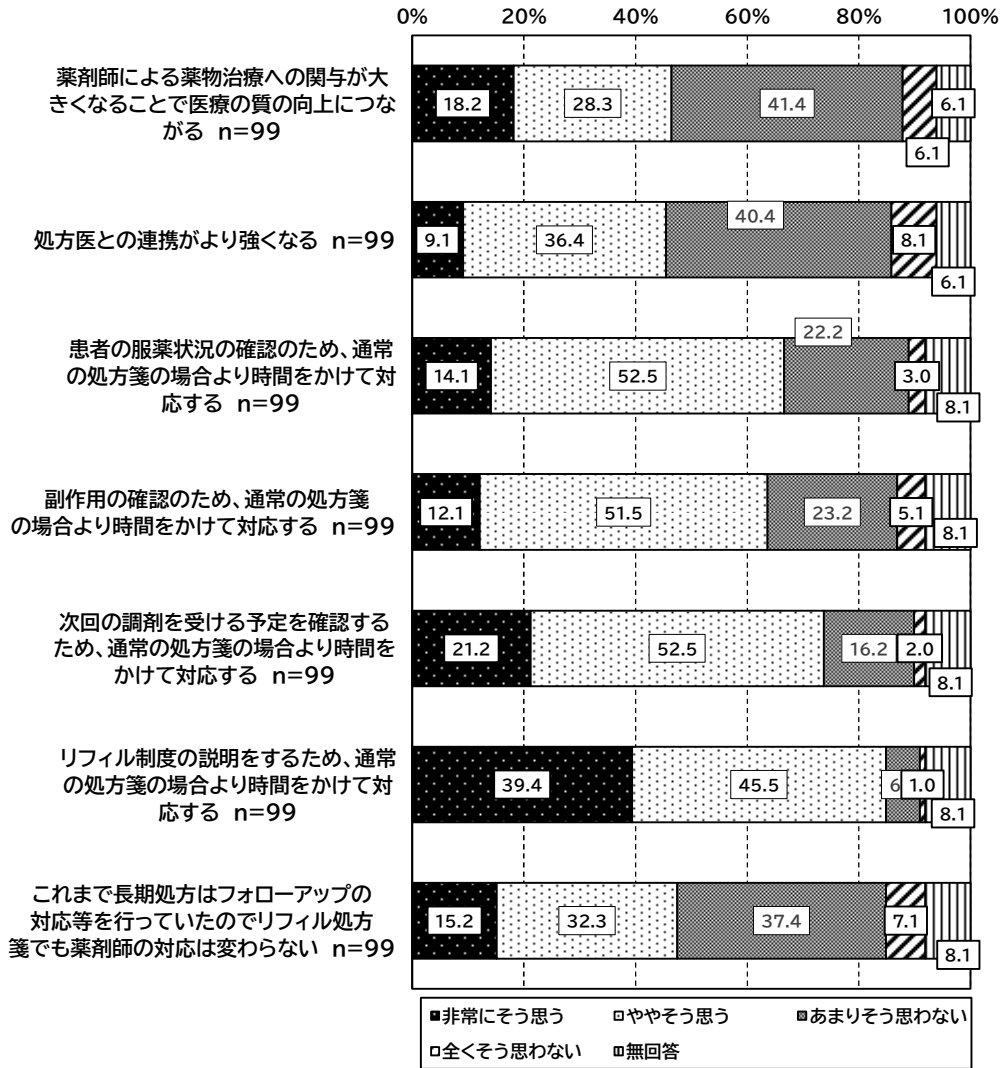
① リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響

リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響について、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「非常にそう思う」が最も多かったのは「リフィル制度の説明をするため、通常の処方箋の場合より時間をかけて対応する」であった。

図表 3-80 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績あり)



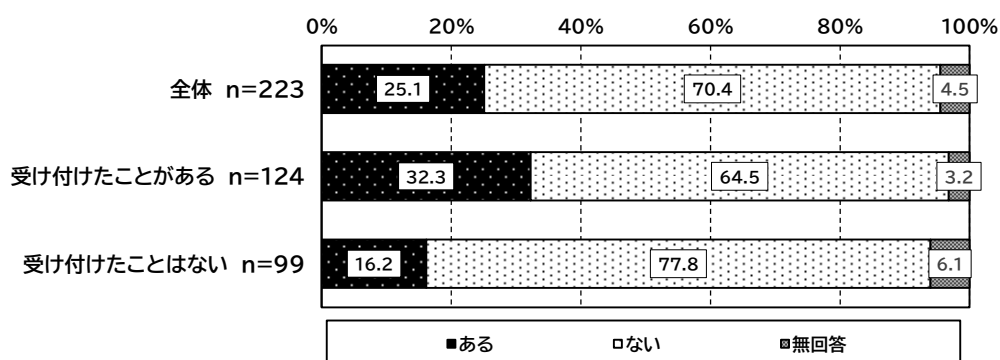
図表 3-81 リフィル処方箋導入による薬局・薬剤師業務等への影響
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績なし)



② 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験について、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「ある」は32.3%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局では「あり」が16.2%であった。

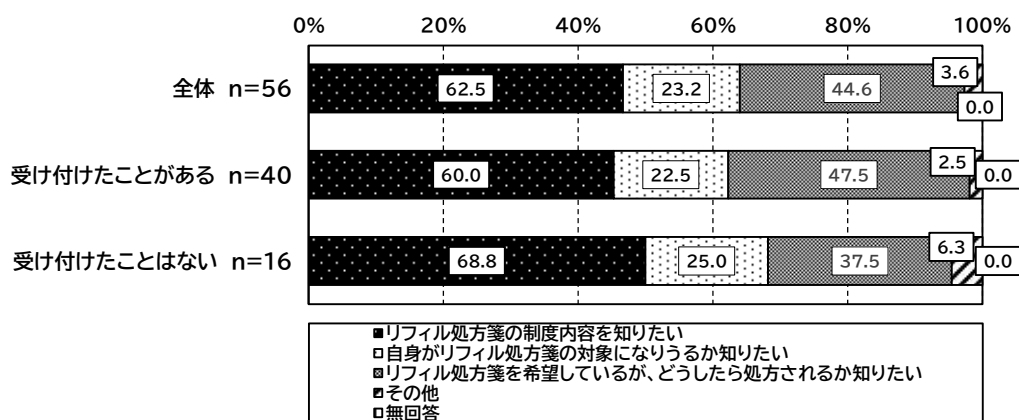
図表 3-82 患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



②-1 受けた相談の内容 (患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験が「ある」と回答した薬局のみ回答)

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた内容について、リフィル処方箋の受付実績ありの薬局では「リフィル処方箋の制度内容を知りたい」が最も多く60.0%、リフィル処方箋の受付実績なしの薬局でも同項目が最も多く68.8%であった。

図表 3-83 受けた相談の内容
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



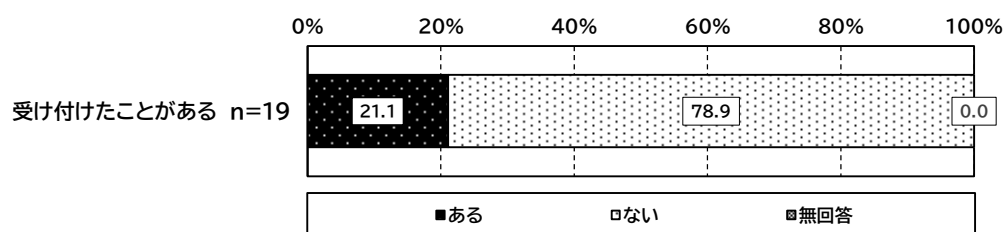
【その他の記載内容】

- ・処方箋を無くしたらどうなるか
- ・近所でリフィル処方箋を発行してくれる医療機関はどこか 等

②-2 患者の希望を処方医に連絡した経験（受けた相談内容について「リフィル処方箋を希望しているが、どうしたら処方されるか知りたい」と回答した薬局のみ回答）

患者の希望を処方医に連絡した経験について、「ある」は21.1%、「ない」が78.9%であった。

図表 3-84 患者の希望を処方医に連絡した経験
(調査票におけるリフィル処方箋の受付に係る回答実績有無別)



4. 患者調査（郵送調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票

調査対象：保険薬局調査の対象施設の調査日に来局した患者、並びに、病院・診療所調査の対象施設の調査日に外来した患者を調査対象とした。1施設につき2名を本調査の対象とし、調査客体数は最大で5,000（500×2+1000×2+1000×2=5000人）とした。

回 答 数：643人

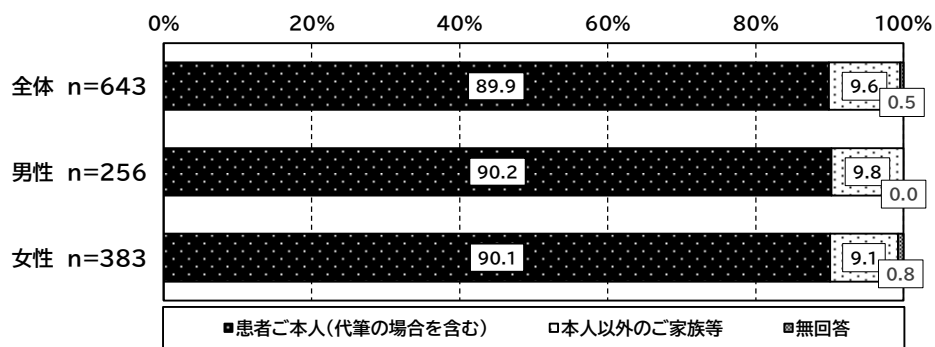
回 答 者：患者

(1) この調査票の記入者

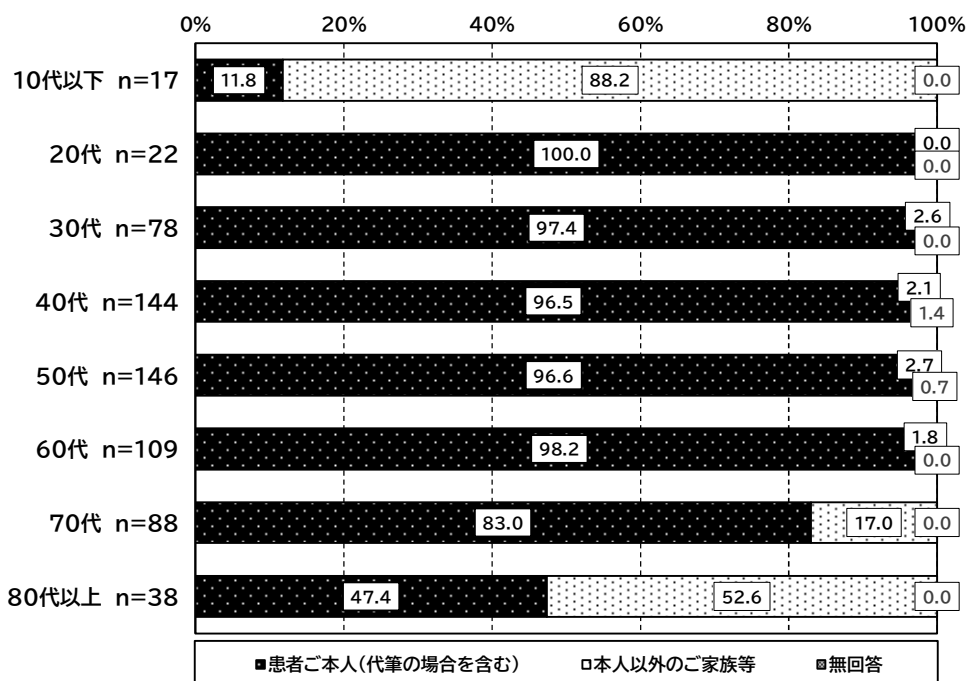
① 調査票の記入者は患者本人か

調査票の記入者は患者本人かについては「患者ご本人」が89.9%、「本人以外のご家族等」が9.6%であった。

図表 4-1 調査票の記入者
(性別)



図表 4-2 調査票の記入者
(年代別)



【本人以外のご家族等の記載内容】

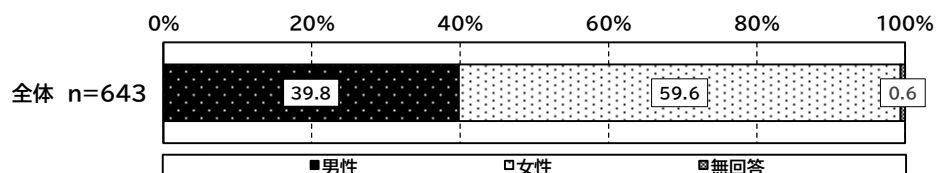
- ・ 子供
- ・ 親 等

(2) 患者ご自身のことについて

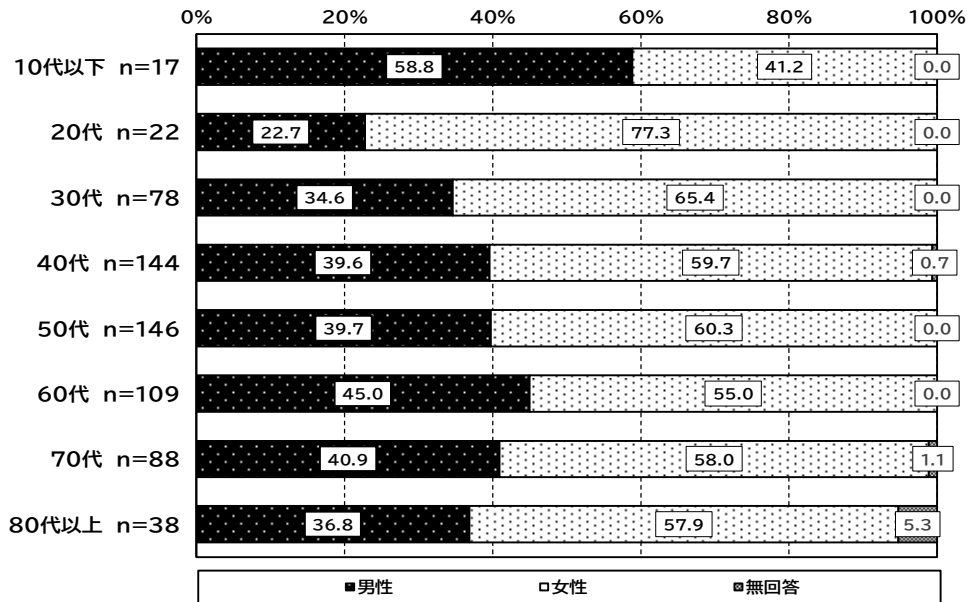
① 性別

性別については「男性」が 39.8%、「女性」が 59.6%であった。

図表 4-3 性別



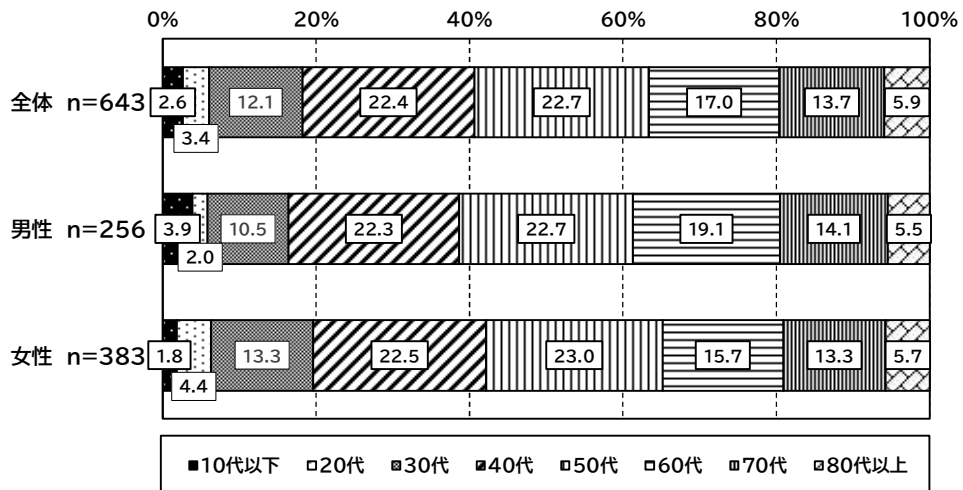
図表 4-4 性別
(年代別)



② 年齢

年齢については「50代」が最も多く22.7%、次いで「40代」が22.4%であった。

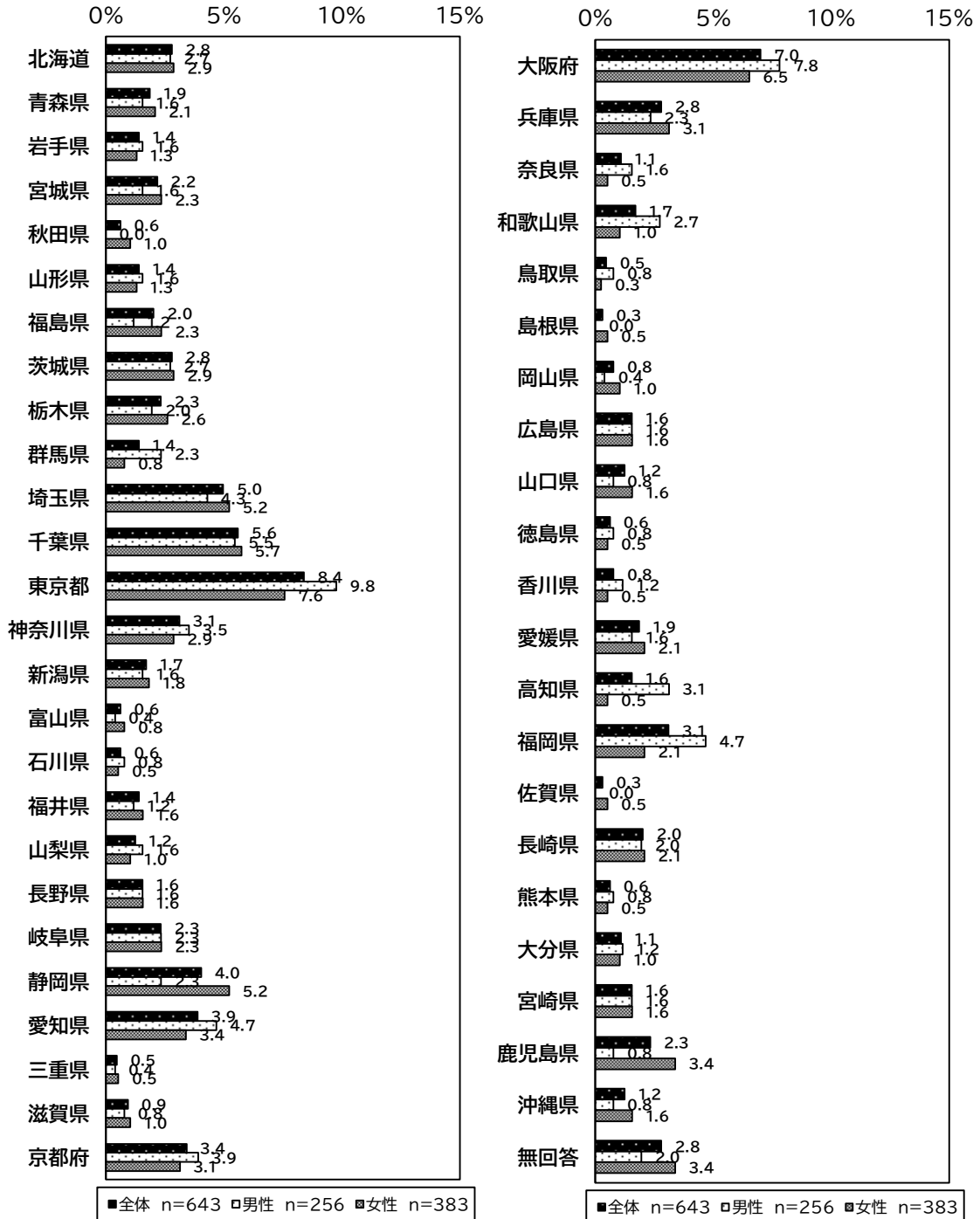
図表 4-5 年齢



③ お住まい

お住まいについては「東京都」が最も多く8.4%であった。

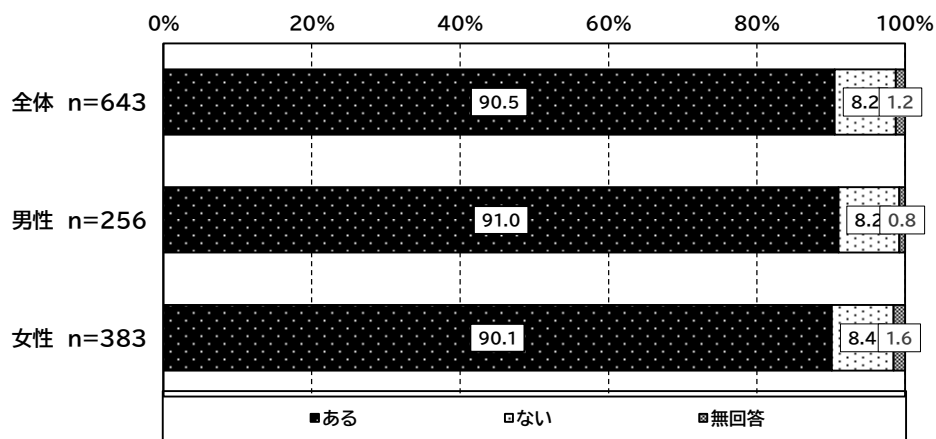
図表 4-6 お住まい
(性別)



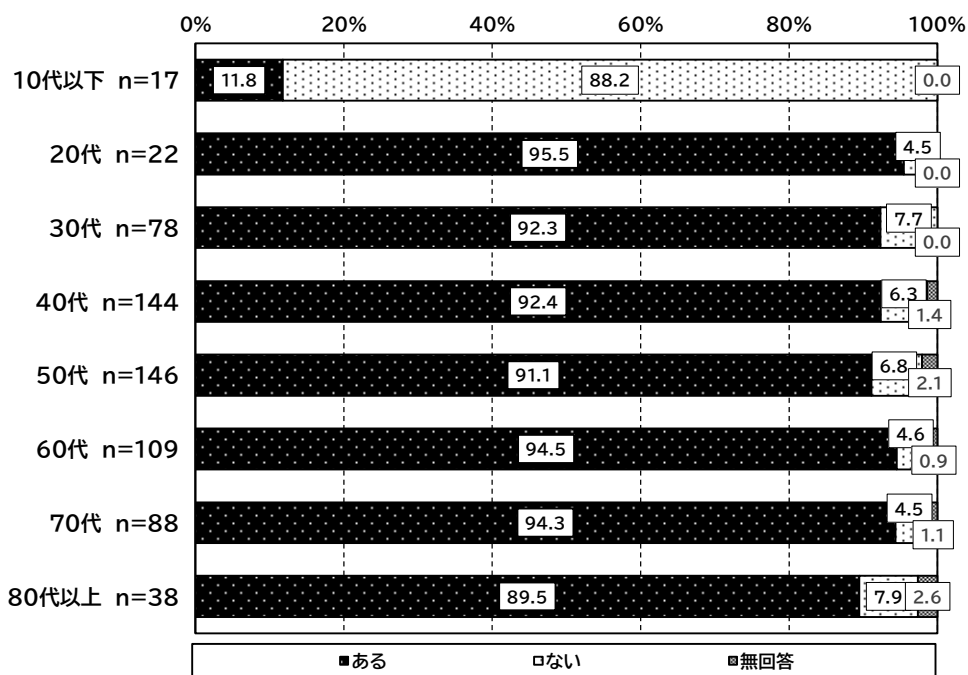
④ 薬局の窓口で支払うお金の有無

薬局の窓口で支払うお金（お薬の容器代は含まない）については、「ある」が90.5%、「ない」が8.2%であった。

図表 4-7 薬局の窓口で支払うお金の有無
(性別)



図表 4-8 薬局の窓口で支払うお金の有無
(年代別)



(3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について

① 定期的に受診している医療機関について

【医療機関数】

定期的（180日間で複数回）に受診している医療機関（病院・診療所）の数については平均で1.4件であった。

図表 4-9 定期的に受診している医療機関の数

(単位：件)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
医療機関の数	640	1.4	0.9	1.0

図表 4-10 定期的に受診している医療機関の数
(性別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	医療機関の数	256	1.4	0.9	1.0
女性	医療機関の数	380	1.4	0.9	1.0

図表 4-11 定期的に受診している医療機関の数
(年代別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	医療機関の数	17	1.6	1.2	2.0
20代		22	1.0	0.8	1.0
30代		77	1.0	0.8	1.0
40代		143	1.3	0.8	1.0
50代		145	1.3	0.9	1.0
60代		109	1.6	0.9	1.0
70代		88	1.7	0.9	2.0
80代以上		38	1.9	0.9	2.0

【診療科数数】

定期的（180日間で複数回）に受診している診療科の数については平均で1.5件であった。

図表 4-12 定期的に受診している診療科の数

(単位：件)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
医療機関の数	594	1.5	1.0	1.0

図表 4-13 定期的に受診している診療科の数
(性別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	医療機関の数	239	1.5	0.9	1.0
女性	医療機関の数	351	1.5	1.1	1.0

図表 4-14 定期的に受診している診療科の数
(年代別)

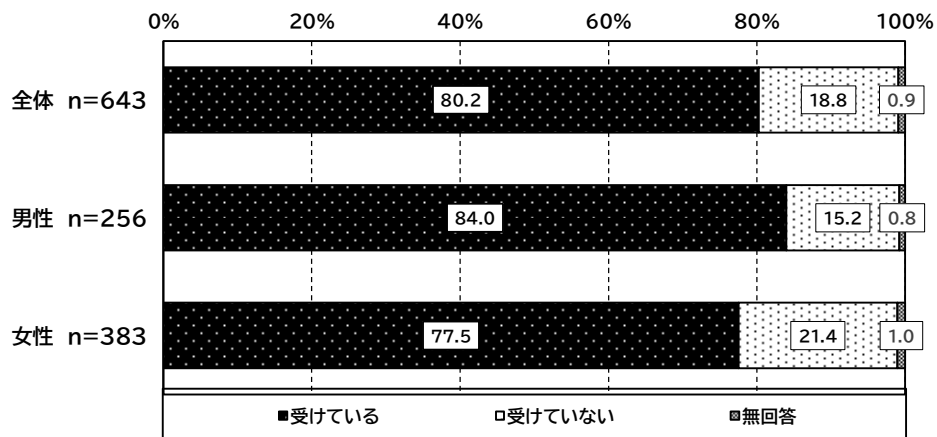
(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	医療機関の数	17	1.6	1.2	2.0
20代		21	1.0	0.8	1.0
30代		68	1.0	0.9	1.0
40代		137	1.4	1.1	1.0
50代		134	1.3	0.8	1.0
60代		101	1.7	1.1	1.0
70代		79	2.1	1.0	2.0
80代以上		36	2.1	0.9	2.0

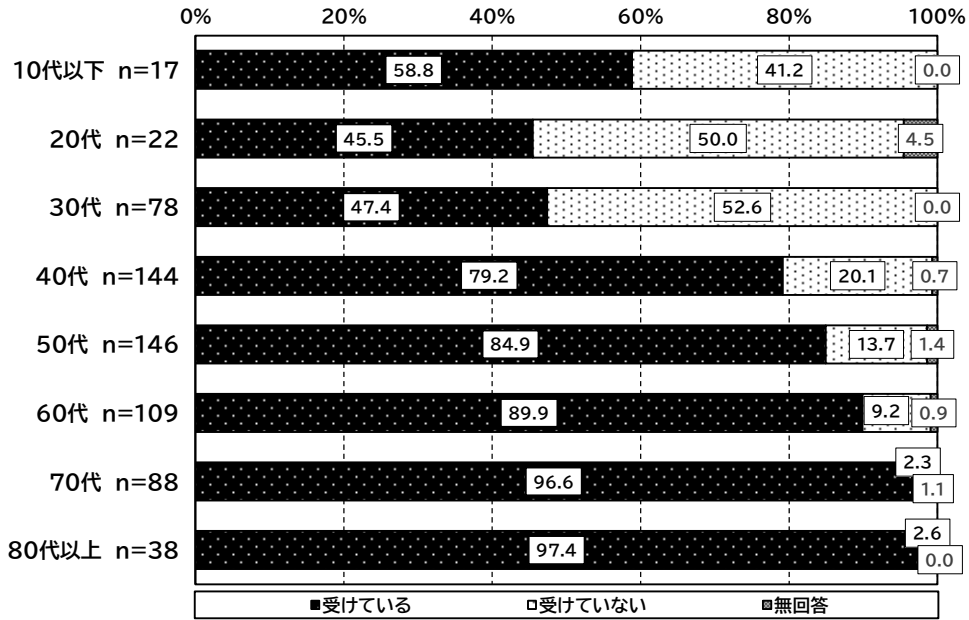
② 定期的に決まった薬の処方を受けているか

定期的に決まった薬の処方を受けているかについては、「受けている」が80.2%、「受けていない」が18.8%であった。

図表 4-15 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(性別)



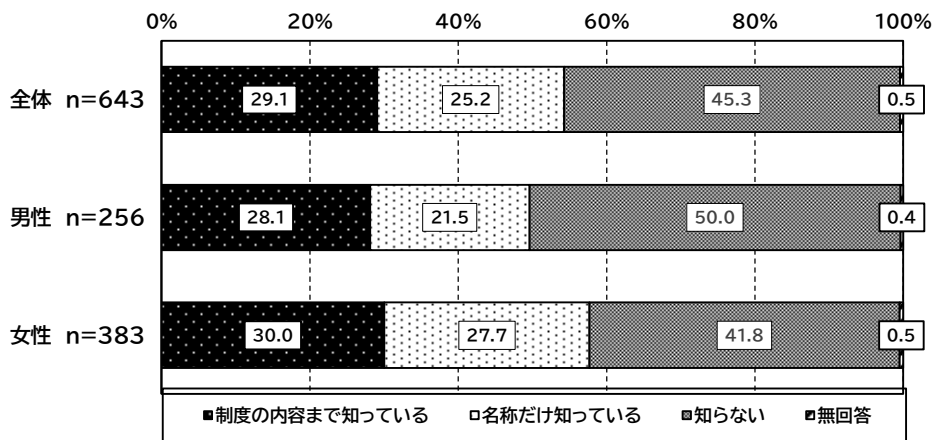
図表 4-16 定期的に受診している診療科の数
(年代別)



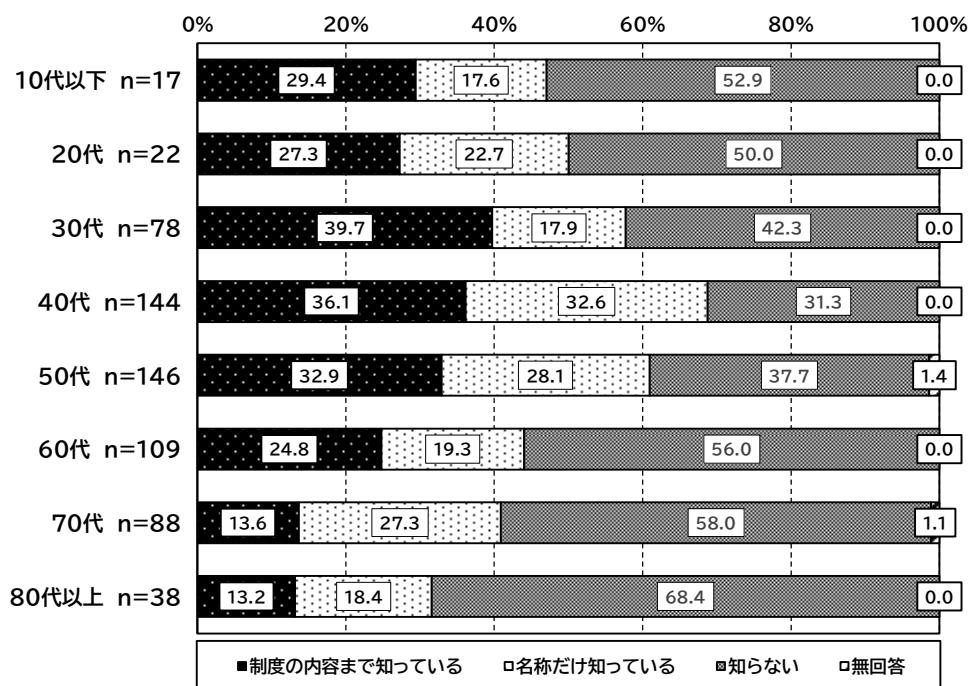
③ リフィル処方箋の認知度

リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っている」が29.1%、「名称だけ知っている」が25.2%、「知らない」が45.3%であった。

図表 4-17 リフィル処方箋を知っているか
(性別)



図表 4-18 リフィル処方箋を知っているか
(年代別)

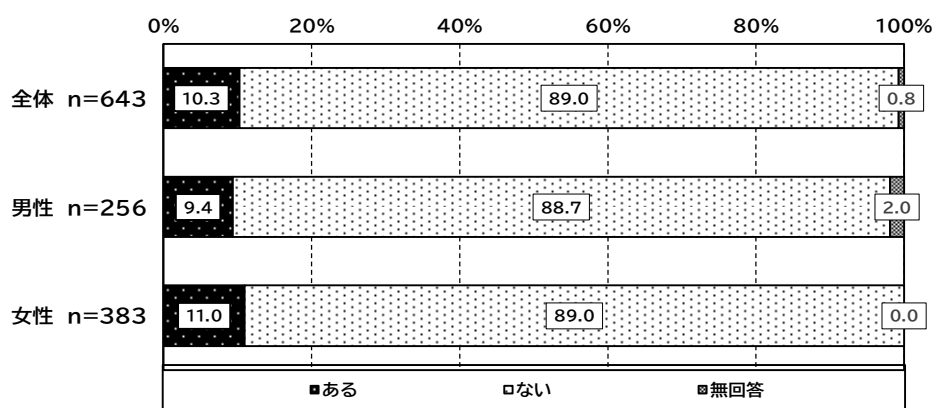


(4) これまでのリフィル処方箋を交付された経験

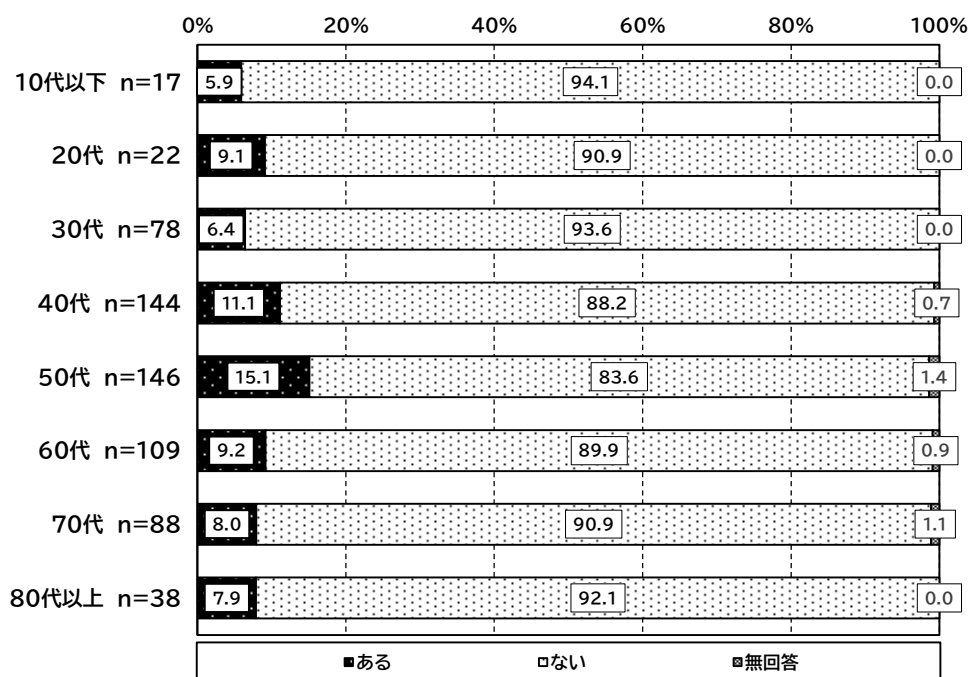
① リフィル処方箋について医師からの説明

リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるか、については、「ある」が10.3%、「ない」が89.0%であった。

図表 4-19 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験
(性別)



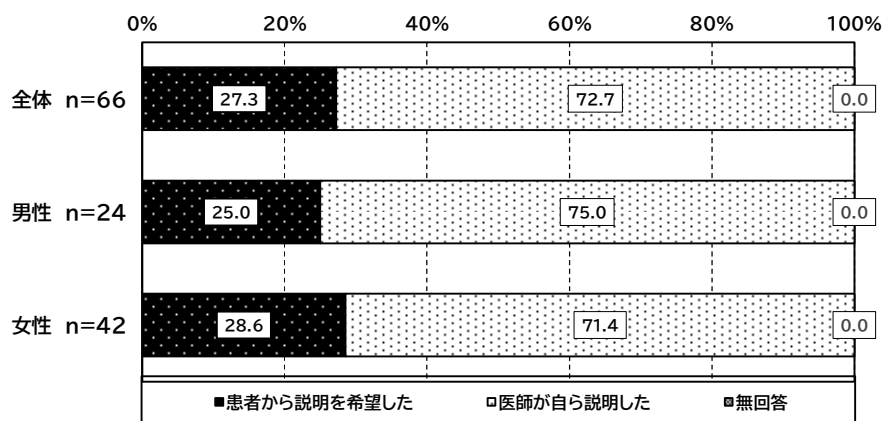
図表 4-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験
(年代別)



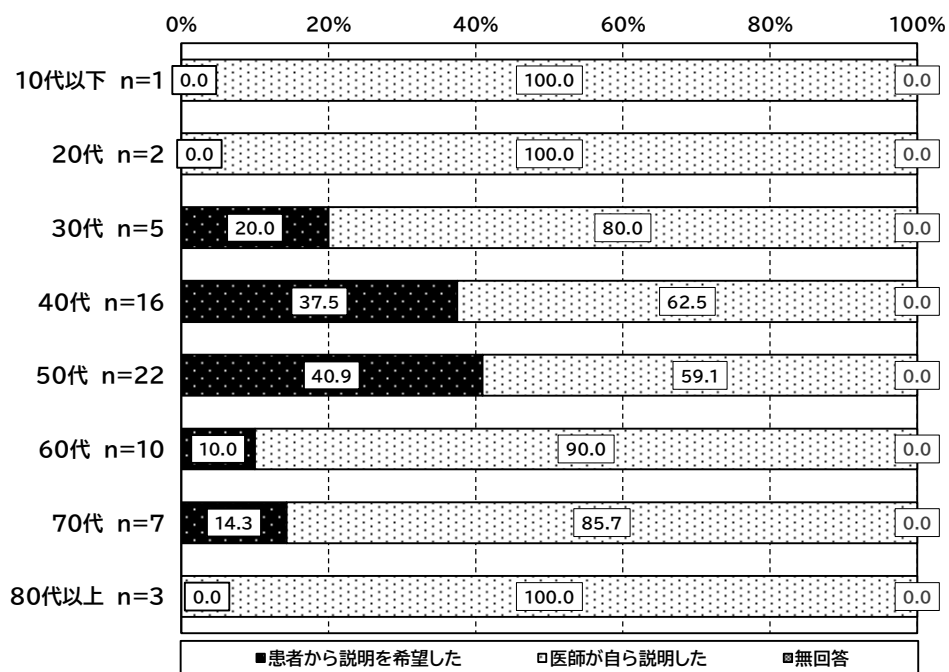
①-1 リフィル処方箋について説明はどのように行われたか（リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋について医師から説明はどのように行われたか、については、「患者から説明を希望した」が27.3%、「医師が自ら説明した」が72.7%であった。

図表 4-21 リフィル処方箋について医師からの説明はどのように行われたか（性別）



図表 4-22 リフィル処方箋について医師からの説明はどのように行われたか
(年代別)

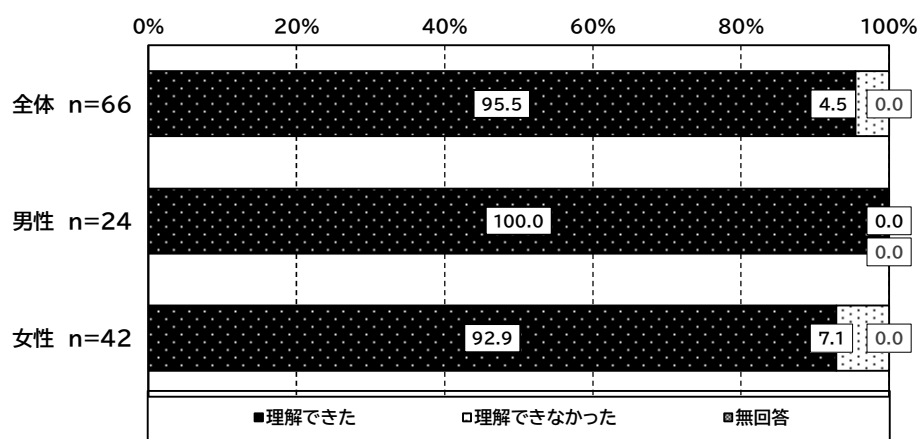


※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

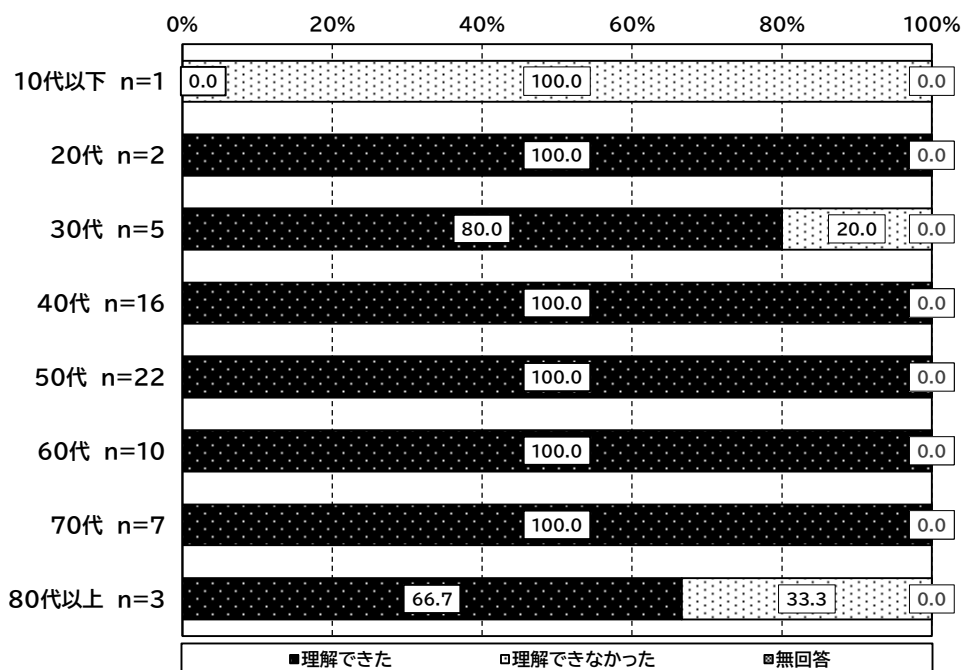
①-2 リフィル処方箋についての説明は理解できたか（リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋についての説明は理解できたかについては、「理解できた」が99.5%、「理解できなかった」が4.5%であった。

図表 4-23 リフィル処方箋についての説明は理解できたか（性別）



図表 4-24 リフィル処方箋についての説明は理解できたか（年代別）

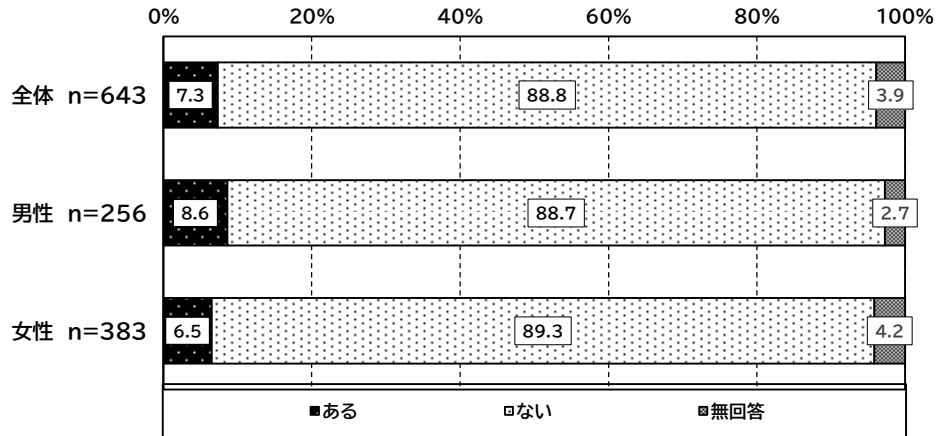


※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

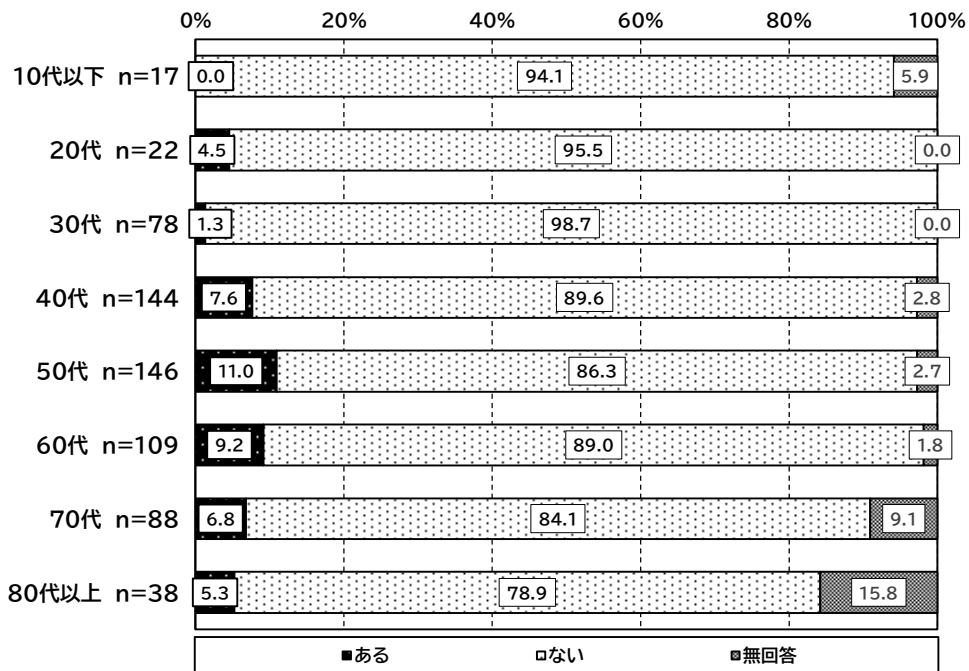
② リフィル処方箋を交付された経験

リフィル処方箋を交付されたことがあるか、については、「ある」が7.3%、「ない」が88.8%であった。

図表 4-25 リフィル処方箋を交付された経験
(性別)



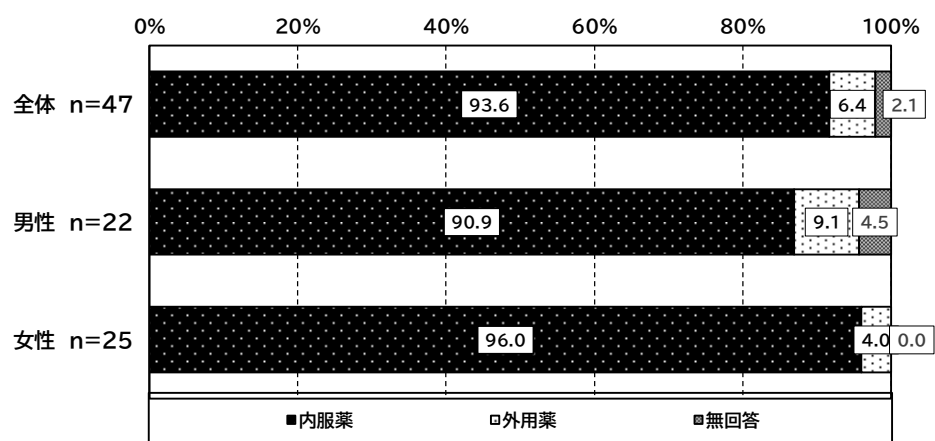
図表 4-26 リフィル処方箋を交付された経験
(年代別)



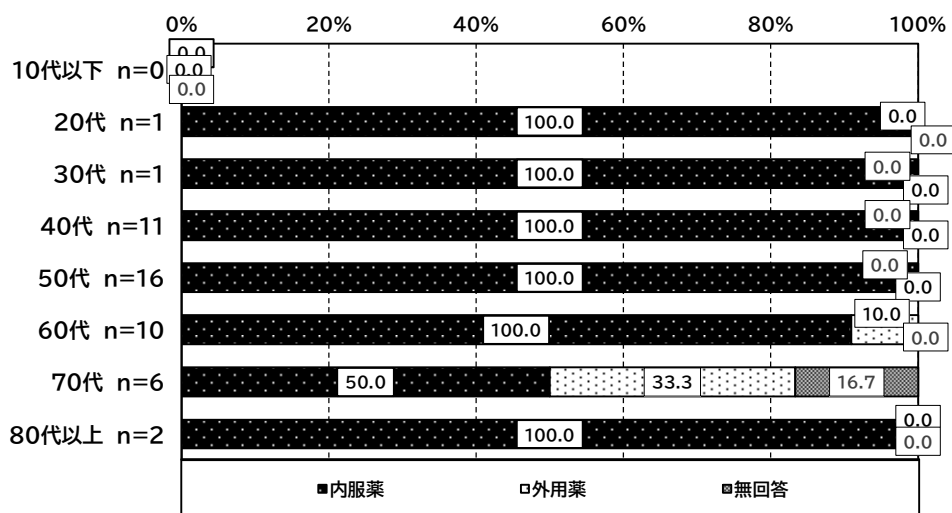
③ リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か、については、「内服薬」が93.6%、「外用薬」が6.4%であった。

図表 4-27 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（性別）



図表 4-28 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（年代別）

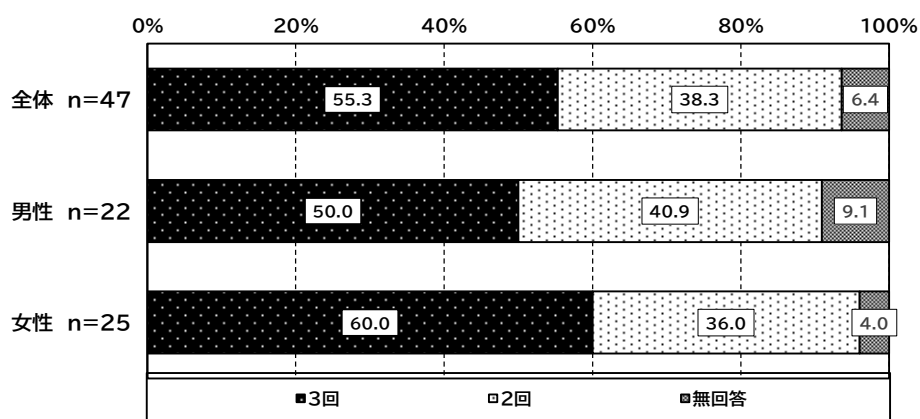


※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

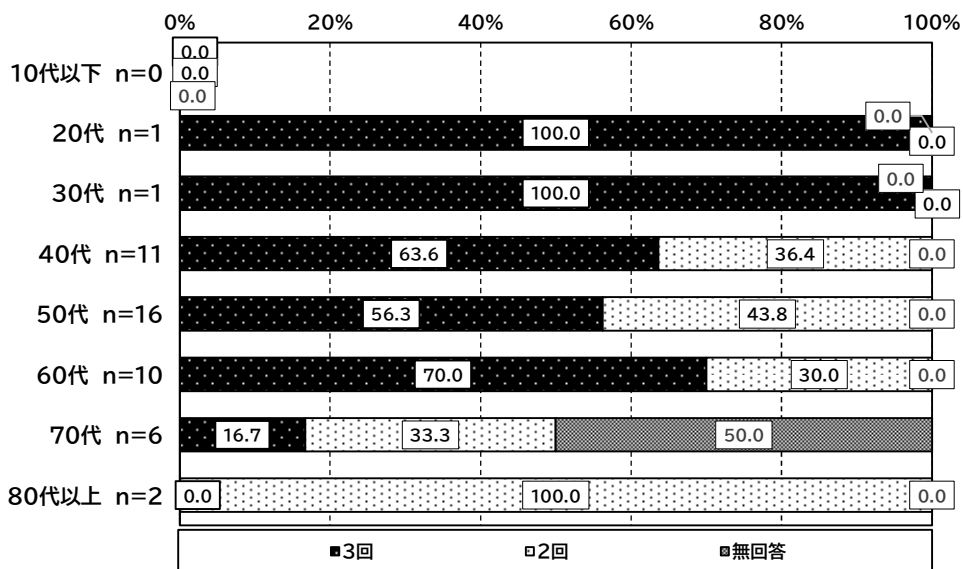
④ 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か、については、「3回」が55.3%、「2回」が38.3%であった。

図表 4-29 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（性別）



図表 4-30 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（年代別）



※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

- ⑤ リフィル処方箋は1回あたりに何日分の薬の処方だったか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

⑤-a. 1回目の処方は何日分か

1回目の処方は何日分かについては、平均で35.9日分であった。

図表 4-31 1回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
1回目の処方	44	35.9	26.1	30.0

図表 4-32 1回目の処方は何日分か
(性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	1回目の処方	21	37.5	34.9	30.0
女性	1回目の処方	23	34.4	14.7	30.0

図表 4-33 1回目の処方は何日分か
(年代別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	1回目の処方	0			
20代		1	28.0	-	28.0
30代		1	30.0	-	30.0
40代		10	47.2	47.4	30.0
50代		16	34.1	17.3	30.0
60代		10	30.3	10.3	30.0
70代		5	34.4	21.0	30.0
80代以上		1	28.0	-	28.0

⑤-b. 2回目の処方は何日分か

2回目の処方は何日分かについては、平均で32.5日分であった。

図表 4-34 2回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
2回目の処方	32	32.5	13.2	30.0

図表 4-35 2回目の処方は何日分か
(性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	2回目の処方	17	33.6	16.7	30.0
女性	2回目の処方	15	31.3	8.0	30.0

図表 4-36 2回目の処方は何日分か
(年代別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	2回目の処方	0			
20代		1	28.0	-	28.0
30代		1	30.0	-	30.0
40代		8	32.8	9.4	30.0
50代		11	32.2	9.3	30.0
60代		6	29.3	1.0	30.0
70代		4	40.8	34.2	29.0
80代以上		1	28.0	-	28.0

⑤-c. 3回目の処方は何日分か
 3回目の処方は何日分かについては、平均で28.4日分であった。

図表 4-37 3回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
3回目の処方	18	28.4	3.7	30.0

図表 4-38 3回目の処方は何日分か
 (性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	3回目の処方	7	27.1	5.9	30.0
女性	3回目の処方	11	29.3	1.0	30.0

図表 4-39 3回目の処方は何日分か
 (年代別)

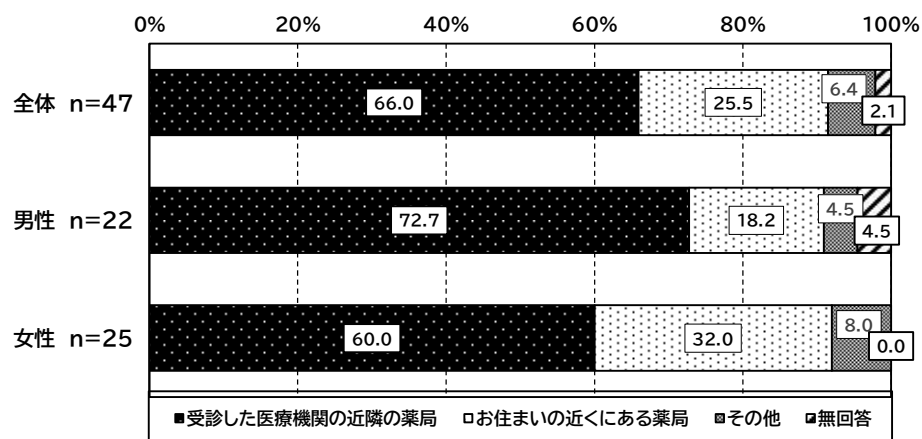
(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	3回目の処方	0			
20代		1	28.0	-	28.0
30代		1	30.0	-	30.0
40代		4	29.0	1.2	29.0
50代		6	29.3	1.0	30.0
60代		5	29.6	0.9	30.0
70代		1	14.0	-	14.0
80代以上		0			

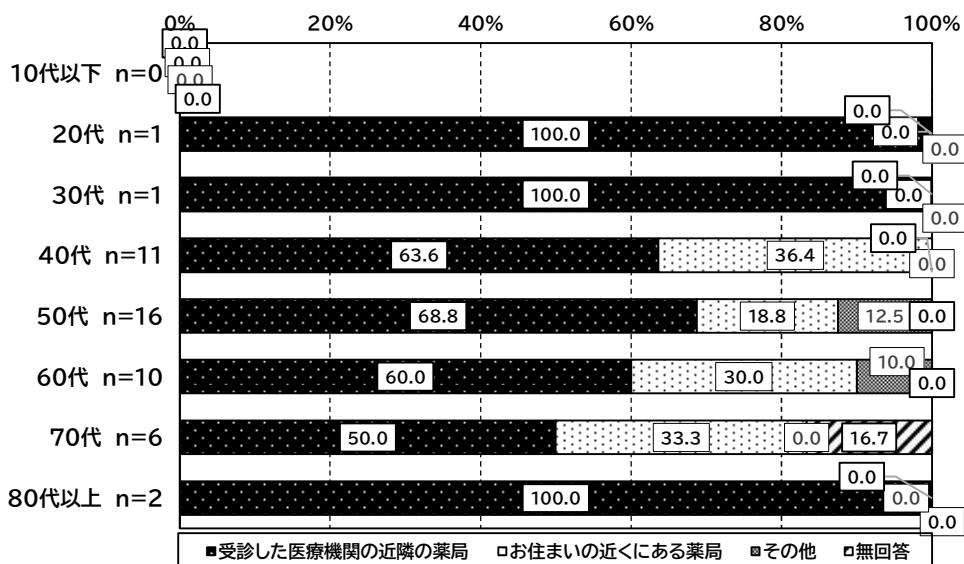
⑥ リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか、については、「受診した医療機関の近隣の薬局」が66.0%、「お住まいの近くにある薬局」が25.5%、「その他」が6.4%であった。

図表 4-40 リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（性別）



図表 4-41 リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（年代別）



※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

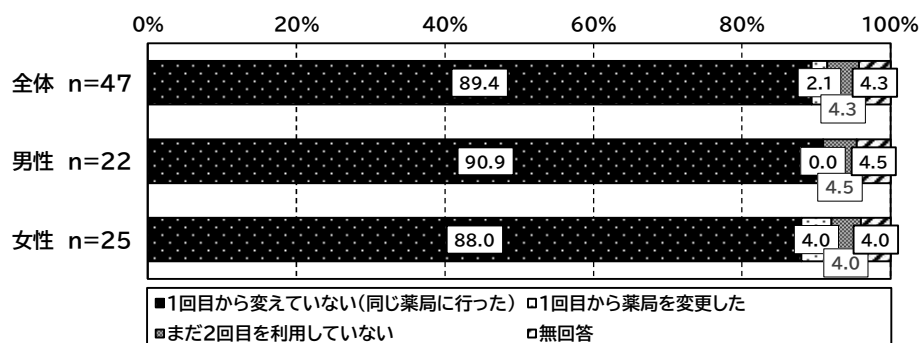
【その他の記載内容】

- ・職場の薬局
- ・家族が訪問していた薬局 等

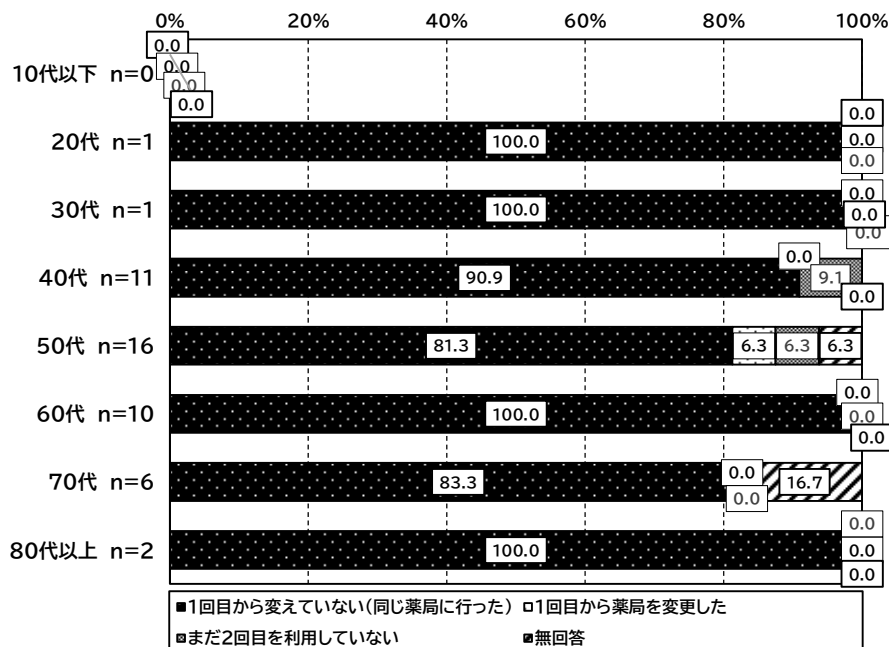
⑦ リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか、については、「1回目から変えていない（同じ薬局に行った）」が89.4%、「1回目から薬局を変更した」が2.1%、「まだ2回目を利用していない」が4.3%であった。

図表 4-42 リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（性別）



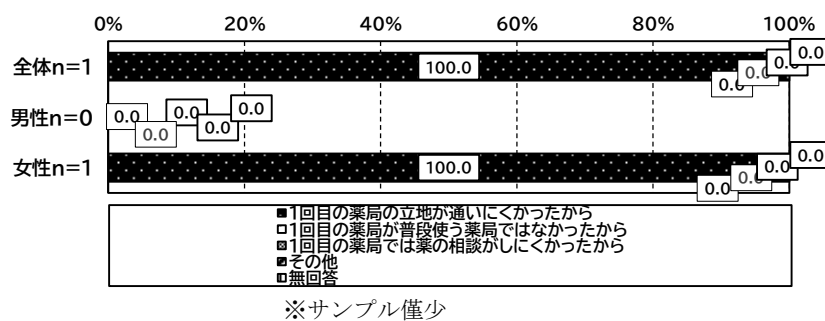
図表 4-43 リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（年代別）



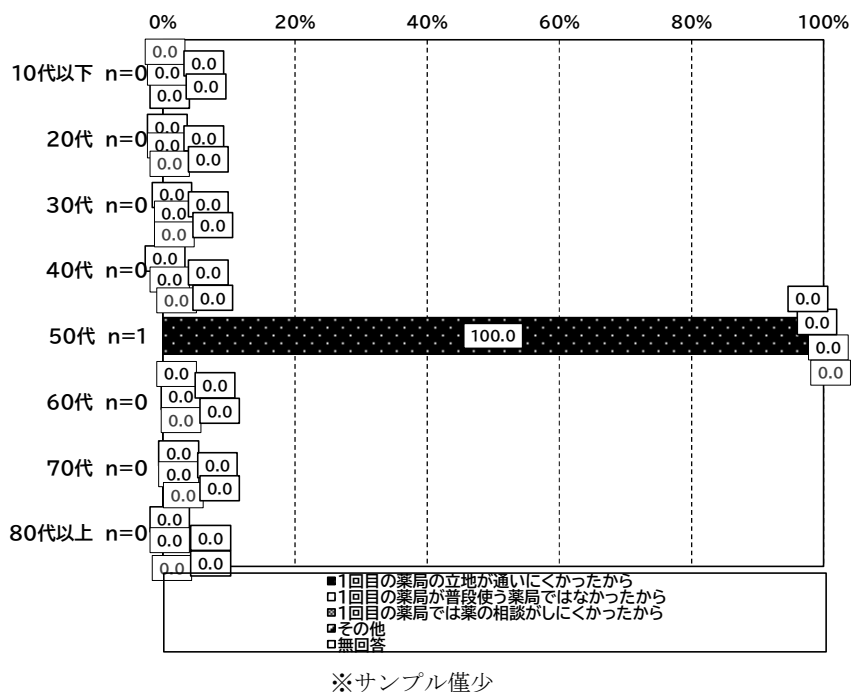
※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

⑦-1 薬局を変更した理由（1回目から薬局を変更したと回答した方のみ）
 薬局を変更した理由については、以下のとおりであった。

図表 4-44 薬局を変更した理由
 （性別）



図表 4-45 薬局を変更した理由
 （年代別）



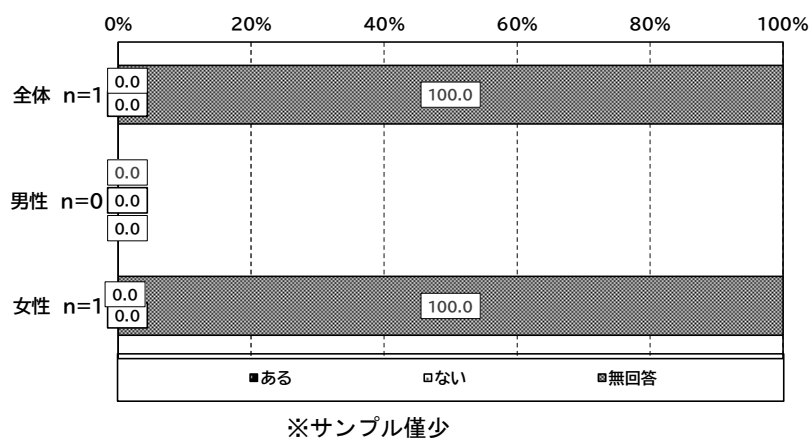
【その他の記載内容】

- ・自由回答無

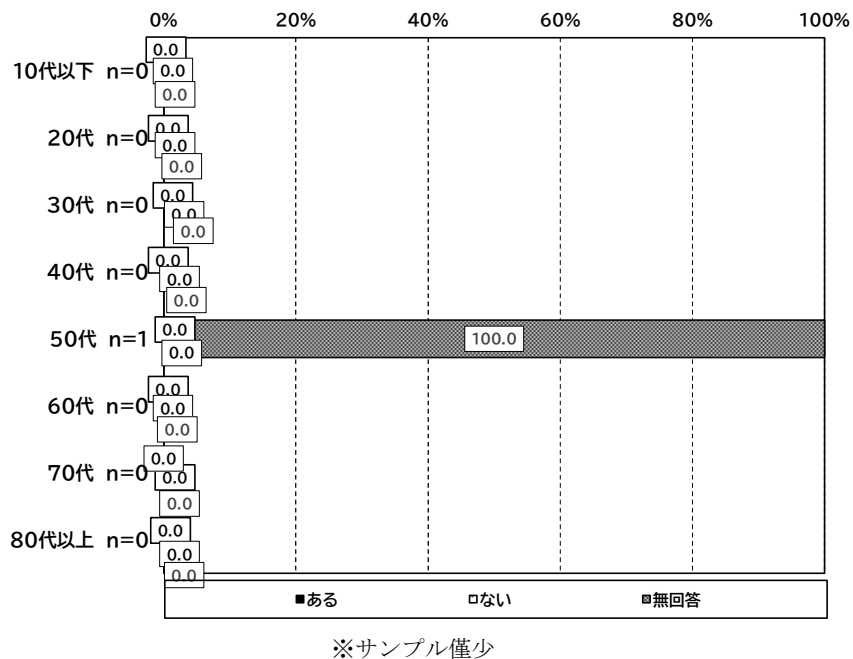
⑦-2 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更したと回答した方のみ）

2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験は以下のとおりであった。

図表 4-46 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（性別）



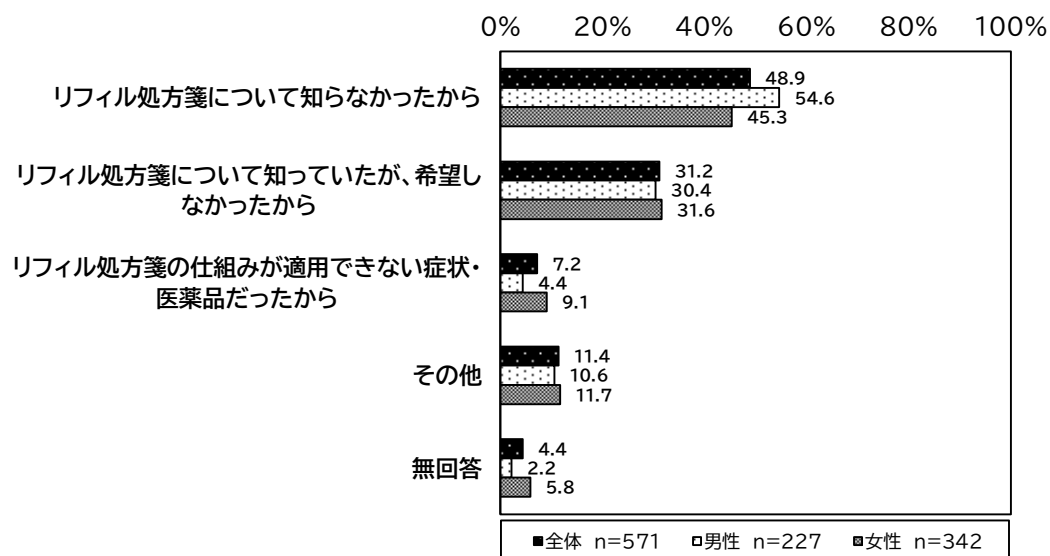
図表 4-47 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（年代別）



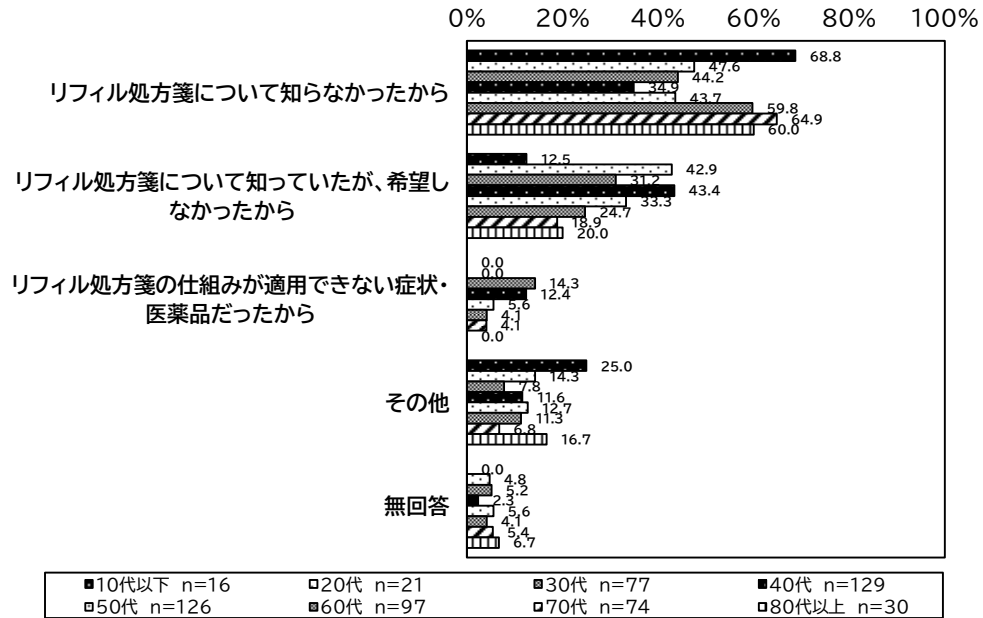
⑧ リフィル処方箋が交付されていない理由

リフィル処方箋が交付されていない理由については、「リフィル処方箋について知らなかったから」が最も多く48.9%であった。

図表 4-48 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（性別）



図表 4-49 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（年代別）



【その他の記載内容】

- ・病院側から提案が無かった/医師から説明を受けていない
- ・受診毎に薬が変わる/頓服のため
- ・医師の判断
- ・今の治療方針に満足している
- ・医師に希望を言いづらかった
- ・必要性が良く分からない 等

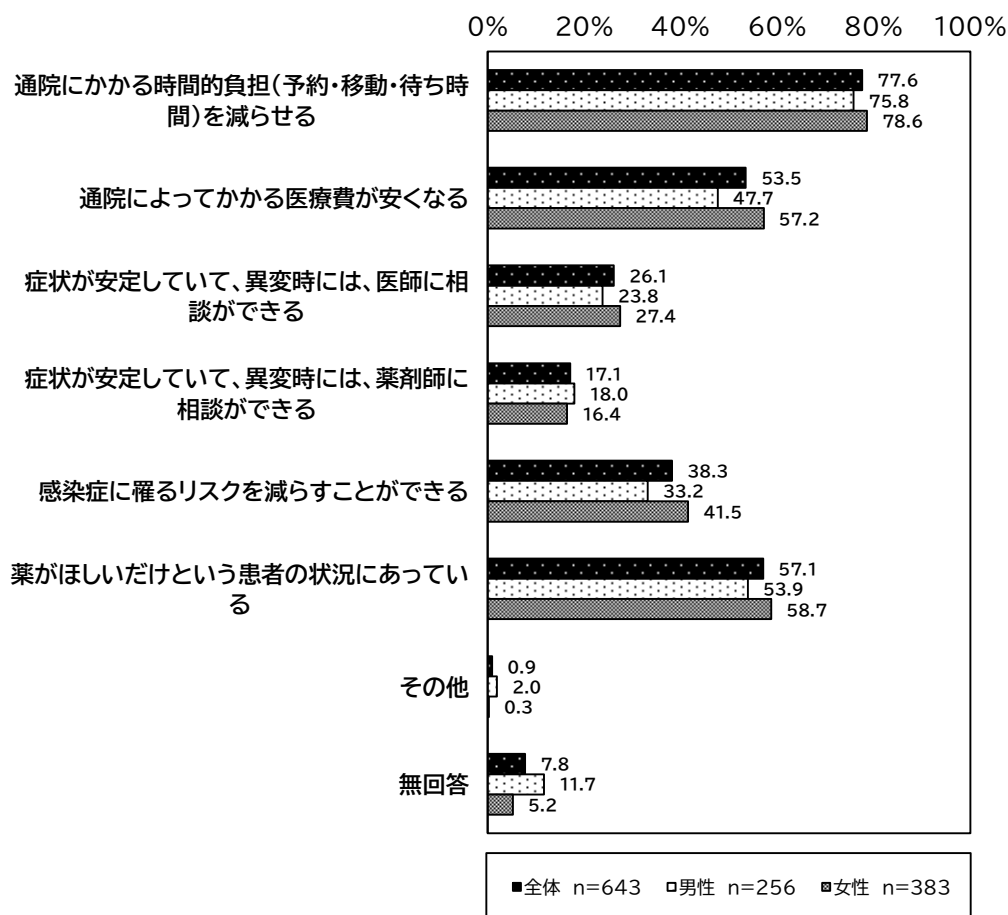
(5) これからのリフィル処方箋の利用意向

① リフィル処方箋のメリット・デメリットとそれらを踏まえた利用意向

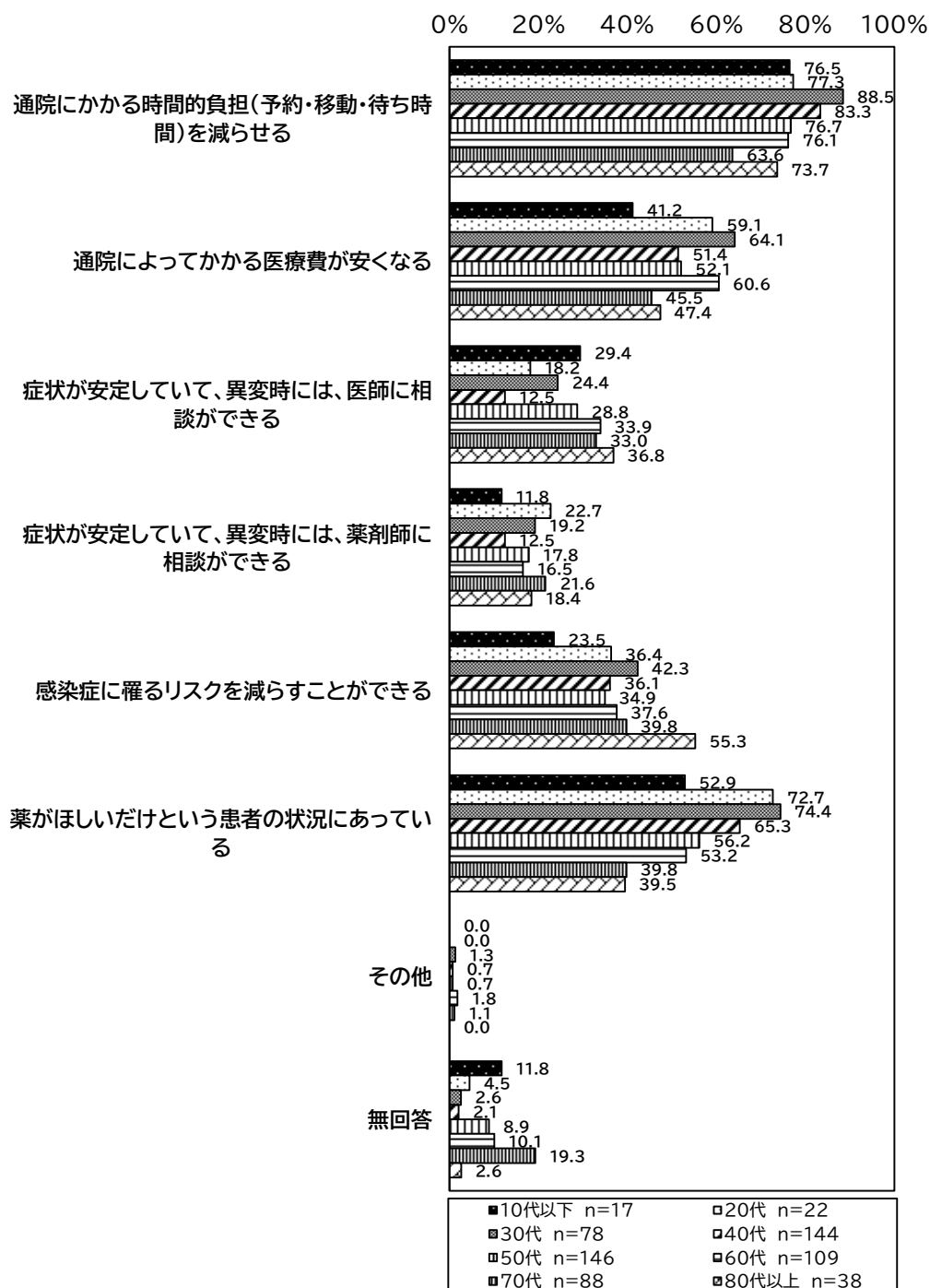
①-1 リフィル処方箋を使用することについてメリットになると感じるもの

リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるものについては、「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く77.6%であった。

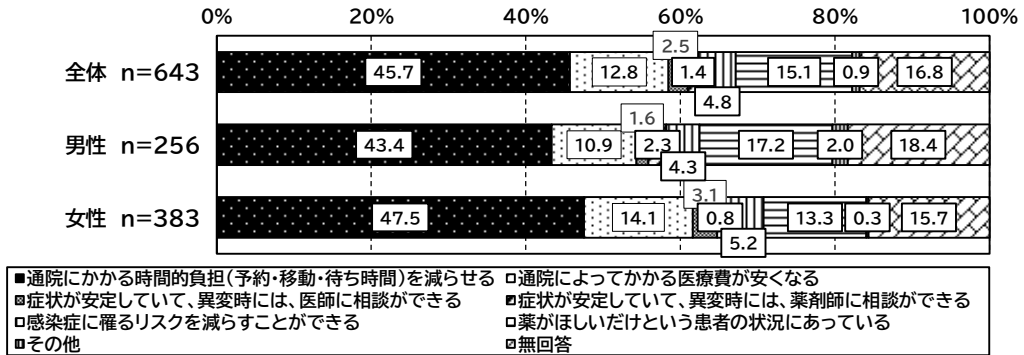
図表 4-50 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
全て選択（性別）



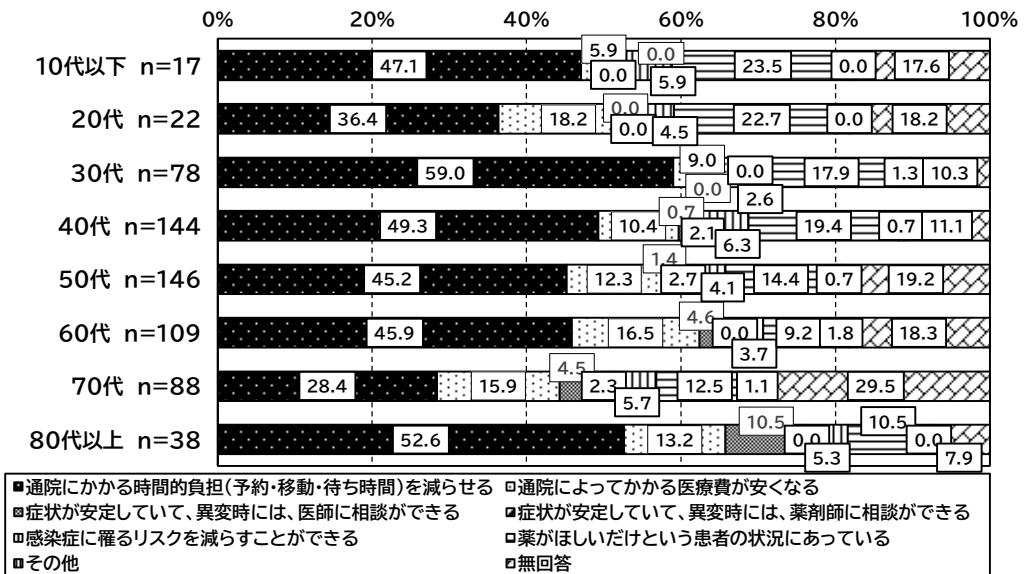
図表 4-51 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
全て選択（年代別）



図表 4-52 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
最大のもの一つ（性別）



図表 4-53 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
最大のもの一つ（年代別）

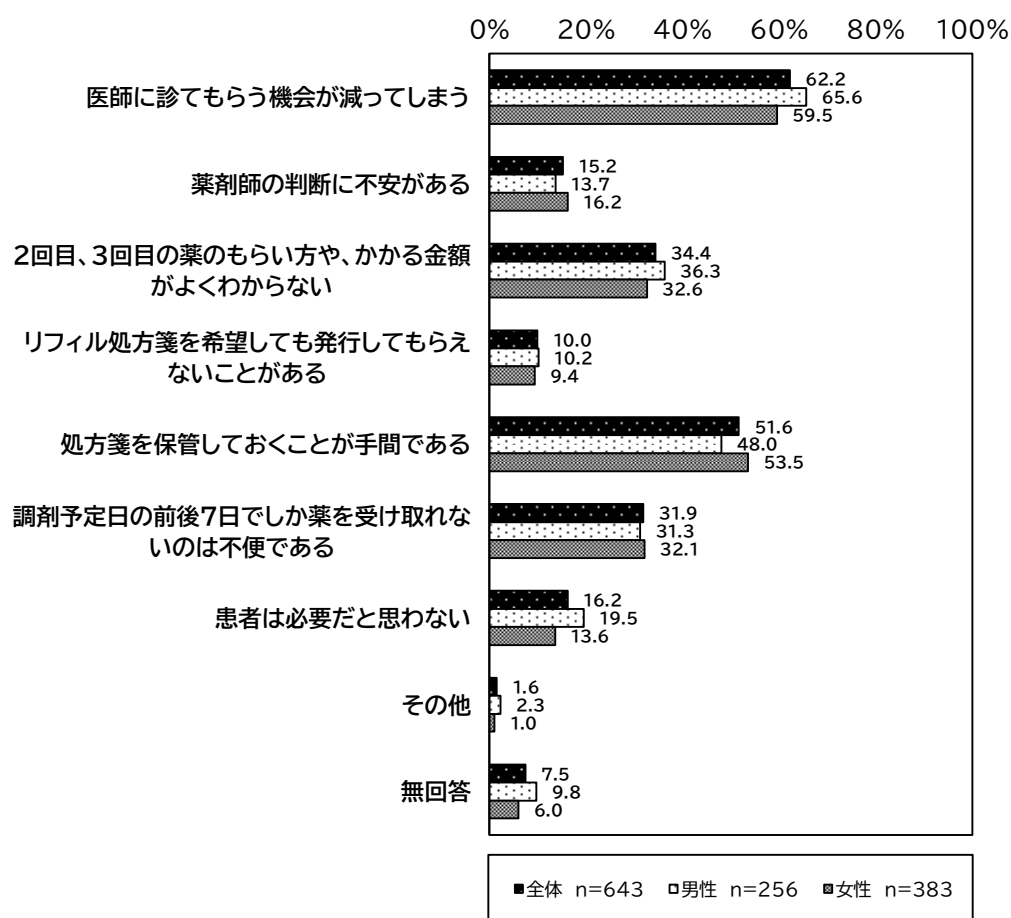


【その他の記載内容】

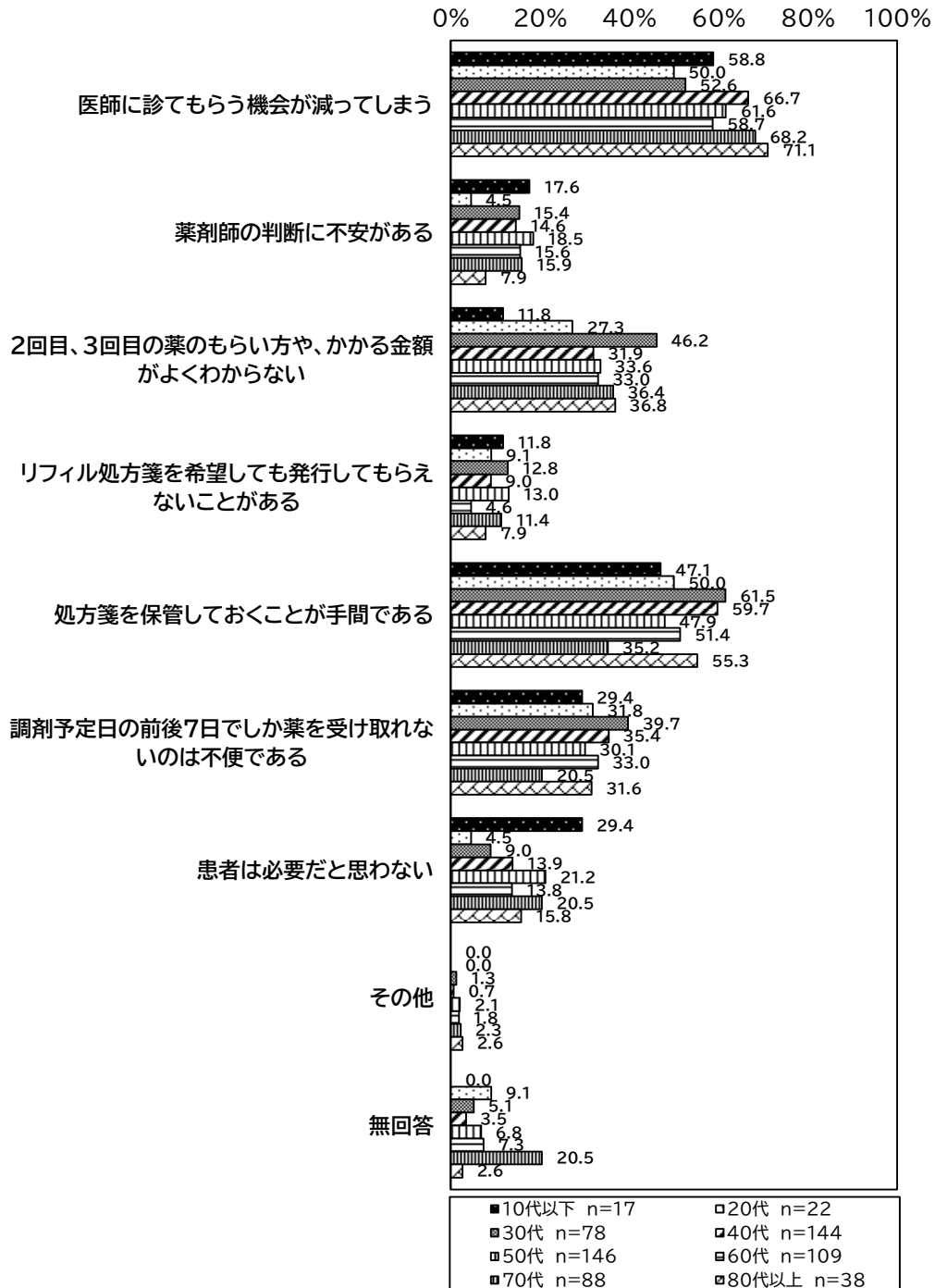
- ・メリットを感じない
- ・よくわからない 等

①-2 リフィル処方箋を使用することについてデメリットになると感じるもの
 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、「医師に診てもらおう機会が減ってしまう」が最も多く 62.2%であった。

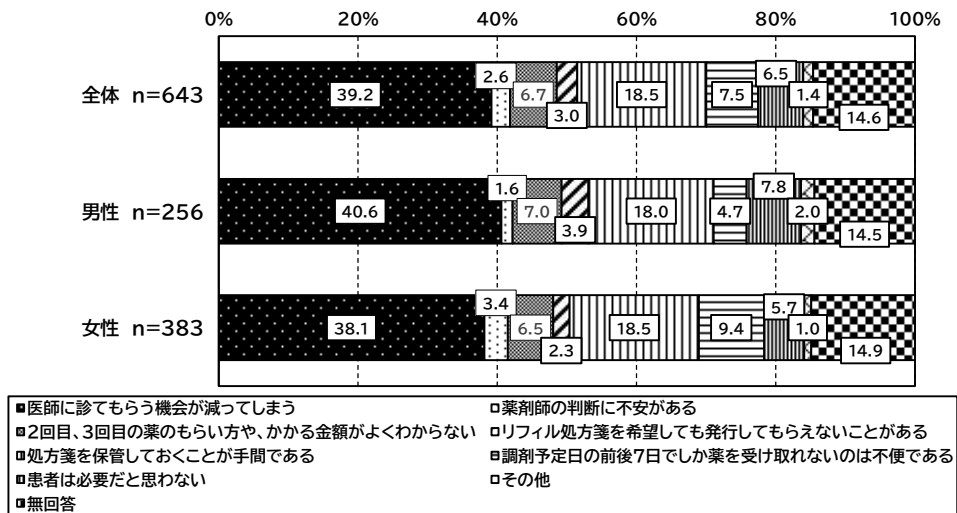
図表 4-54 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
 全て選択（性別）



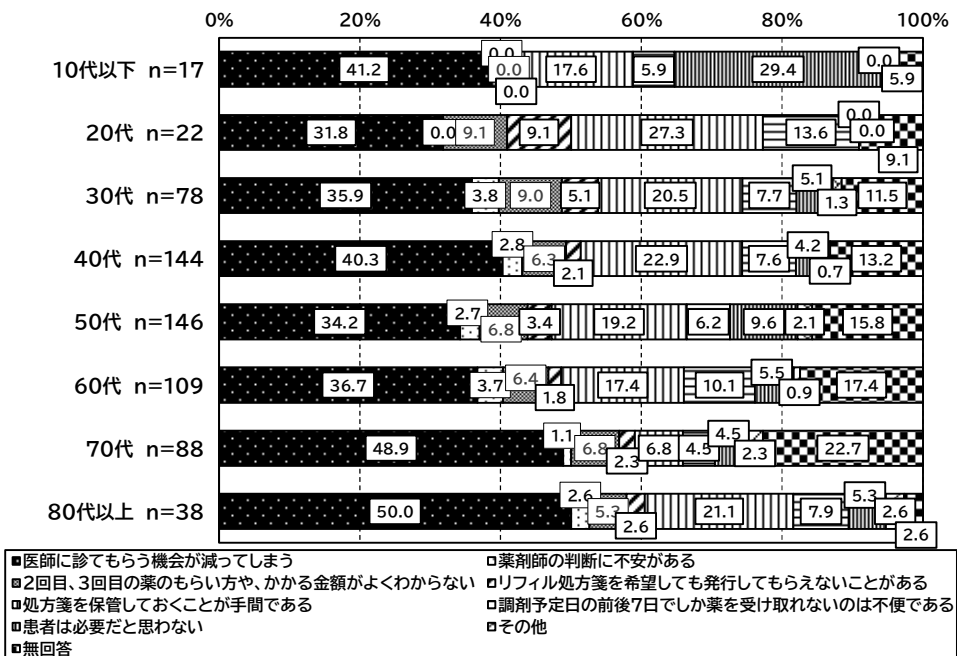
図表 4-55 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
全て選択（年代別）



図表 4-56 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
最大の一つ（性別）



図表 4-57 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
最大の一つ（年代別）



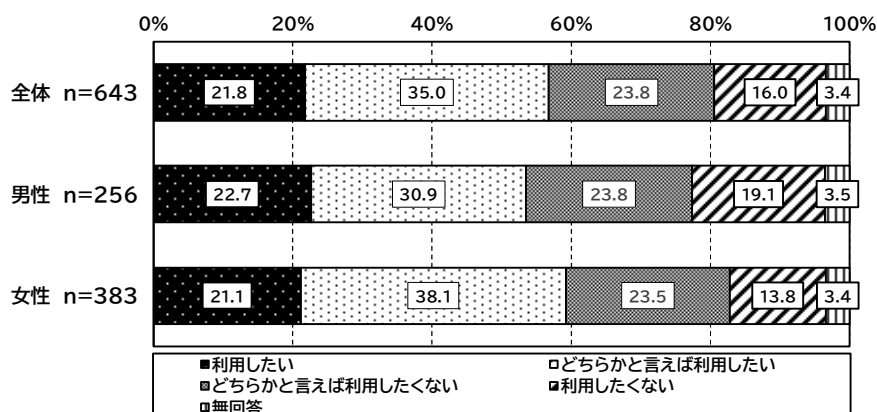
【その他の記載内容】

- ・自由回答無し

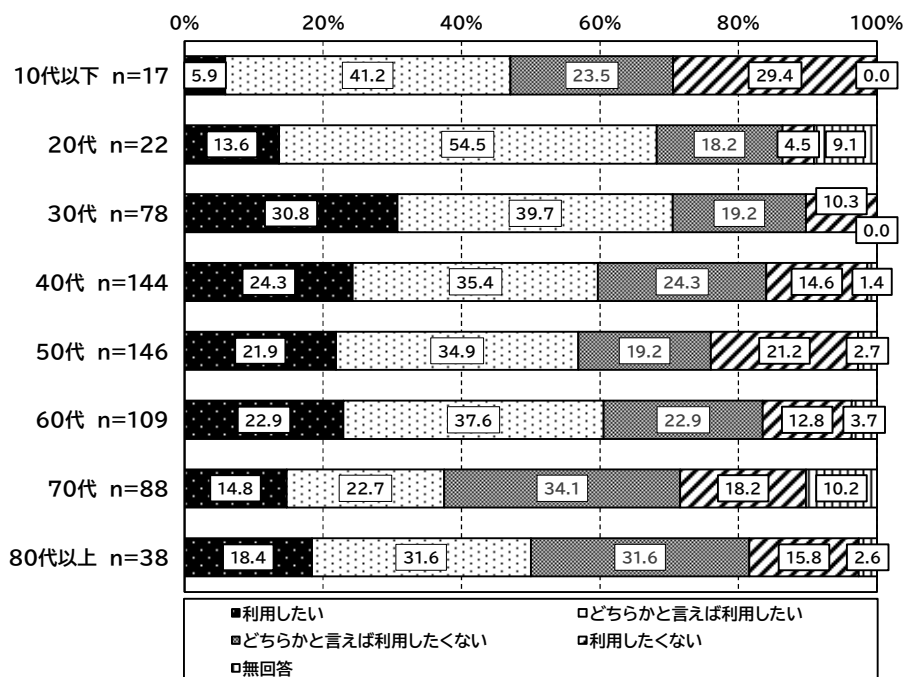
①-3 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか

今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が21.8%、「どちらかと言えば利用したい」が35.0%、「どちらかと言えば利用したくない」が23.8%、「利用したくない」が16.0%であった。

図表 4-58 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか
(性別)



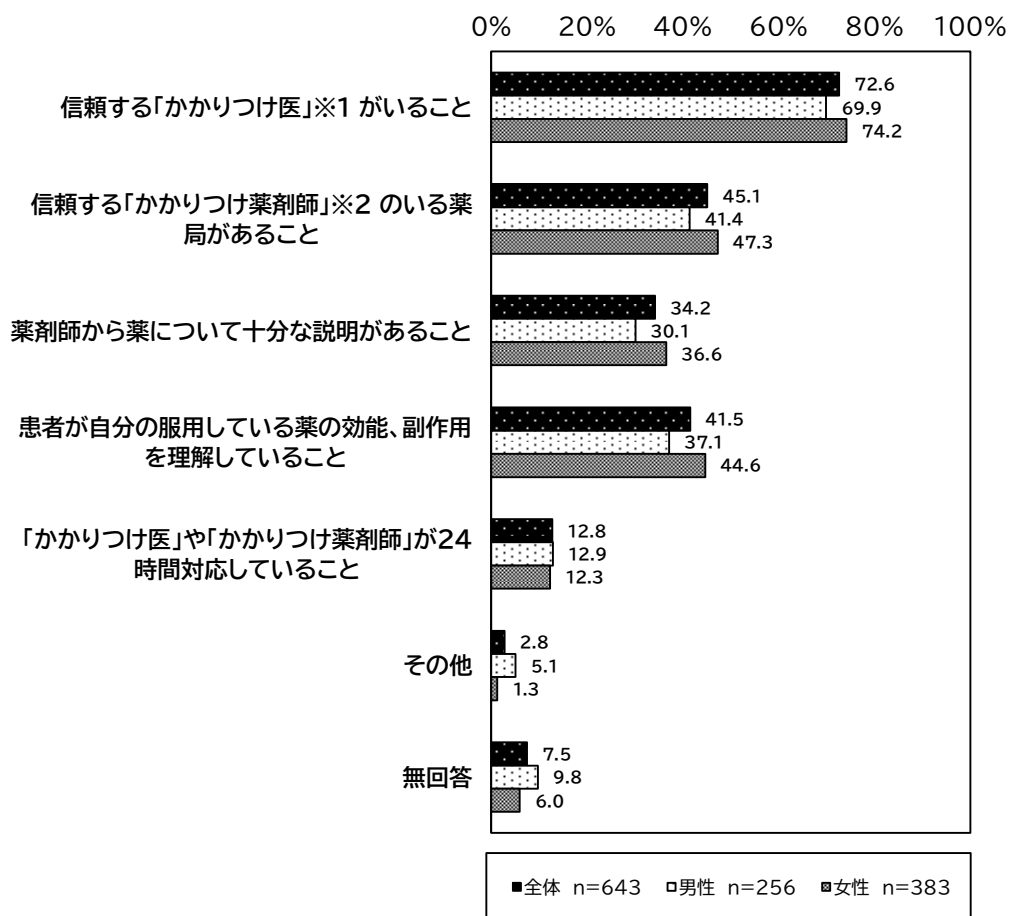
図表 4-59 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか
(年代別)



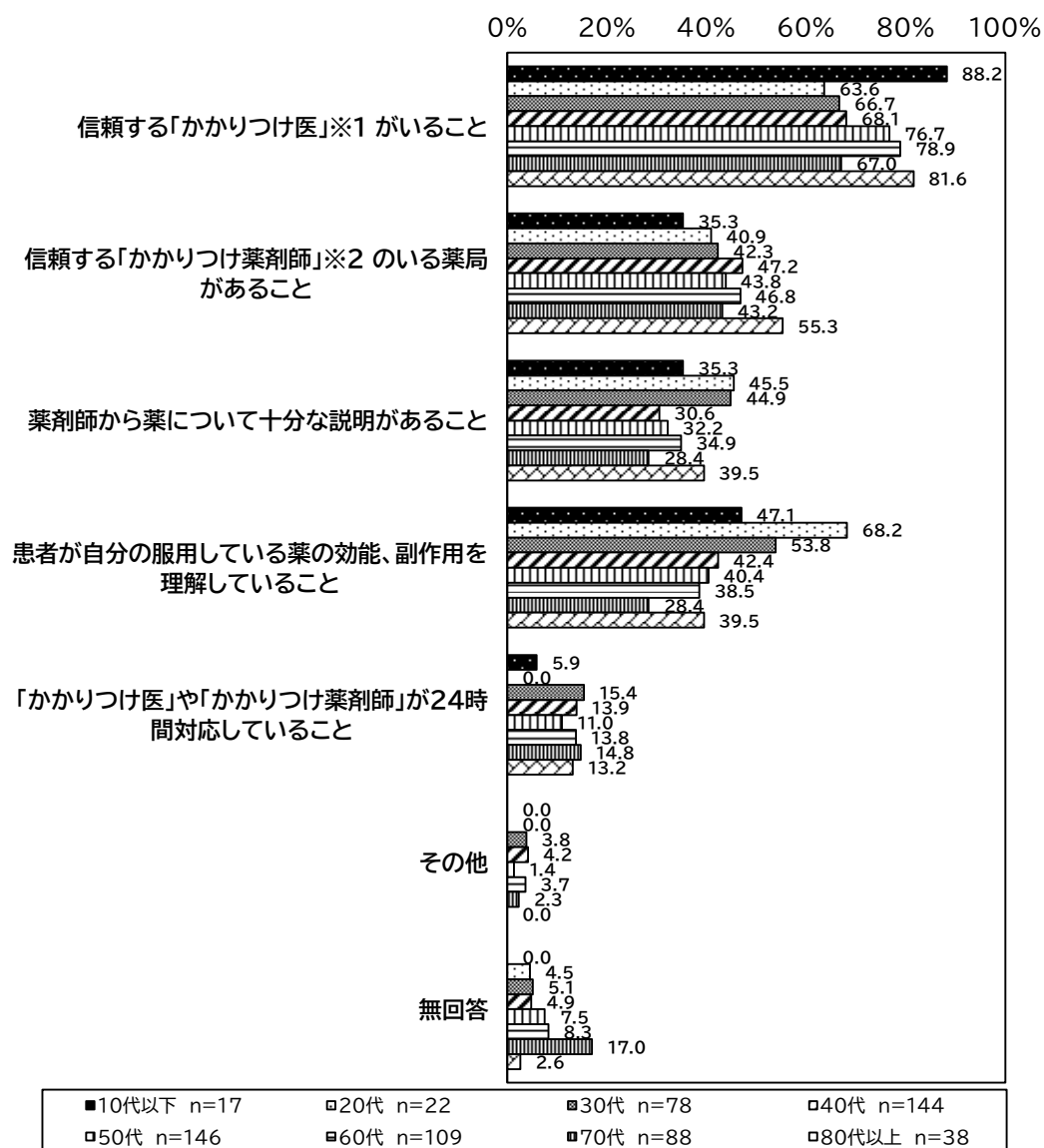
② リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること

リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く72.6%であった。

図表 4-60 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること
(複数回答) (性別)



図表 4-61 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること
(複数回答) (年代別)



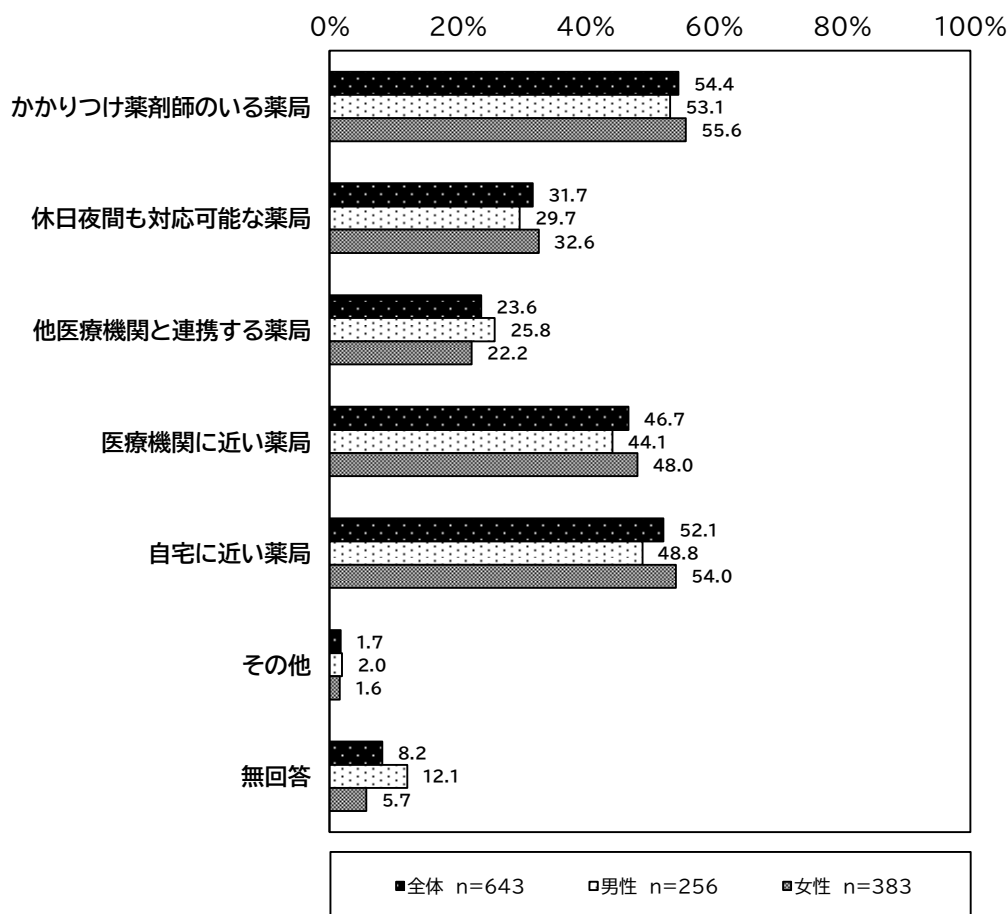
【その他の記載内容】

- ・ 休日対応可能な調剤薬局の増加
- ・ 処方箋を不要とする、あるいは保管しなくて済む仕組み（データ化など）
- ・ 使用に理解のある医師の増加
- ・ 受け取り可能期間の延長 等

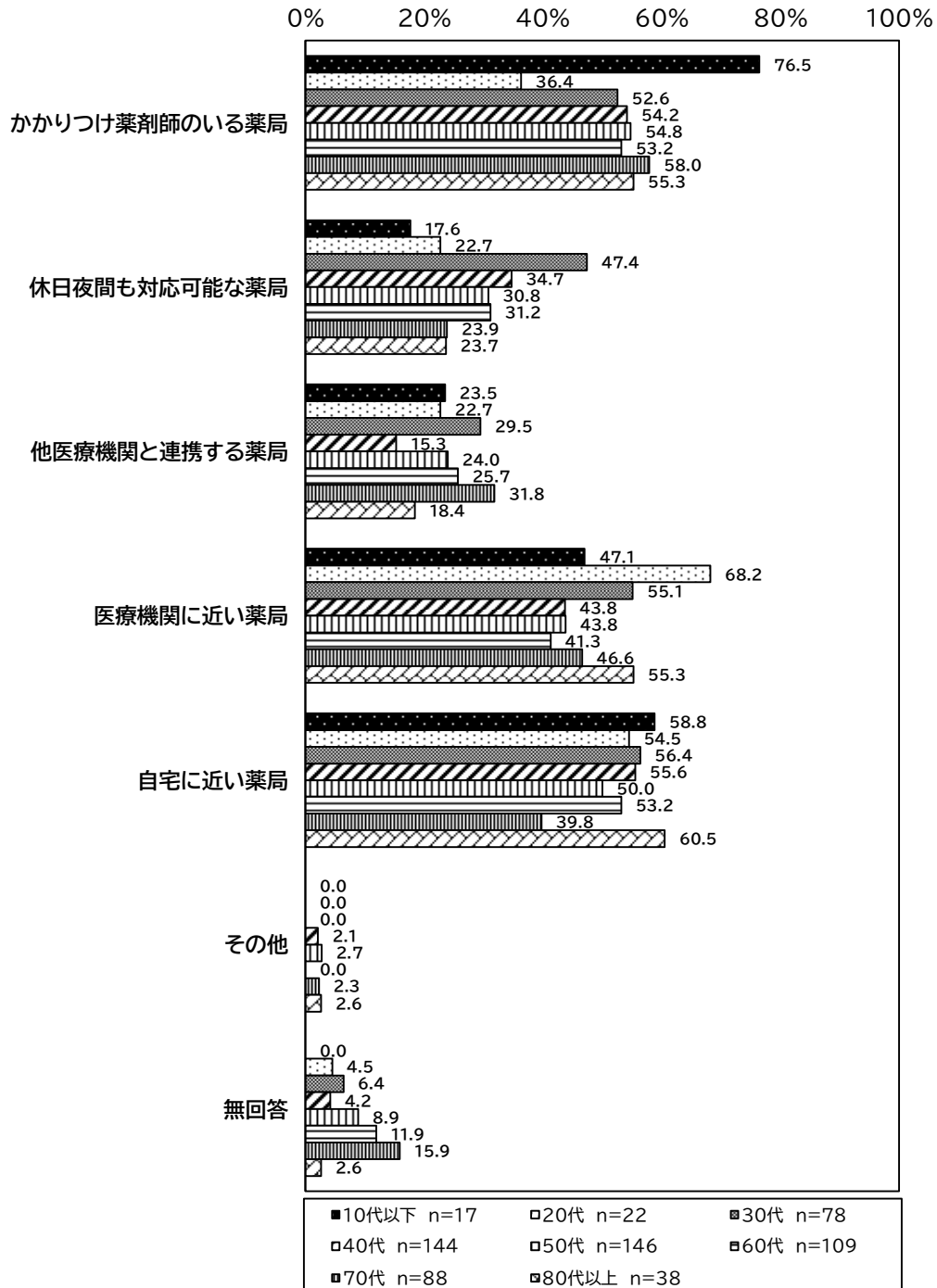
③ リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか

リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいかについては、1回目処方（最重要視するもの1つ選択）では、「かかりつけ薬剤師のいる薬局」が最も多く52.1%であった。一方で2回目処方（最重要視するもの1つ選択）では、「自宅に近い薬局」が最も多く26.6%であった。

【1回目】該当するもの全て
図表 4-62 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(性別)

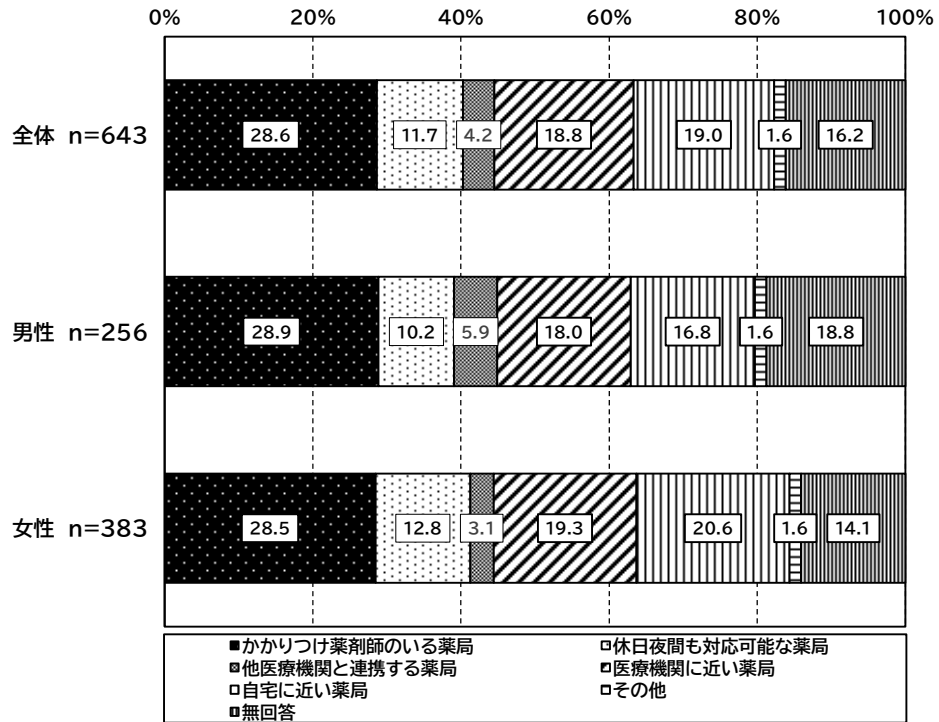


図表 4-63 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(複数回答) (年代別)

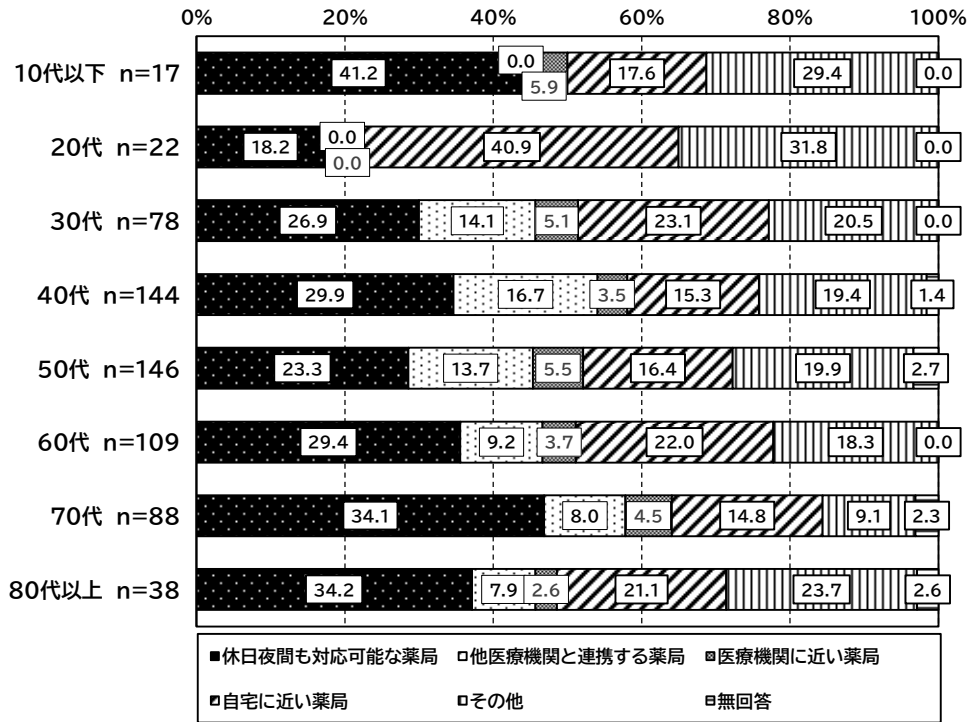


【1回目】最重要視のもの一つ

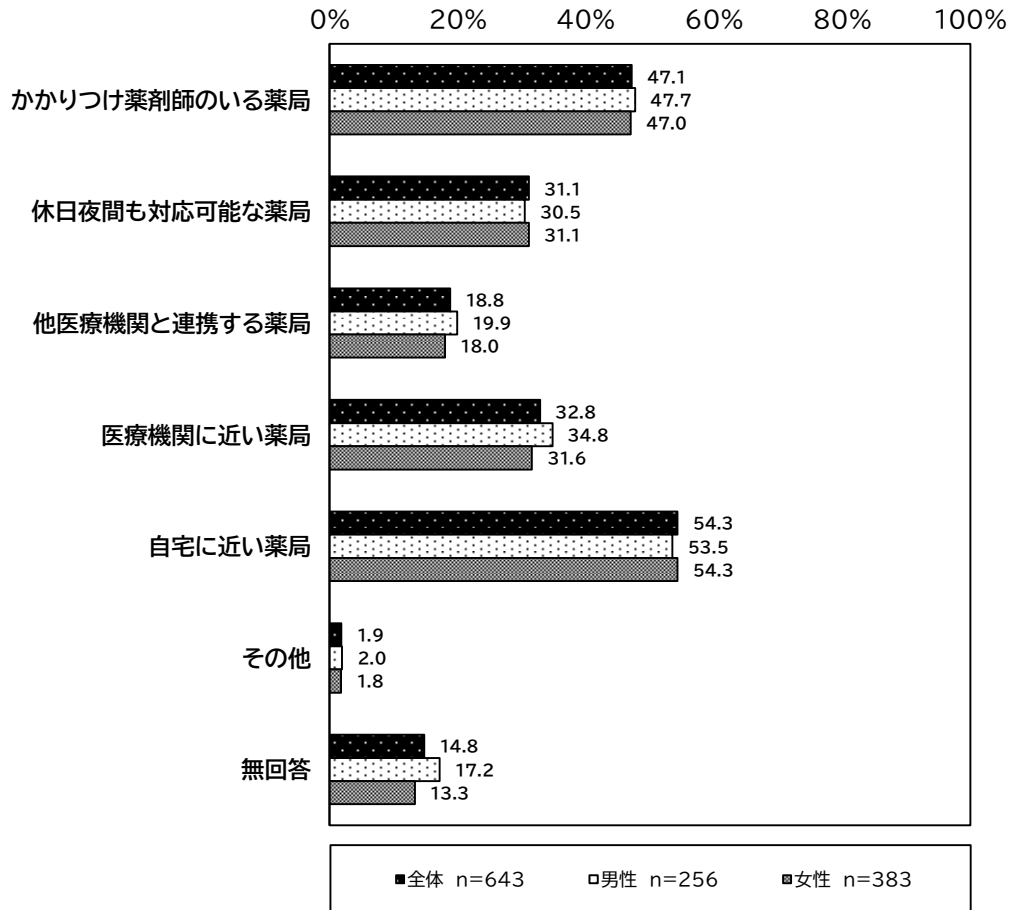
図表 4-64 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(性別)



図表 4-65 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(年代別)

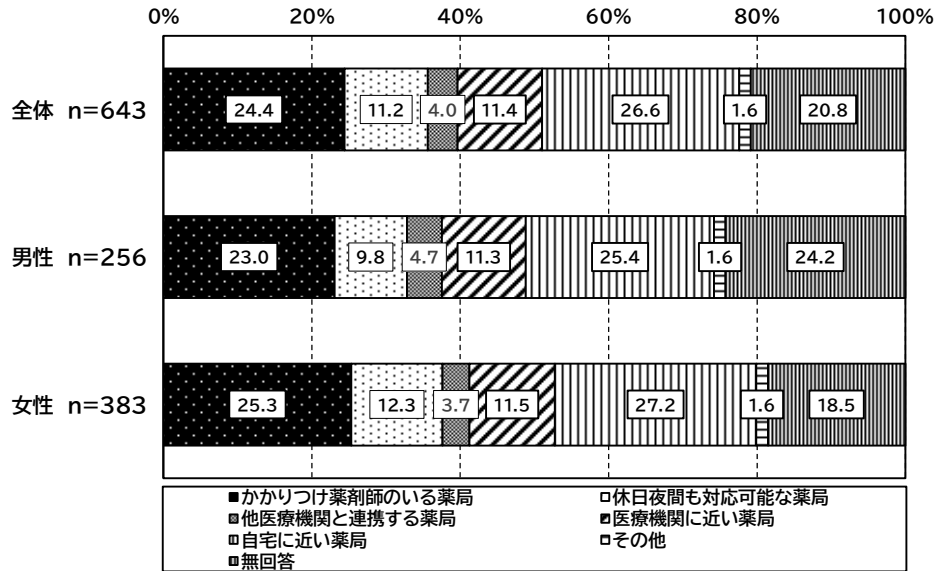


【2回目】該当するもの全て
 図表 4-66 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
 (複数回答) (性別)

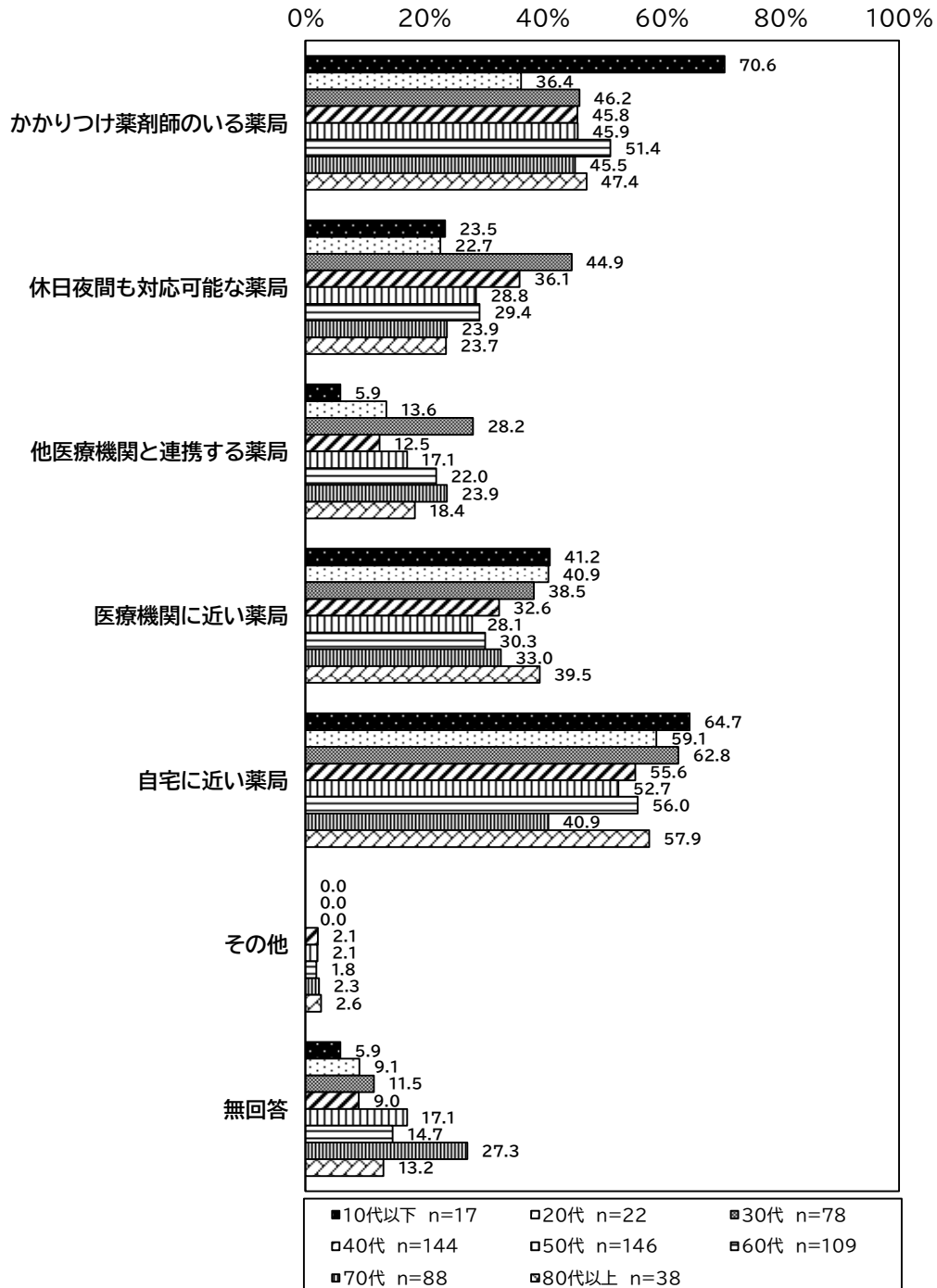


【2回目】最重要視のもの一つ

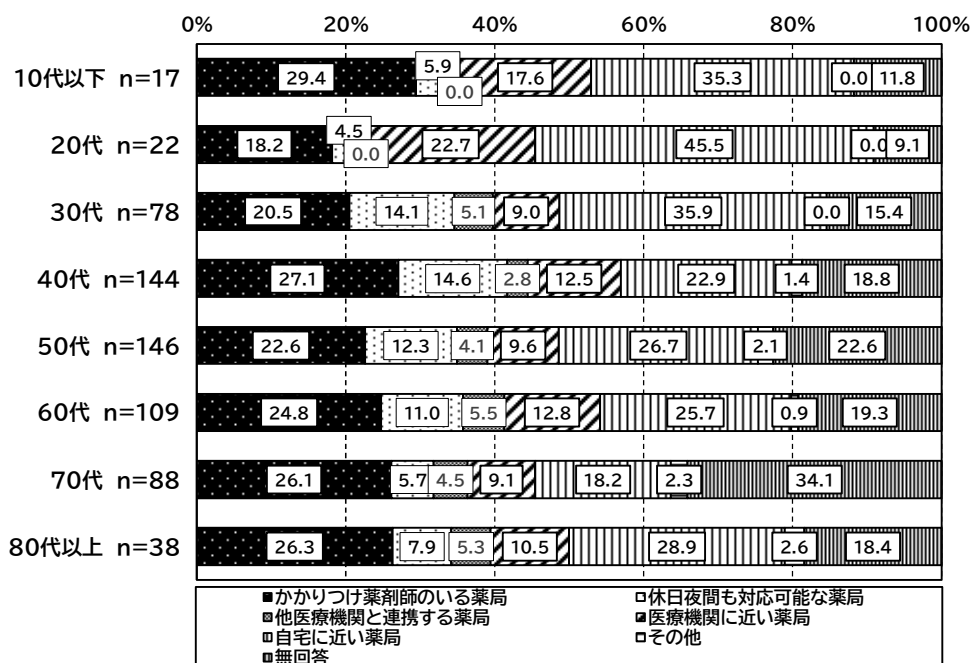
図表 4-67 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(性別)



図表 4-68 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(複数回答) (年代別)



4-69 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(年代別)



【その他の記載内容】

- ・ 職場に近い薬局
- ・ 郵送可能な薬局
- ・ 信頼できる薬剤師がいる薬局
- ・ 必要な薬が揃う
- ・ SNS 対応をしている薬局
- ・ 受けたくない 等

(6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等

① リフィル処方箋に関してご意見・ご要望

- ・紙は紛失するのでデジタルにしてほしい
- ・症状が安定しており、薬のみ希望する患者にとって需要が多いと感じる
- ・認知度が低いため、医師から提案してほしい
- ・医師と薬剤師の判断が異なる場合の対処方法や連携についてきちんと教えてほしい
- ・処方箋は患者の希望により薬局で預かる仕組みにしてほしい
- ・飲み忘れや副作用への対応がスムーズにできるのか
- ・トラブル発生時の責任や賠償のルールを明確に定めてほしい
- ・高齢で受診する病院が多い患者にとって有用
- ・医師と接する機会が減るため、診察を受けない処方不安
- ・医療費削減のための施策を感じる
- ・アンケートが回答しづらかった

等

5. 患者調査（インターネット調査）

【調査対象等】

○調査票 患者票

調査対象：直近3か月間で、保険薬局に処方箋を持って来局した患者を調査対象とした。調査客体数は1,000人とした。

回答数：1000人

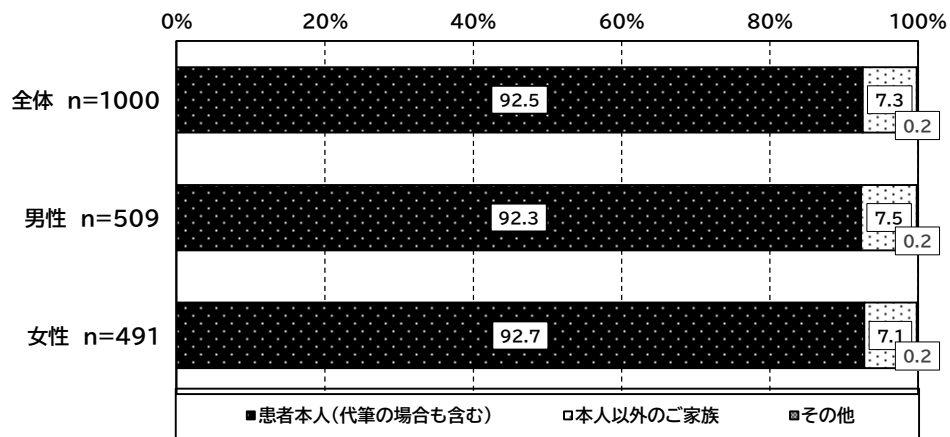
回答者：患者

(1) この調査票の記入者

① 調査票の記入者は患者本人か

調査票の記入者は患者本人かについては「患者ご本人」が92.5%、「本人以外のご家族等」が7.3%であった。

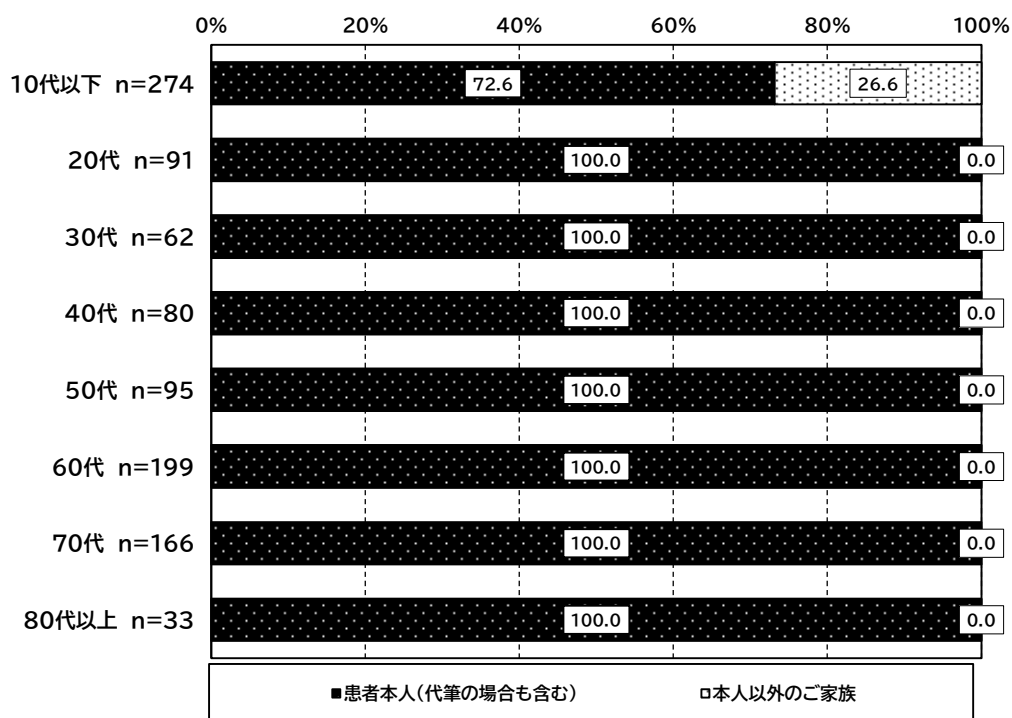
図表 5-1 調査票の記入者
(性別)



【本人以外のご家族等の記載内容】

- ・保護者
- ・子供 等

図表 5-2 調査票の記入者
(年代別)



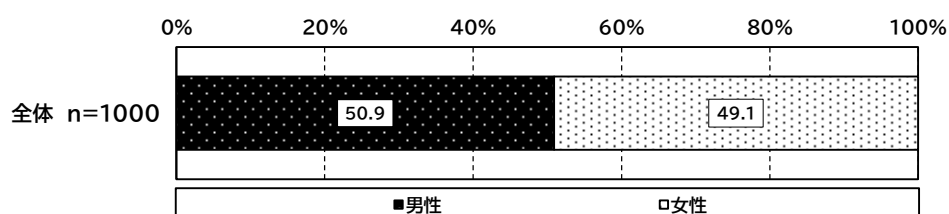
【その他の記載内容】
・10～19歳の女の子様 等

(2) 患者ご自身のことについて

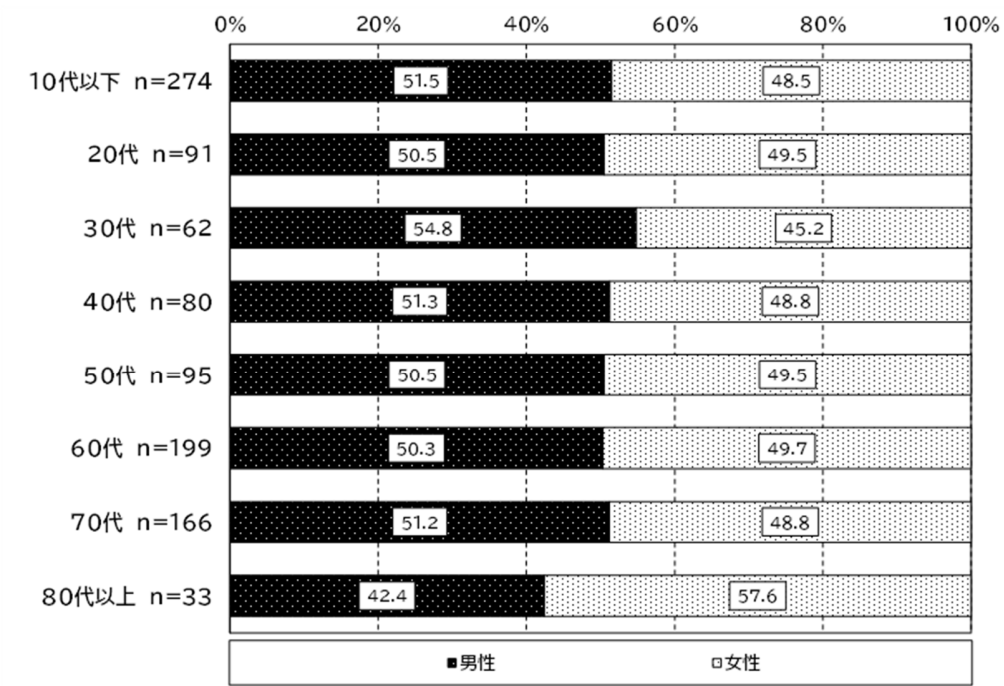
① 性別

性別については「男性」が50.9%、「女性」が49.1%であった。

図表 5-3 性別



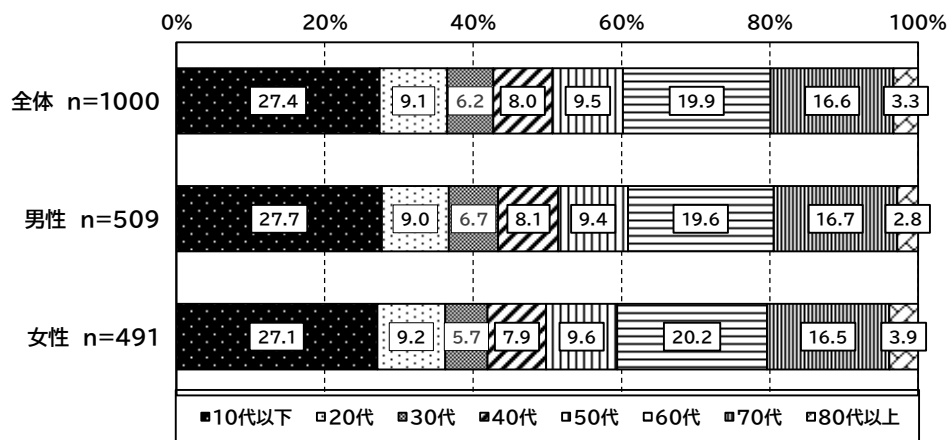
図表 5-4 性別
(年代別)



② 年齢

年齢については「10代以下」が最も多く 27.4%、次いで「60代」が 19.9%であった。

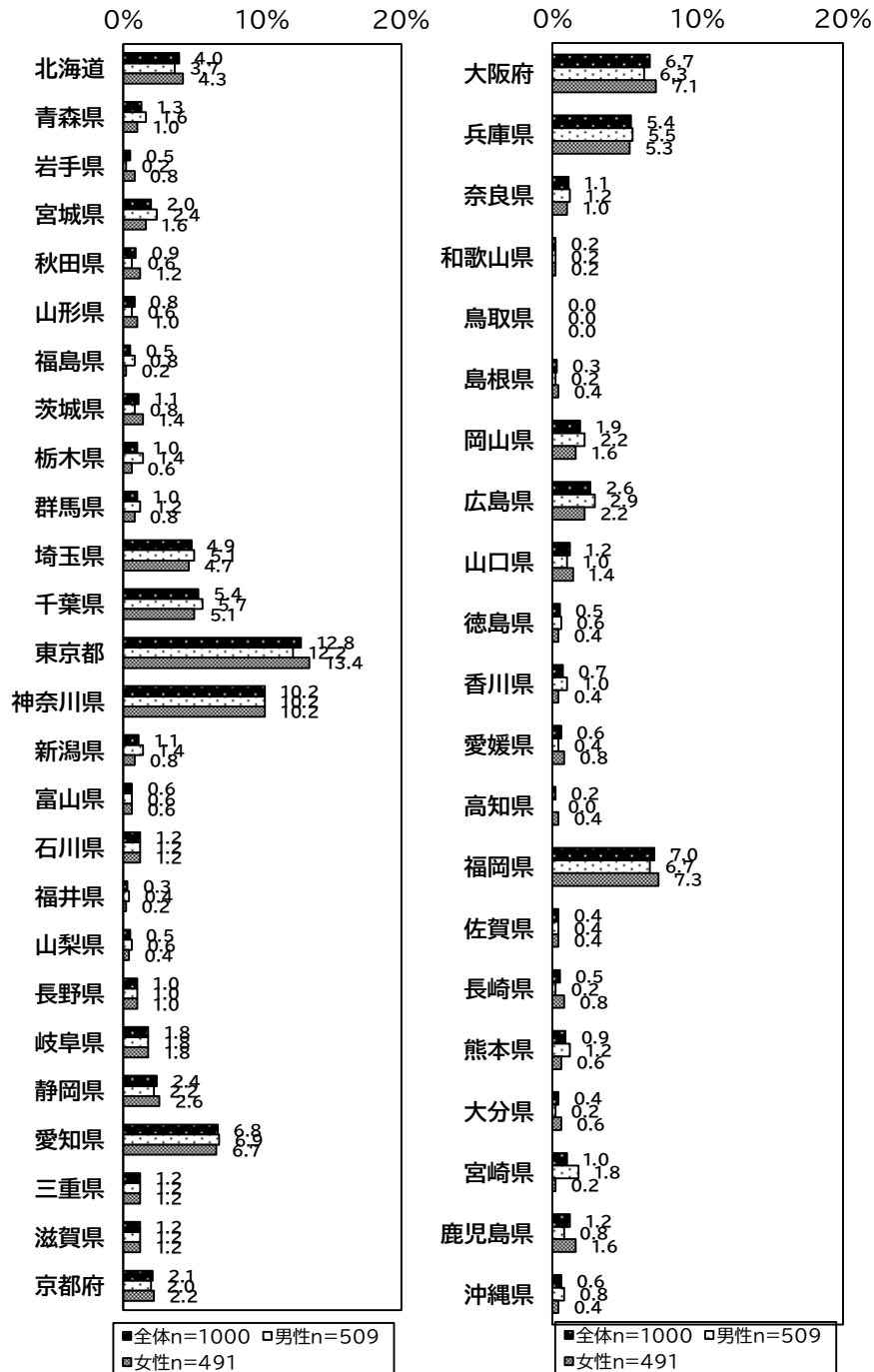
図表 5-5 年齢



③ お住まい

お住まいについては「東京都」が最も多く12.8%であった。

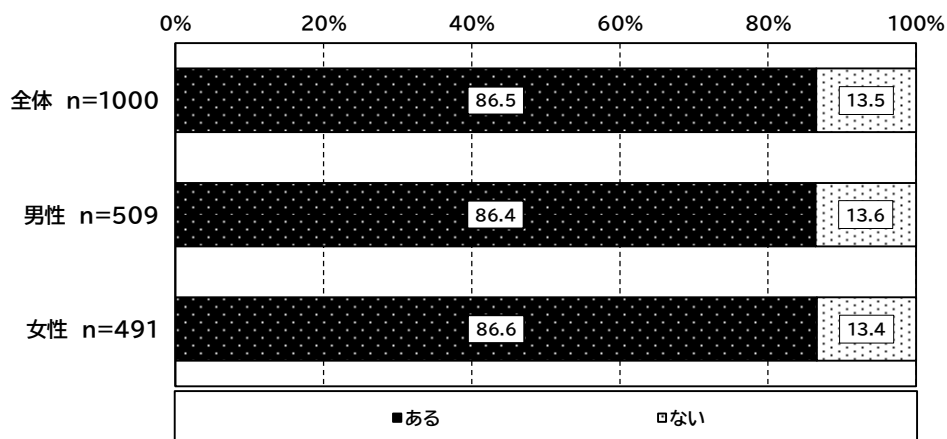
図表 5-6 お住まい
(性別)



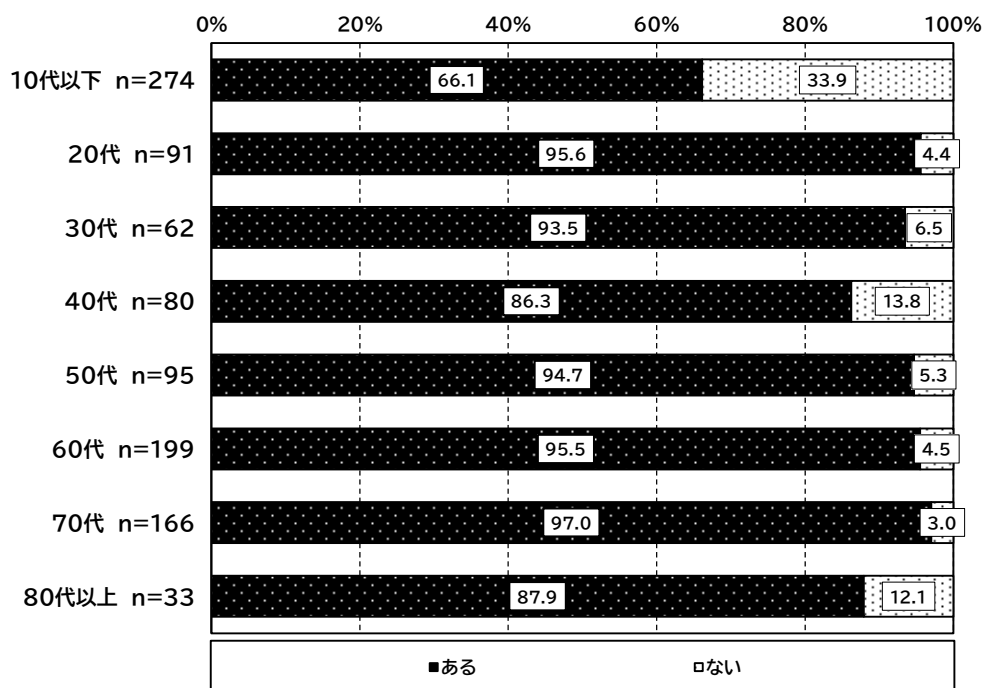
④ 薬局の窓口で支払うお金の有無

薬局の窓口で支払うお金（お薬の容器代は含まない）については、「ある」が86.5%、「ない」が13.5%であった。

図表 5-7 薬局の窓口で支払うお金の有無
(性別)



図表 5-8 薬局の窓口で支払うお金の有無
(年代別)



(3) 医療機関や保険薬局の利用状況等について

① 定期的に受診している医療機関について

【医療機関数】

定期的（180日間で複数回）に受診している医療機関（病院・診療所）の数については以下のとおりであった。

図表 5-9 定期的に受診している医療機関の数

(単位：件)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
医療機関の数	1000	1.4	1.1	1.0

図表 5-10 定期的に受診している医療機関の数
(性別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	医療機関の数	509	1.4	1.1	1.0
女性	医療機関の数	491	1.4	1.0	1.0

図表 5-11 定期的に受診している医療機関の数
(年代別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	医療機関の数	274	1.1	1.0	1.0
20代		91	1.2	0.9	1.0
30代		62	1.4	1.7	1.0
40代		80	1.2	0.9	1.0
50代		95	1.5	0.8	1.0
60代		199	1.6	1.1	1.0
70代		166	1.8	1.0	2.0
80代以上		33	2.0	1.0	2.0

【診療科数数】

定期的（180日間で複数回）に受診している診療科の数については以下のとおりであった。

図表 5-12 定期的に受診している診療科の数

(単位：件)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
医療機関の数	1000	1.6	1.9	1.0

図表 5-13 定期的に受診している診療科の数
(性別)

(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	医療機関の数	509	1.6	2.1	1.0
女性	医療機関の数	491	1.5	1.6	1.0

図表 5-14 定期的に受診している診療科の数
(年代別)

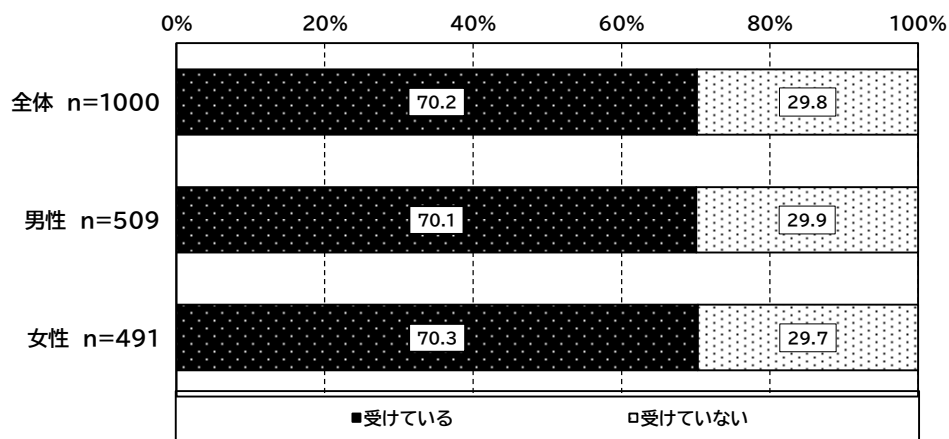
(単位：件)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	医療機関の数	274	1.2	2.2	1.0
20代		91	1.5	2.6	1.0
30代		62	1.5	2.1	1.0
40代		80	1.1	0.9	1.0
50代		95	1.5	0.9	1.0
60代		199	1.7	1.5	1.0
70代		166	1.9	1.2	2.0
80代以上		33	2.8	3.5	2.0

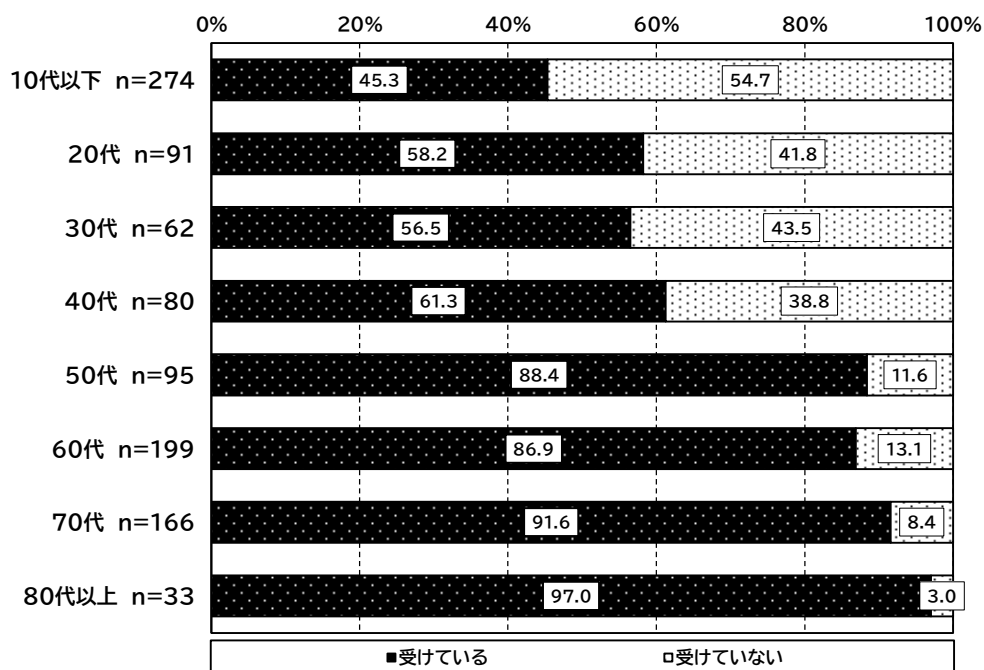
② 定期的に決まった薬の処方を受けているか

定期的に決まった薬の処方を受けているかについては、「受けている」が70.2%、「受けていない」が29.8%であった。

図表 5-15 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(性別)



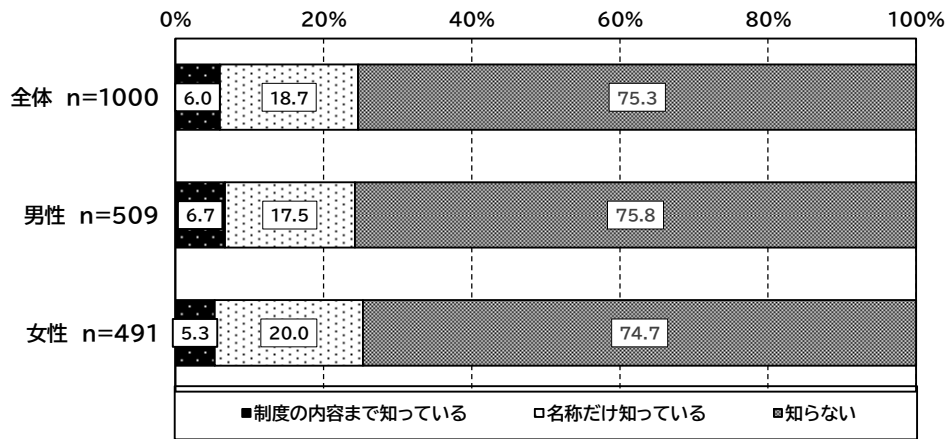
図表 5-16 定期的に決まった薬の処方を受けているか
(年代別)



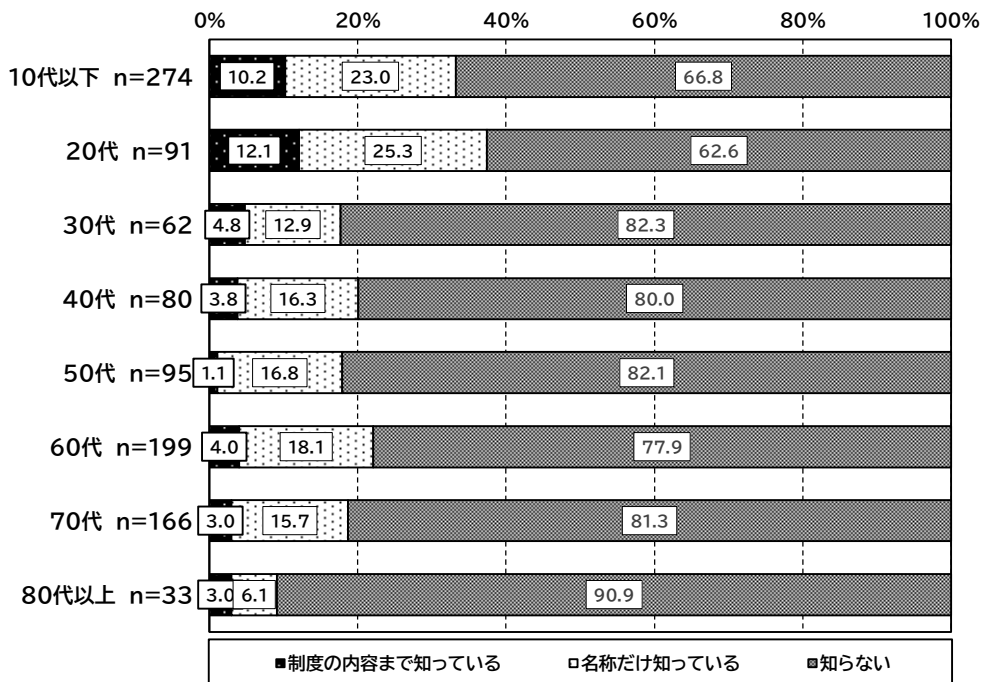
③ リフィル処方箋の認知度

リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っている」が6.0%、「名称だけ知っている」が18.7%、「知らない」が75.3%であった。
インターネット調査は郵送調査と比較して、「知らない」の割合が高まっている。

図表 5-17 リフィル処方箋を知っているか
(性別)



図表 5-18 リフィル処方箋を知っているか
(年代別)



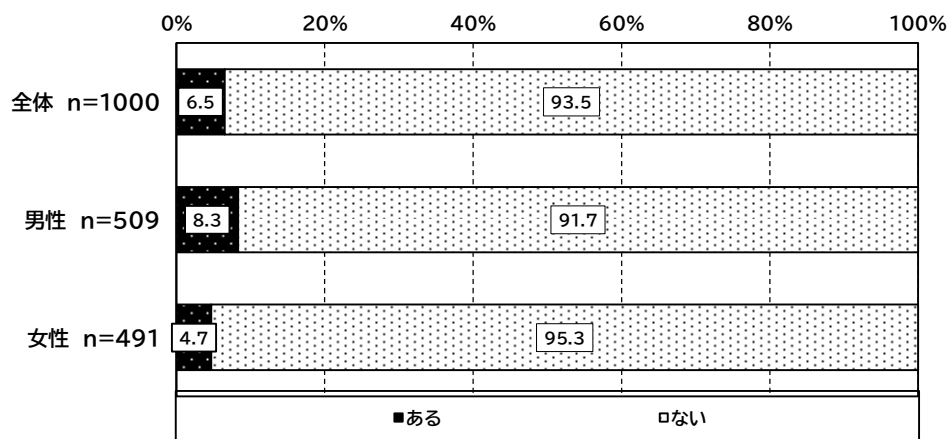
(4) これまでのリフィル処方箋を交付された経験

① リフィル処方箋について医師からの説明

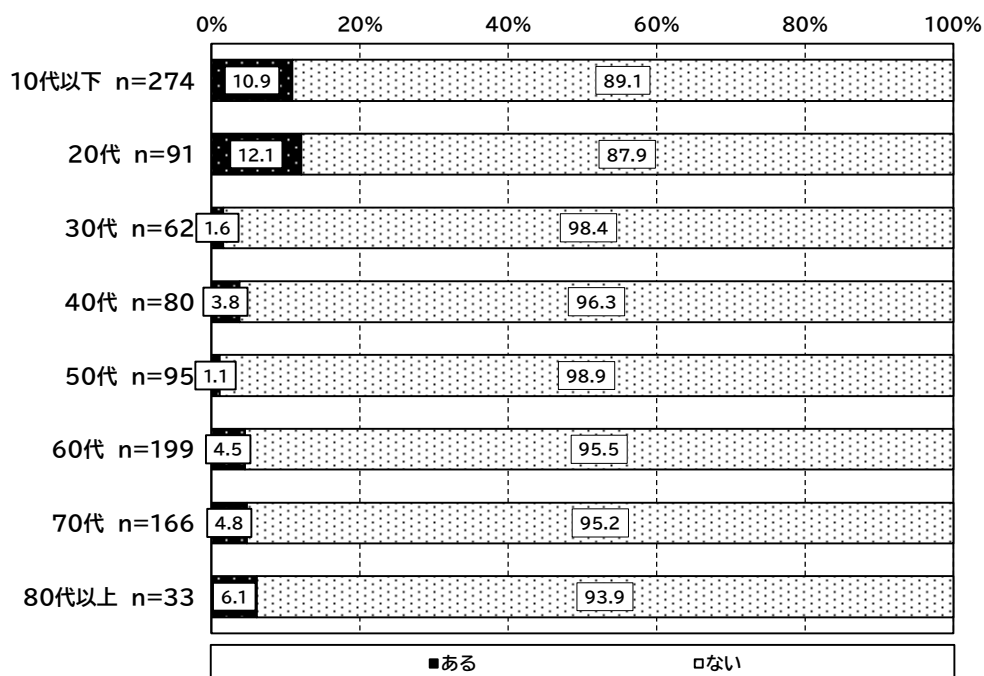
リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがあるか、については、「ある」が6.5%、「ない」が93.5%であった。

インターネット調査は郵送調査と比較して、「ない」の割合が高まっている。また、年代別に見た際の説明を受けた経験が「ある」と回答した割合が高い年代に違いがあり、郵送調査では「50代」が高いが、インターネット調査では「10代以下」「20代」が高い。

図表 5-19 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験
(性別)



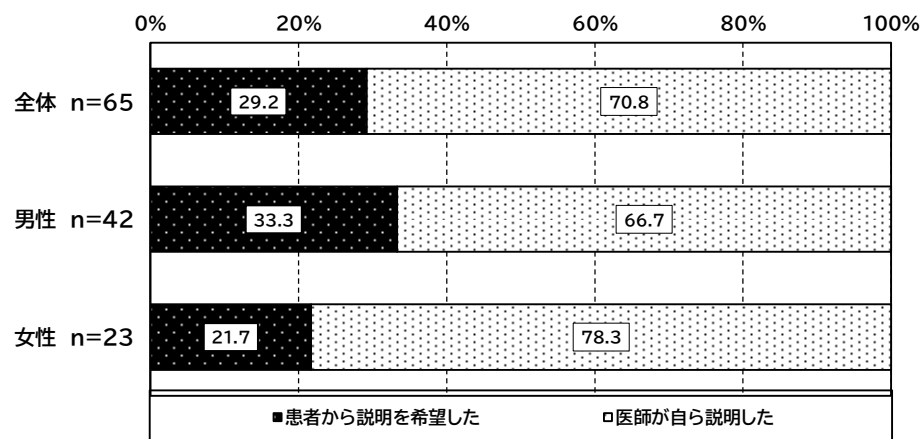
図表 5-20 リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験
(年代別)



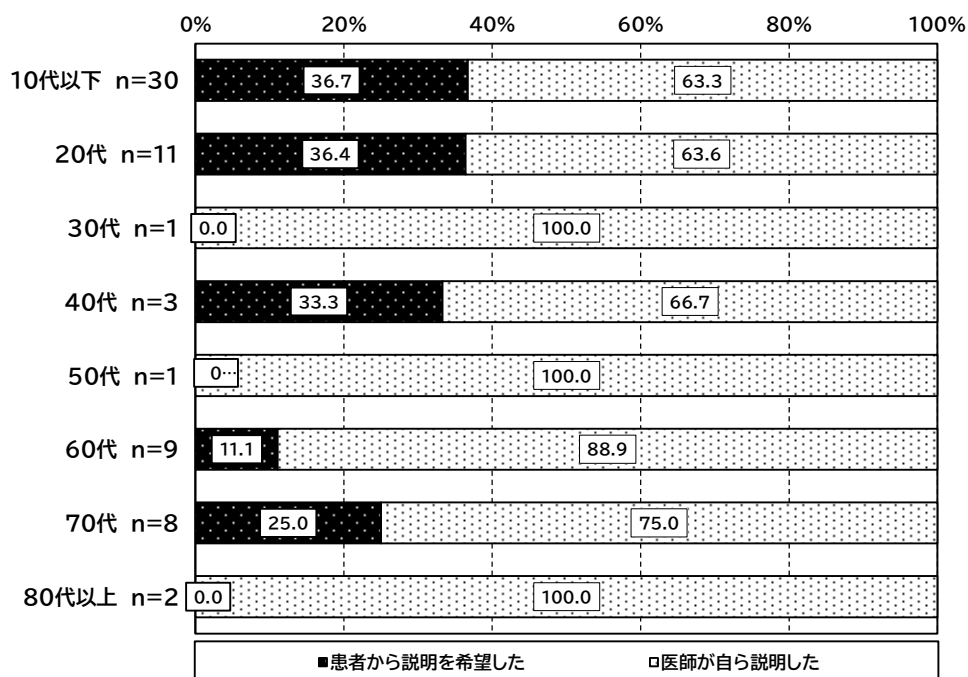
①-1 リフィル処方箋について説明はどのように行われたか (リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験が「ある」と回答した方のみ)

リフィル処方箋について医師から説明はどのように行われたか、については、「患者から説明を希望した」が 29.2%、「医師が自ら説明した」が 70.8%であった。

図表 5-21 リフィル処方箋について医師からの説明はどのように行われたか
(性別)



図表 5-22 リフィル処方箋について医師からの説明はどのように行われたか
(年代別)

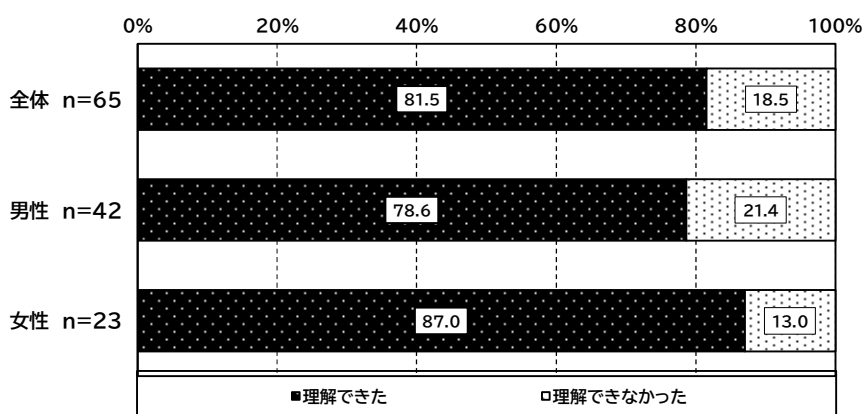


①-2 リフィル処方箋についての説明は理解できたか（リフィル処方箋について医師からの説明を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

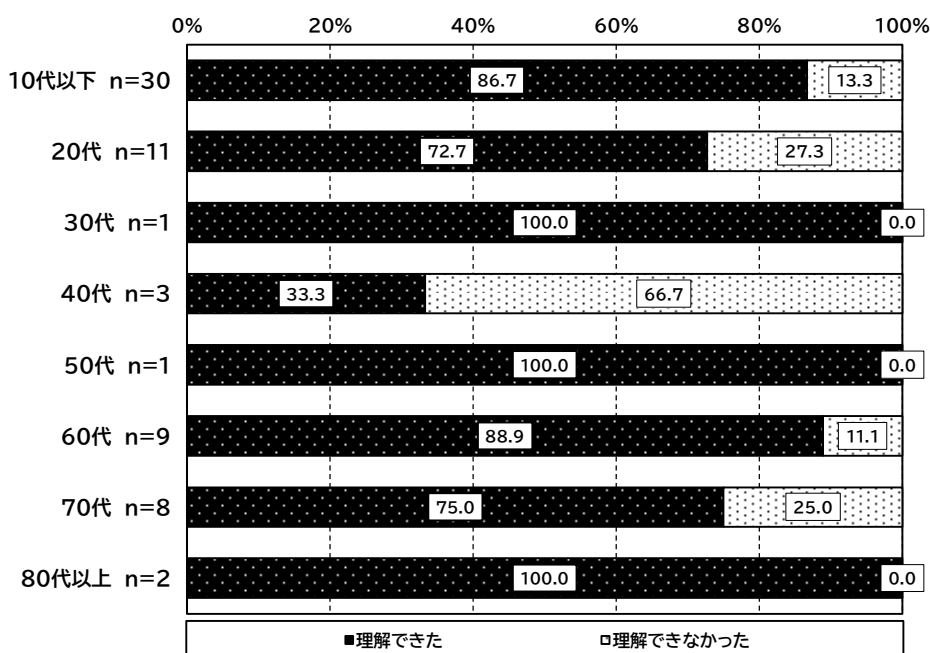
リフィル処方箋についての説明は理解できたかについては、「理解できた」が81.5%、「理解できなかった」が18.5%であった。

郵送調査よりもインターネット調査のほうが「理解できなかった」割合が高かった。

図表 5-23 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
(性別)



図表 5-24 リフィル処方箋についての説明は理解できたか
(年代別)

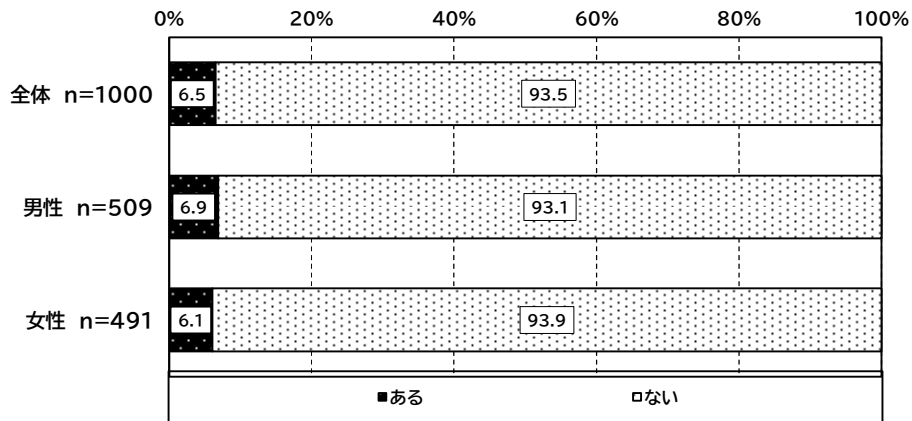


② リフィル処方箋を交付された経験

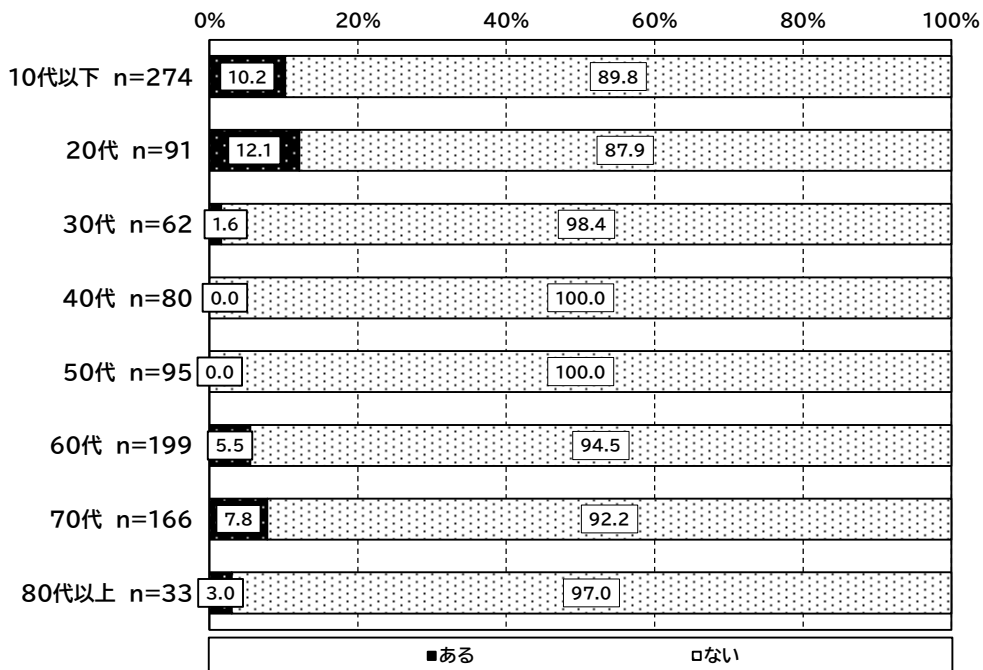
リフィル処方箋を交付されたことがあるか、については、「ある」が6.5%、「ない」が93.5%であった。

郵送調査よりもインターネット調査のほうが「ない」の割合が高く。交付された年代も「10代以下」「20代」等の若い層が多くなっている。

図表 5-25 リフィル処方箋を交付された経験
(性別)



図表 5-26 リフィル処方箋交付された経験
(年代別)

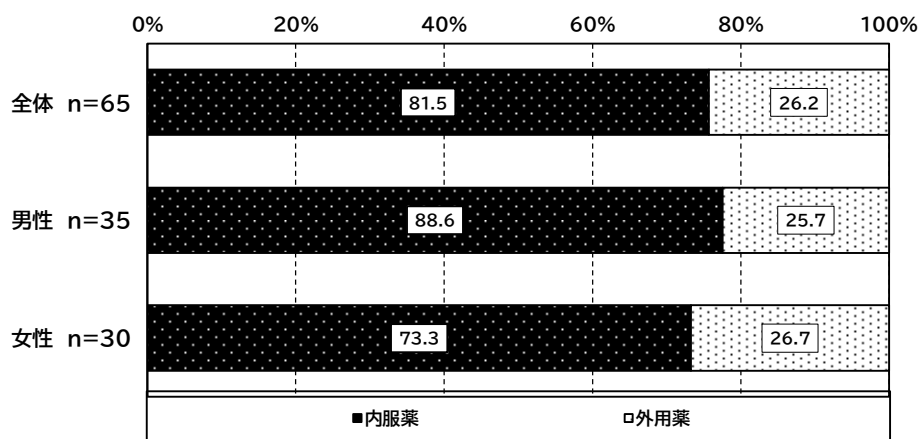


③ リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

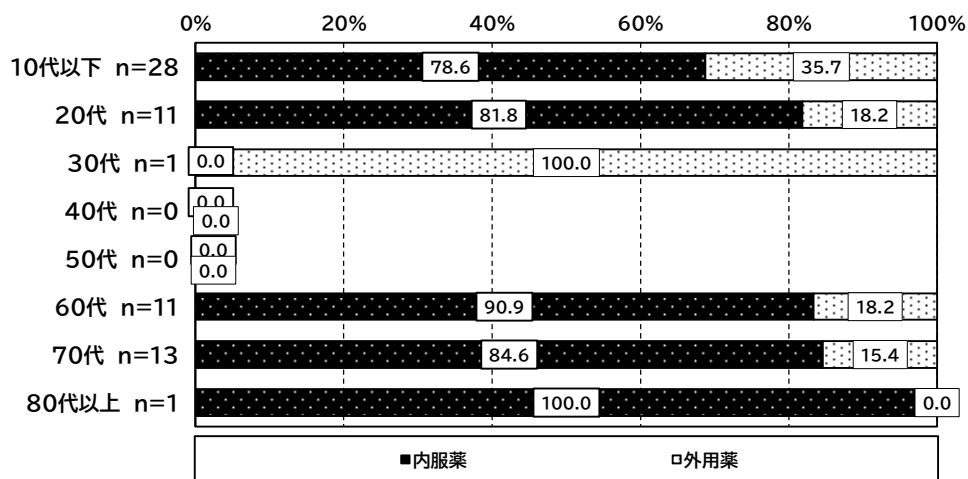
リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か、については、「内服薬」が81.5%、「外用薬」が26.2%であった。

郵送調査よりもインターネット調査のほうが「外用薬」の割合が高かった。

図表 5-27 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（性別）



図表 5-28 リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬か（年代別）

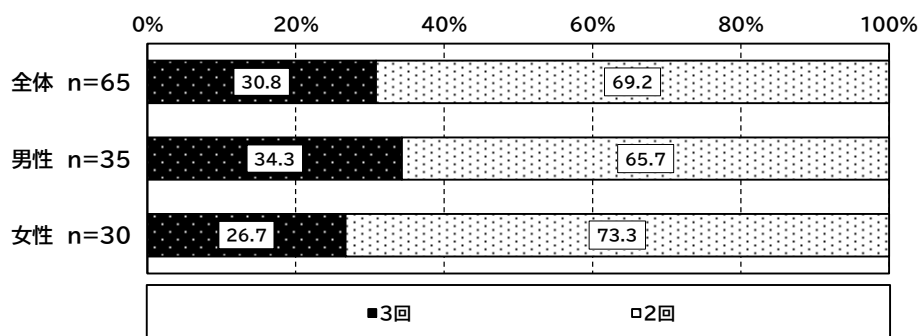


④ 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

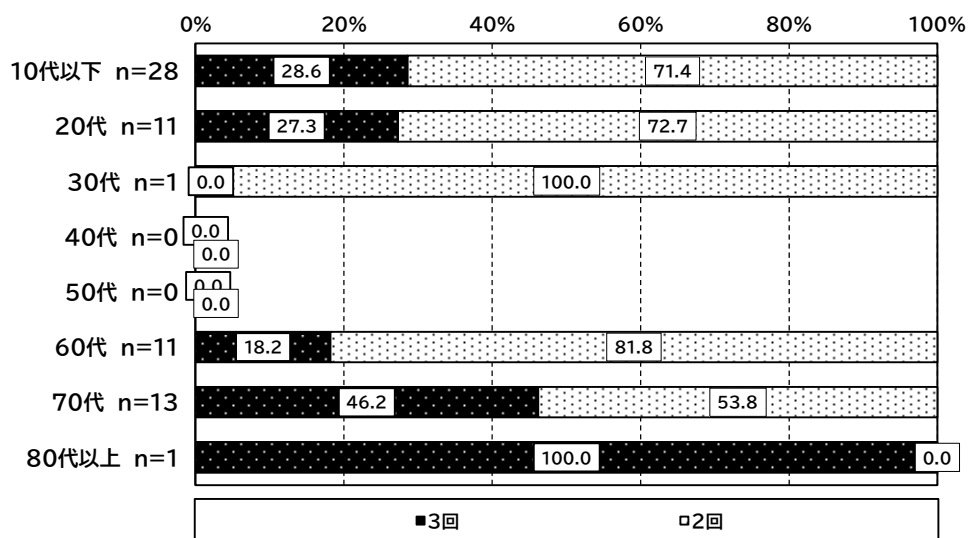
直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か、については、「3回」が30.8%、「2回」が69.2%であった。

郵送調査よりもインターネット調査のほうが「2回」の割合が高かった。

図表 5-29 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（性別）



図表 5-30 直近のリフィル処方箋は何回反復利用できる処方箋か（年代別）



⑤ リフィル処方箋は1回あたりに何日分の薬の処方だったか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

⑤-a. 1回目の処方は何日分か

1回目の処方は何日分については、平均で15.3日分であった。10代以下、20代の数値が突出して短期間であることが郵送調査との違いとして見られた。

図表 5-31 1回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
1回目の処方	65	15.3	17.2	7/0

図表 5-32 1回目の処方は何日分か
(性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	1回目の処方	35	16.1	19.8	7.0
女性	1回目の処方	30	14.4	13.6	7.0

図表 5-33 1回目の処方は何日分か
(年代別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	1回目の処方	28	6.9	6.9	5.0
20代		11	7.6	8.6	5.0
30代		1	30	0	30.0
40代		-	-	-	-
50代		-	-	-	-
60代		11	27	25.1	20.0
70代		13	29.5	15.8	30.0
80代以上		1	7	0	7.0

⑤-b. 2回目の処方は何日分か

2回目の処方は何日分かについては、平均で16.2日分であった。10代以下、20代の数値が突出して短期間であることが郵送調査との違いとして見られた。

図表 5-34 2回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
2回目の処方	65	16.2	19.5	7.0

図表 5-35 2回目の処方は何日分か
(性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	2回目の処方	35	15.9	18.6	7.0
女性	2回目の処方	30	16.5	20.5	7.0

図表 5-36 2回目の処方は何日分か
(年代別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	2回目の処方	28	7.1	7.1	5.0
20代		11	9.2	10.0	5.0
30代		1	30	0.0	30.0
40代		-	-	-	-
50代		-	-	-	-
60代		11	24.9	22.7	21.0
70代		13	33.9	25.5	30.0
80代以上		1	7	0.0	7.0

⑤-c. 3回目の処方は何日分か

3回目の処方は何日分かについては、平均で16.4日分であった。10代以下、20代の数値が突出して短期間であることが郵送調査との違いとして見られた。

図表 5-37 3回目の処方は何日分か

(単位：日分)

	回答者数	平均値	標準偏差	中央値
3回目の処方	20	16.4	15.7	7.0

図表 5-38 3回目の処方は何日分か
(性別)

(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
男性	3回目の処方	12	17.8	17.7	13.5
女性	3回目の処方	8	14.4	11.7	7

図表 5-39 3回目の処方は何日分か
(年代別)

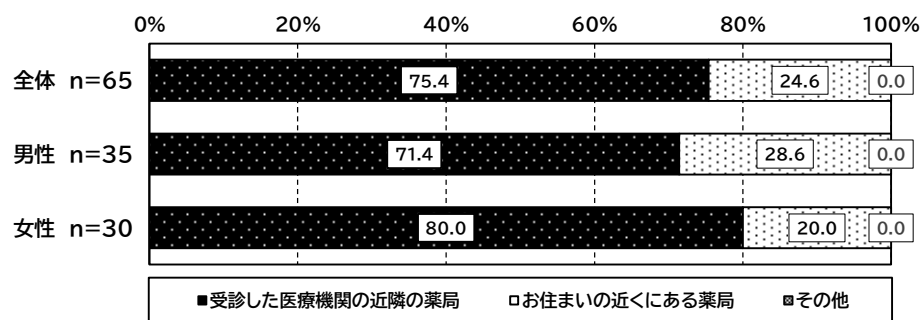
(単位：日分)

		回答者数	平均値	標準偏差	中央値
10代以下	3回目の処方	8	4.1	2.1	4.0
20代		3	10.7	13.7	1.0
30代		-	-	-	-
40代		-	-	-	-
50代		-	-	-	-
60代		2	28	0	28.0
70代		6	31.2	15.4	30.0
80代以上		1	20	0	30.0

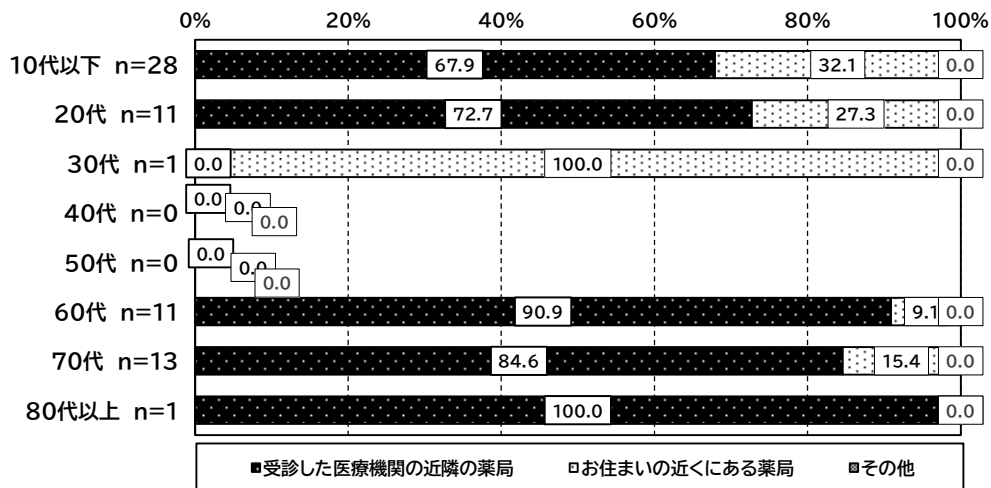
⑥ リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか、については、「受診した医療機関の近隣の薬局」が75.4%、「お住まいの近くにある薬局」が24.6%であった。

図表 5-40 リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（性別）



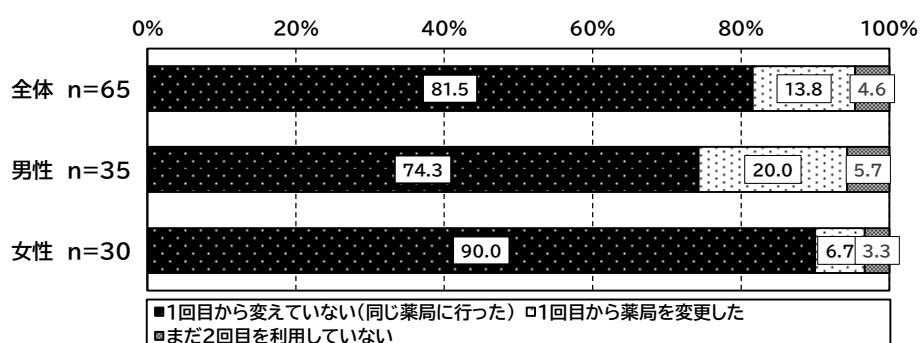
図表 5-41 リフィル処方箋の1回目の処方でどこの薬局に行ったか（年代別）



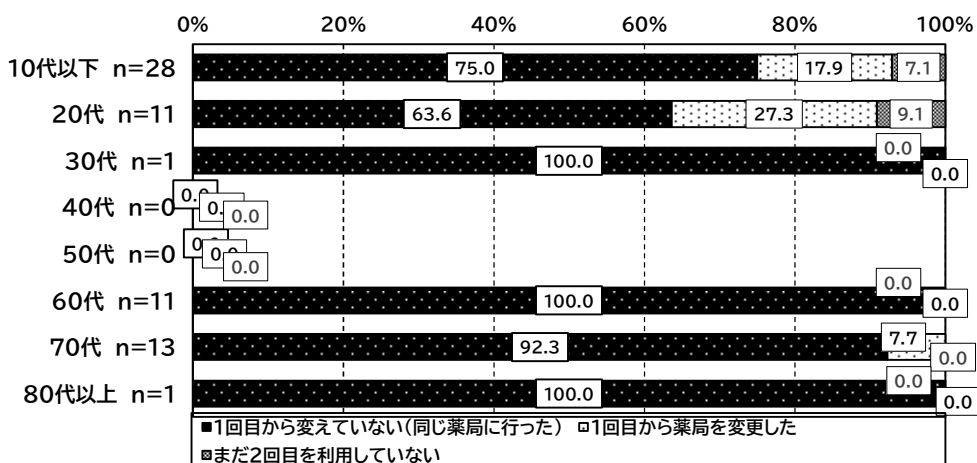
⑦ リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（リフィル処方箋の交付を受けた経験が「ある」と回答した方のみ）

リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか、については、「1回目から変えていない（同じ薬局に行った）」が81.5%、「1回目から薬局を変更した」が13.8%、「まだ2回目を利用していない」が4.6%であった。

図表 5-42 リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（性別）

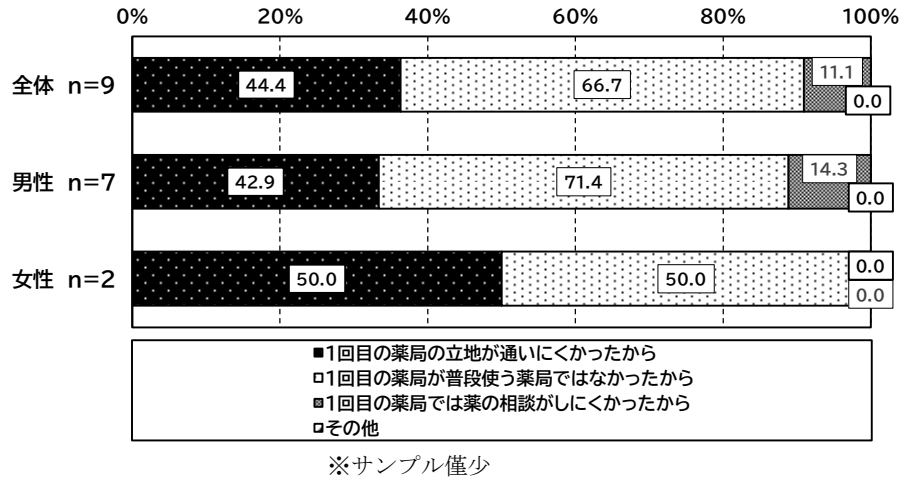


図表 5-43 リフィル処方箋の2回目以降の処方箋で薬局を変えたか（年代別）

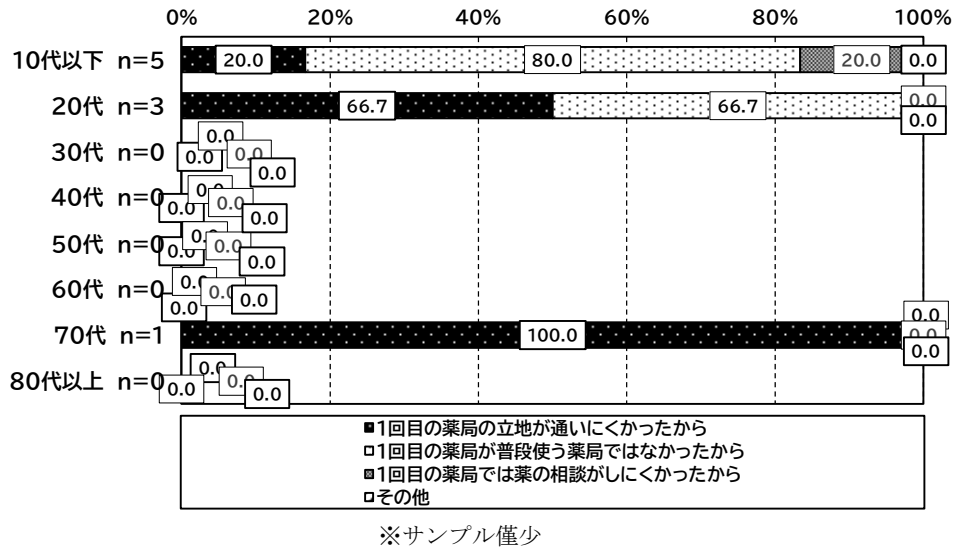


⑦-1 薬局を変更した理由（1回目から薬局を変更したと回答した方のみ）
 薬局を変更した理由については、「1回目の薬局が普段使う薬局ではなかったから」が最も多く66.7%であった。

図表 5-44 薬局を変更した理由
 (性別)



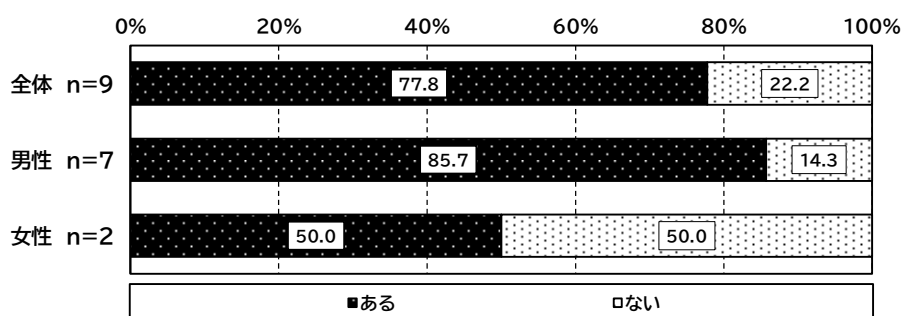
図表 5-45 薬局を変更した理由
 (年代別)



⑦-2 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（1回目から薬局を変更したと回答した方のみ）

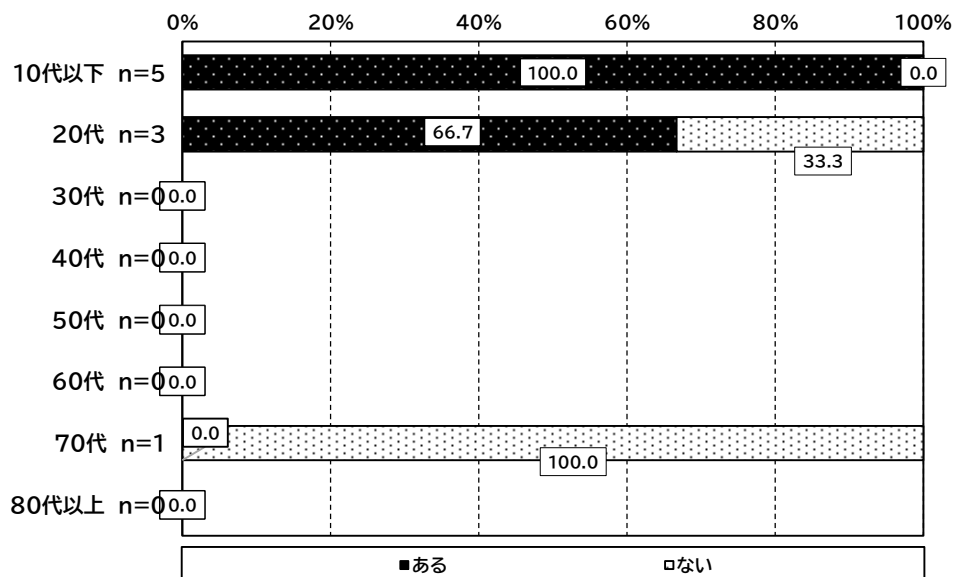
2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験は、「ある」が77.8%、「ない」が22.2%であった。

図表 5-46 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（性別）



※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

図表 5-47 2回目以降のリフィル時に薬剤師から受診が必要と言われた経験（年代別）



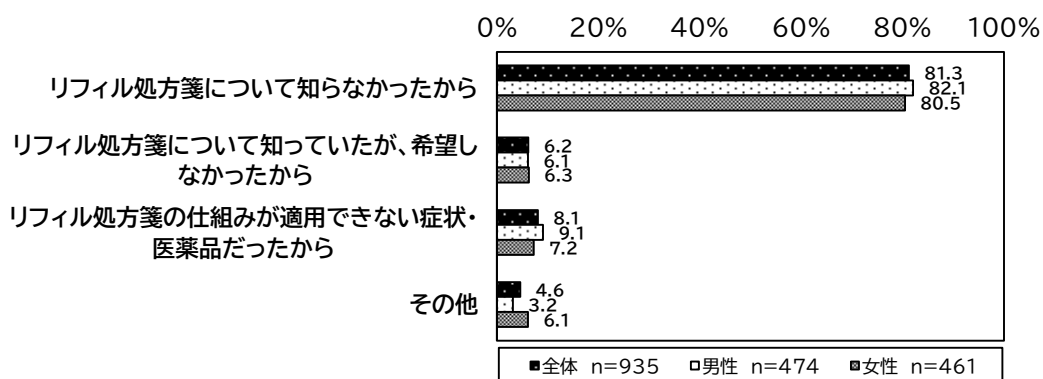
※「10代以下」～「30代」、「70代」「80代以上」はサンプル僅少

⑧ リフィル処方箋が交付されていない理由

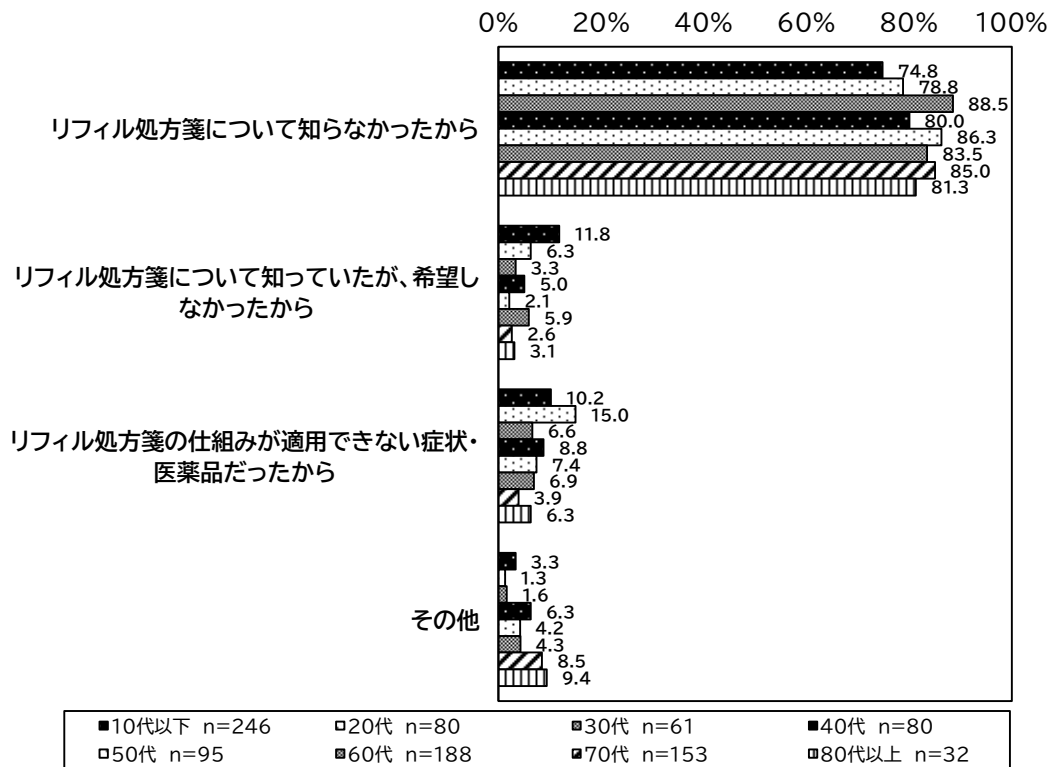
リフィル処方箋が交付されていない理由については、「リフィル処方箋について知らなかったから」が最も多く81.3%であった。

郵送調査よりもインターネット調査のほうが「リフィル処方箋について知らなかったから」の割合が高かった。

図表 5-48 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（性別）



図表 5-49 リフィル処方箋が交付されていない理由（複数回答）
（年代別）



【その他の記載内容】

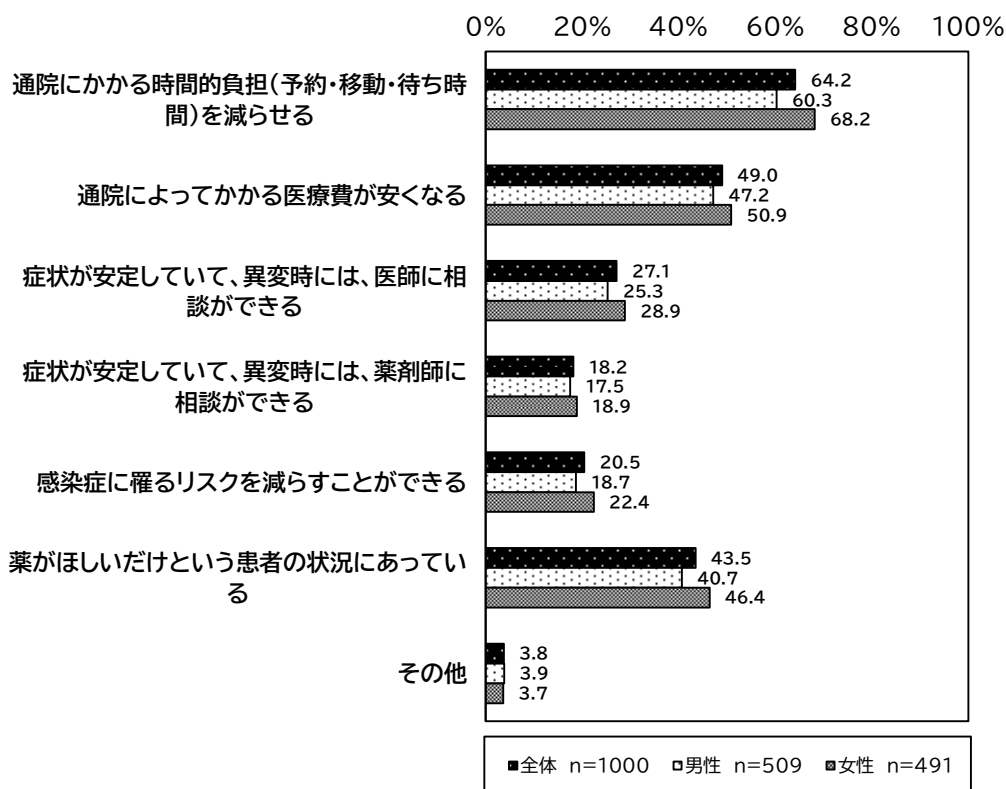
- ・リフィル処方箋がわからない
- ・知らなかった
- ・必要がない
- ・病院・医師からの打診(説明)がなかったから
- ・症状によって投薬に変化があるため 等

(5) これからのリフィル処方箋の利用意向

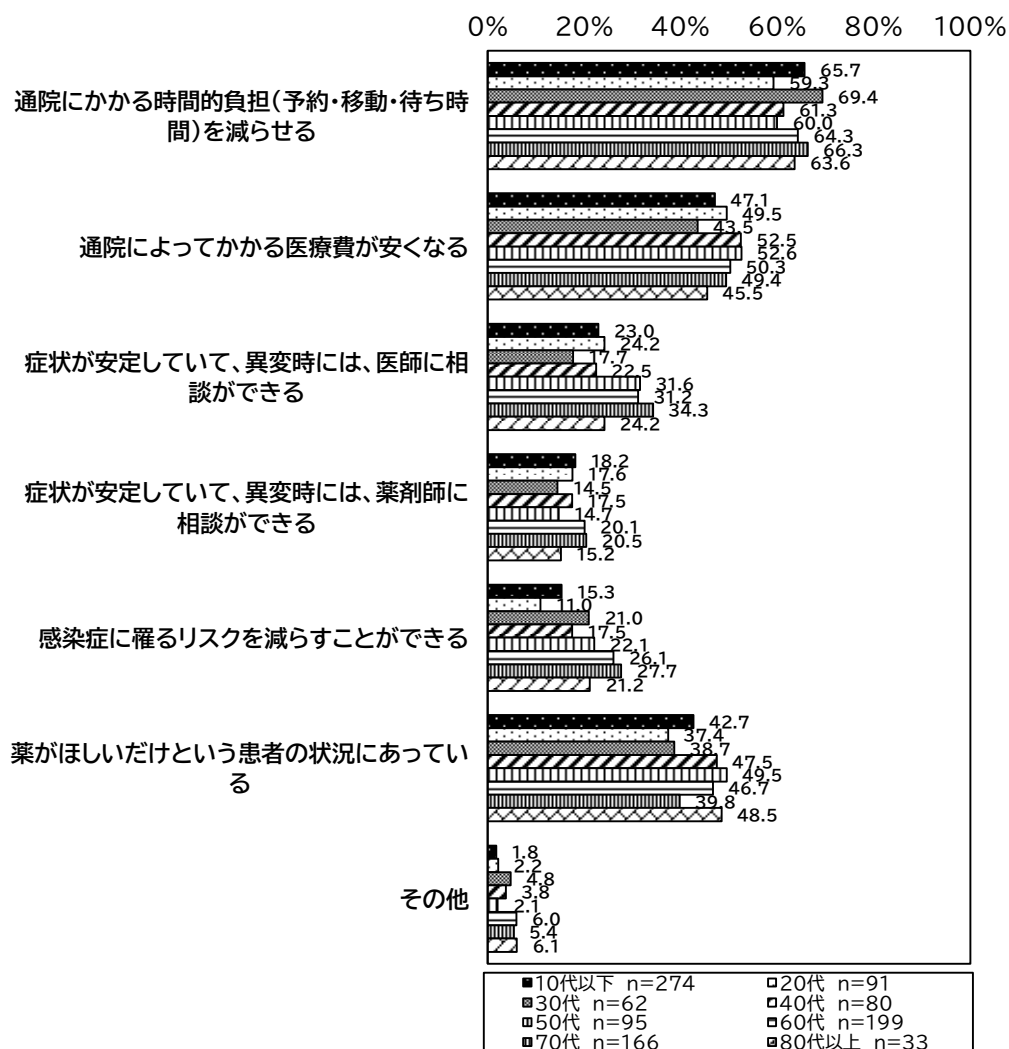
① リフィル処方箋のメリット・デメリットとそれらを踏まえた利用意向

①-1 リフィル処方箋を使用することについてメリットになると感じるもの
 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるものについては、「通院にかかる時間的負担（予約・移動・待ち時間）を減らせる」が最も多く64.2%であった。

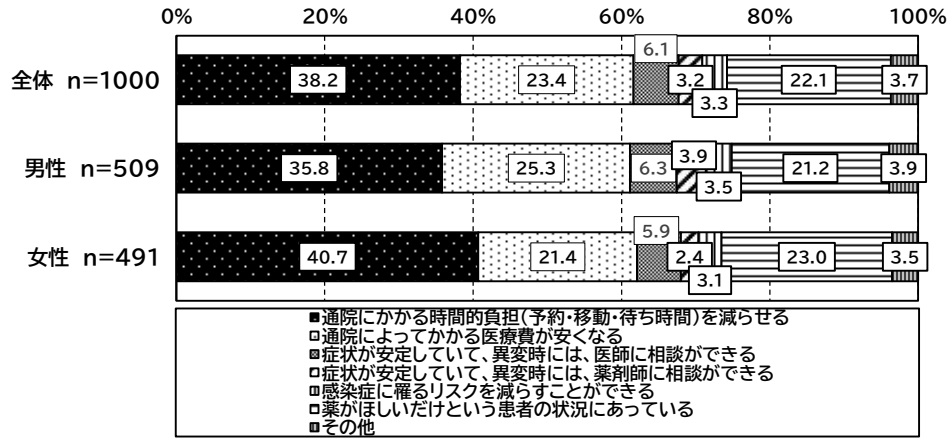
図表 5-50 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの（複数回答）該当するもの全て選択（性別）



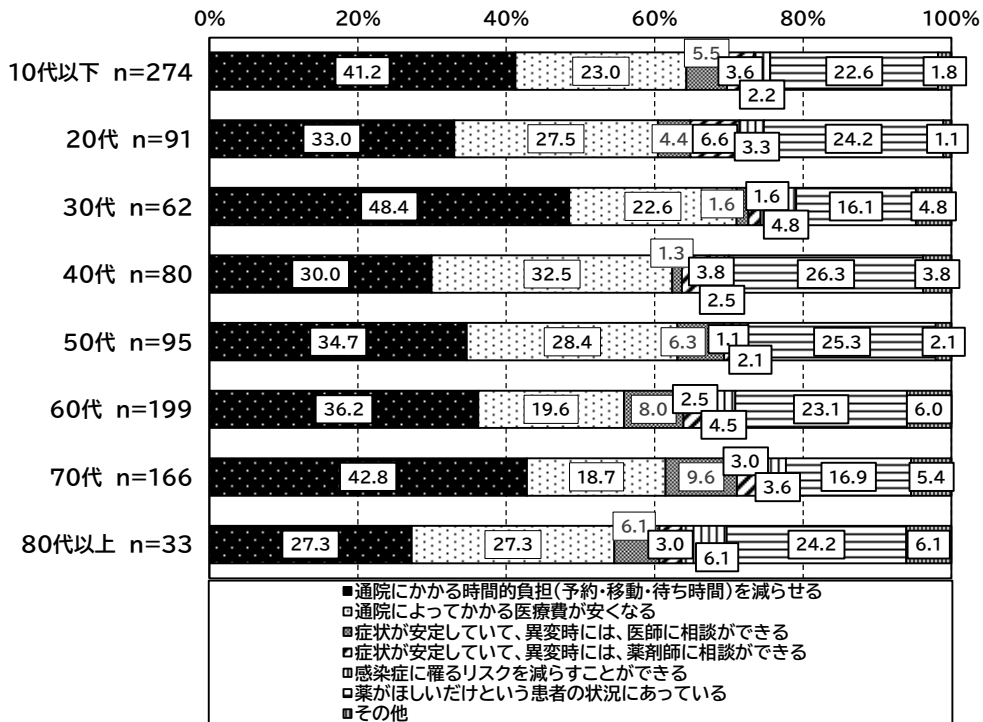
図表 5-51 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
(複数回答) 該当するもの全て選択 (年代別)



図表 5-52 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
最も重要なもの一つ（性別）



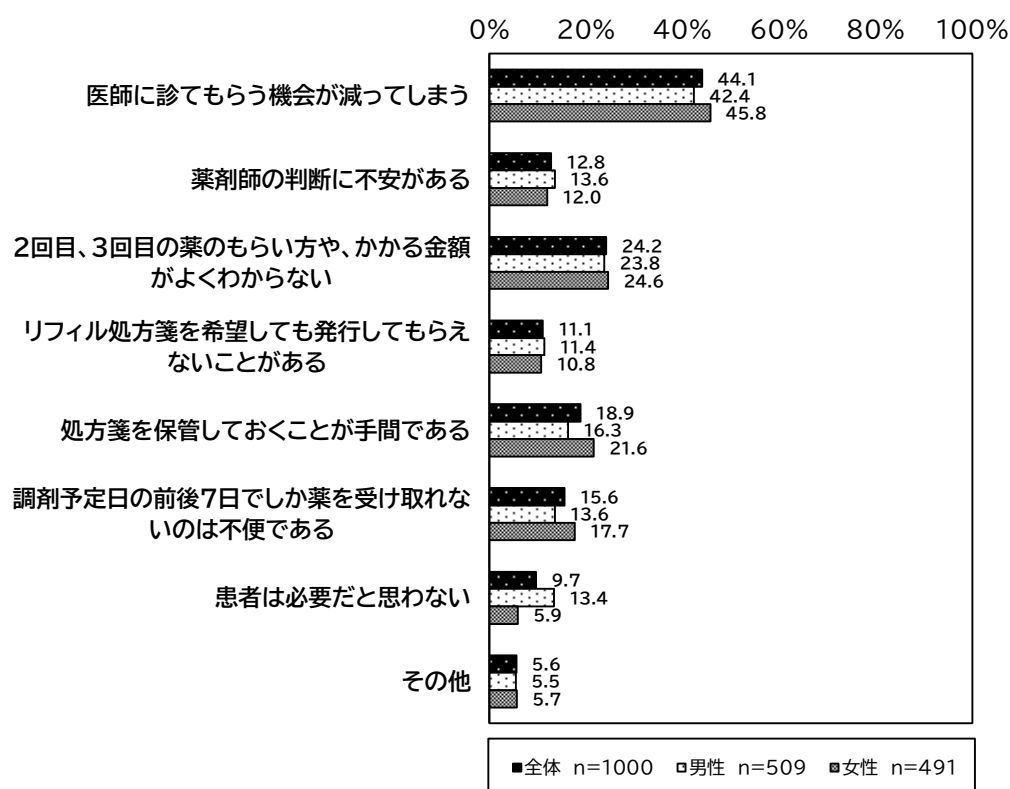
図表 5-53 リフィル処方箋を利用することについてメリットになると感じるもの
最も重要なもの一つ（年代別）



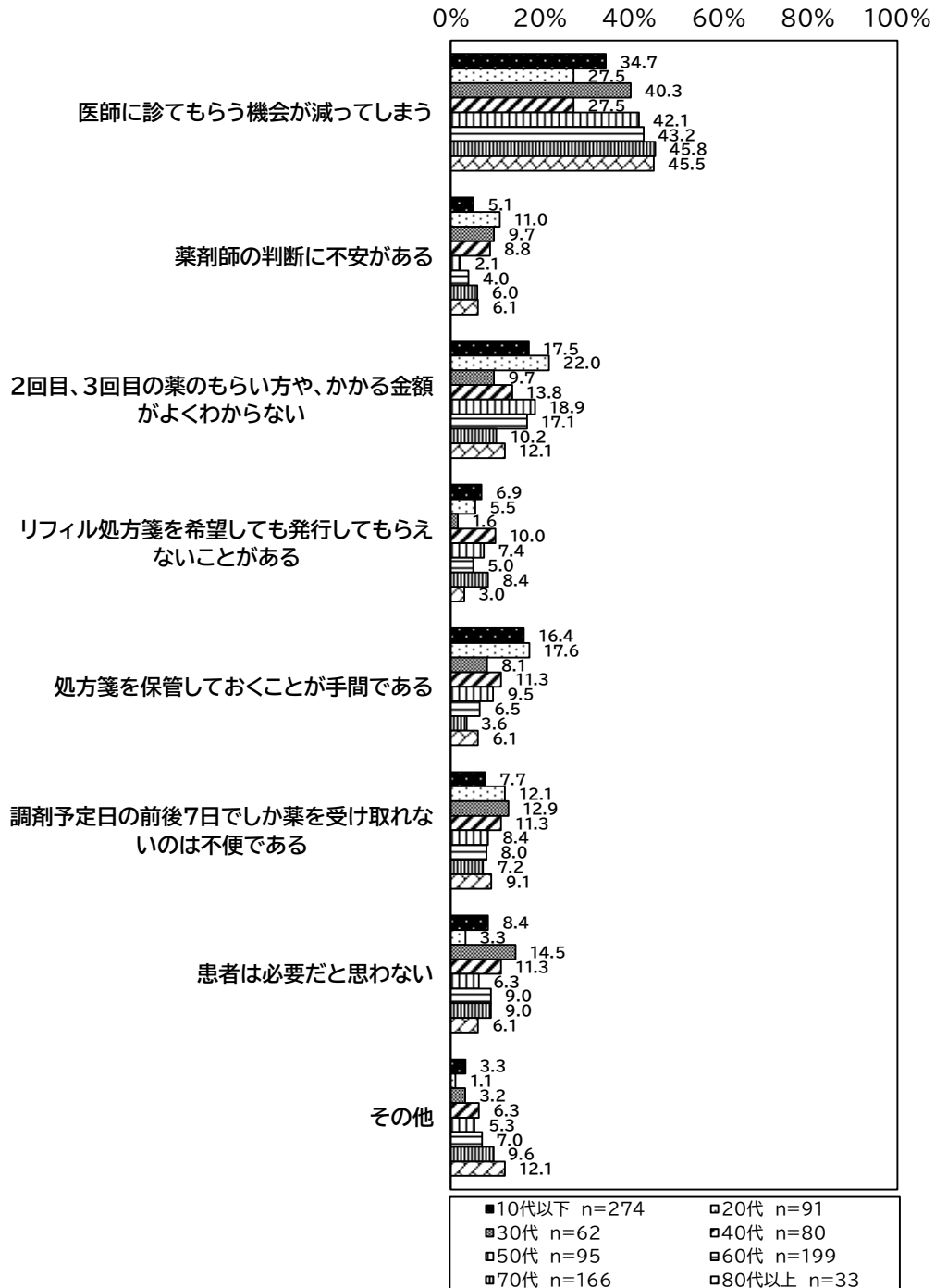
①-2 リフィル処方箋を使用することについてデメリットになると感じるもの

リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるものについては、「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く44.1%であった。

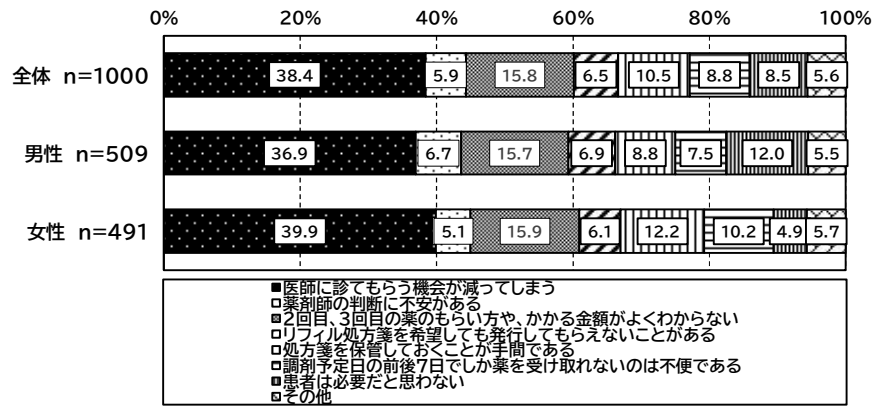
図表 5-54 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの該当するもの全て選択（性別）



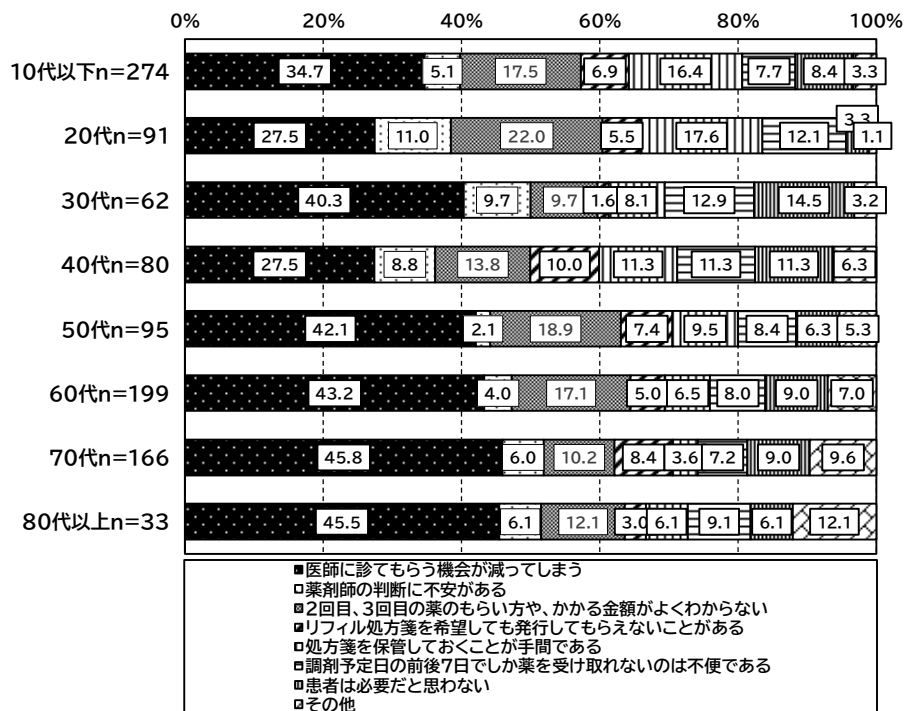
図表 5-55 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
該当するもの全て選択（年代別）



図表 5-56 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
最大のもの一つ（性別）



図表 5-57 リフィル処方箋を利用することについてデメリットになると感じるもの
最大のもの一つ（年代別）

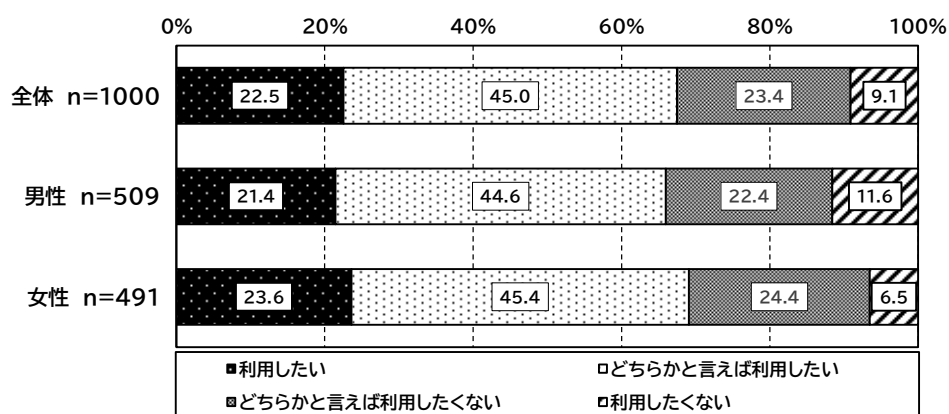


【その他の記載内容】

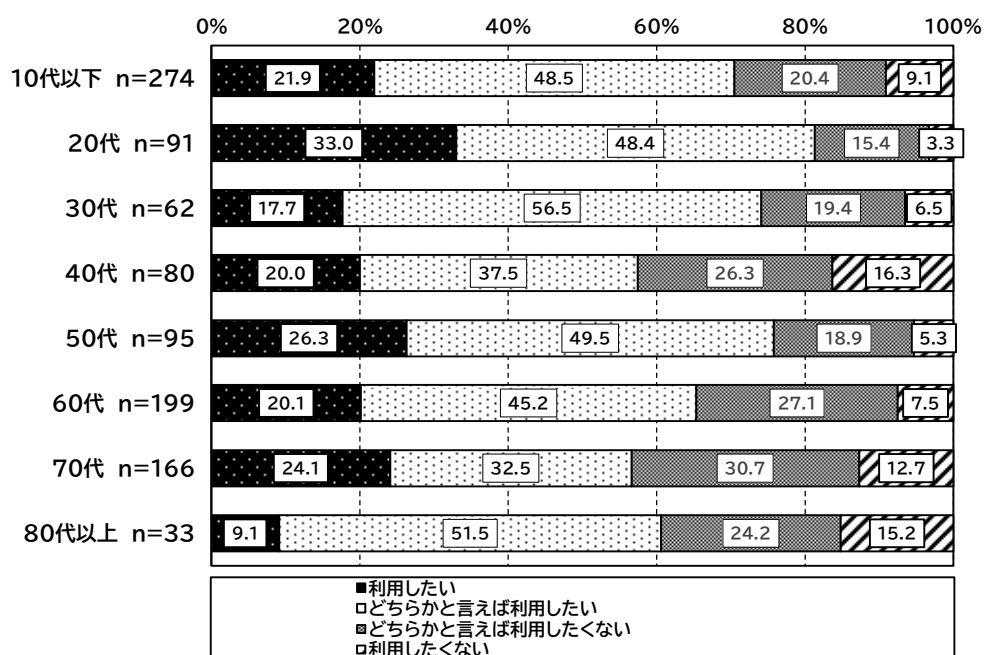
- ・デメリットはないと思う
- ・症状の変化/病名にもよると思う
- ・詳細を知らない・わからない
- ・医療機関が対応しているか不明 等

①-3 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか
 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が22.5%、「どちらかと言えば利用したい」が45%、「どちらかと言えば利用したくない」が23.4%、「利用したくない」が9.1%であった。

図表 5-58 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか
 (性別)



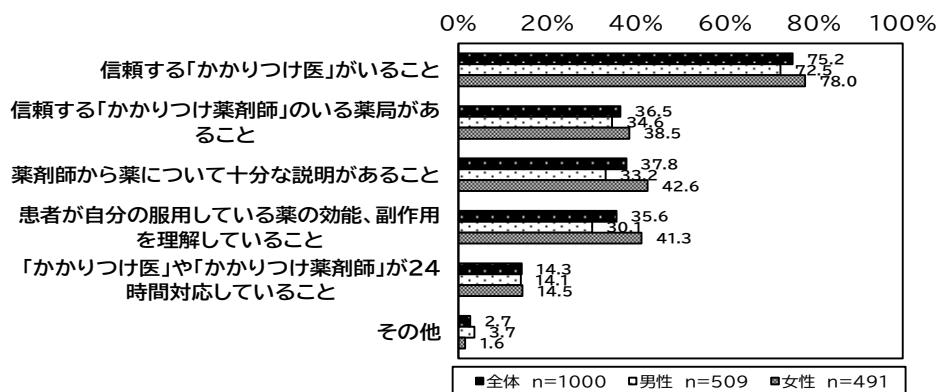
図表 5-59 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいか
 (年代別)



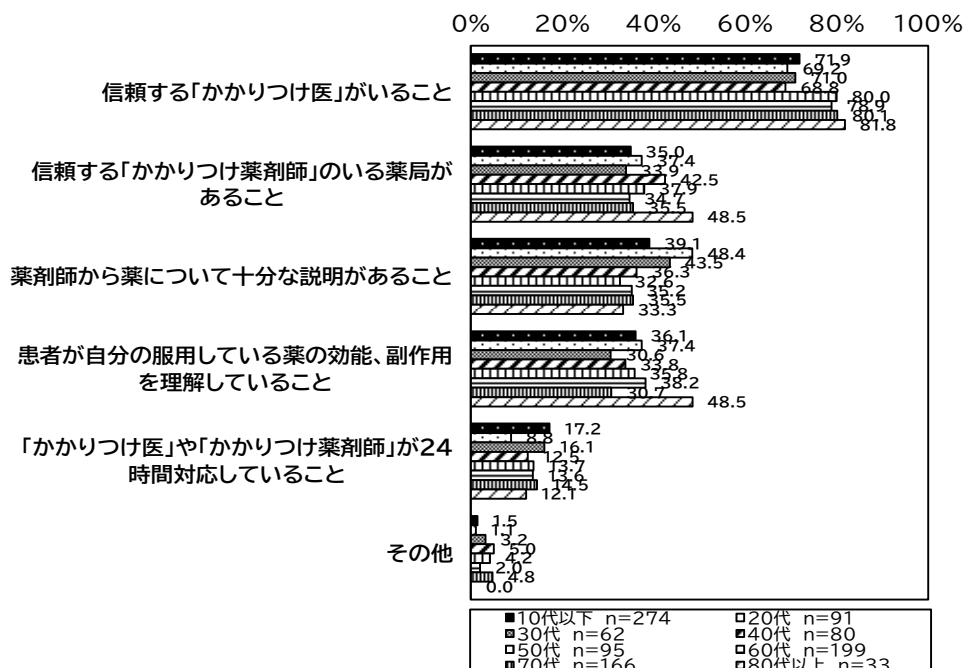
② リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること

リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く75.2%であった。

図表 5-60 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること
(複数回答) (性別)



図表 5-61 リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じること
(複数回答) (年代別)



【その他の記載内容】

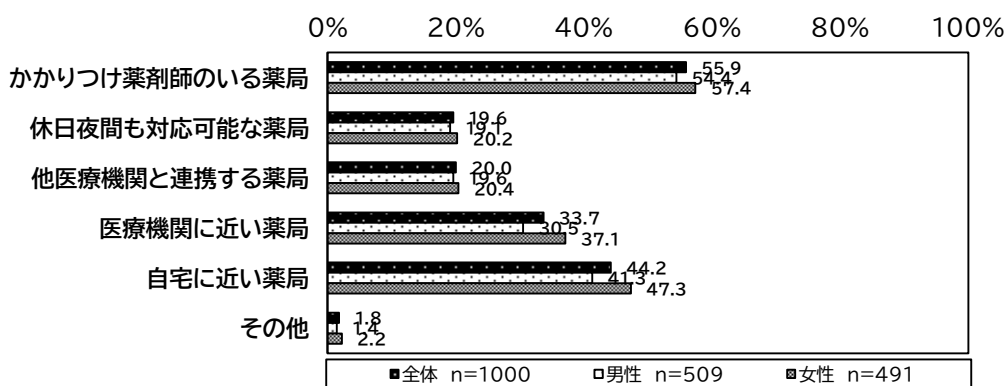
- ・メリット(有益になること)の周知が必要
- ・医療費が安くなること 等

③ リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか

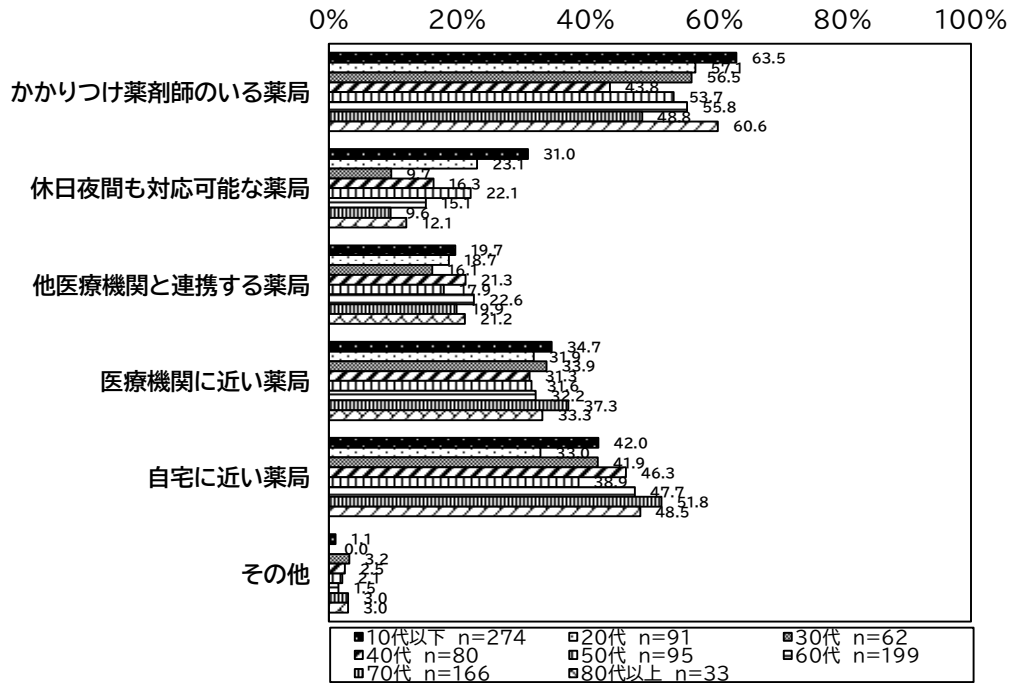
リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいかについては、1回目処方（最重要視するもの1つ選択）では、「かかりつけ薬剤師のいる薬局」が最も多く39.6%であった。一方で2回目処方（最重要視するもの1つ選択）では、「自宅に近い薬局」が最も多く36.5%であった。

【1回目】該当するもの全て

図表 5-62 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(複数回答) (性別)



図表 5-63 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(複数回答) (年代別)

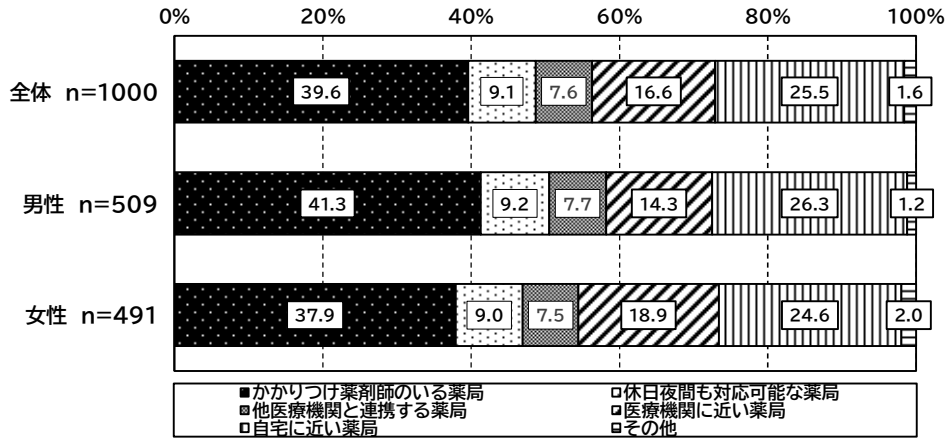


【その他の記載内容】

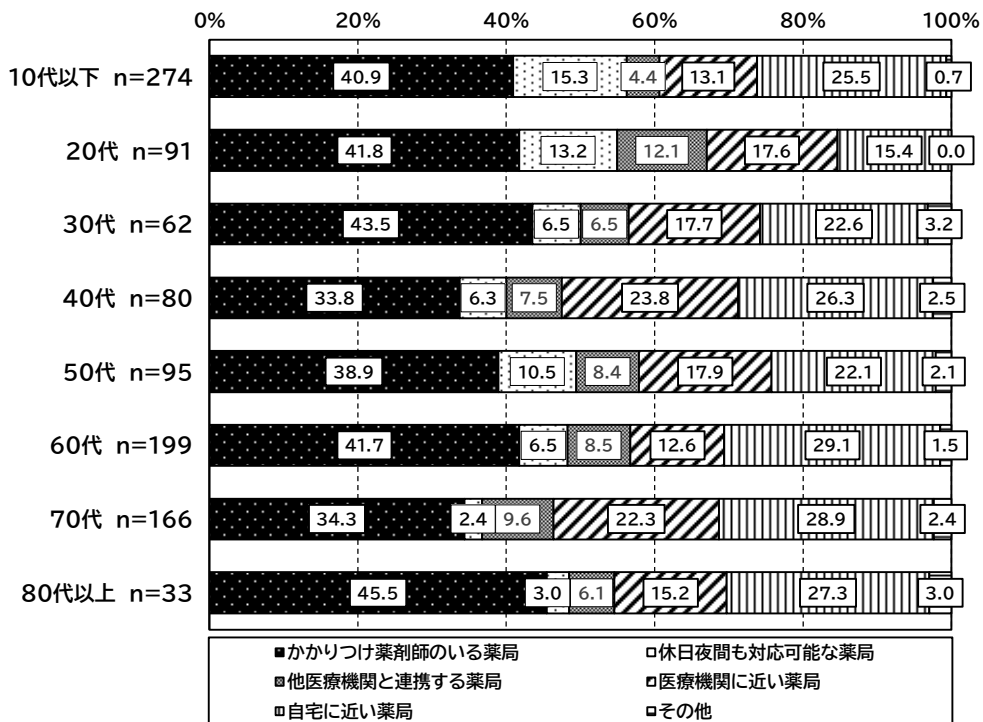
- ・リフィル処方箋をしらない・わからない
- ・スマホアプリに対応した薬局
- ・クレジットカード支払い可能なところ 等

【1回目】最重要視のもの一つ

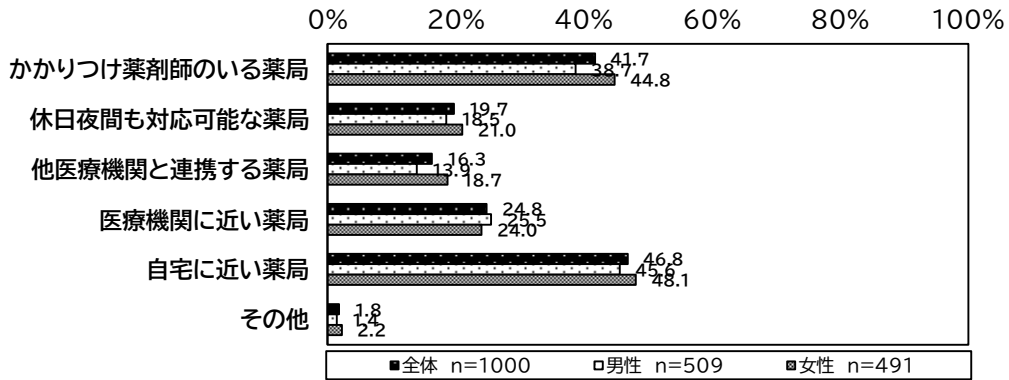
図表 5-64 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(性別)



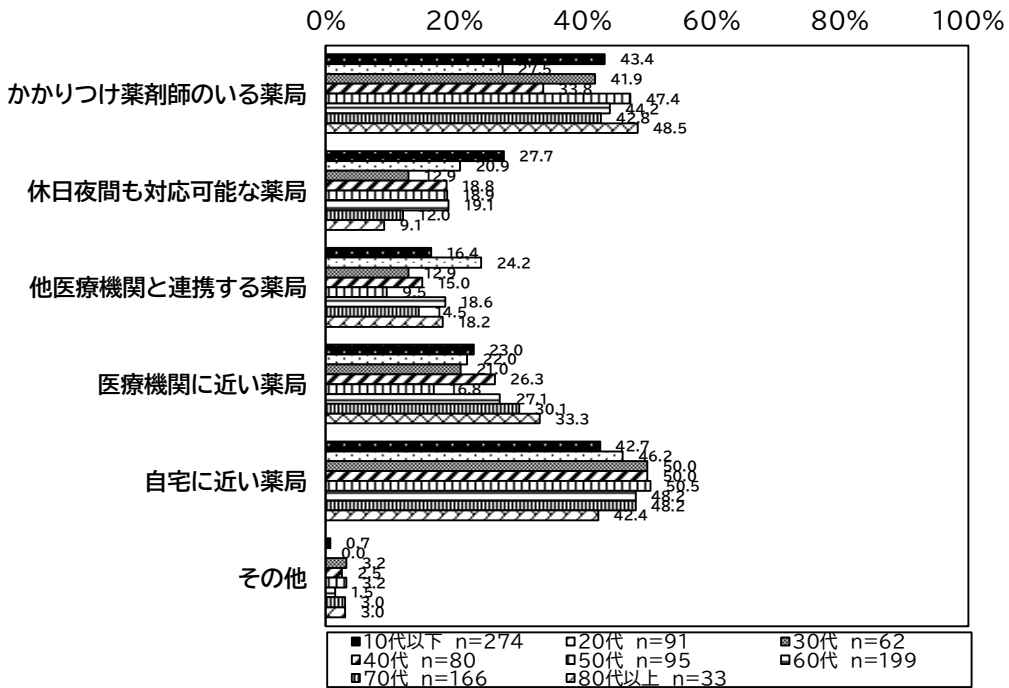
図表 5-65 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(年代別)



【2回目】該当するもの全て
 図表 5-66 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
 (複数回答) (性別)

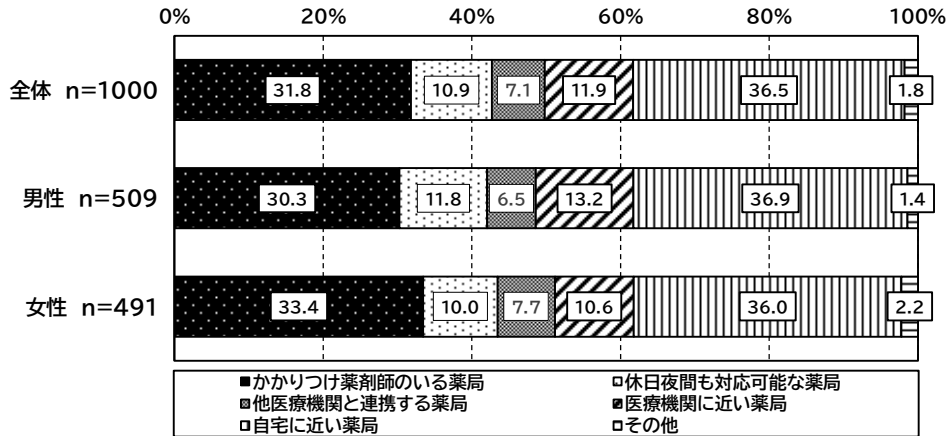


図表 5-67 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
 (複数回答) (年代別)

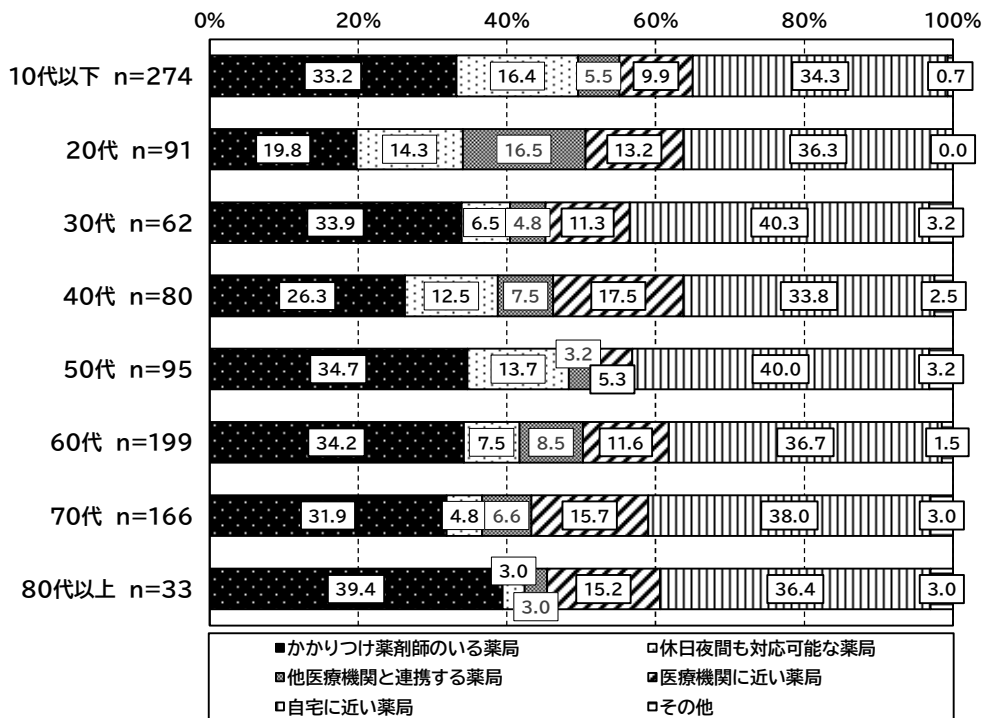


【2回目】最重要視のもの一つ

図表 5-68 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(性別)



図表 5-69 リフィル処方箋はどのような薬局で調剤を受けたいか
(年代別)



(6) リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等

① リフィル処方箋に関してご意見・ご要望

～自由記載～

- ・リフィル処方箋に関してもっと PR して、医師や薬剤師から説明をして欲しい
- ・あまりいいとは思わない
- ・コロナ等で病院に行くことへの不安があるため、お得で、便利であれば利用したい
- ・とてもいい制度なので、多くの医療機関で使用できればぜひ利用したい
- ・医師のほうから提案してほしい
- ・リフィル処方箋の説明を聞いたことがないので理解していない
- ・時間の短縮になりいいと思う
- ・症状が安定していればいいが、急変した際に不安である
- ・「リフィル処方箋」初めて聞く言葉なのでよくわからない
- ・便利で効率的だと思う 等

NDBを用いた集計（リフィル処方箋）

1. リフィル処方箋に係る処方箋料の算定状況（令和4年5月診療分）

	医療機関数	算定回数
病院	869	6,267
診療所	2,338	14,750
全体	3,210	21,025

2. リフィル処方箋の受付状況（令和4年5月診療分）

	薬局数	受付回数
リフィル処方箋 1／2回目	2,422	8,776
リフィル処方箋 2／2回目	1,966	6,316
リフィル処方箋 1／3回目	2,434	5,811
リフィル処方箋 2／3回目	2,972	7,743
リフィル処方箋 3／3回目	650	1,304

ID 番号：

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和4年度調査)
リフィル処方箋の実施状況調査
保険薬局票

※この「保険薬局票」は、保険薬局の開設者・管理者の方に、令和4年度診療報酬改定で変更された、症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※○は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和4年11月1日現在の貴薬局の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴薬局の状況についてお伺いします(令和4年11月1日現在)。

① 所在地(都道府県)	() 都・道・府・県	
② 開設者 ※法人の場合は、法人の形態等にも○をつけてください。	1. 法人 ⇒ (11. 株式会社 12. 有限会社 13. 合資会社 14. 合名会社 15. その他) ⇒ (16. 純粋持株会社 ^{*1} 17. 事業持株会社 ^{*2} 18. 持株会社以外 ^{*3}) 2. 個人 3. その他(具体的に:) ※1 自ら製造や販売といった事業は行わず、株式を所有することで、他の会社の事業活動を支配することのみを事業目的とする持株会社のこと。 ※2 グループ各社の株式を持つことで子会社を支配しながら、自らも生産活動などの事業を営む持株会社のこと。 ※3 持株会社以外(会社の総資産に対する子会社の株式の取得価額の合計が50%以下の会社)のこと。	
③ 同一グループ(財務上又は営業上若しくは事業上、緊密な関係にある範囲の保険薬局をいう)等[*]による薬局店舗数 ※ 同一グループは次の基準により判断する(調剤基本料の施設基準における同一グループの考え方と同様) 1. 保険薬局の事業者の最終親会社 2. 保険薬局の事業者の最終親会社の子会社 3. 保険薬局の事業者の最終親会社の関連会社 4. 1から3までに掲げる者と保険薬局の運営に関するフランチャイズ契約を締結している者	() 店舗 ※ 当該店舗を含めてお答えください。	
④ 開設年 ※当該店舗の開設年をお答えください。	西暦 () 年	
⑤ 貴薬局は、チェーン薬局(同一経営者が20店舗以上を所有する薬局の店舗)ですか。 ※○は1つだけ	1. はい 2. いいえ	
⑥ 貴薬局はどのような場所に立地していますか ※○は1つだけ	1. 医療機関の近隣にある 2. 住宅街にある 3. 駅前にある 4. 商店街にある 5. オフィス街にある 6. 大型商業施設(スーパー・デパート)の中にある 7. 医療モールのなかにある 8. 医療機関の敷地内にある 9. ビル診療所と同じ建物内にある 10. その他(具体的に:)	
⑦ 最も多く処方箋を受け付けた医療機関からの処方箋枚数割合 (期間: 令和4年4月~6月 %: 4月~6月の月平均値)	() %	
⑦-1 上記⑦の集中度率が最も高い医療機関の情報		
1) 診療所・病院の別 ※○は1つだけ	1. 診療所 2. 病院	
2) 診療科 ※あてはまる番号すべてに○		
1. 内科 ^{*1} 2. 外科 ^{*2} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他(具体的に:)		
※1 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1. 内科」として回答		
※2 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2. 外科」として回答		

⑧ 応需医療機関数(令和4年4月～6月の月平均値)		() 施設		
⑨ 貴薬局の売上高に占める保険調剤 売上の割合 ※令和3年度決算		約 () %		※OTC医薬品等の販売がなく、保険調剤収入のみ である場合は 100%とご記入ください。
⑩ 電子版お薬手帳の導入状況 ※○は1つだけ		1. 導入している 2. 未導入		
⑪ オンライン資格確認についての対応システムの稼働状況 ※○は1つだけ		1. 既に稼働している 2. これから稼働予定		
⑫ 令和4年度の調剤基本料 の届出状況 ※○は1つだけ		1. 調剤基本料 1 2. 調剤基本料 2 3. 調剤基本料 3 イ 4. 調剤基本料 3 ロ 5. 調剤基本料 3 ハ 6. 特別調剤基本料		
⑫-1 全処方箋の受付回数(調剤基本料の根拠となる数字)		() 回/月		
⑫-2 全処方箋の受付回数(令和4年4月～10月の各月) ※受付が無い月は0(ゼロ)を記入		4月:()回 5月:()回 6月:()回 7月:()回 8月:()回 9月:()回 10月:()回		
⑬ 職員数 ※ 該当者がいない 場合は「0」とご 記入ください。	職種		非常勤職員	
			実人数	
			常勤換算 ^{注3}	
1) 薬剤師		() 人	() 人	() 人
(うち)かかりつけ薬剤師指導料等 ^{注1} における「かかりつけ薬剤師」		() 人	() 人	() 人
2) その他(事務職員等)		() 人	() 人	() 人
⑭-1 管理薬剤師の年代 ※一つだけ○		1. 20代以下 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上		
⑭-2 管理薬剤師の、貴薬局 での勤続年数 ※小数点第一位まで		(.) 年	⑭-3 管理薬剤師の、薬剤師 としての経験年数 ※小数点第一位まで	(.) 年
⑮ 貴薬局の認定等の状況 ※当てはまるもの全てに○		1. 地域連携薬局 2. 専門医療機関連携薬局 3. 健康サポート薬局		

注1 かかりつけ薬剤師指導料、かかりつけ薬剤師包括管理料を指します。

注2 常勤職員数(常勤薬剤師数)には、貴薬局における実労働時間が週 32 時間以上である職員(保険薬剤師)の実人数を計上します。常勤薬剤師数については、届出前3月間の勤務状況に基づき算出します。

注3 非常勤職員(非常勤薬剤師)は、貴薬局における実労働時間が週 32 時間に満たない職員(保険薬剤師)をいい、常勤換算数は、以下により算出します(小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで求める)。非常勤薬剤師数については、届出前3月間の勤務状況に基づき算出します。

$$\text{非常勤薬剤師数(常勤換算)} = \frac{\text{当該保険薬局における週 32 時間に満たない保険薬剤師の実労働時間の合計(時間/3月)}}{32(\text{時間/週}) \times 13(\text{週/3月})}$$

2. 届出の状況についてお伺いします。

① 貴薬局における、かかりつけ薬剤師指導料及びかかりつけ薬剤師包括管理料の施設基準等の届出をしていますか。 ※○は1つだけ	
1. 届出あり	2. 届出なし
② 地域支援体制加算の届出をしていますか。(令和4年 11 月 1 日現在) ※○は1つだけ	
1. 届出あり	2. 届出なし
③ 連携強化加算の届出をしていますか。(令和4年 11 月 1 日現在) ※○は1つだけ	
1. 届出あり	2. 届出なし

3. リフィル処方箋の対応状況についてお伺いします。(令和4年4月～10月末日)

①リフィル処方箋の仕組みについて知っていますか	1. 知っている 2. 知らない
②リフィル処方箋の受付経験 ※一つだけ○	1. 受け付けたことがある → ③へ ----- 2. 受け付けたことはない → p.5「4. 医療機関等との連携について」へ
【②でリフィル処方箋について「1.受け付けたことがある」と回答した場合、下記③～⑯を回答】	
③受け付けたリフィル処方箋を発行した医療機関数	() か所 ※令和4年4月～10月末日の合計数
④どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けましたか ※あてはまる番号すべてに○	
1. 近隣の診療所 2. 近隣の病院 (199床以下) 3. 近隣の病院 (200床以上399床以下) 4. 近隣の病院 (400床以上) 5. 遠方の診療所 6. 遠方の病院 (199床以下) 7. 遠方の病院 (200床以上399床以下) 8. 遠方の病院 (400床以上) 9. 同一敷地内の診療所 10. 同一敷地内の病院 (199床以下) 11. 同一敷地内の病院 (200床以上399床以下) 12. 同一敷地内の病院 (400床以上) 13. 同一医療モール内の診療所 14. その他 (具体的に: _____)	
⑤どの診療科のリフィル処方箋を受け付けましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科※ ¹ 2. 外科※ ² 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他 (具体的に: _____)
⑤-1 ⑤で選択した中で最も多くリフィル処方箋を受け付けた診療科	() ※⑤の選択肢番号を記入
⑥1か月ごとのリフィル処方箋の受付件数(延べ数) (令和4年4月～10月の各月)	4月:() 件/月 5月:() 件/月 6月:() 件/月 7月:() 件/月 8月:() 件/月 9月:() 件/月 10月:() 件/月 ※無い月は0(ゼロ)を記入
⑦リフィル処方箋の総使用件数の調剤が終わった枚数(自局で調剤済みの処方箋を保管している枚数) (令和4年4月～10月の各月)	4月:() 枚/月 5月:() 枚/月 6月:() 枚/月 7月:() 枚/月 8月:() 枚/月 9月:() 枚/月 10月:() 枚/月 ※無い月は0(ゼロ)を記入
⑧リフィルの上限まで使用されなかった理由 ※あてはまる番号すべてに○	1. 薬剤師が受診勧奨をしたから → p.4 ⑧-1へ 2. 患者が処方箋期限内に医療機関の受診を希望したから 3. 患者が別の薬局で処方を受けることになったから 4. 患者と連絡は取れていたが、来局前に処方箋期限が切れたから 5. 患者と連絡が取れず、処方箋期限が切れたから 6. その他 (具体的に: _____) 7. 上限まで使用されなかったことはない

「1.」を選択しなかった場合
→ p.4⑨へ

【⑧で「1.薬剤師が受診勧奨をしたから」を選択した場合、下記⑧-1～⑧-3を回答】					
⑧-1 薬剤師が受診勧奨をした回数	() 回 ※令和4年4月～10月末日の合計数				
⑧-2 薬剤師が受診勧奨をした理由 ※あてはまる番号すべてに○	1. 副作用が疑われたから 2. 患者の症状の変化に気付いたから 3. 服薬状況に注意すべき点があったから 4. その他（具体的に：_____）				
⑧-3 受診勧奨の際に行ったこと ※あてはまる番号すべてに○	1. 医師への情報提供 2. 患者への指導 3. その他（具体的に：_____）				
⑨リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った経験の有無 ※一つだけ○	1. ある → ⑩へ ----- 2. ない → ⑪へ -----				
【⑨で「1.ある」と回答した場合、下記⑩を回答】					
⑩リフィル処方箋による調剤の可／否の判断に困った際に行った疑義照会の内容 ※あてはまる番号すべてに○○	1. 急性期疾患に対する医薬品が含まれていた 2. 処方箋1回の使用期間が判断できなかった 3. 投薬期間が異なる医薬品が同じリフィル処方箋で処方されていた 4. リフィル処方箋による投薬を行うことができない医薬品（投与量に限度が定められている医薬品及び湿布薬）が含まれていた 5. その他（具体的に：_____）				
⑪リフィル処方箋の患者フォローアップ(来局時除く)で受診勧奨をした経験 ※一つだけ○	1. ある → ⑪-1へ --- 2. ない → ⑫へ -----				
【⑪で「1.ある」と回答した場合、下記⑪-1を回答】					
⑪-1 受診勧奨を判断し、説明する際の処方医への相談 ※一つだけ○	1. 受診勧奨後に処方医に患者の情報を報告した 2. 事前に処方医へ相談した				
⑫1枚のリフィル処方箋の処方の途中で薬局が変わった経験 ※一つだけ○	1. ある → ⑫-1へ --- 2. ない → p.5 ⑬へ 3. 不明 → p.5 ⑬へ -----				
【⑫で「1.ある」と回答した場合、下記⑫-1を回答】					
⑫-1リフィル処方の途中で患者が薬局を変えた場合の内訳		自薬局から他薬局へ	他薬局から自薬局へ		
		2回目から他薬局	3回目から他薬局	2回目から自薬局	3回目から自薬局
	a. 上限3回の処方箋	() 枚	() 枚	() 枚	() 枚
	b. 上限2回の処方箋	() 枚		() 枚	
【⑫-1で「自薬局から他薬局へ」が1枚以上と回答した場合、下記⑫-2～⑫-3を回答】					
⑫-2 どのような方法で他薬局へ情報提供を行いましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 他の保険薬局に文書を送付した 2. 情報を記録したものを患者に提供した 3. お薬手帳に記載した 4. 他の保険薬局に電話をした 5. 他の保険薬局にメール・FAXを送付した 6. 地域医療情報連携ネットワーク※を利用した 7. その他（具体的に：_____） ※ ICT（情報通信技術）を活用して住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所（医科・歯科）、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の各関係機関において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み				
⑫-3 どのような内容を情報提供しましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 調剤上の工夫 7. その他（具体的に：_____）				

【⑫-1で「他薬局から自薬局へ」が1枚以上と回答した場合、下記⑫-4～⑫-5を回答】	
⑫-4 どのような方法で他薬局から情報提供を受けましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 薬局同士で直接、文書を送付された 2. 患者に交付された文書を受け取った 3. お薬手帳 4. 他薬局から電話を受けた 5. 他薬局からメール・FAXを受信した 6. 地域医療情報連携ネットワーク*を利用した 7. 自薬局から連絡した ※ ICT（情報通信技術）を活用して住民に質の高い医療介護サービスを提供するため、患者の同意を得た上で、病院、診療所（医科・歯科）、薬局、訪問看護事業者、訪問介護事業者等の各関係機関において、その患者の医療介護情報を電子的に共有・閲覧できる仕組み
⑫-5 どのような内容を情報提供されましたか ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に：_____）
⑬リフィル処方箋に関する情報提供を受ける際、提供してほしい情報 ※あてはまる番号すべてに○	1. 患者の服用薬 2. 患者の服薬状況 3. 患者に対する服薬指導の要点 4. 患者の状態 5. 残薬 6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等 7. その他（具体的に：_____）
⑭リフィル処方箋の対応方法について薬局内の手順書の状況 ※一つだけ○	1. 薬局内で手順を定めている 2. 個々の薬剤師の判断に委ねている
⑮リフィル処方箋の次回調剤日の管理方法 ※主たるものを一つだけ○	1. 紙による管理（メモや調剤録への記載） 2. 電子的な管理（電子薬歴等のシステムやExcel等による管理） 3. その他（具体的に：_____）
⑯薬局でリフィル処方箋を受けるにあたって課題と感ずること ※当てはまるもの全て○	1. 患者が次回調剤日に来局してくれるか 2. 患者が処方箋をなくさないか 3. 患者の状態を注意深く観察して判断できるか 4. 副作用の評価ができるか 5. その他（具体的に：_____）

4. 医療機関等との連携についてお伺いします。

① 服薬情報等提供料の算定の有無をご回答ください ※あてはまる番号すべてに○	1. 服薬情報等提供料1の算定あり → 令和4年4月～10月の算定回数（ ）回 → うちリフィル処方箋（ ）回 2. 服薬情報等提供料2の算定あり → 令和4年4月～10月の算定回数（ ）回 → うちリフィル処方箋（ ）回 3. 服薬情報等提供料3の算定あり → 令和4年4月～10月の算定回数（ ）回 → うちリフィル処方箋（ ）回 4. 服薬情報等提供料の算定なし
②リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)を提供した経験 ※一つだけ○	1. ある → ②-1へ----- 2. ない → p.6 「5. リフィル処方箋に関する薬局薬剤師への影響等」へ

【②で「1. ある」を選択した場合、下記②-1を回答】			
②-1リフィル処方箋の患者に関して医師に服薬指導提供書(トレーシングレポート)で提供した情報の内容		該当するもの全て	最も多いもの一つ
	1. 他の医療機関から処方された薬の情報		
	2. 患者の服用薬		
	3. 患者の服薬状況		
	4. 患者に対する服薬指導の要点		
	5. 患者の状態		
	6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための調剤上の工夫等		
	7. その他(具体的に:_____)		

ID 番号：

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和4年度調査)
リフィル処方箋の実施状況調査
病院・診療所票

※この「病院・診療所票」は、病院・診療所の開設者・管理者の方に令和4年度診療報酬改定で変更された、症状が安定している患者について医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の影響についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。
- ・「※○は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・()内に数値を記入する設問で、該当なしは「0(ゼロ)」を、わからない場合は「-」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和4年11月1日現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の状況についてお伺いします(令和4年11月1日現在)。

①所在地(都道府県)	() 都・道・府・県							
②開設者 ^{注1} ※一つだけ○	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体	5. 医療法人(社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人	8. 個人
③医療機関の種別 ※一つだけ○	1. 病院 →④へ		2. 有床診療所 →④へ		3. 無床診療所 →⑥へ			
【病院または有床診療所の場合、下記④～⑤にご回答ください】								
④許可病床数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症 病床	病院・診療 所全体		
	()床	()床	()床	()床	()床	()床		
⑤過去1年の病床数変更	1. 変更あり		2. 変更なし					
【すべての方が⑥～⑩にご回答ください】								
⑥標榜診療科 ※当てはまるもの全て	1. 内科 ^{注2} 2. 外科 ^{注3} 3. 精神科 4. 小児科 5. 皮膚科 6. 泌尿器科 7. 産婦人科・産科 8. 眼科 9. 耳鼻咽喉科 10. 放射線科 11. 脳神経外科 12. 整形外科 13. 麻酔科 14. 救急科 15. 歯科・歯科口腔外科 16. リハビリテーション科 17. その他 (具体的に:)							
⑦貴施設の外来分離 ※一つだけ○	1. 外来分離をしている			2. 外来分離をしていない				
⑧地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無 ※一つだけ○	1. 参加あり			2. 参加なし				
⑨外来を担う医師の人数 ※常勤換算は小数点第1位まで	a. 常勤医師 : () 人 b. 非常勤医師 : 実人数 () 人 常勤換算 () 人							
⑩外来の患者数 ※再診延べ患者数	4月:()人 5月:()人 6月:()人 7月:()人 8月:()人 9月:()人 10月:()人							
⑪処方箋の発行枚数	4月:()人 5月:()人 6月:()人 7月:()人 8月:()人 9月:()人 10月:()人							

注1 国立(国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構)

公立(都道府県、市町村、地方独立行政法人)

公的(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)

社会保険関係(健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)

医療法人(社会医療法人は含まない)

その他の法人(公益法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、社会医療法人等、その他の法人)

注2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1.内科」としてご回答ください。

注3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2.外科」としてご回答ください。

2. リフィル処方箋についてお伺いします。

①リフィル処方箋の制度の認知 ※一つだけ○	1. 制度の内容まで知っている 2. 名称だけ知っている 3. 知らない																																												
【①で「1.制度の内容まで知っている」又は「2.名称だけ知っている」と回答した場合、下記①-1をご回答ください】																																													
①-1リフィル処方箋の制度を知ったきっかけ ※当てはまるもの全て○	1. 新聞・雑誌のニュース等の報道 2. 医師会等の団体からの案内等 3. 薬局からの案内等 4. 保険者側からの案内等 5. 患者からの問い合わせ 6. 行政からの案内等 7. その他（具体的に：_____）																																												
【すべての方がご回答ください】																																													
②リフィル処方箋の発行有無 ※一つだけ○	1. 発行したことがある →③へ --- ↓ 2. 発行したことはない →p. 3 ⑪へ																																												
【②で「1.発行したことがある」と回答した場合、下記③～⑤をご回答ください】																																													
③リフィル処方箋等の発行回数 ※令和4年4月～10月の合計	a. リフィル処方箋発行回数 () 回																																												
	b. 分割調剤発行回数 () 回																																												
④どのような患者にリフィル処方箋を発行しているか ※当てはまるもの全て○	1. 自施設にかかりつけの患者 2. 自施設と連携する薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 3. 自施設と連携する薬局以外の薬局に「かかりつけ薬剤師」がいる患者 4. その他（具体的に_____）																																												
⑤リフィル処方に関する薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)の有無 ※一つだけ○	1. あった →⑥へ --- ↓ 2. なかった →⑨へ -----																																												
【⑤で「1.あった」と回答した場合、下記⑥～⑧をご回答ください】																																													
⑥リフィル処方箋のトレーシングレポート受領頻度	症状が安定している患者の通常の処方箋と比較して、リフィル処方箋は、 トレーシングレポートの受領頻度が 1. 高い 2. 同程度 3. 低い																																												
リフィル処方に関するトレーシングレポートで⑦提供された情報 ⑧提供してほしい情報																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">⑦提供された情報</th> <th colspan="2">⑧提供してほしい情報</th> </tr> <tr> <th>該当するもの全て</th> <th>最も多いもの一つ</th> <th>該当するもの全て</th> <th>最重要のもの一つ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 患者の服用薬(他の医療機関からの処方等も含む)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 患者の服薬状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 患者に対する服薬指導の要点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 患者の状態 (バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 残薬</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. その他(具体的に：_____)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		⑦提供された情報		⑧提供してほしい情報		該当するもの全て	最も多いもの一つ	該当するもの全て	最重要のもの一つ	1. 患者の服用薬(他の医療機関からの処方等も含む)					2. 患者の服薬状況					3. 患者に対する服薬指導の要点					4. 患者の状態 (バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等)					5. 残薬					6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報					7. その他(具体的に：_____)				
	⑦提供された情報		⑧提供してほしい情報																																										
	該当するもの全て	最も多いもの一つ	該当するもの全て	最重要のもの一つ																																									
1. 患者の服用薬(他の医療機関からの処方等も含む)																																													
2. 患者の服薬状況																																													
3. 患者に対する服薬指導の要点																																													
4. 患者の状態 (バイタル・体重・食欲・浮腫の有無・便秘の有無等)																																													
5. 残薬																																													
6. 患者が容易に又は継続的に服用できるための技術的工夫等の調剤情報																																													
7. その他(具体的に：_____)																																													
【②で「1.発行したことがある」と回答した方は全員、下記⑨～⑩をご回答ください】																																													
⑨薬剤師の受診勧奨を受け受診した患者数	() 人 ※令和4年4月から10月にかけての合計																																												
⑩リフィル処方箋を発行した理由 ※当てはまるもの全て○	1. 症状が安定していたから 2. 患者に「かかりつけ薬剤師」がいたから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができる 4. 患者からの希望があったから 5. その他（具体的に：_____）																																												

【②で「2.発行したことはない」と回答した場合、下記①をご回答ください】	
①リフィル処方箋を発行しなかった理由 ※当てはまるもの全て○	1. 症状が安定している患者がいなかったから 2. 薬剤師と適切に連携して管理できる患者がいなかったから 3. 症状が安定し、薬剤師と連携して管理できるが、医師の判断が必須だったから 4. 長期処方に対応が可能だったから 5. 患者からの求めがないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
⑫リフィル処方箋の発行について患者からの希望の有無 ※一つだけ○	1. あった 2. なかった
⑬リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し ※一つだけ○	1. 積極的に検討する → ⑭へ 2. 患者希望があれば検討する → ⑯へ 3. 検討には消極的 → ⑰へ
【⑬で「1. 積極的に検討する」と回答した方は、以下の⑭をご回答ください】	
⑭「1. 積極的に検討する」と回答した理由をお答えください。 ※当てはまるもの全て○	1. 患者からの希望が多いから 2. 患者の待ち時間が減るから 3. 患者が感染症に罹るリスクを減らすことができる 4. 医師の負担軽減につながるから 5. その他（具体的に：_____）
【⑬で「3. 検討には消極的」と回答した方は、以下の⑰をご回答ください】	
⑰「3. 検討には消極的」と回答した理由をお答えください。 ※当てはまるもの全て○	1. 医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから 2. 薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから 3. 患者にリフィル処方箋が必要とされていないから 4. 処方箋の不正利用が心配だから 5. リフィル処方箋の仕組みがよくわからないから 6. その他（具体的に：_____）
【すべての方がご回答ください】	
⑯このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること ※当てはまるもの全て○	1. 患者への制度の周知 2. 医師への制度の周知 3. 薬剤師への制度の周知 4. かかりつけ薬剤師制度の普及 5. その他（具体的に：_____）

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。
 令和5年1月10日(火)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。

ID 番号：

令和4年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和4年度調査)

リフィル処方箋の実施状況調査

患者票

※この調査票は、患者さんに、薬局の利用状況やお考えなどをお伺いするものです。
※調査結果は、診療報酬の見直しなどについて検討するための資料となります。
※本調査のご回答内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、医師や薬剤師に個人の回答内容をお知らせすることはありません。
※本調査票にご回答頂けない場合も、患者さんに不利益はございません。
※回答はあてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数字や内容・理由などをご記入ください。

1. この調査票のご記入者についてお伺いします。

①この調査票のご記入者は患者さんご本人でしょうか ※一つだけ○
1. 患者ご本人(代筆の場合を含む)
2. 本人以外のご家族等(具体的に: _____)

2. 患者さんご自身のことについてお伺いします。

①性別 ※一つだけ○ 1. 男性 2. 女性
②年齢 ※一つだけ○ 1. 10代以下 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
③お住まい () 都・道・府・県
④薬局の窓口で支払うお金※がありますか ※お薬の容器代等は含まれません
1. ある 2. ない

3. 医療機関や保険薬局の利用状況等についてお伺いします。

①あなたご自身が、定期的注1に受診している医療機関(病院・診療所)、診療科はいくつありますか。
医療機関数:() 件
診療科数:() 件 ※定期的な受診がない場合「0」と記入
②定期的に決まった薬の処方を受けていますか ※一つだけ○
1. 受けている 2. 受けていない
③リフィル処方箋注2を知っていますか ※一つだけ○
1. 制度の内容まで知っている
2. 名称だけ知っている
3. 知らない

注1 定期的: 180日間で複数回

注2 リフィル処方箋: 症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用 できる

リフィル処方箋の仕組み

リフィル処方箋の仕組み

➤ 症状が安定している患者について、医師の処方により医師及び薬剤師の適切な連携の下、一定期間内に処方箋を反復利用できるリフィル処方箋の仕組みを設ける。

リフィル可 □ (回)
保険医署名 (「変更不可」欄に「レ」又は「X」を記載した場合は、署名又は記名・押印すること。)
保険薬局が調剤時に残薬を確認した場合の対応(特に指示がある場合は「レ」又は「X」を記載すること。)
□1 保険医療機関へ延薬照会した上で調剤 □2 保険医療機関へ情報提供
調剤実施回数(調剤回数に応じて、□に「レ」又は「X」を記載するとともに、調剤日及び次回調剤予定日を記載すること。)
□1 回目調剤日(年 月 日) □2 回目調剤日(年 月 日) □3 回目調剤日(年 月 日)
次回調剤予定日(年 月 日) 次回調剤予定日(年 月 日)

4. これまでリフィル処方箋を交付された経験についてお伺いします。

①リフィル処方箋について医師から説明を受けたことがありますか	1. ある 2. ない
【①で「1.ある」と回答した場合、下記①-1～①-2をご回答ください】	
①-1リフィル処方箋についての説明はどのように行われましたか ※一つだけ○	1. 患者から説明を希望した 2. 医師が自ら説明した
①-2リフィル処方箋についての説明は理解できましたか ※一つだけ○	1. 理解できた 2. 理解できなかった

②リフィル処方箋を交付されたことがありますか ※一つだけ○	1. ある →③へ----- 2. ない →⑧へ-----
【②で「1.ある」と回答した場合、下記③～⑦をご回答ください】	
③リフィル処方箋を交付されたのはどのような薬ですか ※当てはまるもの全てに○	1. 内服薬 2. 外用薬
④直近のリフィル処方箋は、何回反復利用できる処方箋ですか ※一つだけ○	1. 3回 2. 2回
⑤直近のリフィル処方箋は、1回あたり何日分のお薬が処方されましたか	a. 1回目の処方 () 日分
	b. 2回目の処方 () 日分
	c. 3回目の処方 () 日分 ※3回処方の場合のみ
⑥リフィル処方箋の1回目の処方で、どの薬局に行きましたか ※一つだけ○(複数該当する場合、最も多く行ったもの)	1. 受診した医療機関の近隣の薬局 2. お住まいの近くにある薬局 3. その他(具体的に: _____)
⑦リフィル処方箋の2回目以降の処方で、薬局を変えましたか ※一つだけ○	1. 1回目から変えていない(同じ薬局に行った) 2. 1回目から薬局を変更した → ⑦-1へ 3. まだ2回目を利用していない
【⑦で「2. 1回目から薬局を変更した」と回答した場合、下記⑦-1～⑦-2をご回答ください】	
⑦-1 薬局を変更した理由は何ですか ※あてはまるもの全てに○	1. 1回目の薬局の立地が通いにくかったから 2. 1回目の薬局が普段使う薬局ではなかったから 3. 1回目の薬局では薬の相談がしにくかったから 4. その他(具体的に: _____)
⑦-2 2回目以降のリフィル時に、薬剤師から受診が必要と言われたことがありますか。 ※一つだけ○	1. ある 2. ない
【②で「2.ない」と回答した場合、下記⑧をご回答ください】	
⑧リフィル処方箋が交付されていない理由はなんですか。 ※当てはまるもの全てに○	1. リフィル処方箋について知らなかったから 2. リフィル処方箋について知っていたが、希望しなかったから 3. リフィル処方箋の仕組みが適用できない症状・医薬品だったから 4. その他(具体的に: _____)

5. これからのリフィル処方箋の利用意向についてお伺いします。

①リフィル処方箋のメリット・デメリットと、それらを踏まえた今後の利用意向について、お考えを教えてください。					
①-1リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるものを教えてください。		該当するもの全て	最大のものの一つ		
	1. 通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる				
	2. 通院によってかかる医療費が安くなる				
	3. 症状が安定していて、異変時には、医師に相談ができる				
	4. 症状が安定していて、異変時には、薬剤師に相談ができる				
	5. 感染症に罹るリスクを減らすことができる				
	6. 薬がほしただけという患者の状況にあっている				
	7. その他(具体的に: _____)				
①-2リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるものを教えてください。		該当するもの全て	最大のものの一つ		
	1. 医師に診てもらえる機会が減ってしまう				
	2. 薬剤師の判断に不安がある				
	3. 2回目、3回目の薬のもらい方や、かかる金額がよくわからない				
	4. リフィル処方箋を希望しても発行してもらえないことがある				
	5. 処方箋を保管しておくことが手間である				
	6. 調剤予定日の前後7日ではしか薬を受け取れないのは不便である				
	7. 患者は必要だと思わない				
8. その他(具体的に: _____)					
①-3今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思えますか ※一つだけ○	1. 利用したい				
	2. どちらかと言えば利用したい				
	3. どちらかと言えば利用したくない				
	4. 利用したくない				
②リフィル処方箋を利用するにあたり必要だと感じることは何ですか ※あてはまるもの全てに○	1. 信頼する「かかりつけ医」 ^{※1} がいること				
	2. 信頼する「かかりつけ薬剤師」 ^{※2} のいる薬局があること				
	3. 薬剤師から薬について十分な説明があること				
	4. 患者が自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること				
	5. 「かかりつけ医」や「かかりつけ薬剤師」が24時間対応していること				
	6. その他(具体的に: _____)				
	※1: 健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと				
※2: 日頃から患者と継続的に関わることで信頼関係を構築し、薬に関していつでも気軽に相談できる薬剤師のこと					
③リフィル処方箋は、どのような薬局で調剤を受けたいですか		1回目		2回目以降	
		該当するもの全て	最重視の一つ	該当するもの全て	最重視の一つ
	1. かかりつけ薬剤師のいる薬局				
	2. 休日夜間も対応可能な薬局				
	3. 他医療機関と連携する薬局				
	4. 医療機関に近い薬局				
	5. 自宅に近い薬局				
6. その他(_____)					

6. リフィル処方箋に関するご意見・ご要望等をお伺いします。

①リフィル処方箋に関して、あなたのご意見・ご要望について自由に記載してください。

質問は以上です。ご協力頂き誠にありがとうございました。

令和5年1月10日(火)までに返信用封筒をご使用の上投函ください(切手不要)。